

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
高齡者等実態調査 集計結果報告書

令和 8 年 3 月
鹿児島県 奄美市

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の種類、対象.....	1
3. 調査の実施時期.....	1
4. 調査票の回収率.....	1
5. 調査結果利用上の注意	1
第2章 若年者調査の結果	2
1. 回答者の属性.....	2
2. 日常生活について	3
3. ふだんの近所づきあいについて	5
4. 社会生活・生きがいについて	7
5. 就労について.....	17
6. 健康について.....	18
7. 介護保険について	19
8. 介護予防への取組について.....	26
9. 認知症について.....	28
10. 権利擁護について.....	35
11. 高齢者社会について.....	36
第3章 一般高齢者調査の結果	40
＜介護予防・日常生活圏域ニーズ調査＞	40
1. 回答者の属性.....	40
【生活機能評価】.....	41
2. 回答者の家族や生活状況について	50
3. からだを動かすことについて	54
4. 食べることについて	60
5. 毎日の生活について	65
6. 地域での活動について	70
7. 就労について.....	75
8. たすけあいについて.....	76
9. 健康について.....	82
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について	87
＜高齢者等実態調査＞	88

第4章 在宅要介護・要支援者調査	115
＜介護予防・日常生活圏域ニーズ調査＞	115
1. 回答者の属性.....	115
2. 回答者の家族や生活状況について	116
3. からだを動かすことについて	119
4. 食べることについて	125
5. 毎日の生活について	130
6. 地域での活動について	135
7. 就労について.....	140
8. たすけあいについて.....	141
9. 健康について.....	147
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について	152
＜高齢者等実態調査＞	153
1. 介護の状況について	153
2. サービスの利用状況、満足度について.....	156
3. 介護保険サービスの利用状況、満足度について	158
4. 日常生活で困っていることについて	162
5. 権利擁護について	172
6. 就労状況について	173
7. 現在困っていることや将来の不安について.....	175
8. 介護保険サービスの満足度について.....	178
9. 認知症対策への取組について	181
10. 権利擁護について.....	185

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

第10期奄美市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定の基礎資料とするためにアンケート調査を実施した。

2. 調査の種類、対象

- ・若年者調査…対象:第2号被保険者(40～64歳)
- ・一般高齢者調査…対象:一般高齢者
- ・在宅要介護・要支援者調査…対象:在宅で生活している要支援・要介護者

3. 調査の実施時期

令和7年12月

4. 調査票の回収率

- ・若年者調査…81.7%(配布:600件、回収:490件)
- ・一般高齢者調査…84.5%(配布:600件、回収:507件)
- ・在宅要介護・要支援者調査…68.2%(配布:600件、回収:409件)

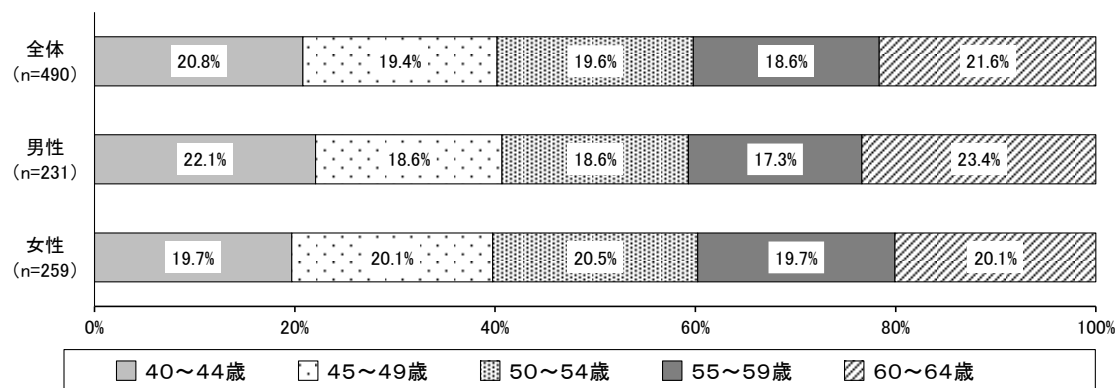
5. 調査結果利用上の注意

- ・各設問の集計母数(回答者数)は「n=」で示している。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているので、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問は、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。

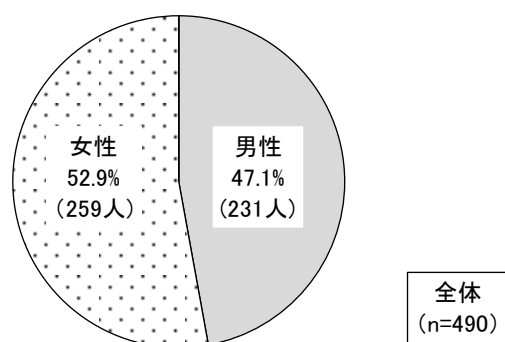
第2章 若年者調査の結果

1. 回答者の属性

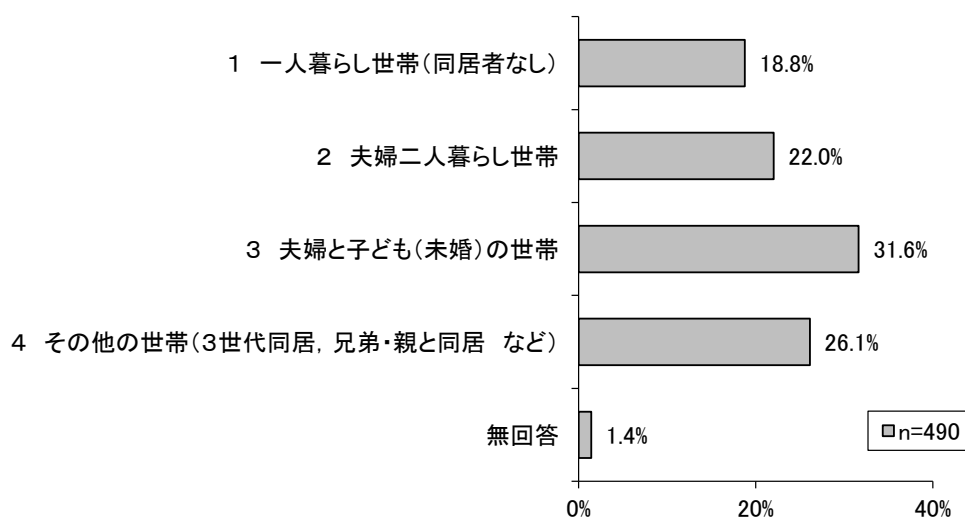
(1) 年齢



(2) 性別



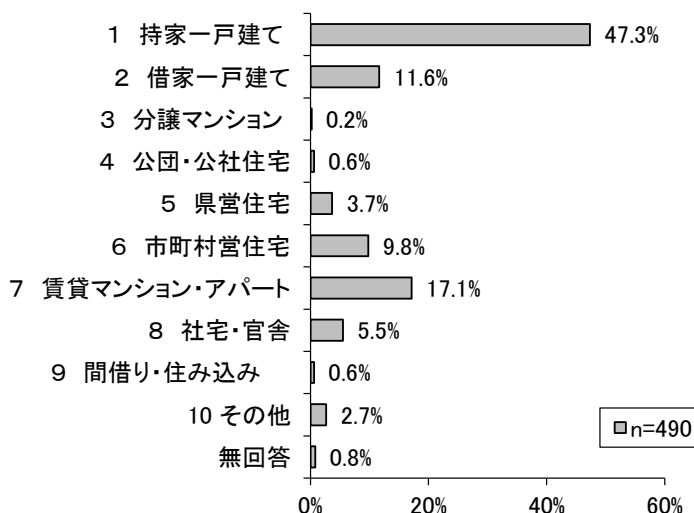
(3) 世帯状況(問1)



2. 日常生活について

問2 あなたの現在のお住まいについて、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

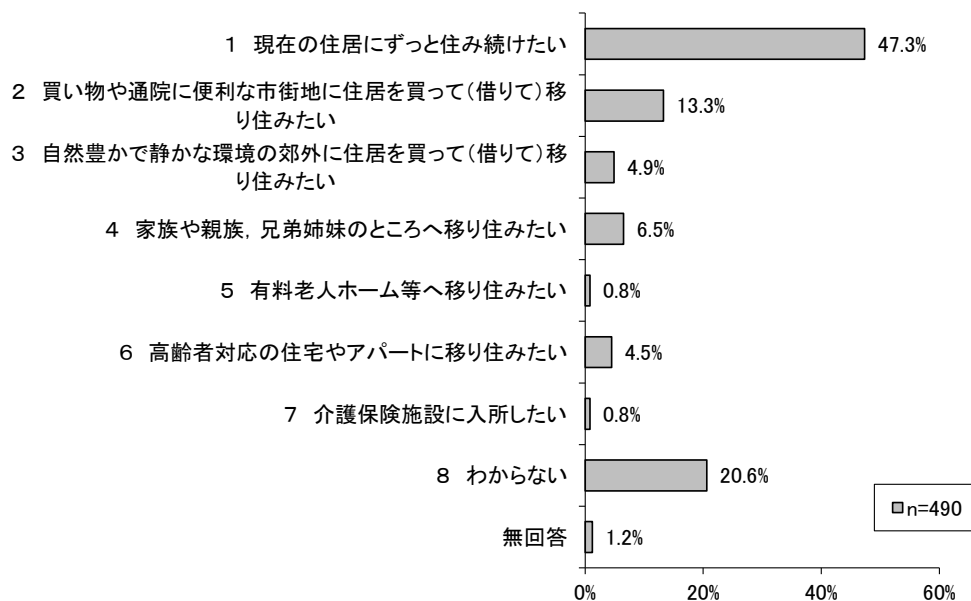
全体では、「持家一戸建て」が47.3%で最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」(17.1%)、「借家一戸建て」(11.6%)となっている。



問3 将来(高齢期), あなたが希望する生活場所についてお尋ねします。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「現在の住居にずっと住み続けたい」が47.3%で最も高く、次いで「わからない」(20.6%)、「買い物や通院に便利な市街地に住居を買って(借りて)移り住みたい」(13.3%)などが続いている。

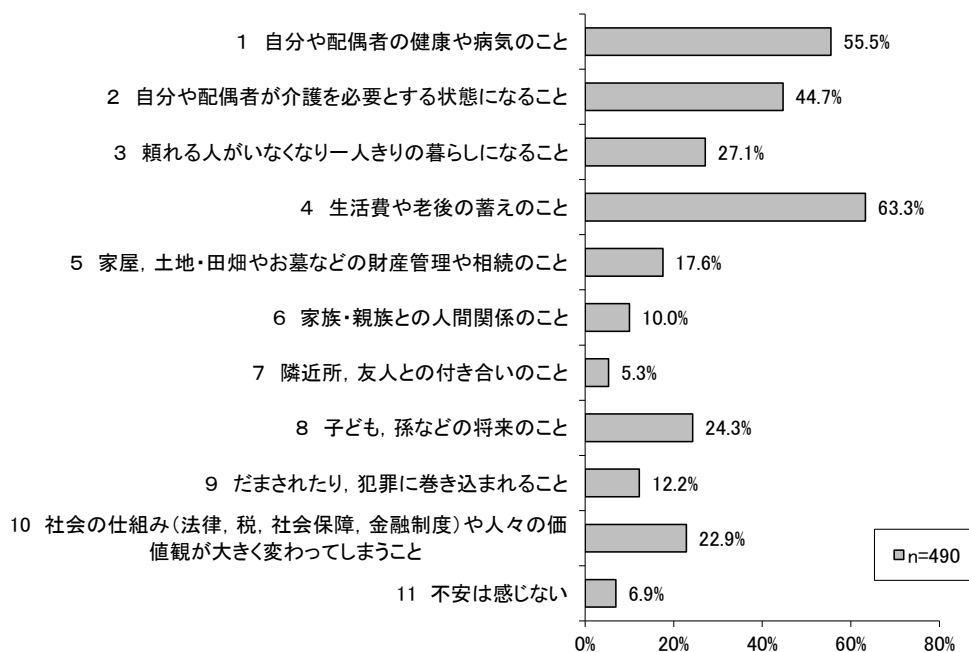


問4 あなたは, 将来(高齢期)の生活に不安を感じますか。

不安を感じることはどのようなことですか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「生活費や老後の蓄えのこと」が63.3%で最も高く、次いで「自分や配偶者の健康や病気のこと」(55.5%)、「自分や配偶者が介護を必要とする状態になること」(44.7%)などが続いている。

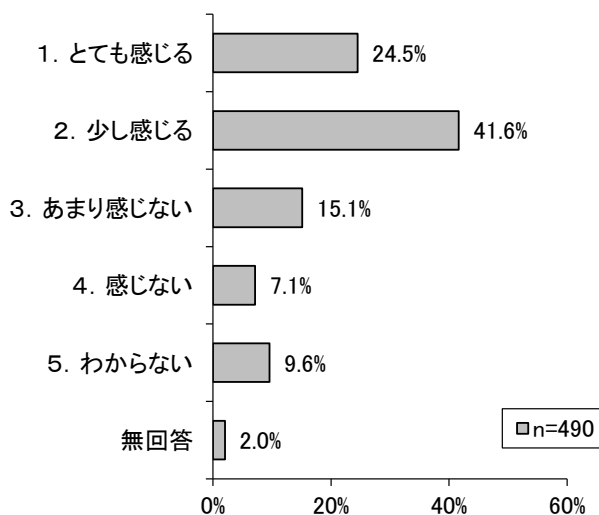


3. ふだんの近所づきあいについて

問5 あなたのお住まいの地域には、地域のつながりがあると感じますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

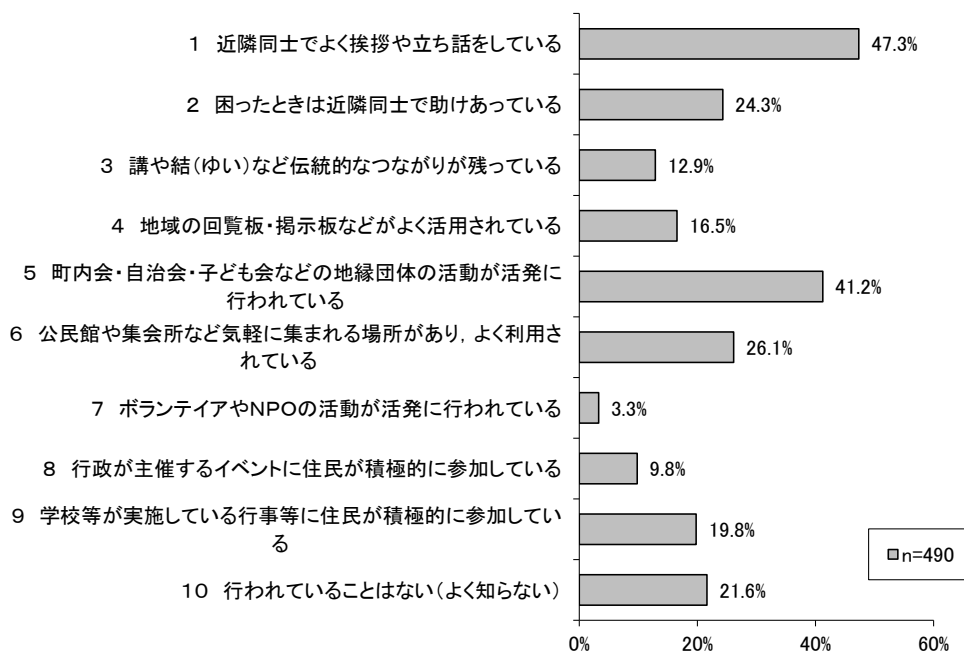
全体では、「感じる」(「とても感じる」と「少し感じる」の計)は66.1%となっている。
また、「感じない」(「あまり感じない」と「感じない」の計)は22.2%となっている。



問6 この中に、あなたのお住まいの地域で行われていることがありますか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

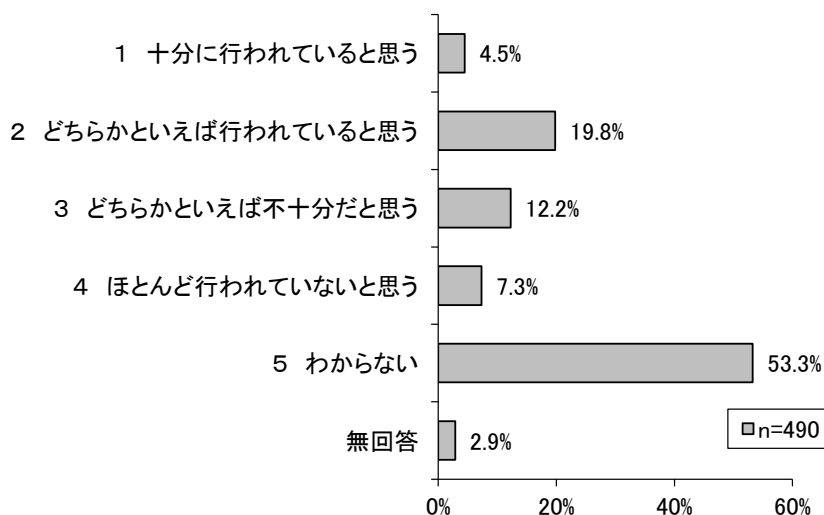
全体では、「近隣同士でよく挨拶や立ち話をしている」が47.3%で最も高く、次いで「町内会・自治会・子ども会などの地縁団体の活動が活発に行われている」(41.2%)、「公民館や集会所など気軽に集まれる場所があり、よく利用されている」(26.1%)などが続いている。



問7 あなたのお住まいの地域における、一人暮らしの高齢者や認知症の方など援護を要する世帯への安否確認や見守り活動の状況について、どのように感じますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「行われている」（「十分に行われていると思う」と「どちらかといえば行われていると思う」の計）は24.3%となっている。「行われていない」（「どちらかといえば不十分だと思う」と「ほとんど行われていないと思う」の計）は19.5%となっている。

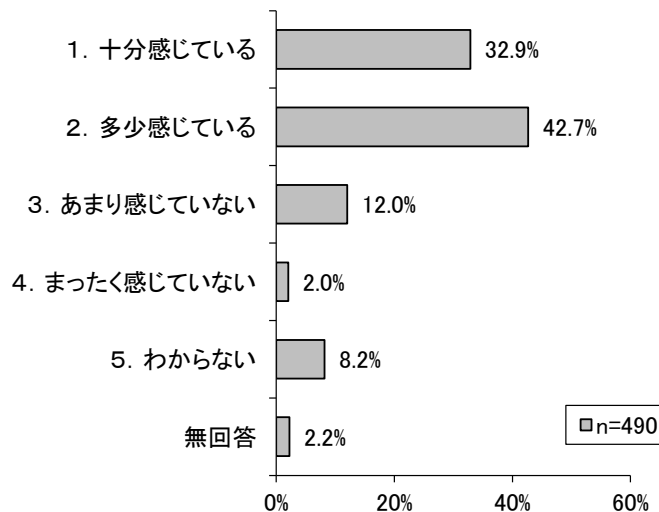


4. 社会生活・生きがいについて

問8 あなたは、現在、どの程度「生きがい」を感じていますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

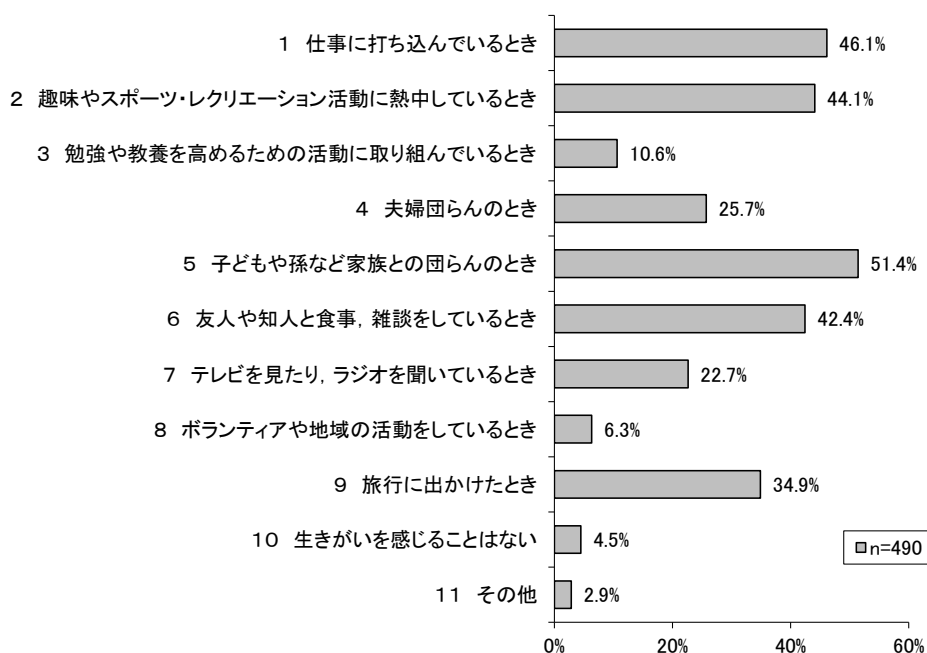
全体では、「感じている」（「十分感じている」と「多少感じている」の計）は75.6%となっている。
一方、「感じていない」（「あまり感じていない」と「まったく感じていない」の計）は14.0%となっている。



問9 あなたが生きがいを感じるのはどんなときですか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「子どもや孫など家族との団らんのとき」が51.4%で最も高く、次いで「仕事に打ち込んでいるとき」(46.1%)、「趣味やスポーツ・レクリエーション活動に熱中しているとき」(44.1%)、「友人や知人と食事・雑談をしているとき」(42.4%)などが続いている。



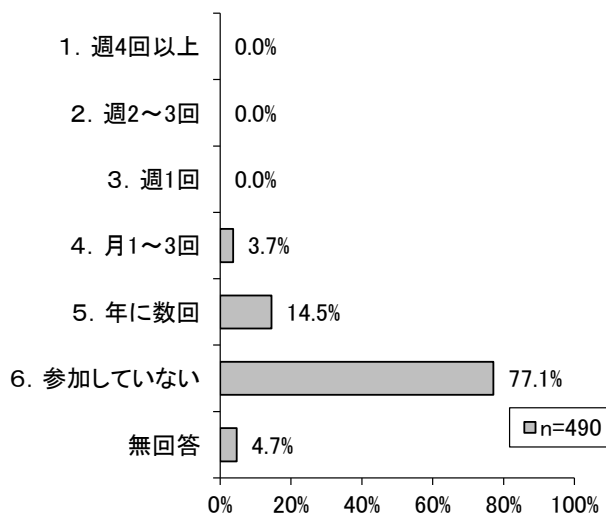
問10 あなたは、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

① ボランティアのグループ

全体では、「参加していない」が77.1%で最も高くなっている。

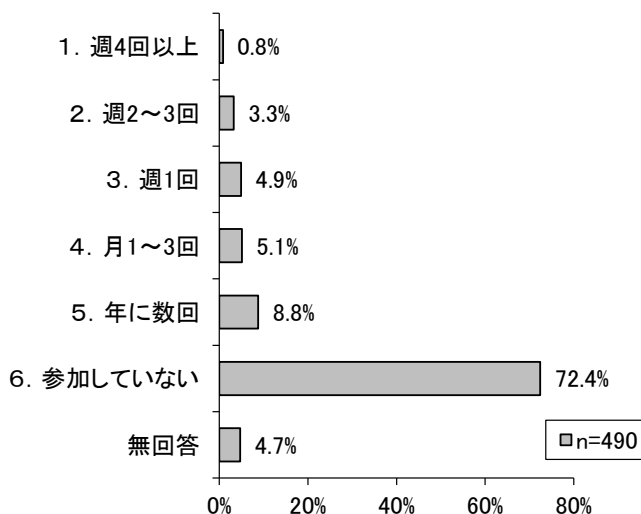
『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの計）は18.2%となっている。



② スポーツ関係のグループやクラブ

全体では、「参加していない」が72.4%で最も高くなっている。

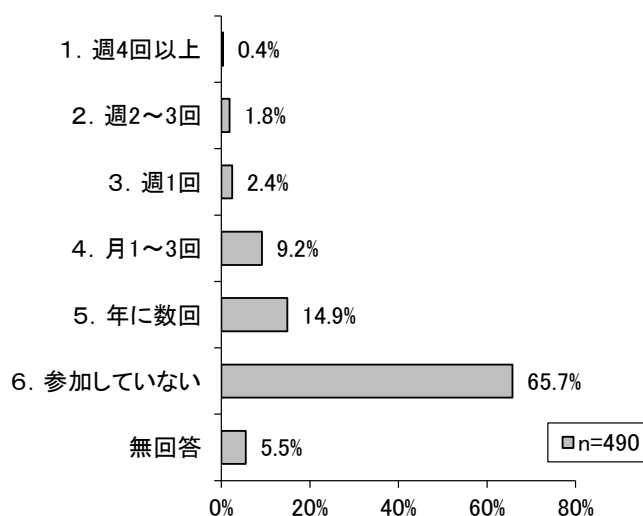
『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの計）は22.4%となっている。



③ 趣味関係のグループ

全体では、「参加していない」が65.7%で最も高くなっている。

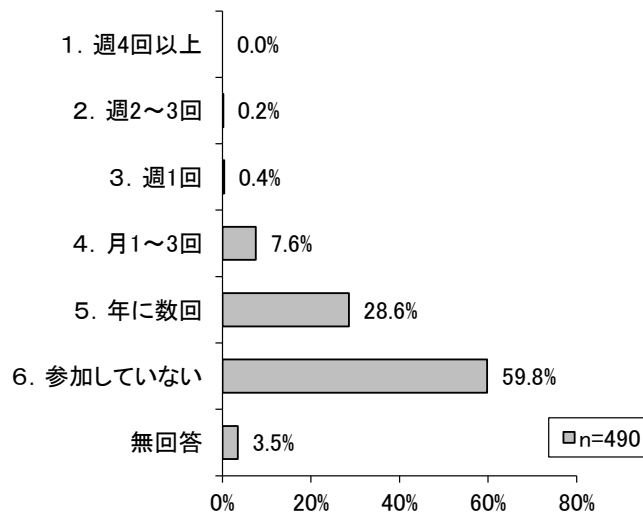
『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの計）は28.7%となっている。



④ 町内会・自治会

全体では、「参加していない」が59.8%で最も高くなっている。

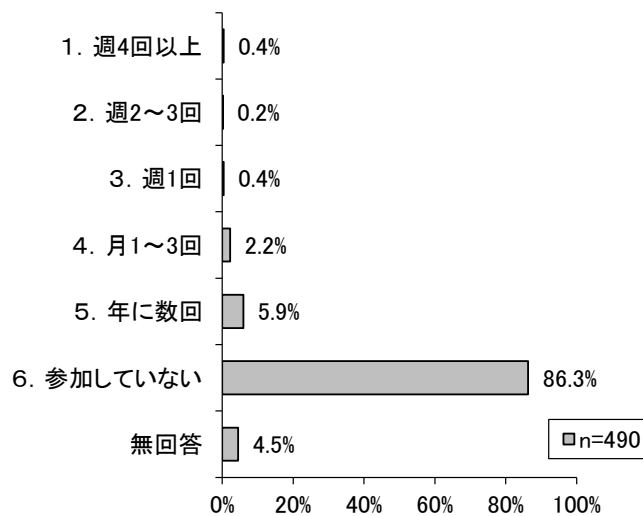
『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの計）は41.8%となっている。



⑤学習・教養サークル

全体では、「参加していない」が86.3%で最も高くなっている。

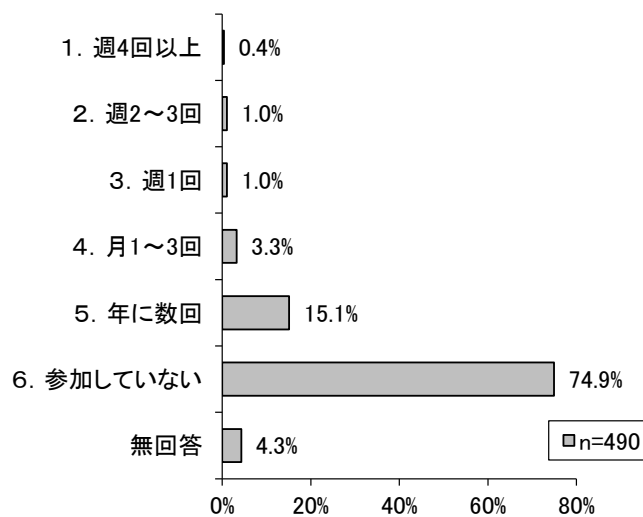
『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの計）は9.1%となっている。



⑥その他の団体や会

全体では、「参加していない」が74.9%で最も高くなっている。

『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの計）は21.8%となっている。



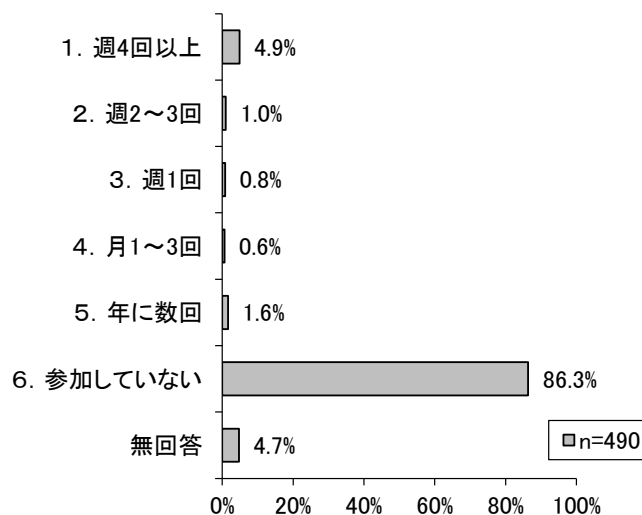
問11 あなたは、以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

(1)見守りが必要な高齢者を支援する活動

全体では、「参加していない」が86.3%で最も高くなっている。

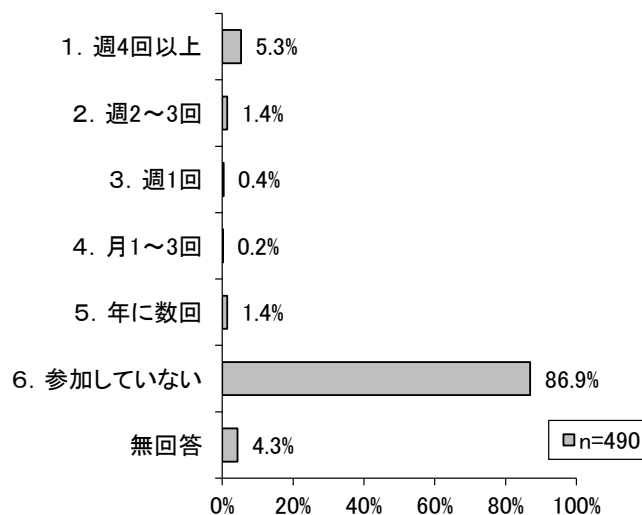
『参加している』(「週4回以上」から「年に数回」までの計)は8.7%となっている。



(2)介護が必要な高齢者を支援する活動

全体では、「参加していない」が86.9%で最も高くなっている。

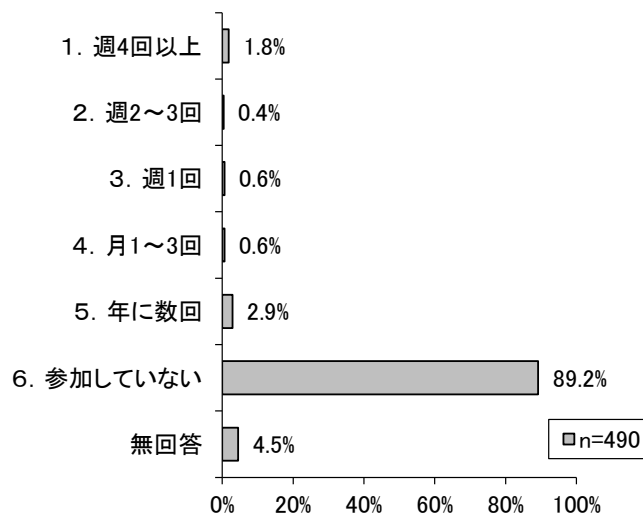
『参加している』(「週4回以上」から「年に数回」までの計)は8.7%となっている。



(3)子どもを育てている親を支援する活動

全体では、「参加していない」が89.2%で最も高くなっている。

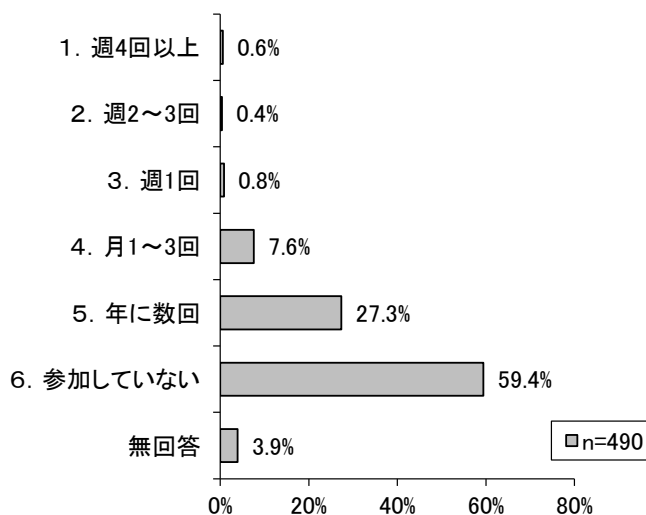
『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの計）は7.3%となっている。



(4)地域の生活環境の改善(美化)活動

全体では、「参加していない」が59.4%で最も高くなっている。

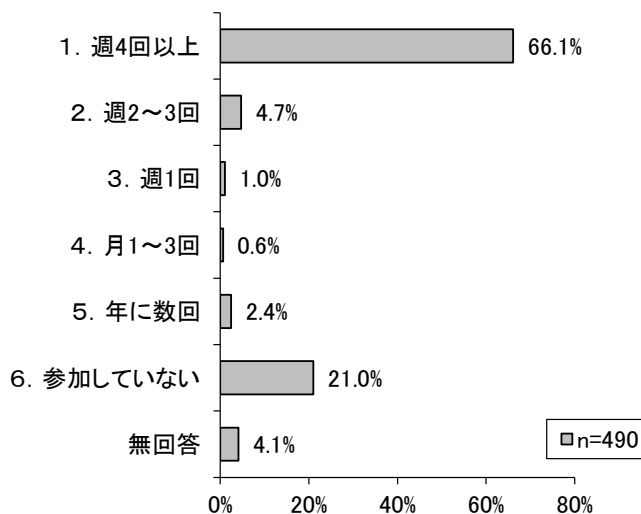
『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの計）は38.7%となっている。



(5)収入ある仕事

全体では、「参加していない」が21.0%で最も高くなっている。

『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの計）は75.6%となっている。



問12 あなたのまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

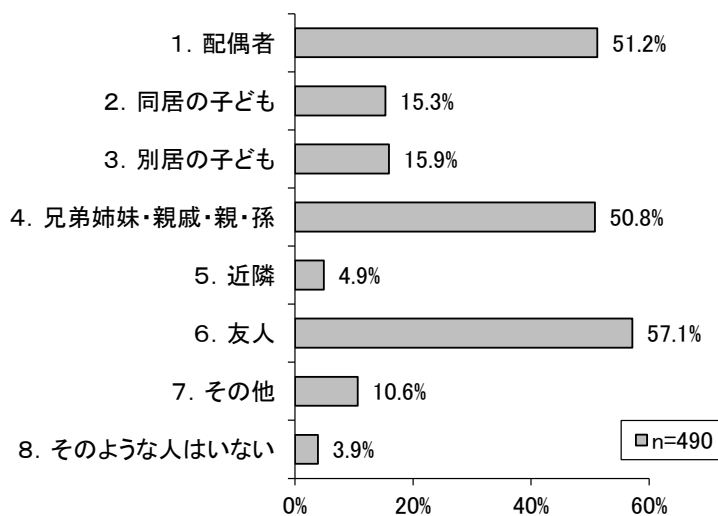
以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。

あてはまるすべてに○をしてください。

あてはまる人がいない場合は、「8 そのような人はいない」に○をつけてください。

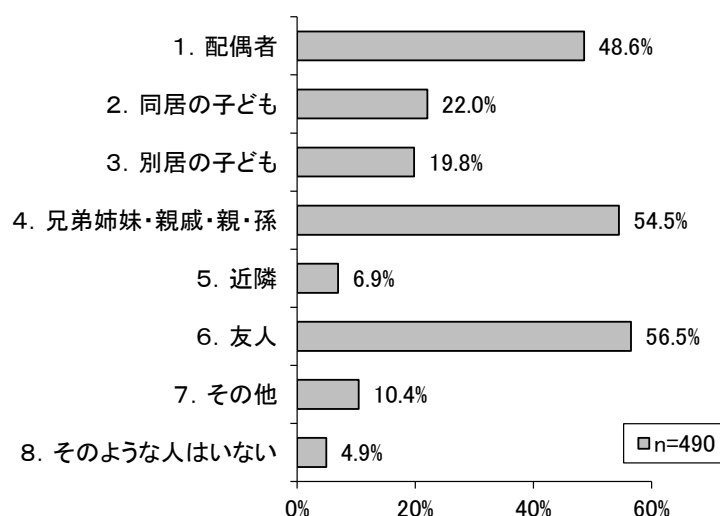
(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

全体では、「友人」が57.1%で最も高く、次いで「配偶者」(51.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(50.8%)などが続いている。



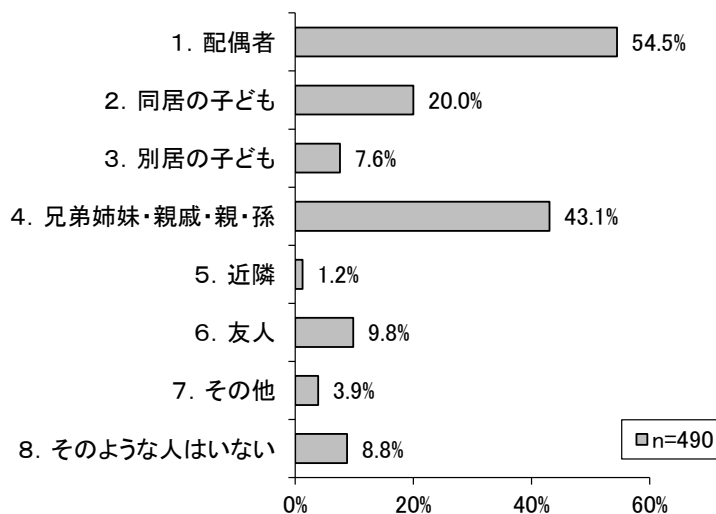
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

全体では、「友人」が56.5%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(54.5%)、「配偶者」(48.6%)などが続いている。



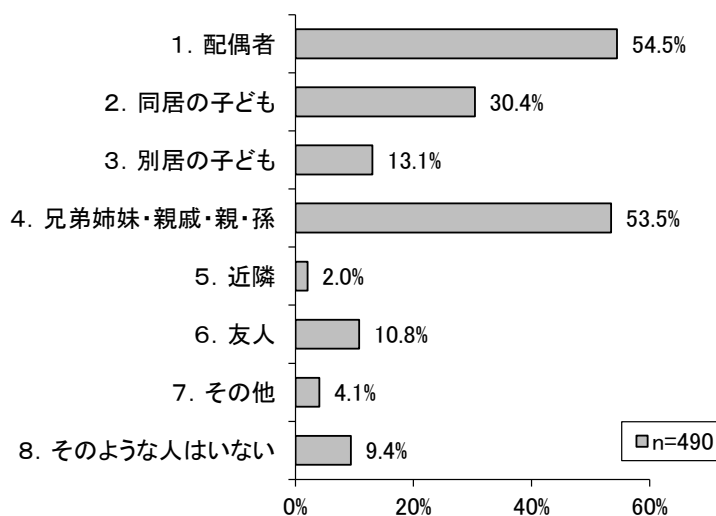
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

全体では、「配偶者」が54.5%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(43.1%)、「同居の子ども」(20.0%)などが続いている。



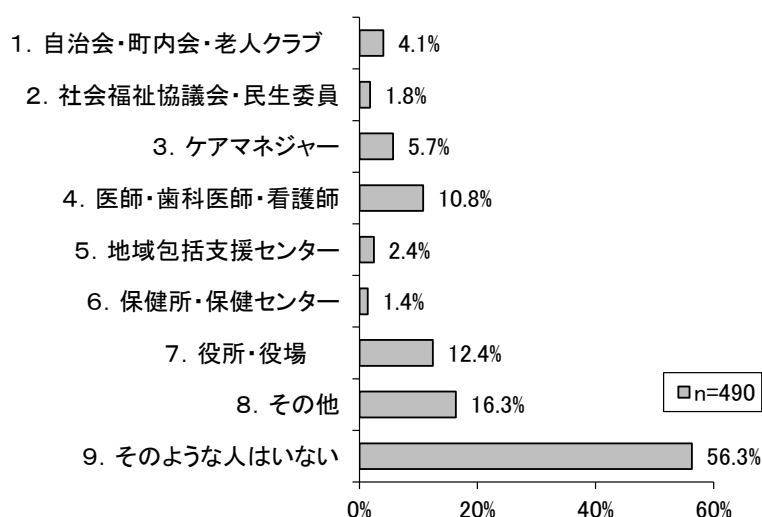
(4) 反対に、看病や世話をしあげる人(いくつでも)

全体では、「配偶者」が54.5%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(53.5%)、「同居の子ども」(30.4%)などが続いている。



問13 あなたは、家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手がありますか。いる場合には、相手は誰ですか。 あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

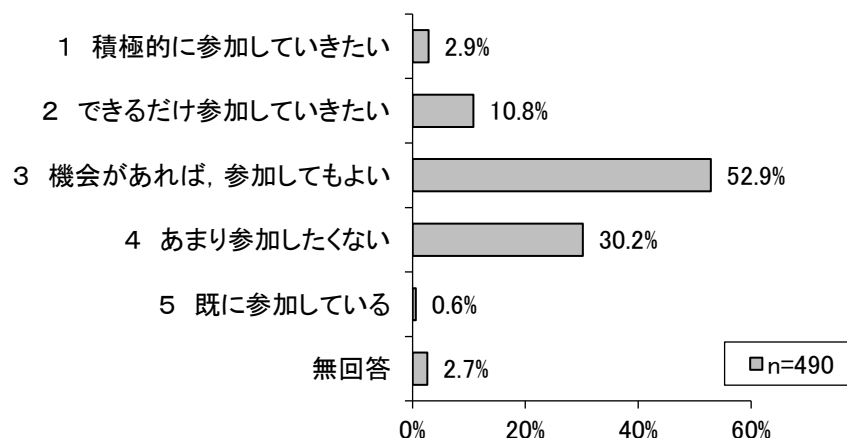
全体では、「そのような人はいない」が56.3%で最も高く、次いで「その他」(16.3%)、「役所・役場」(12.4%)などが続いている。



問14 あなたは、今後、ひとり暮らしで見守りが必要な高齢者や、介護が必要な高齢者を支援するための地域活動やボランティア活動などに参加していきたいと思いますか。

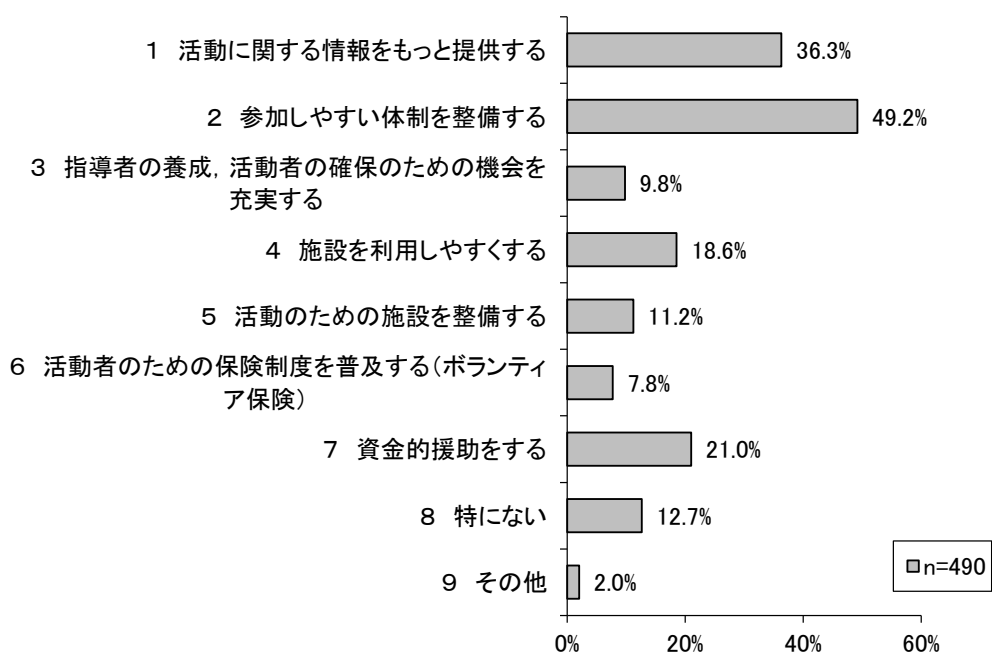
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「参加意向がある」（「積極的に参加していきたい」「できるだけ参加していきたい」「既に参加している」の計）は14.3%となっている。一方で、「参加したくない」は30.2%となっている。



問15 地域のためのボランティア活動などに参加する上で、県や市町村はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。あてはまる番号に2つまで○を付けてください。

全体では、「参加しやすい体制を整備する」が49.2%で最も高く、次いで「活動に関する情報をもっと提供する」(36.3%)、「資金的援助をする」(21.0%)などが続いている。

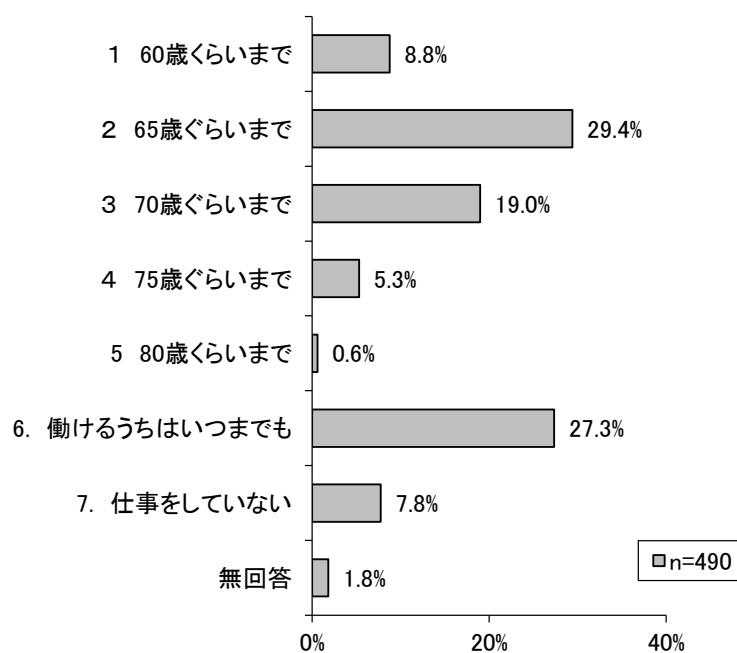


5. 就労について

問16 あなたは、現在、収入を得られる仕事をしていますか。

仕事をしている場合には、一般論として、何歳ぐらいまで収入のある仕事をするのがよいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

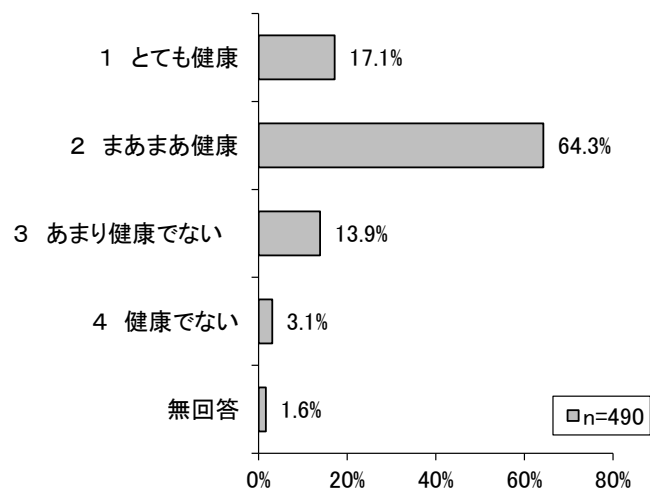
全体では、「65歳ぐらいまで」が29.4%で最も高く、次いで「働けるうちはいつまでも」(27.3%)、「70歳ぐらいまで」(19.0%)が続いている。



6. 健康について

問17 あなたは、普段、ご自分で健康だと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

全体では、「健康」（「とても健康」と「まあまあ健康」の計）は81.4%となっている。一方で、「健康でない」（「あまり健康でない」と「健康でない」の計）は17.0%となっている。



7. 介護保険について

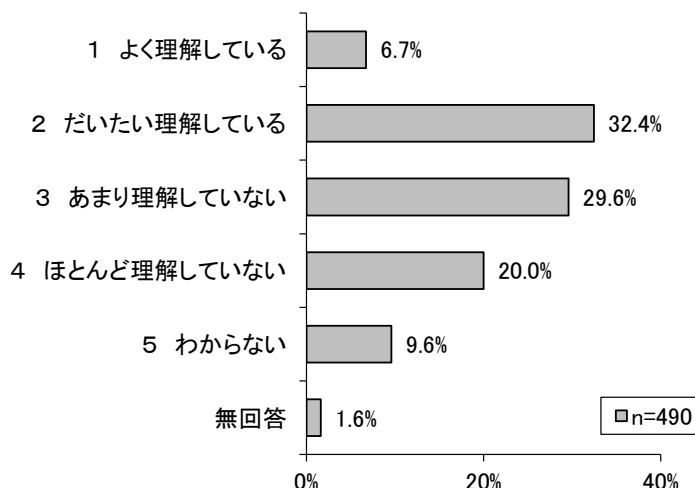
問18 介護保険料の基準額は、3年に1度見直します。

お住まいの市町村全体でどの程度サービスが必要かによって決まります。

(介護サービスを利用する人の割合が増えたり、1人当たりの利用額が増えると、額は高くなります。) その上で、所得に応じて個々人の保険料額が決まります。

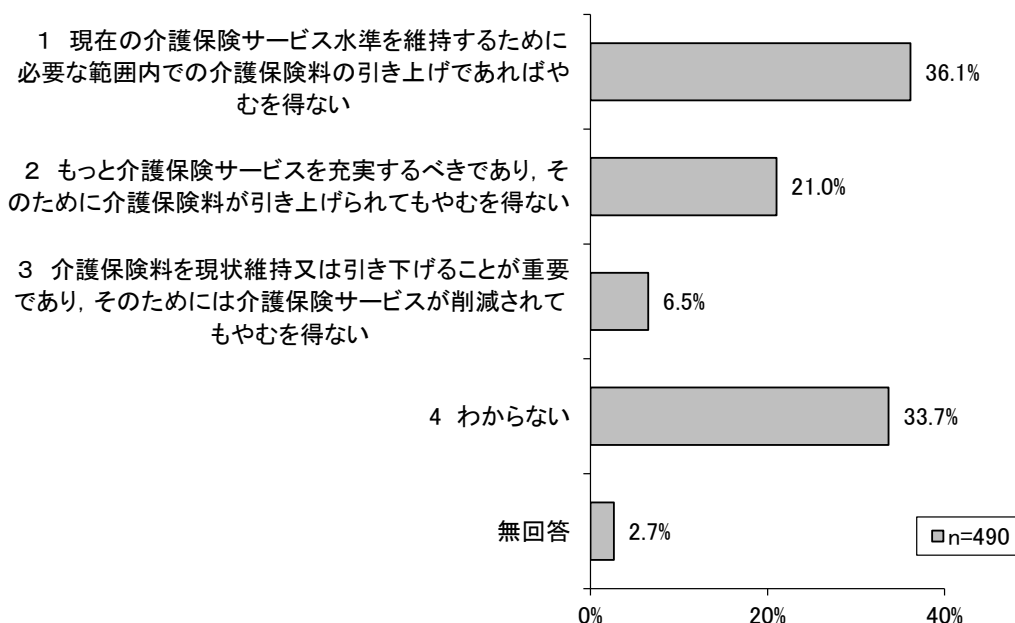
以上のことについてご存じでしたか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「理解している」(「よく理解している」と「だいたい理解している」の計)は39.1%となっている。一方で、「理解していない」(「あまり理解していない」と「ほとんど理解していない」の計)は49.6%となっている。



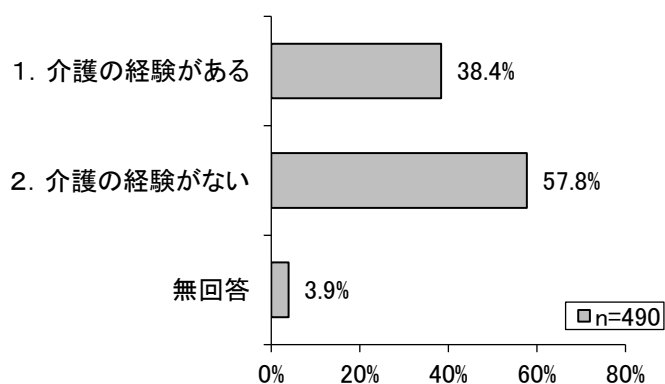
問19 今後も高齢化が進み、介護保険サービスのニーズはますます増えていくことが予想されますが、介護保険料とサービスの水準との関係について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「現在の介護保険サービス水準を維持するために必要な範囲内での介護保険料の引き上げであればやむを得ない」が36.1%で最も高く、次いで「わからない」(33.7%)、「もっと介護保険サービスを充実するべきであり、そのために介護保険料が引き上げられてもやむを得ない」(21.0%)が続いている。



問20 あなたは、これまでに、両親や配偶者などの家族(同居, 別居を問いません)の介護の経験がありますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「経験がない」が57.8%と過半数を占めており、「経験がある」は38.4%となっている。

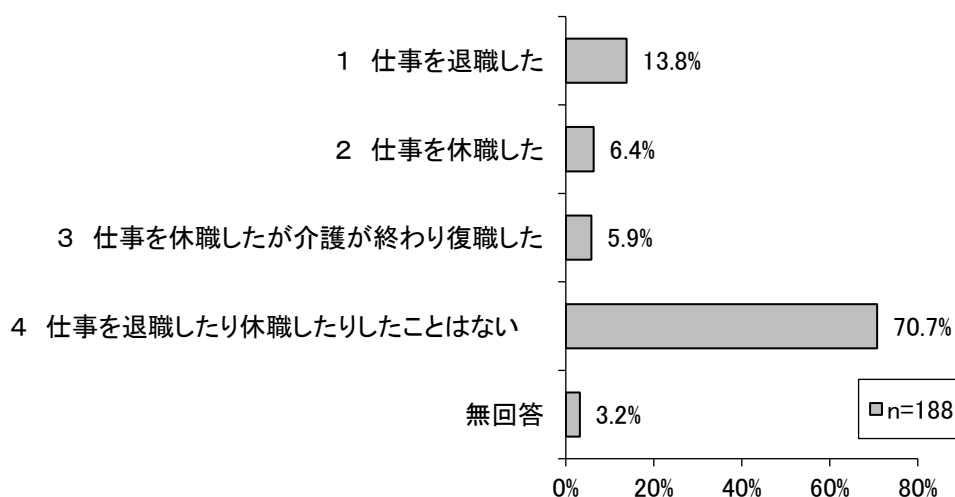


問21 問20で「1」に○を付けた方にお尋ねします。

あなたは、これまでに、両親や配偶者などの家族(同居, 別居を問いません)の介護を理由に、仕事を退職したり、休職したことがありますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

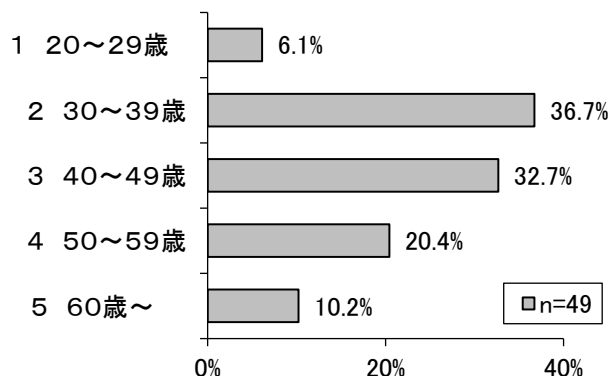
介護の経験がある(188人)では、「仕事を退職したり休職したりしたことはない」が70.7%と最も高く、次いで「仕事を退職した」(13.8%)、「仕事を休職した」(6.4%)が続いている。



問22 問21で「1～3」に○を付けた方にお尋ねします。

退職又は休職した年齢はいくつですか。 あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

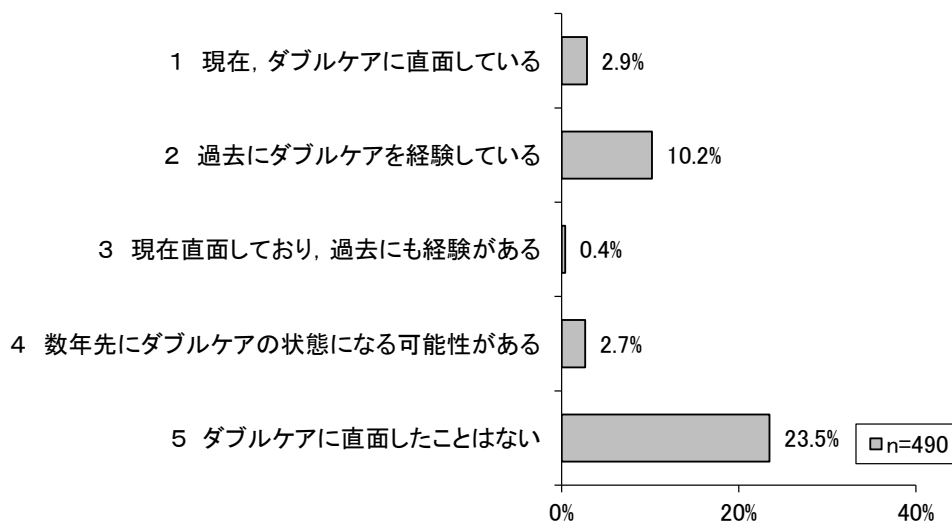
仕事を休職した(49人)では、「30～39歳」が36.7%で最も高く、次いで「40～49歳」(32.7%)、「50～59歳」(20.4%)が続いている。



問23 子育てと親の介護が同時進行となる状態を表す言葉として『ダブルケア』という言葉がありますが、ダブルケアに直面したことがありますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

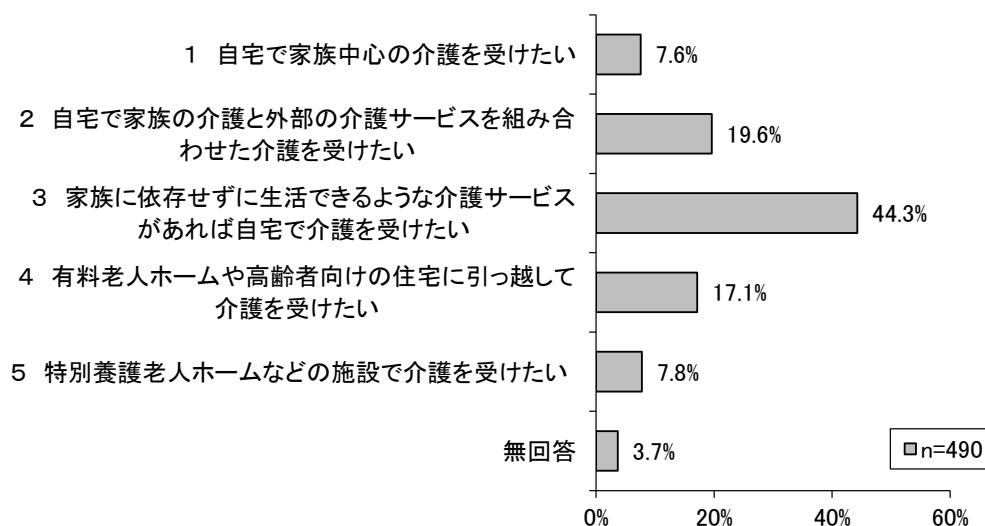
全体では、「ダブルケアに直面したことはない」が23.5%で最も高く、次いで「過去にダブルケアを経験している」(10.2%)、「現在、ダブルケアに直面している」(2.9%)が続いている。



問24 将来(高齢期), あなたが介護を受けることになった場合, どのような介護を受けたいですか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

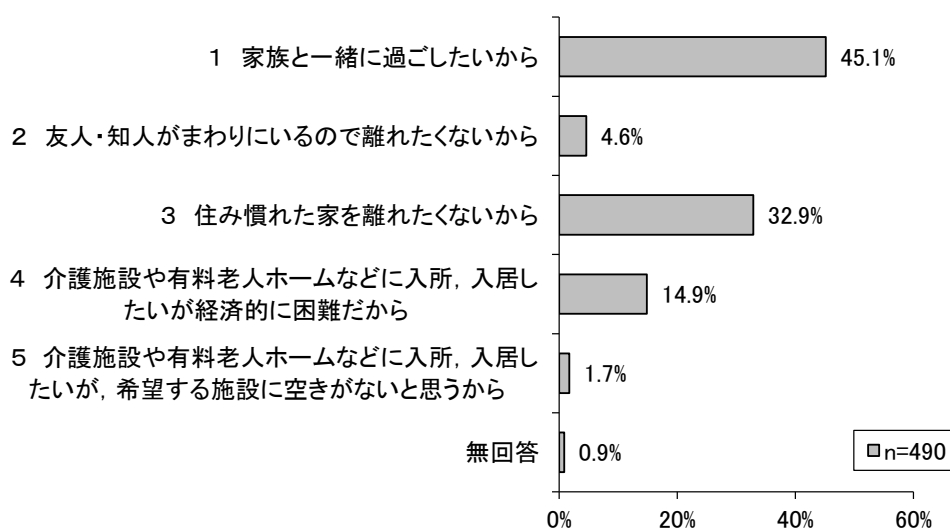
全体では、「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」が44.3%で最も高く、次いで「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせた介護を受けたい」(19.6%)、「有料老人ホームや高齢者向け住宅に引っ越して介護を受けたい」(17.1%)が続いている。



問25 問24で「1～3のいずれかに○を付けた方」にお尋ねします。

「在宅で介護を受けたい」と思う理由について, あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

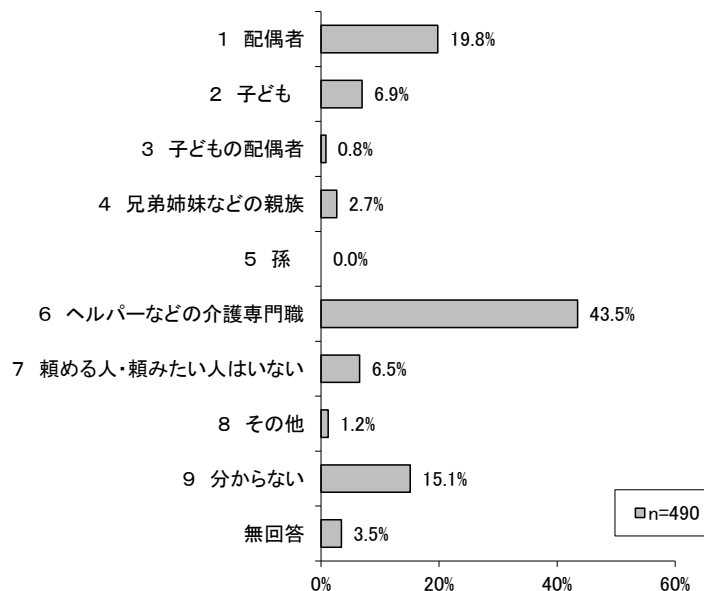
自宅で介護を受けたい(350人)では、「家族と一緒に過ごしたいから」が45.1%で最も高く、次いで「住み慣れた家を離れたくないから」(32.9%)、「介護施設や有料老人ホームに入所・入居したいが経済的に困難だから」(14.9%)が続いている。



問26 今後、あなたが、仮に自宅で介護を受けることになった場合、誰に介護を頼みたいですか。

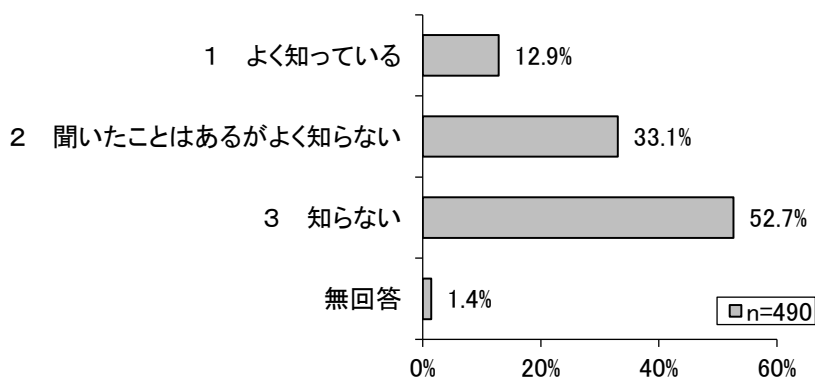
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「ヘルパーなどの介護専門職」が43.5%で最も高く、次いで「配偶者」(19.8%)、「分からない」(15.1%)が続いている。



問27 あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング<ACP>)について、どのくらい知っていますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

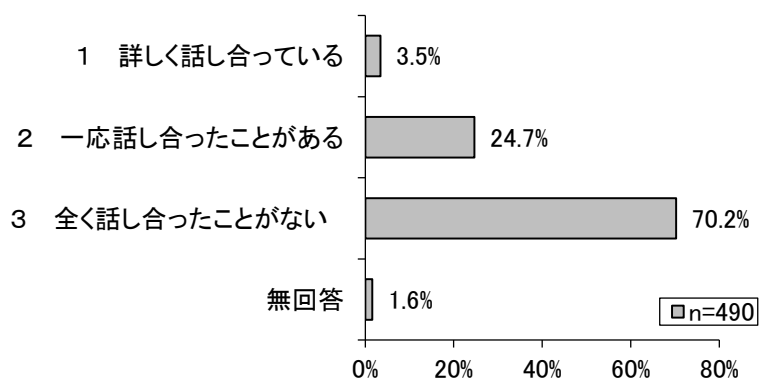
全体では、「知らない」が52.7%と最も高く、「知っている」(「よく知っている」と「聞いたことはあるがよく知らない」の計)は46.0%となっている。



問28 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

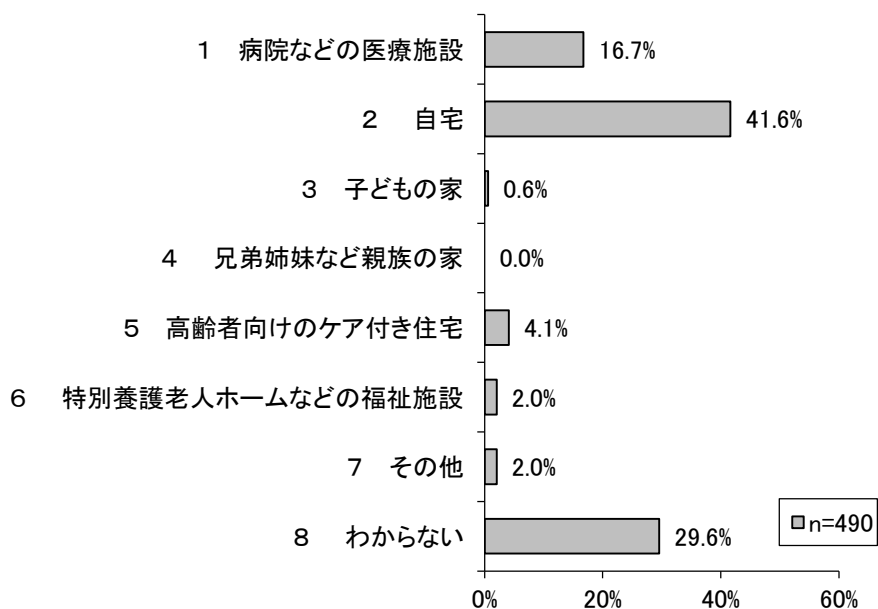
全体では、「全く話し合ったことがない」が70.2%と最も高く、次いで「一応話し合ったことがある」(24.7%)、「詳しく話し合っている」(3.5%)となっている。



問29 あなたが最期を迎えたいと思う場所はどこですか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

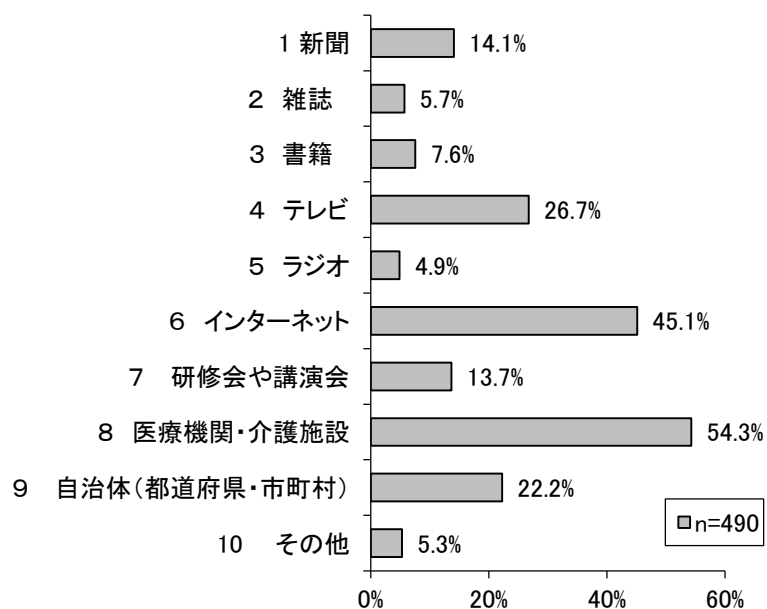
全体では、「自宅」が41.6%で最も高く、次いで「わからない」(29.6%)、「病院などの医療施設」(16.7%)が続いている。



問30 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

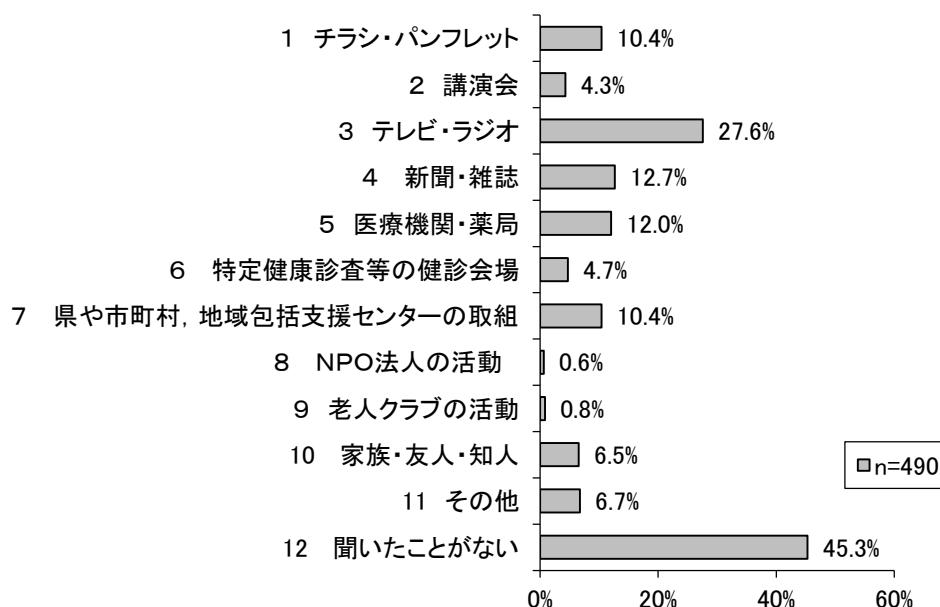
全体では、「医療機関・介護施設」が54.3%で最も高く、次いで「インターネット」(45.1%)、「テレビ」(26.7%)が続いている。こうした中で、「自治体」は22.2%となっている。



8. 介護予防への取組について

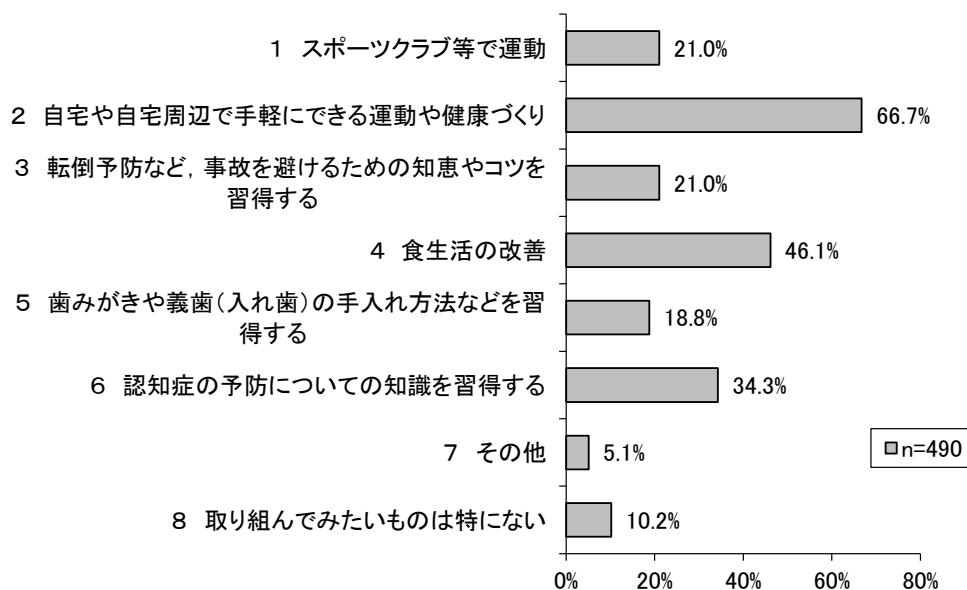
問31 あなたは、「介護予防」という言葉を聞いたことがありますか。聞いたことがある場合に、どのような機会・場所で知りましたか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「聞いたことがない」が45.3%で最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」(27.6%)、「新聞・雑誌」(12.7%)、「チラシ・パンフレット」(10.4%)が続いている。



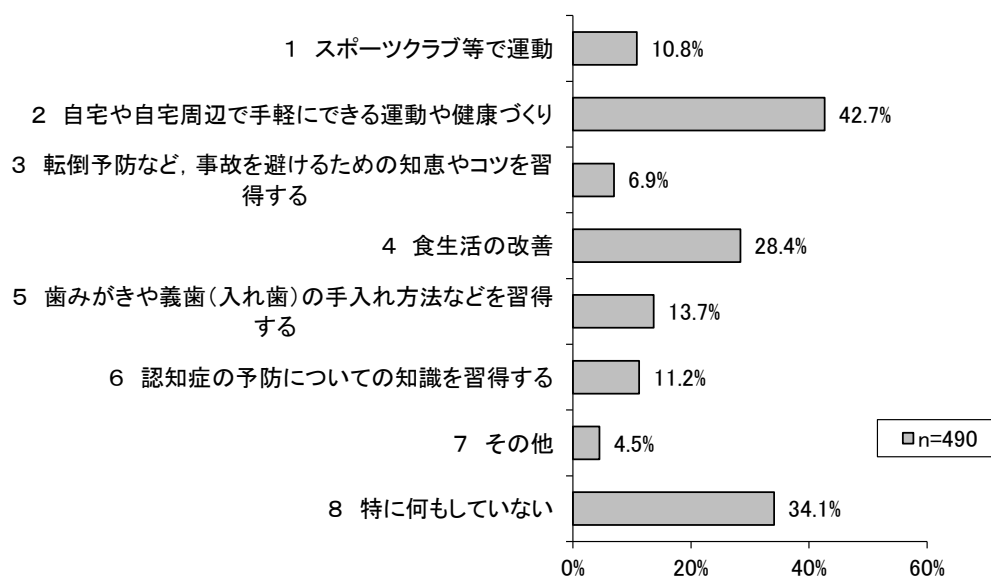
問32 あなたは、将来(高齢期)、要介護状態にならないための運動や健康づくりについて、どのようなことに取り組んでみたいですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「自宅や自宅周辺で手軽にできる運動や健康づくり」が66.7%で最も高く、次いで「食生活の改善」(46.1%)、「認知症の予防についての知識を習得する」(34.3%)が続いている。



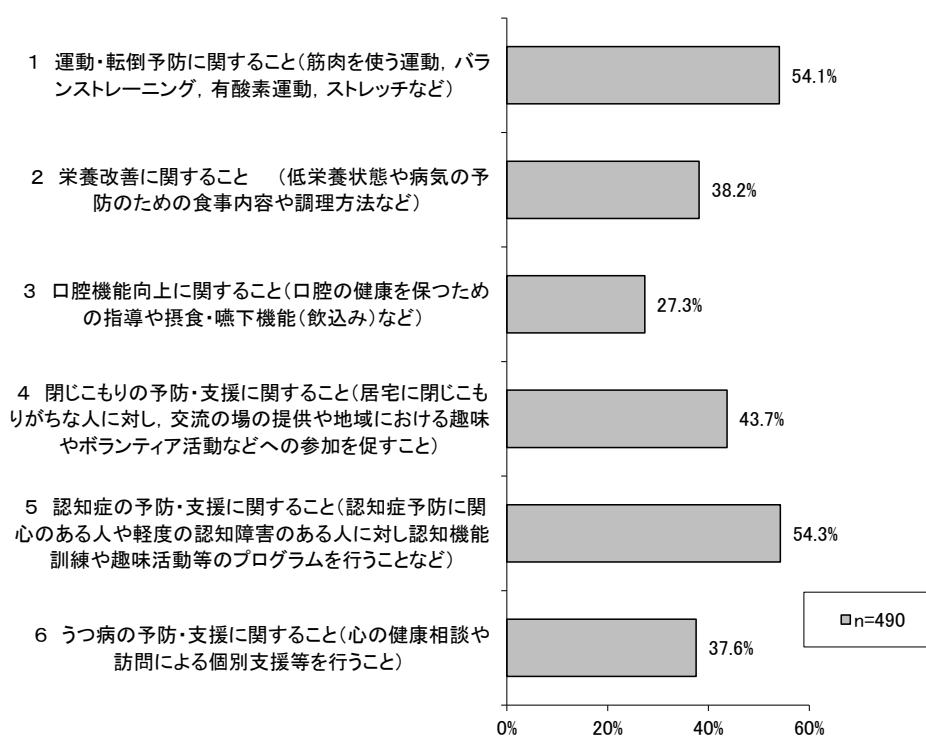
問33 あなたは、将来(高齢期)、要介護状態にならないための運動や健康づくりに実際に取り組んでいますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「自宅や自宅周辺で手軽にできる運動や健康づくり」が42.7%で最も高く、次いで「特に何もしていない」(34.1%)、「食生活の改善」(28.4%)が続いている。



問34 介護予防のための取組について、今後、県や市町村において特にどのような取組に力を入れてほしいですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

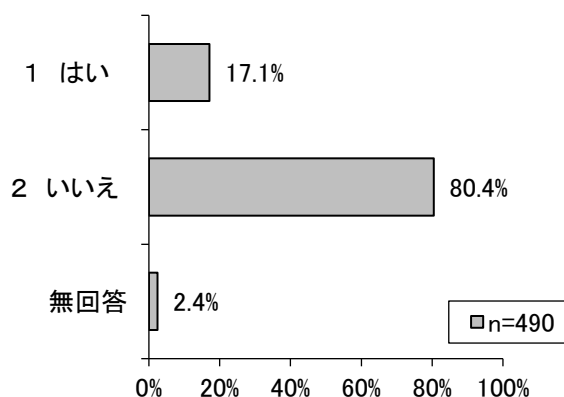
全体では、「認知症の予防・支援に関すること」が54.3%で最も高く、「運動・転倒予防に関すること」(54.1%)がこれにほぼ並んでいる。次いで、「閉じこもりの予防・支援に関すること」(43.7%)、「栄養改善に関すること」(38.2%)などが続いている。



9. 認知症について

問35 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

全体では、「いいえ」が80.4%と大多数を占めており、「はい」は17.1%となっている。

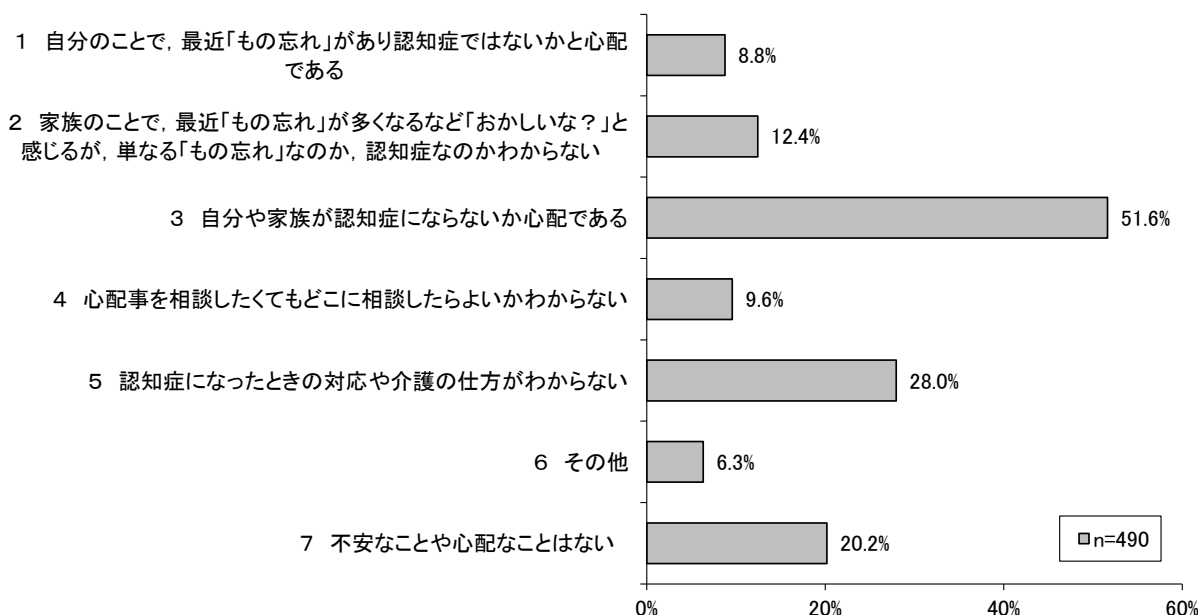


問36 あなたは、「認知症」について、不安なことや心配なことがありますか。

不安なことや心配なことがある場合には、認知症についての不安や心配は

どのようなことですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「自分や家族が認知症にならないか心配である」が51.6%と最も高く、次いで「認知症になったときの対応や介護の仕方がわからない」(28.0%)、「不安なことや心配なことはない」(20.2%)が続いている。

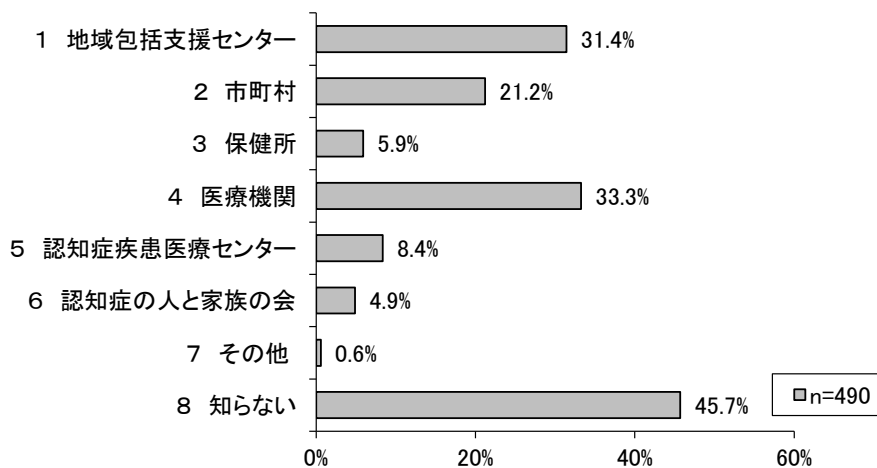


問37 あなたは、認知症の相談窓口を知っていますか。

知っている場合に、どこを相談窓口を知っていますか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

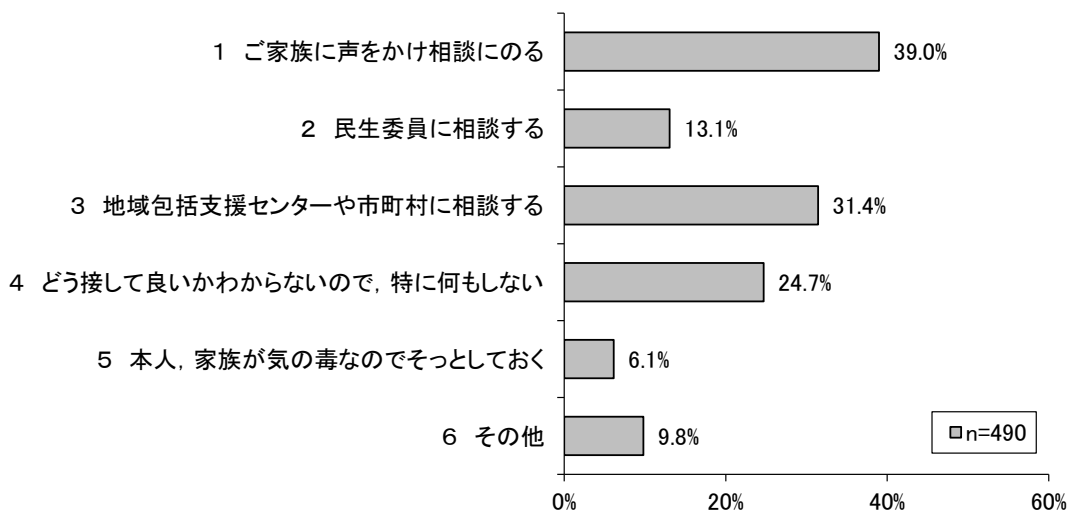
全体では、「知らない」が45.7%で最も高く、次いで「医療機関」(33.3%)、「地域包括支援センター」(31.4%)、「市町村」(21.2%)が続いている。



問38 あなたは、もし認知症と思われる方が近くにいたら、どのように接したいと思いますか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「ご家族に声をかけ相談にのる」が39.0%で最も高く、次いで「地域包括支援センターや市町村に相談する」(31.4%)、「どう接して良いかわからないので特に何もしない」(24.7%)が続いている。

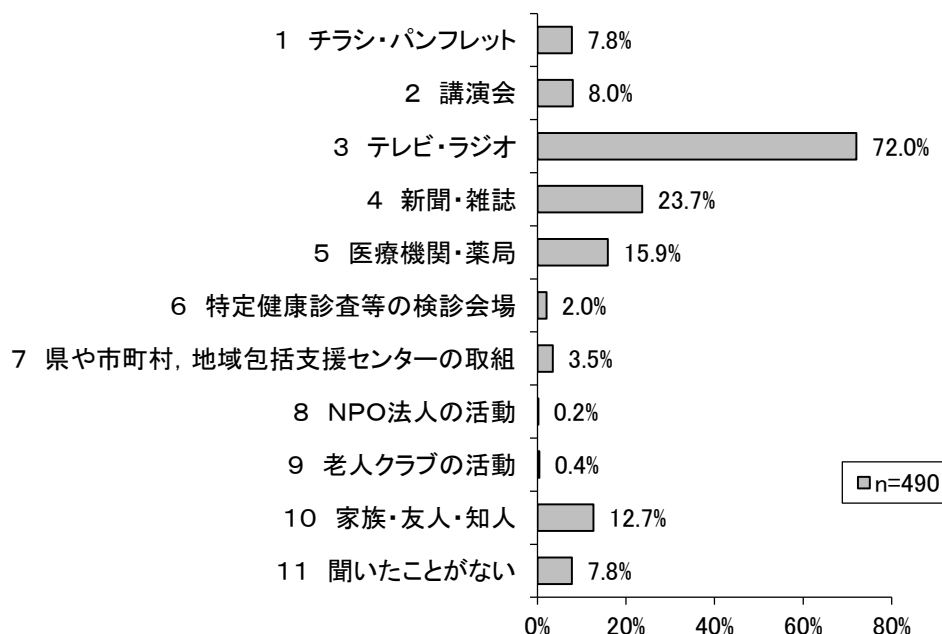


問39 あなたは、「若年性認知症」という言葉を聞いたことがありますか。

聞いたことがある場合に、どのような機会・場所で知りましたか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

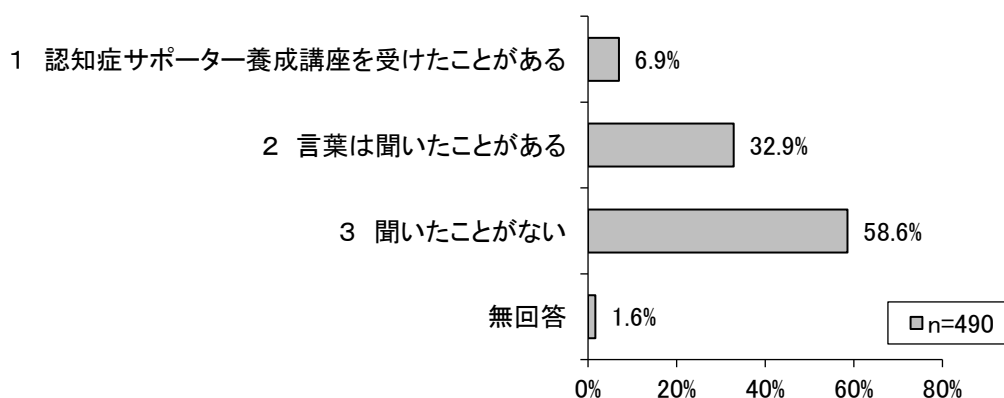
全体では、「テレビ・ラジオ」が72.0%で最も高く、次いで「新聞・雑誌」(23.7%)、「医療機関・薬局」(15.9%)が続いている。



問40 あなたは、認知症サポーターについて知っていますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「聞いたことがない」が58.6%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」(32.9%)、「認知症サポーター養成講座を受けたことがある」(6.9%)となっている。

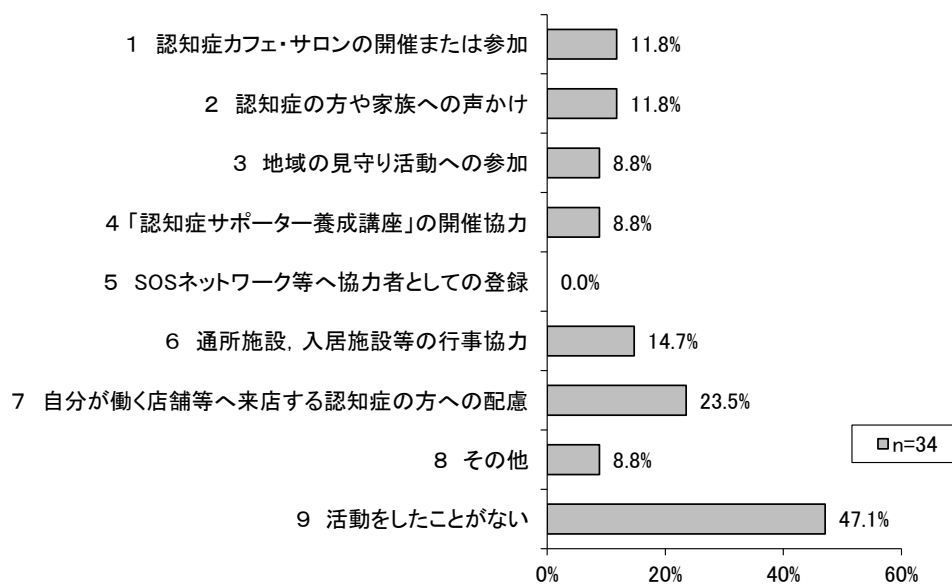


問41 問40で「1に○を付けた方」にお尋ねします。

認知症サポーター養成講座を受講後に、どのような活動を行いましたか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

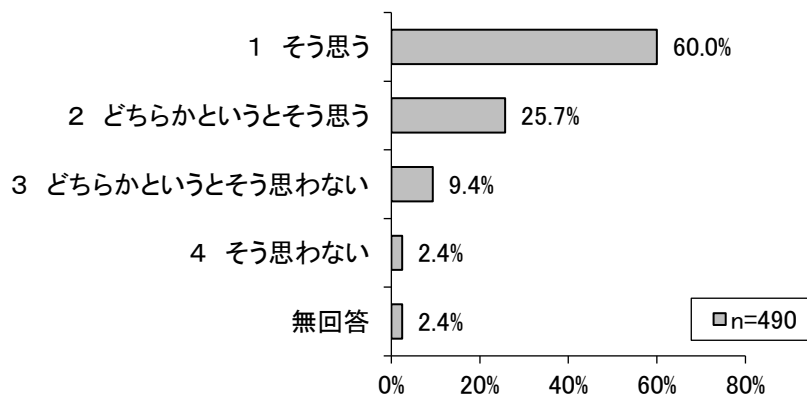
全体では、養成講座を受けたことがある(34人)では、「活動をしたことがない」が47.1%と最も高く、次いで「自分が働く店舗等へ来店する認知症の方への配慮」(23.5%)、「通所施設・入居施設等の行事協力」(14.7%)が続いている。



問42 下の文章について、あなたの考えに近い選択肢をそれぞれ1つだけ○をつけてください。

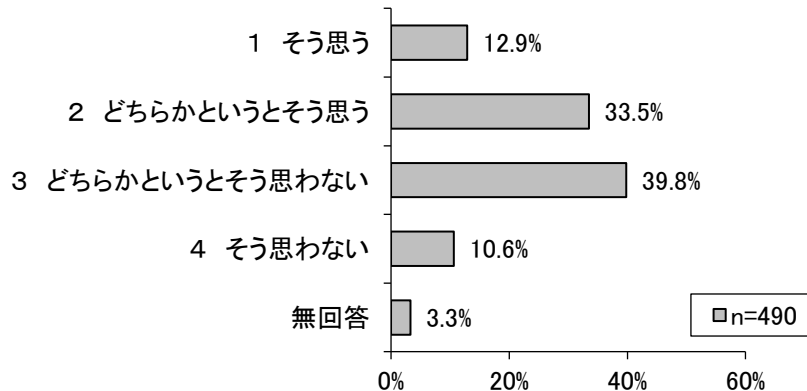
「誰もが認知症になりうる」

全体では、「そう思う」の割合(60.0%)が最も高く、他を大きく上回っている。



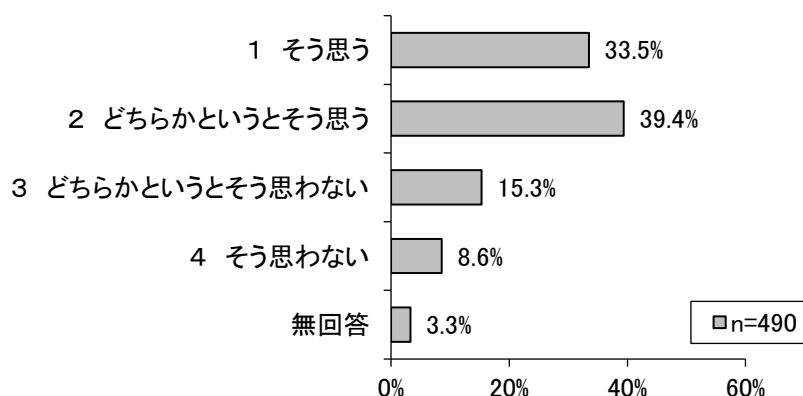
「認知症になってからも意思が尊重され、望む生活が継続できる(できている)」

全体では、「どちらかというと思わない」の割合(39.8%)が最も高く、次が「どちらかというと思う」(33.5%)となっている。



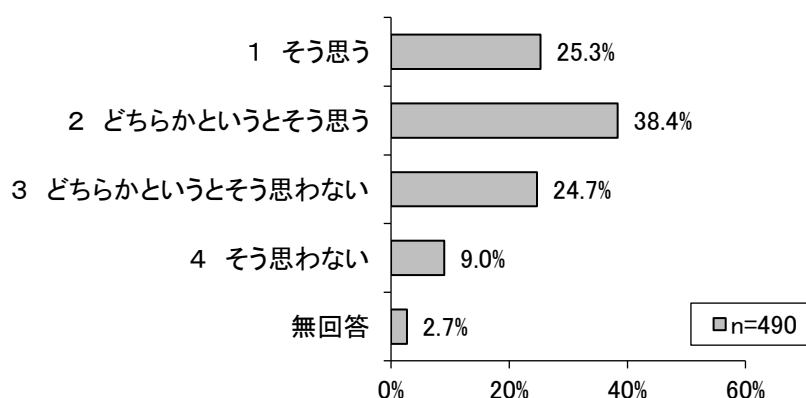
「認知症になってからもできることややりたいことがある」

全体では、「どちらかというと思う」の割合(39.4%)が最も高く、次が「そう思う」(33.5%)となっている。



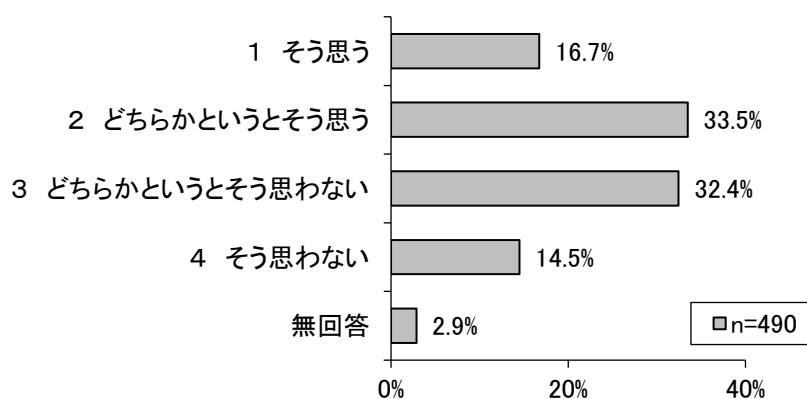
「認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けることができる」

全体では、「どちらかというと思う」の割合(38.4%)が最も高く、他を上回っている。



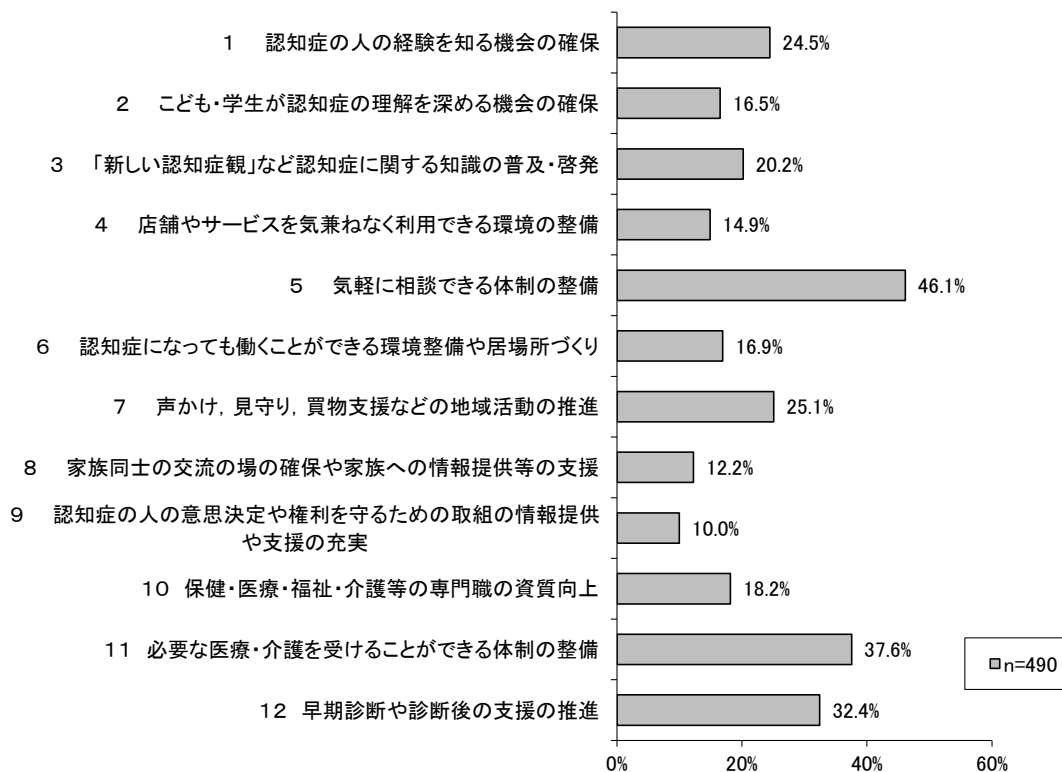
「認知症になってからも希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」

全体では、「どちらかというと思う」の割合(33.5%)と「どちらかというと思わない」(32.4%)がほぼ同程度となっている。



問43 認知症に関する取組について、今後強化してほしいと思うものを3つ選んでください。

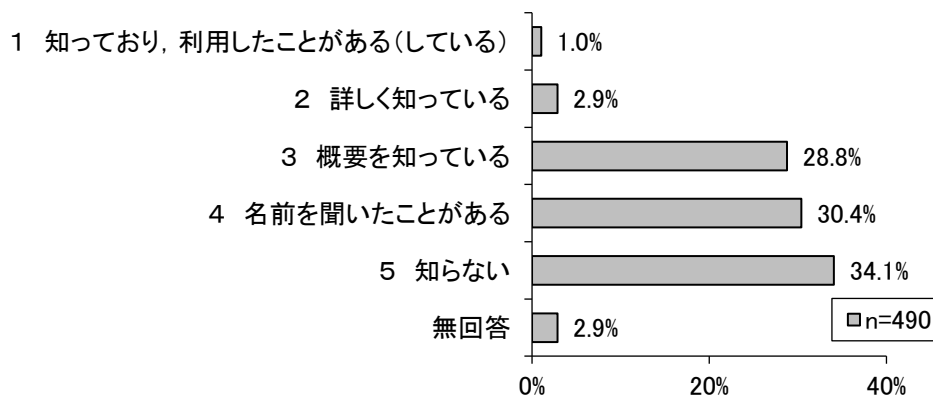
全体では、「気軽に相談できる体制の整備」が46.1%で最も高く、次いで「必要な医療・介護を受けることができる体制の整備」(37.6%)、「早期診断や診断後の支援の推進」(32.4%)などが続いている。



10. 権利擁護について

問44 成年後見制度についてご存じですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

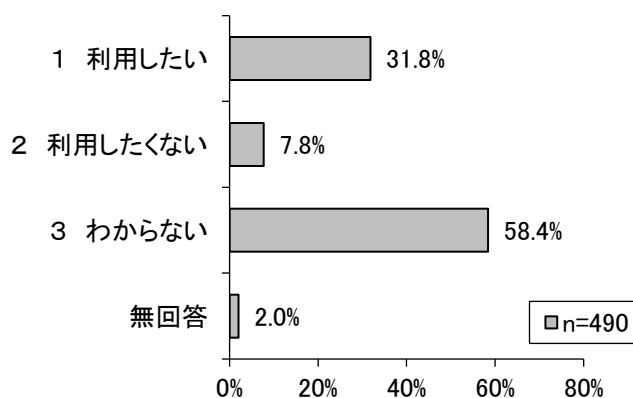
全体では、「知らない」が34.1%で最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」(30.4%)、「概要を知っている」(28.8%)が続いている。



問45 将来, あなたの判断能力に不安が生じた時, 成年後見制度を利用したいと思いますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「わからない」が58.4%で最も高く、次いで「利用したい」(31.8%)、「利用したくない」(7.8%)となっている。

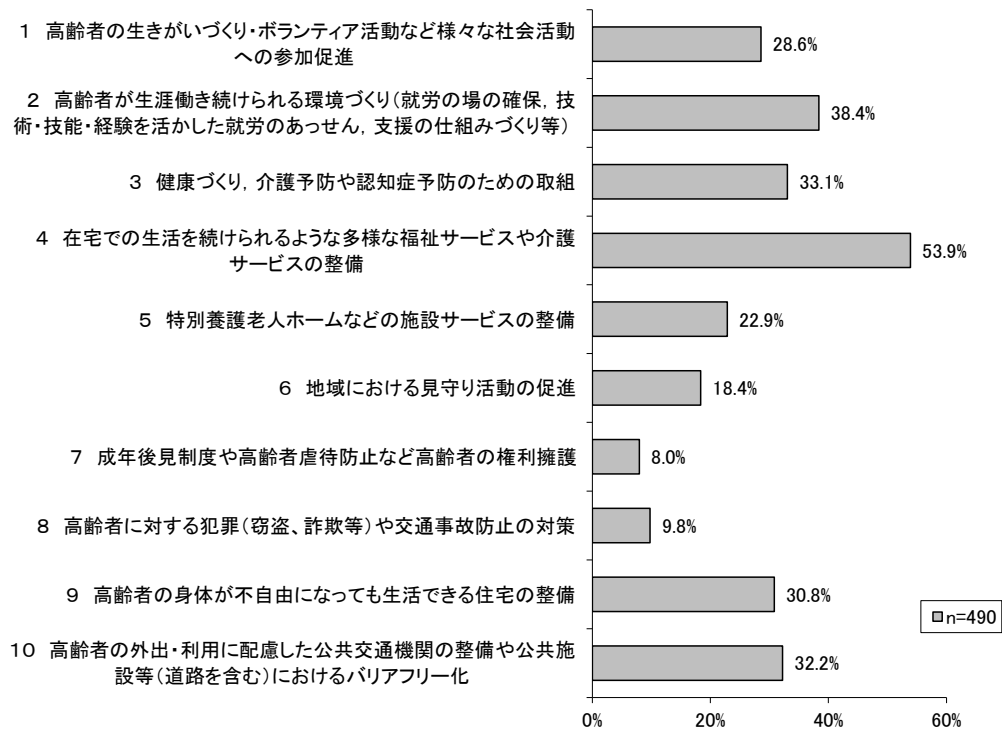


11. 高齢者社会について

問46 高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域づくりに向けて、県や市町村は、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

あなたの考えにもっとも近いものに3つまで○を付けてください。

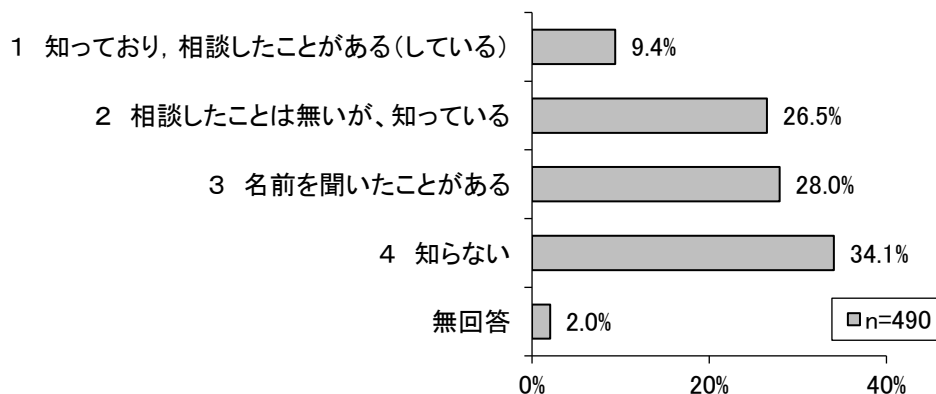
全体では、「在宅での生活を続けられるような多様な福祉サービスや介護サービスの整備」が53.9%で最も高く、次いで「高齢者が生涯働き続けられる環境づくり」(38.4%)、「健康づくり・介護予防・認知症予防の取組」(33.1%)が続いている。



問47 あなたは、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター(名瀬・住用・笠利の3か所)」または「在宅介護支援センター(名瀬6か所・住用1か所)」についてご存じですか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、「知らない」が34.1%で最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」(28.0%)、「相談したことは無いが、知っている」(26.5%)が続いている。



<自由意見>

1. 安心して生活できる環境づくりに関する意見

- ・まーじんまの方々の活動はすばらしいと思います。行政のサポートも現状の中では手厚いと感じています。一方で住民の理解、協力の部分は少し不足していると思います。地域が協力しながら、住民が生きがいを持ち楽しく過ごせる地域づくりが急務だと考えます。(50歳代)
- ・安心して生活出来るような取り組みをお願いします。(40歳代)
- ・一般高齢者にもやさしい市にしてください。最近の子供支援・生活保護に片寄りすぎではありませんか？(日本全体ですが)(60歳代)
- ・家族のいない時に話を聞いたり遊びに行くようにしてほしい。特に男性は地域で住まれる場を作ったり、自分の作った野菜等を提供できる場を作してほしい。(50歳代)
- ・介護保険だけではしてあげられない事がたくさんあります。自費なく受けられるサービスがもっと増えるといいです。(40歳代)
- ・近場での老人の集う場所の確保が多ければいいと思う。(60歳代)
- ・健康意識の高い住民は従来からある健康教室に自発的に通われる方が多い印象があります。引きこもりなど活動性が低下した方々には自身の健康の為ではなく、趣味や役割など何か異なる動機付けが必要だと感じます。これまで取り組んできた料理教室とこども食堂をうまく結び付けたりする等、高齢者保健福祉及び介護保険事業だけの取り組みではなく、他の事業部者との共同も地域包括には必要な要素ではないでしょうか。(40歳代)
- ・高齢者、その家族が毎日生活しやすい環境を作って頂きたいです。宜しく願い致します。(50歳代)
- ・高齢者になるべく健康で長く働ける社会環境にすべき。(60歳代)
- ・高齢者が楽しみながら運動できるような場所があればよいと思う。(40歳代)
- ・高齢者が増え、交通手段の不足、店舗の減少のため買い物弱者問題を考えてほしい。(50歳代)
- ・高齢者が多くなって必要性を強く感じます。みんなが幸せに暮らせるようにお願いします。(60歳代)
- ・自分自身の意識もまだ必要と感じていない事が現状です。また、地域の取組や活動等は、幼少期から育ってきた方々でしっかりと絆がある為、Iターンにとっては疎外感を感じる。そういった経験から事業への利用等も不安の方が大きい。(40歳代)
- ・実際に困っているけど支援を受けられない方への支援をもっと拾ってほしい。(40歳代)

2. 情報提供、周知に関する意見

- ・(活動内容、サービス利用までの流れ、サービスの種類など) SNS、インターネットによる発信頻度を上げてほしい。手軽に寄付ができる仕組み(PayPayの活用など)。介護予防を目的とした公民館講座の多様化。(40歳代)
- ・「高齢者福祉サービス・介護保険の手引き」P26の「高額介護サービス費」についてもっと詳しく説明してほしい。(60歳代)
- ・子ども、大人にもっと分かりやすい仕組みを冊子などにしてほしい。(40歳代)

- ・子供からの教育が必要だと思う。認知症への理解、見守り、交流等もっと活動する必要がある。島は車社会なので、買物支援、交通等、高齢者への支援が増えてくる。資源不足、病院、医師不足、施設不足は深刻だと思います。(50歳代)
- ・食生活と認知症との因果関係について正しい情報提供をお願いしたい。(60歳代)
- ・福祉に関しては誰にも関係することであり、生活していく上で必要不可欠なものだと思います。仕組みや制度、知識として持っておくことが高齢社会対策にもなると思うので、小学校又は中学校からの教育の一環として取り入れていければ意識は変わると思う。(40歳代)

3. 支援、相談体制に関する意見

- ・医療も介護も福祉も、最終的にキーパーソン(家族)に全責任をゆだねる(押しつける)仕組みになっている(そういう価値観が定着している)のだから、家族へのケアをもっと手厚くするべき。(50歳代)
- ・介護サービスを利用したいと思い始めた時にどう相談したら良いのかというのが1つ目の課題になると思います。相談しやすい仕組み、個別の困り事に応じた介護サービスの提供を期待しています。ヘルパーや介護事業所の減少が心配。配偶者が亡くなった後の生活に不安を感じています。(40歳代)
- ・自分の父親が要介護認定を受けているが、市が積極的に関わっているように思えないので、色々な面で支援していただけると家族の負担は少し軽減されるのではないかと思います。(50歳代)
- ・独居の方が病院受診で入院する際のキーパーソンや夜間の相談窓口を作してほしい。(外来受診で帰宅する際の迎えの相談等)(40歳代)
- ・認知症は本人もですがそれを支える家族への負担がとて大きいです。その負担軽減の為のサポートも強化されるべきだと思います。(40歳代)
- ・父の事ですがすごく心配で、将来(86才現在)の介護や死後の財産分与など。(50歳代)
- ・母が介護認定を受ける時、何度も福祉課へ足を運んだが、普段、病院を受診(特に持病なし、過去に両ひざ人工関節手術あり)していないので、医師(行きつけ)がいないという事で認定を受ける事ができなかった。かかりつけの医師がいない人達の為に嘱託医など対策して欲しい。(60歳代)

4. その他

- ・このようなアンケートを定期的に行っていただきたいです。(50歳代)
- ・この国の人口減少、少子化問題は30年以上も過去に予想されていた事であり、国の弱体化は当然の帰結である。本市だけの問題ではない。(40歳代)
- ・医療関係に勤めていますが、介護保険の認定調査によって判定(の材料として)に影響あるなあって思っています。※認知症を有している人に関しては特に…。(40歳代)
- ・現在母親を自宅で介護中、父親も自宅で介護、看取りました。将来自分を含め、妹、弟、身の振り方を自分(兄弟)で考えていかなければなりません。(60歳代)
- ・高齢化が進む中、介護保険サービス水準を維持するために介護保険料料を引き上げるのはやむを得ないと思うが、子育て世代は、育児・教育費にも多くの出費となるので考慮していただきたい。(40歳代)

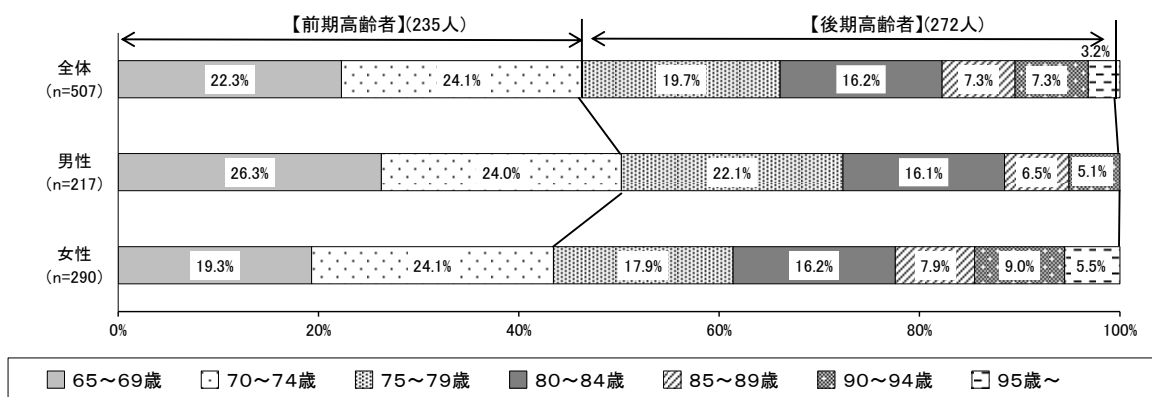
- ・高齢者は増加しますが、介護サービスは必ずしも一定のレベルを全ての方々へ均等にしなくても良いと感じます。居住歴が長い方を優先する等、区別しながら整備すべきと考えます。また、市の収益を上げる活動も必要に思います。(40歳代)
- ・施設に入所中の方のバス券やタクシー券はいらない。もったいないので、それを食事券やホーラシャ券に変えてほしいです。(60歳代)
- ・若い人の負担が増えないように、介護保険料など高くなっていくのは望まない。(50歳代)
- ・手続きの簡略化、IT化の促進が急がれる。(50歳代)
- ・将来に対しての不安を想定させる質問が多い。前向きな気持ちになれる質問が必要。また前向きな考えを持っている人の講演もあってほしい。全体的に質問内容が難しいです。(50歳代)
- ・人口が減少しているので、若い人たちへも知っていただく必要のある問題になってきているのかなと感じています。(40歳代)
- ・特になし。(50歳代)

第3章 一般高齢者調査の結果

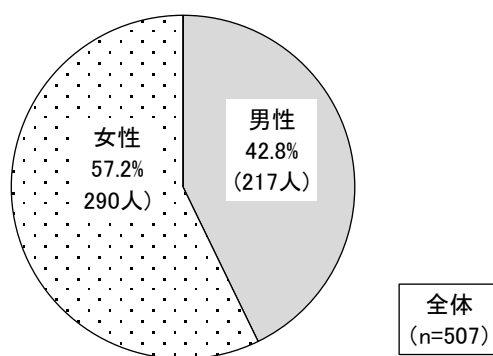
<介護予防・日常生活圏域ニーズ調査>

1. 回答者の属性

(1) 年齢



(2) 性別



【生活機能評価】

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答結果について、厚生労働省が示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づき、以下の判定基準により、判定を行った。

項目	設問番号	設問内容	該当する選択肢	判定基準
運動器機能の低下	問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない	3問以上該当する選択肢に回答した場合に該当とする
	問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない	
	問2(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない	
	問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある	
	問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である	
転倒リスク	問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある	該当する選択肢に回答した場合に該当とする
閉じこもり傾向	問2(6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回	該当する選択肢に回答した場合に該当とする
低栄養状態	問3(1)	身長・体重(BMI)	BMIが18.5未満	2問以上該当する選択肢に回答した場合に該当とする
	問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい	
口腔機能の低下	問2(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい	2問以上該当する選択肢に回答した場合に該当とする
	問2(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい	
	問2(4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい	
認知機能の低下	問4(1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい	該当する選択肢に回答した場合に該当とする
うつ傾向	問8(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい	1問以上該当する選択肢に回答した場合に該当とする
	問8(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい	
IADL(手段的日常生活動作能力)	問4(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない	該当する選択肢に回答した場合をそれぞれ1点とし、その合計が3点以下の場合、IADLが低い、4点をやや低い、5点を高いとする
	問4(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない	
	問4(4)	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない	
	問4(5)	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない	
	問4(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない	

(1)運動器機能の低下

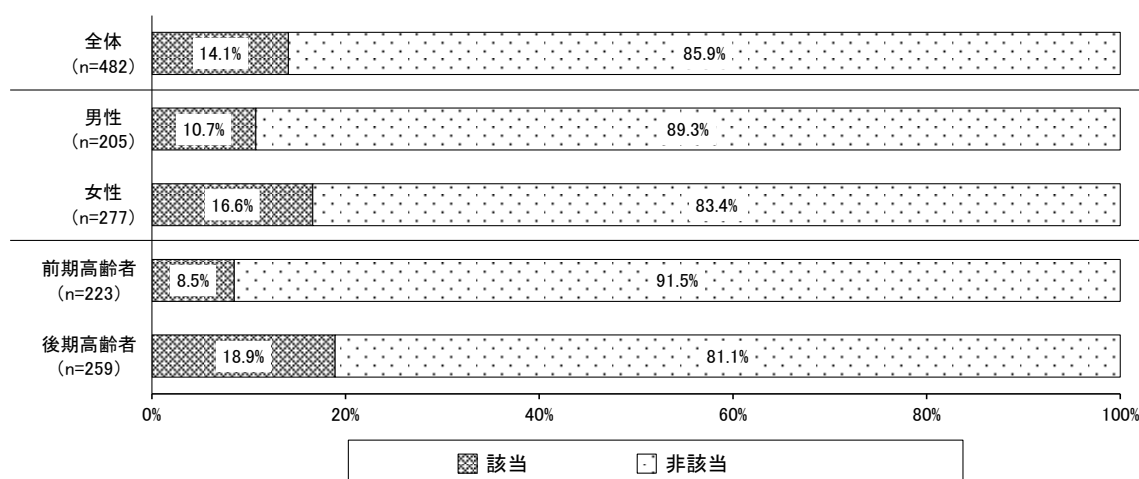
以下の設問について、3問以上該当する選択肢に回答した場合に「該当」とする。

設問	該当する選択肢
問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2(3) 15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

全体では、「該当」の割合は14.1%となっている。

性別では、「該当」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「該当」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。



(2)転倒リスク

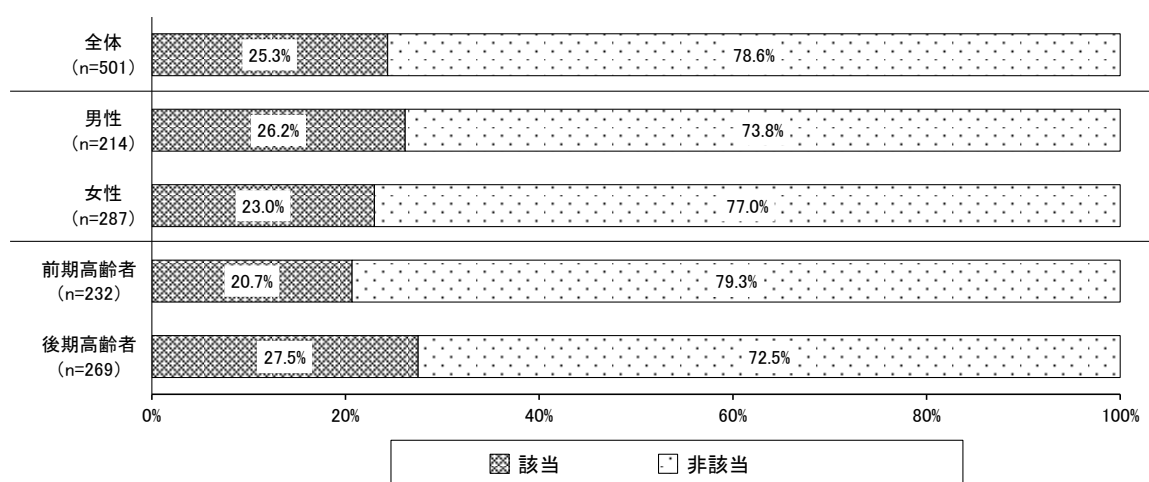
以下の設問について、該当する選択肢に回答した場合に「該当」とする。

設問	該当する選択肢
問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

全体では、「該当」の割合は25.3%となっている。

性別では、「該当」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「該当」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。



(3)閉じこもり傾向

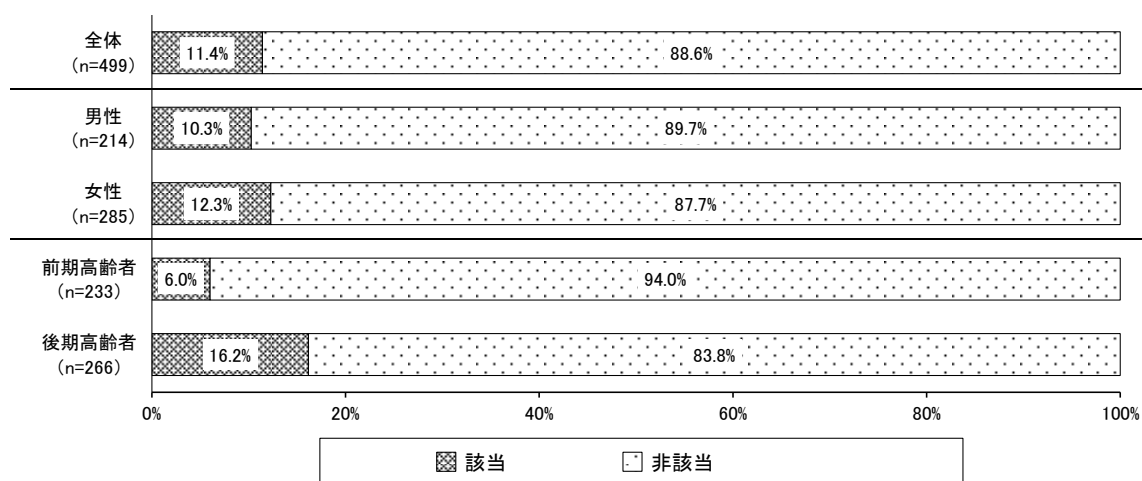
以下の設問について、該当する選択肢に回答した場合に「該当」とする。

設問	該当する選択肢
問2(6) 週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

全体では、「該当」の割合は11.4%となっている。

性別では、「該当」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「該当」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。



(4)低栄養状態

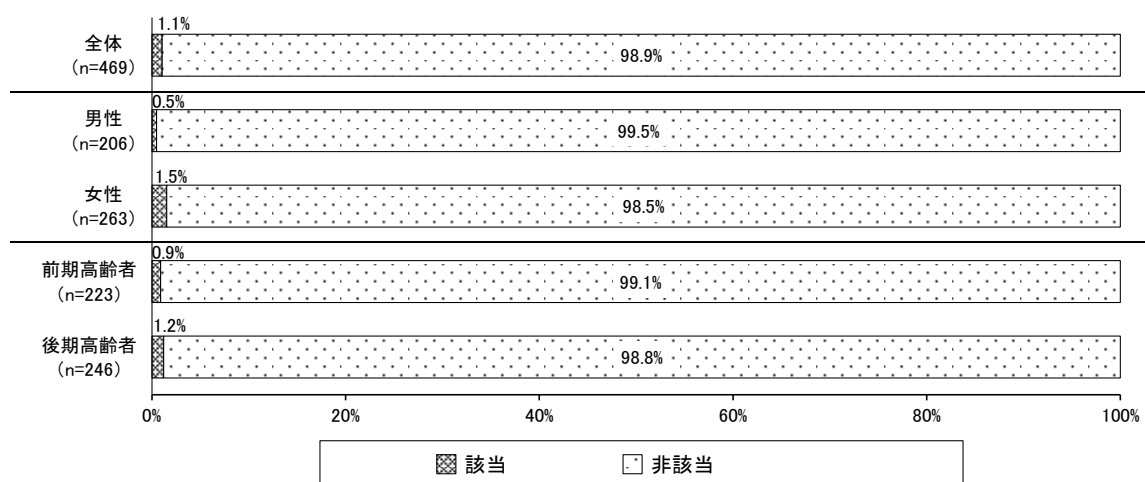
以下の設問について、2問以上該当する選択肢に回答した場合に「該当」とする。

設問	該当する選択肢
問3(1) 身長・体重(BMI)	BMIが18.5未満
問3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

全体では、「該当」の割合は1.1%となっている。

性別では、「該当」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「該当」の割合は「前期高齢者」「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。



(5)口腔機能の低下

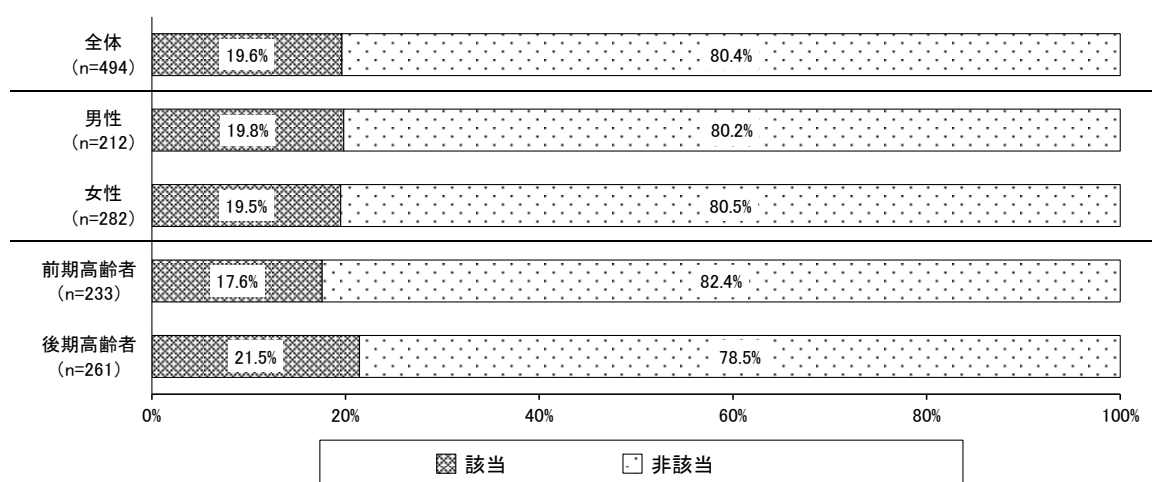
以下の設問について、2問以上該当する選択肢に回答した場合に「該当」とする。

設問	該当する選択肢
問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問3(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問3(4) 口の渇きが気になりますか。	1. はい

全体では、「該当」の割合は19.6%となっている。

性別では、「該当」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「該当」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。



(6)認知機能の低下

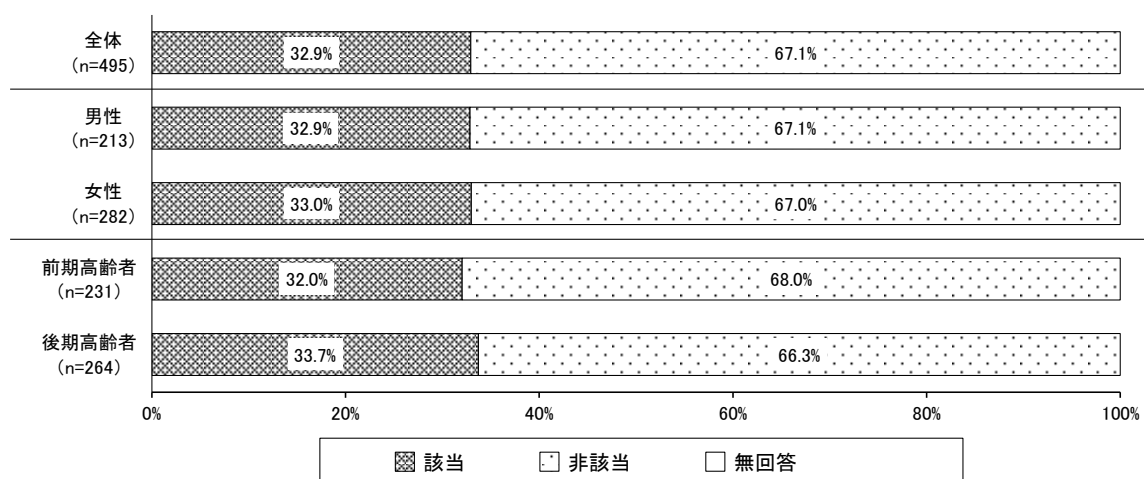
以下の設問について、該当する選択肢に回答した場合に「該当」とする。

設問	該当する選択肢
問4(1) 物忘れが多いと感じますか。	1. はい

全体では、「該当」の割合は32.9%となっている。

性別では、「該当」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「該当」の割合は「前期高齢者」「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。



(7)うつ傾向

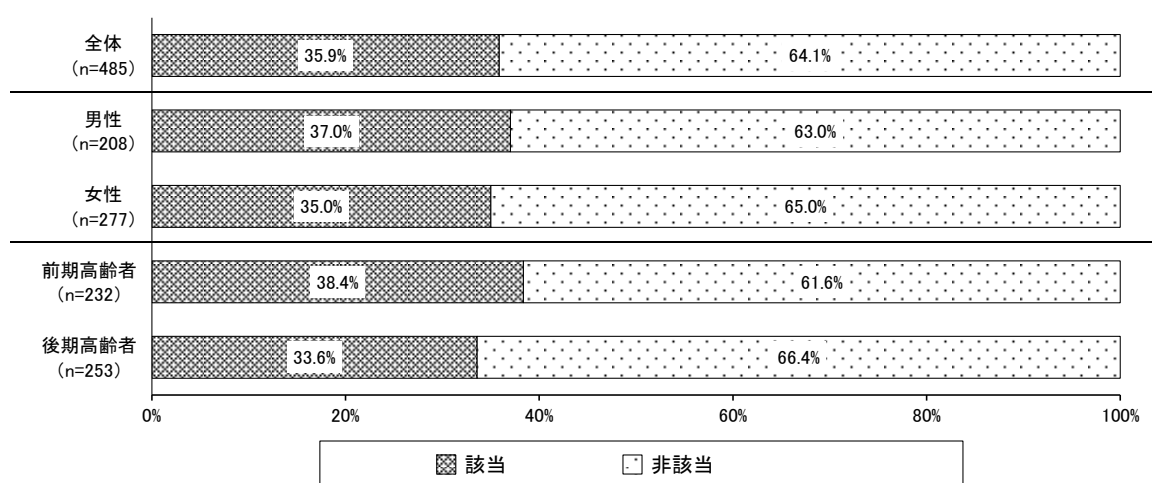
以下の設問について、1問以上該当する選択肢に回答した場合に「該当」とする。

設問	該当する選択肢
問8(3) この1ヶ月、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問8(4) の1ヶ月、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

全体では、「該当」の割合は35.9%となっている。

性別では、「該当」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「該当」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」をやや上回っている。



(8)IADL(手段的日常生活動作能力)

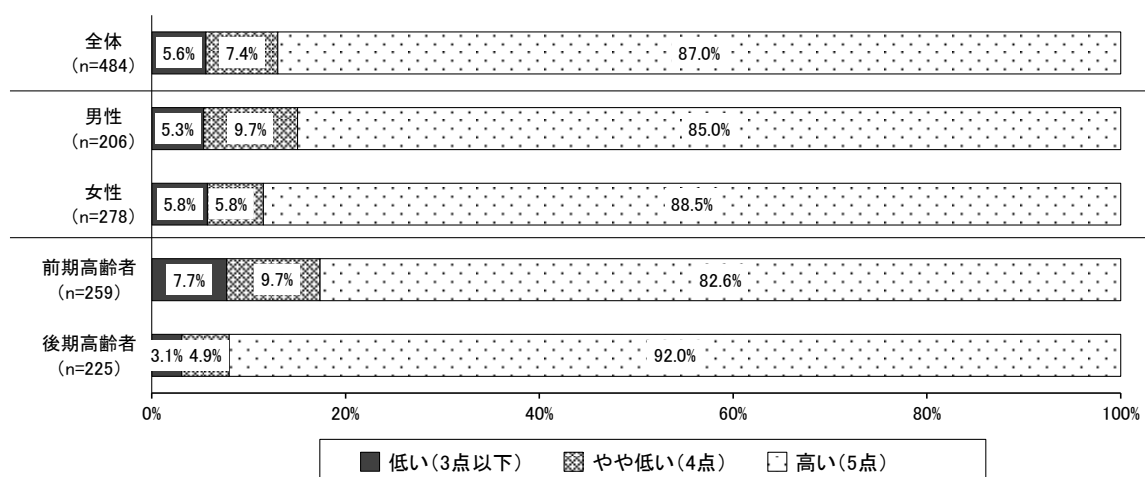
以下の設問について、該当する選択肢に回答した場合をそれぞれ1点とし、その合計が3点以下の場合、IADLが「低い」、4点を「やや低い」、5点を「高い」とする。

設問	該当する選択肢
問4(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(4) 自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない

全体では、「低い」の割合は5.6%となっている。

性別では、「低い」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「低い」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」をやや上回っている。



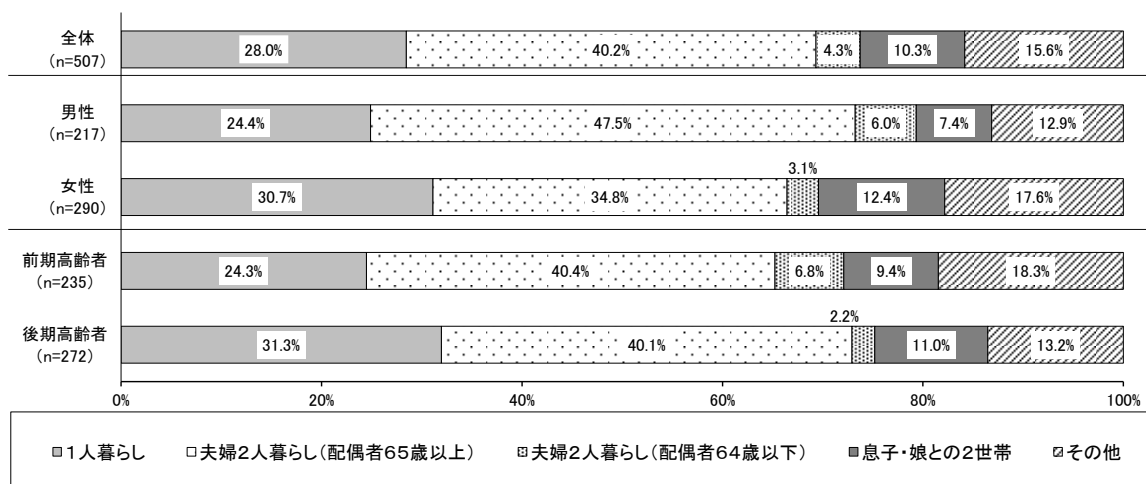
2. 回答者の家族や生活状況について(問1)

(1) 家族構成をお教えてください

全体では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合(40.2%)が最も高く、次が「1人暮らし」(28.0%)となっている。

性別では、男女とも割合が最も高いのは「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」となっている。

年代別では、「前期高齢者」、「後期高齢者」とも割合が最も高いのは「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」となっている。

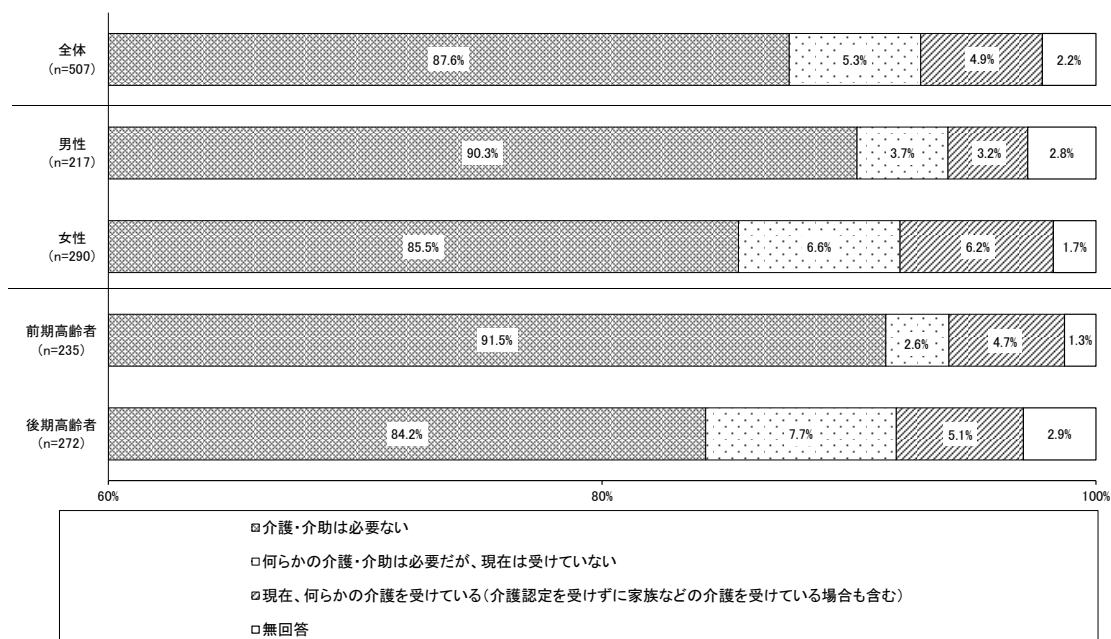


(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

全体では、「介護・介助は必要ない」の割合(87.6%)がほとんどとなっている。

性別では、「介護・介助は必要ない」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「介護・介助は必要ない」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。



【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

全体では、割合が最も高いのは「骨折・転倒」「糖尿病」(各12.7%)となっている。

※性別、年代別は母数が小さいため分析しない。

	骨折・転倒	糖尿病	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	その他	高齢による衰弱	関節の病気 (リウマチ等)	視覚・聴覚障害	認知症 (アルツハイマー病等)	がん (悪性新生物)	心臓病	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	脊椎損傷	腎疾患	不明	パーキンソン病
全体 (n=63)	12.7%	12.7%	11.1%	11.1%	11.1%	9.5%	9.5%	9.5%	4.8%	4.8%	3.2%	3.2%	3.2%	1.6%	0.0%
男性 (n=21)	0.0%	14.3%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%
女性 (n=42)	19.0%	11.9%	11.9%	14.3%	14.3%	11.9%	9.5%	11.9%	4.8%	4.8%	4.8%	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%
前期高齢者 (n=20)	15.0%	20.0%	5.0%	25.0%	5.0%	5.0%	10.0%	20.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
後期高齢者 (n=43)	11.6%	9.3%	14.0%	4.7%	14.0%	11.6%	9.3%	4.7%	4.7%	7.0%	2.3%	4.7%	0.0%	2.3%	0.0%

【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

全体では、割合が最も高いのは「娘」(32.0%)となっている。

※性別、年代別は母数が小さいため分析しない。

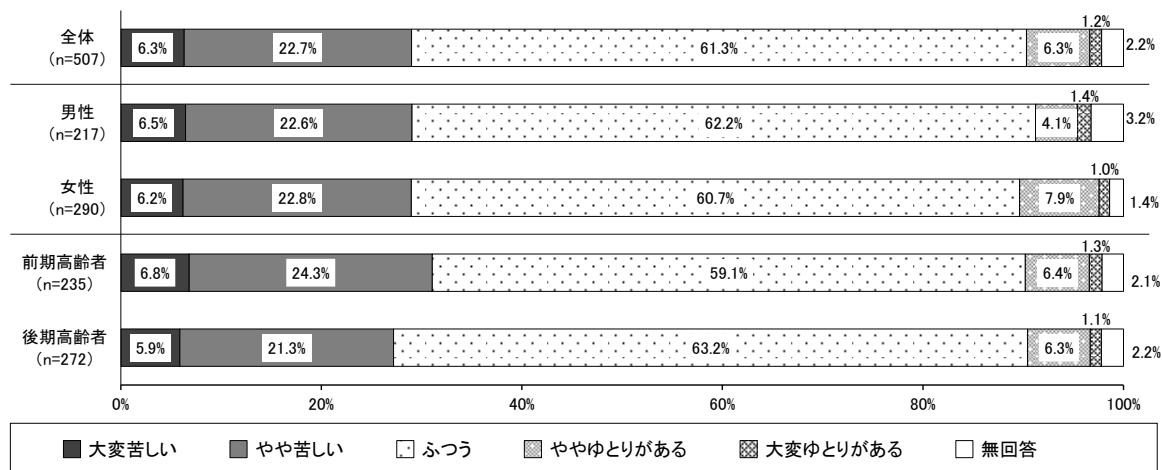
	娘	介護サービスのヘルパー	息子	配偶者	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他
全体 (n=25)	32.0%	24.0%	20.0%	16.0%	8.0%	4.0%	0.0%	16.0%
男性 (n=7)	0.0%	57.1%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
女性 (n=18)	44.4%	11.1%	16.7%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	22.2%
前期高齢者 (n=11)	18.2%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%
後期高齢者 (n=14)	42.9%	14.3%	28.6%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

全体では、「ふつう」の割合が61.3%で最も高く、『苦しい』（「大変苦しい」と「やや苦しい」の計）の割合は29.0%となっている。

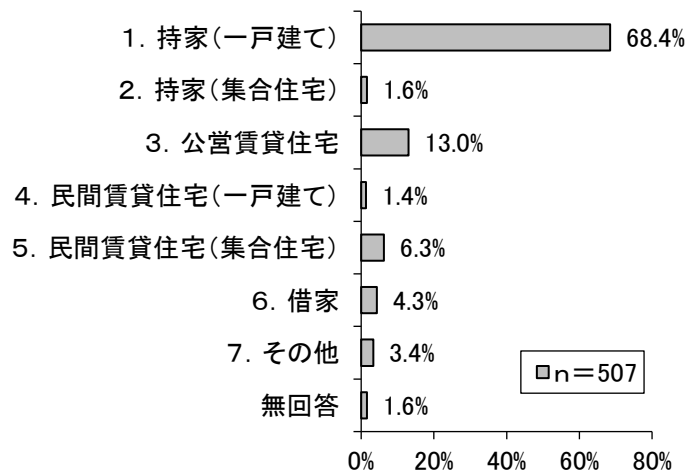
性別でみると、『苦しい』の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、『苦しい』の割合は、「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。



(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

全体では、「持家（一戸建て）」の割合が68.4%で最も高くなっている。



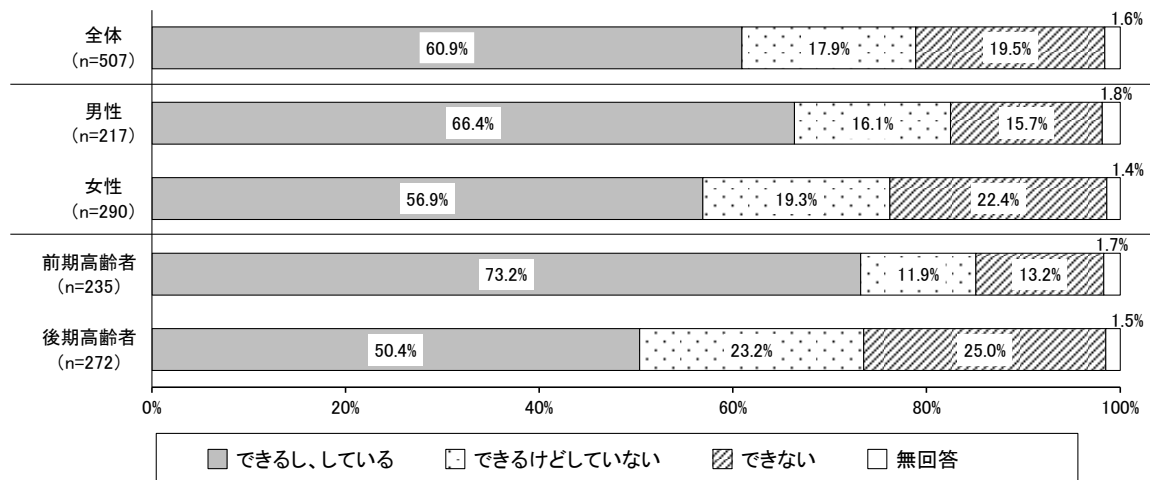
3. からだを動かすことについて(問2)

(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

全体では、「できるし、している」の割合が約6割となっている。

性別では、「できるし、している」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「できるし、している」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

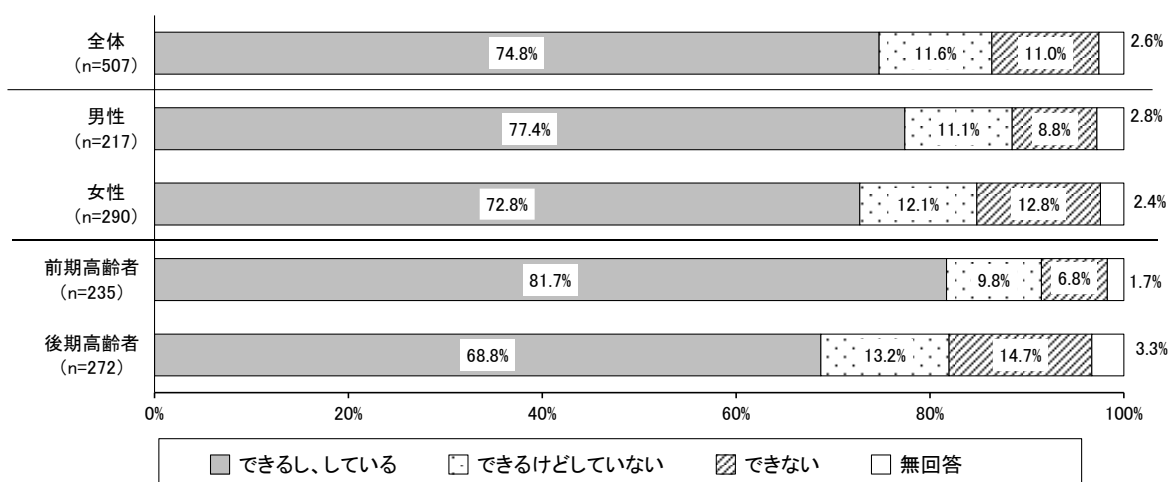


(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

全体では、「できるし、している」の割合が約7割となっている。

性別では、「できるし、している」の割合は「男性」が「女性」をやや上回っている。

年代別では、「できるし、している」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

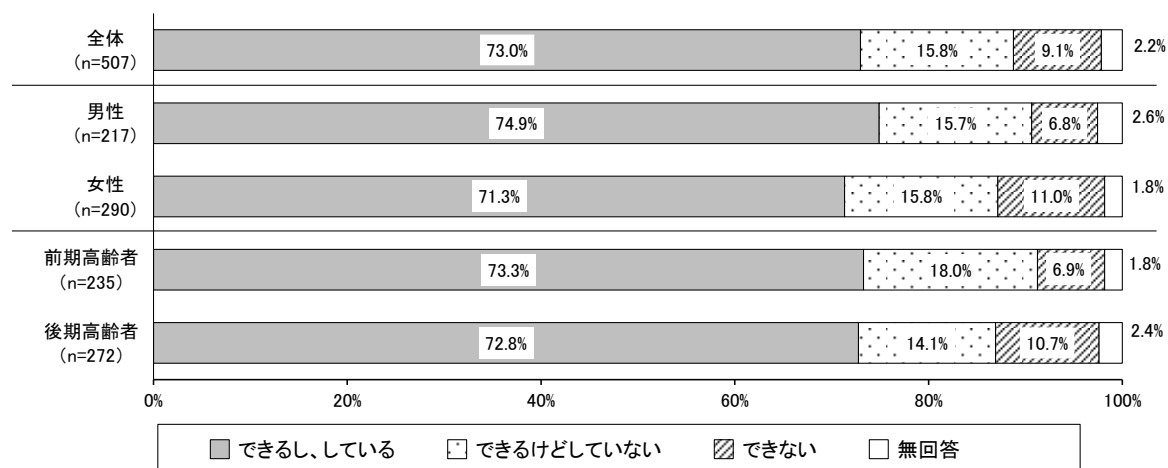


(3)15分位続けて歩いていますか

全体では、「できるし、している」の割合が約7割となっている。

性別では、「できるし、している」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「できるし、している」の割合は「前期高齢者」「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

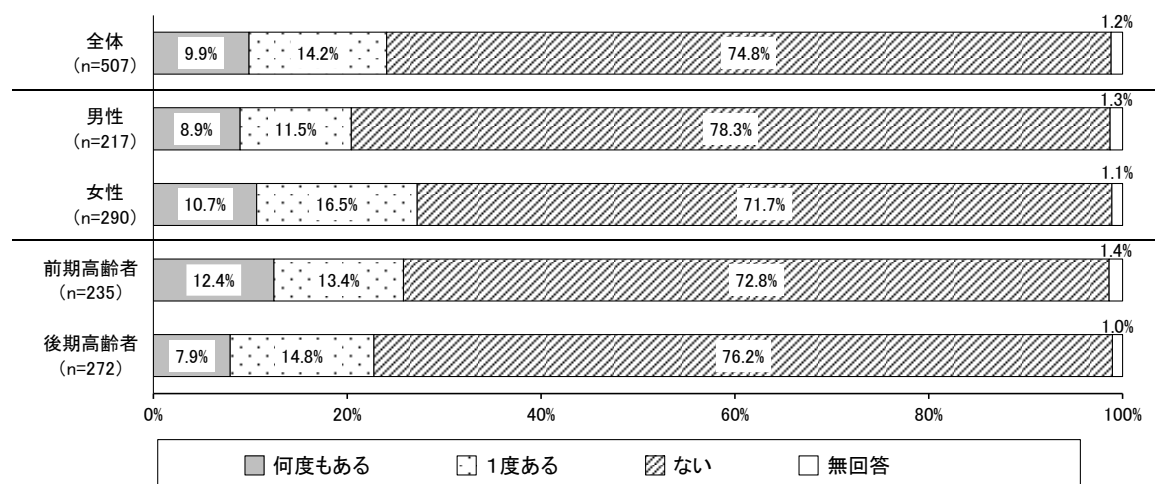


(4)過去1年間に転んだ経験がありますか

全体では、「ない」の割合が約7割となっています。一方、『ある』（「何度もある」と「1度ある」の計）は約3割（24.1%）となっている。

性別では、『ある』の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、『ある』の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

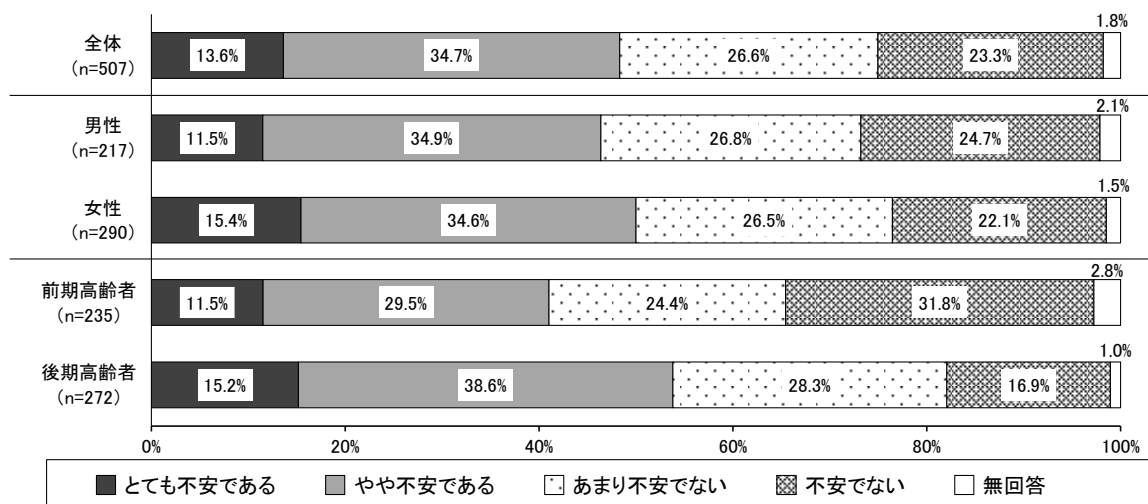


(5)転倒に対する不安は大きいですか

全体では、『不安である』(「とても不安である」と「やや不安である」の計)の割合は、約5割(48.3%)となっている。

性別では、『不安である』の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、『不安である』の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

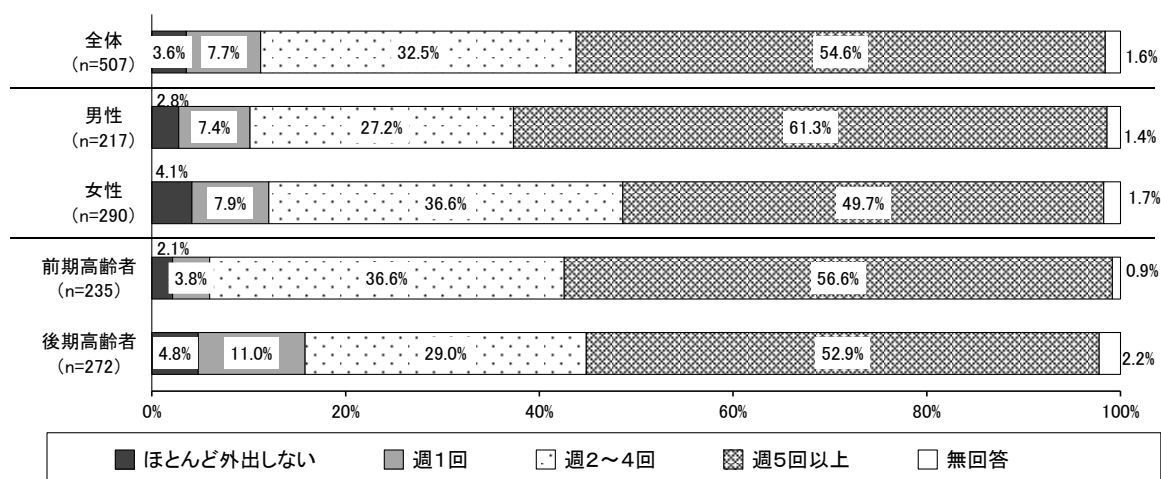


(6)週に1回以上は外出していますか

全体では、「週5回以上」の割合(54.6%)が最も高くなっている。

性別では、「週5回以上」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「週5回以上」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」をやや上回っている。

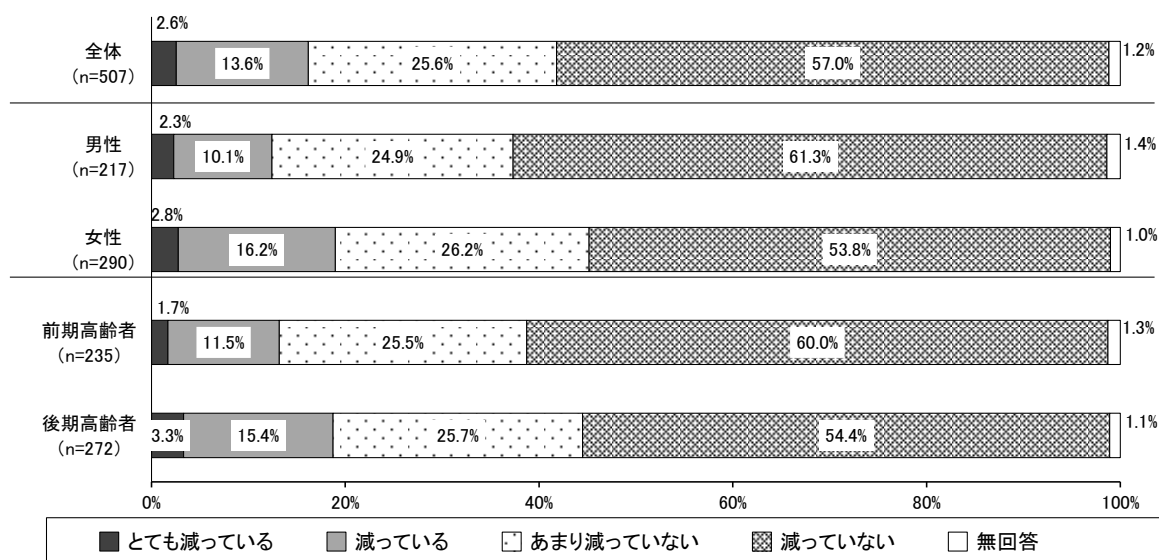


(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

全体では、『減っている』(「とても減っている」と「やや減っている」の計)の割合は16.2%となっている。

性別では、『減っている』の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、『減っている』の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

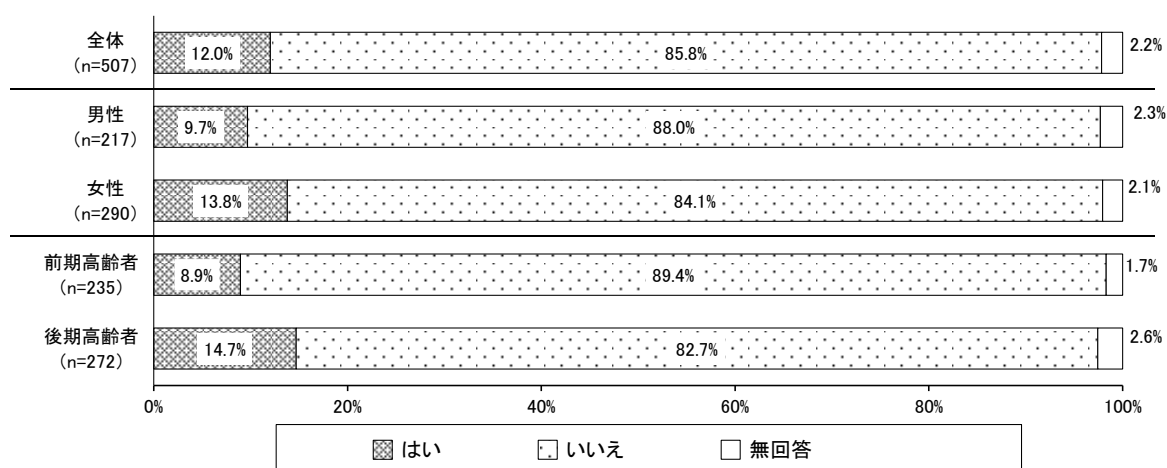


(8) 外出を控えていますか

全体では、「はい」の割合は12.0%となっている。

性別では、「はい」の割合は「女性」が「男性」をやや上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」をやや上回っている。



【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

全体では、割合が最も高いのは「足腰などの痛み」(47.5%)となっている。

※性別、年代別は母数が小さいため分析しない。

	足腰などの痛み	外での楽しみがない	交通手段がない	トイレの心配(失禁など)	耳の障がい(聞こえの問題など)	経済的に出られない	目の障がい	病気	障がい(脳卒中の後遺症など)	その他
外出が減っている人 (n=61)	47.5%	23.0%	16.4%	14.8%	14.8%	13.1%	13.1%	11.5%	4.9%	16.4%
男性 (n=21)	47.6%	28.6%	23.8%	4.8%	4.8%	14.3%	14.3%	4.8%	4.8%	19.0%
女性 (n=40)	47.5%	20.0%	12.5%	20.0%	20.0%	12.5%	12.5%	15.0%	5.0%	15.0%
前期高齢者 (n=21)	42.9%	28.6%	9.5%	9.5%	4.8%	14.3%	14.3%	9.5%	0.0%	38.1%
後期高齢者 (n=40)	50.0%	20.0%	20.0%	17.5%	20.0%	12.5%	12.5%	12.5%	7.5%	5.0%

(9)外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

全体では、「自動車(自分で運転)」の割合(60.9%)が最も高くなっている。

性別では、割合が最も高いのは、「男性」は「自動車(自分で運転)」、「女性」は「自動車(自分で運転)」と「徒歩」となっている。

年代別では、「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「自動車(自分で運転)」の割合が最も高くなっている。

	自動車 (自分で運転)	徒歩	自動車 (人に乗せてもらう)	路線バス	自転車	バイク	タクシー	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	車いす	電動車いす(カート)	電車	その他
全体 (n=507)	60.9%	47.7%	20.3%	12.2%	12.0%	9.5%	7.7%	2.0%	0.8%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%
男性 (n=217)	73.3%	42.4%	12.0%	6.5%	16.1%	14.7%	4.1%	1.8%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
女性 (n=290)	51.7%	51.7%	26.6%	16.6%	9.0%	5.5%	10.3%	2.1%	1.4%	0.7%	0.0%	0.0%	1.0%
前期高齢者 (n=235)	69.8%	47.2%	14.0%	11.1%	12.8%	11.9%	4.3%	1.3%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	1.3%
後期高齢者 (n=272)	53.3%	48.2%	25.7%	13.2%	11.4%	7.4%	10.7%	2.6%	1.5%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%

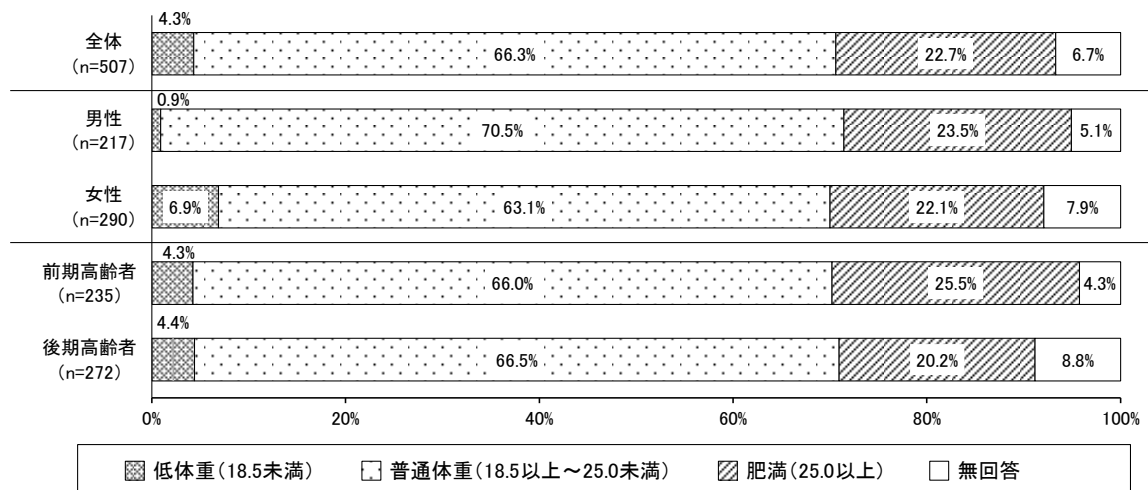
4. 食べることにについて(問3)

(1)身長・体重

全体では、「普通体重」の割合(66.3%)が最も高く、次が「肥満」(22.7%)となっている。

性別では、「普通体重」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「普通体重」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

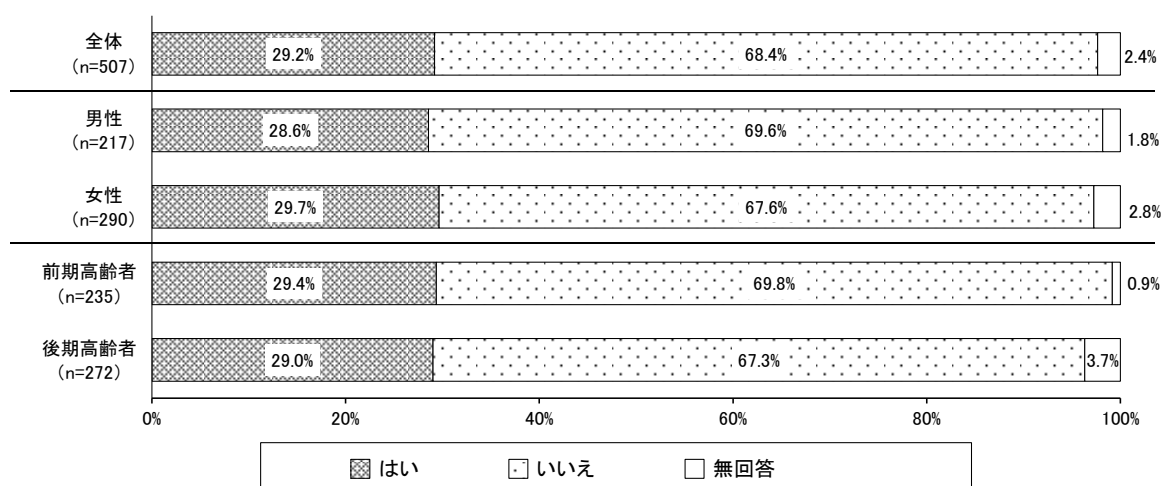


(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

全体では、「はい」の割合は29.2%となっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

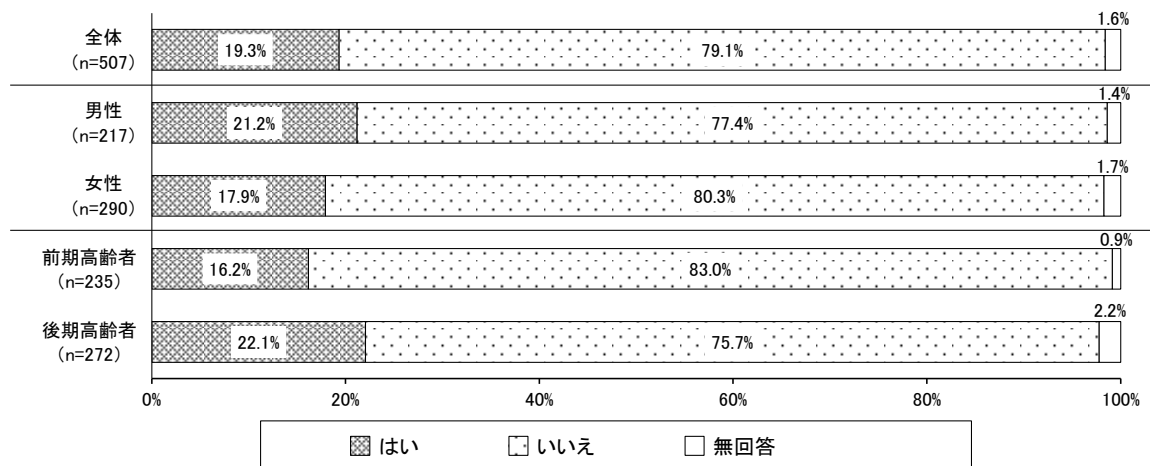


(3)お茶や汁物等でむせることがありますか

全体では、「はい」の割合は19.3%となっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」をやや上回っている。

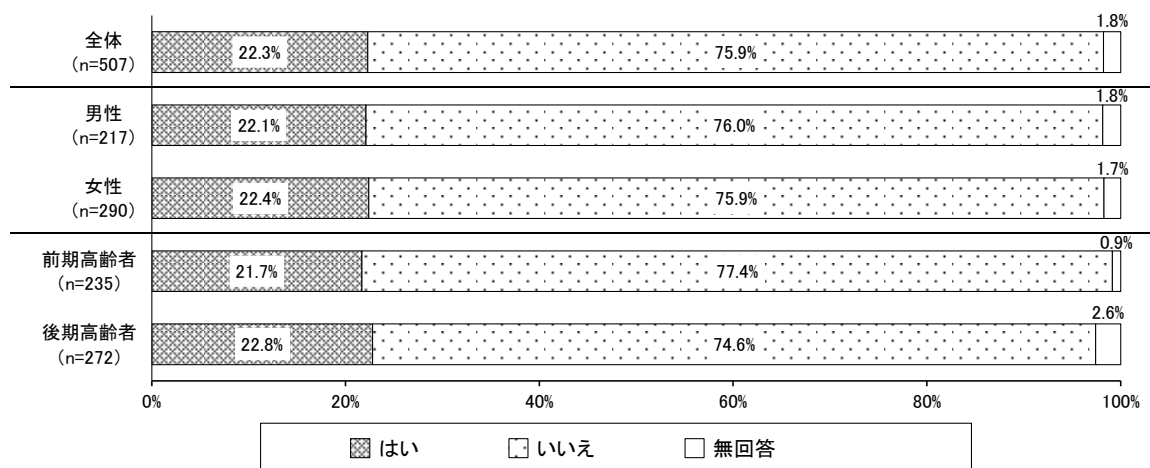


(4)口の渇きが気になりますか

全体では、「はい」の割合は22.3%となっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

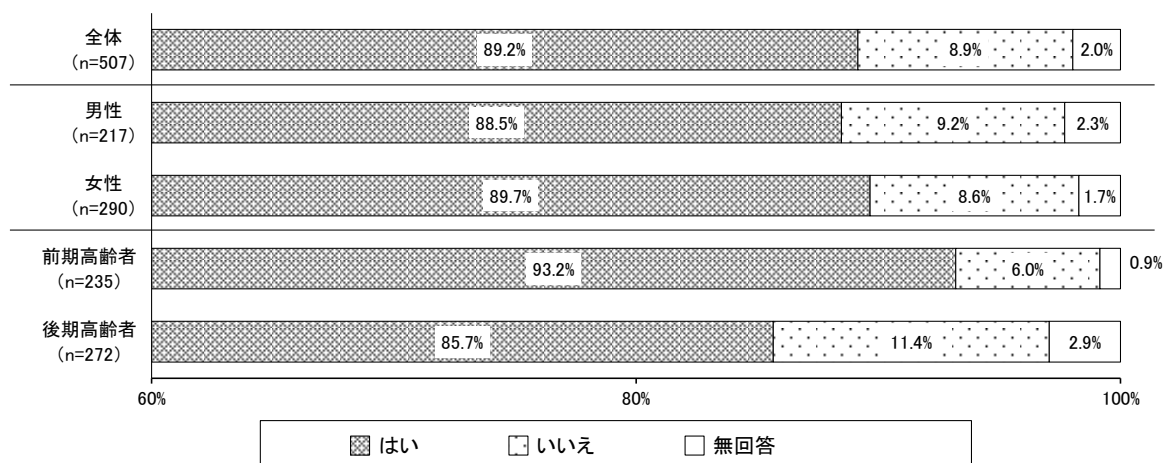


(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

全体では、「はい」の割合は89.2%でほとんどとなっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

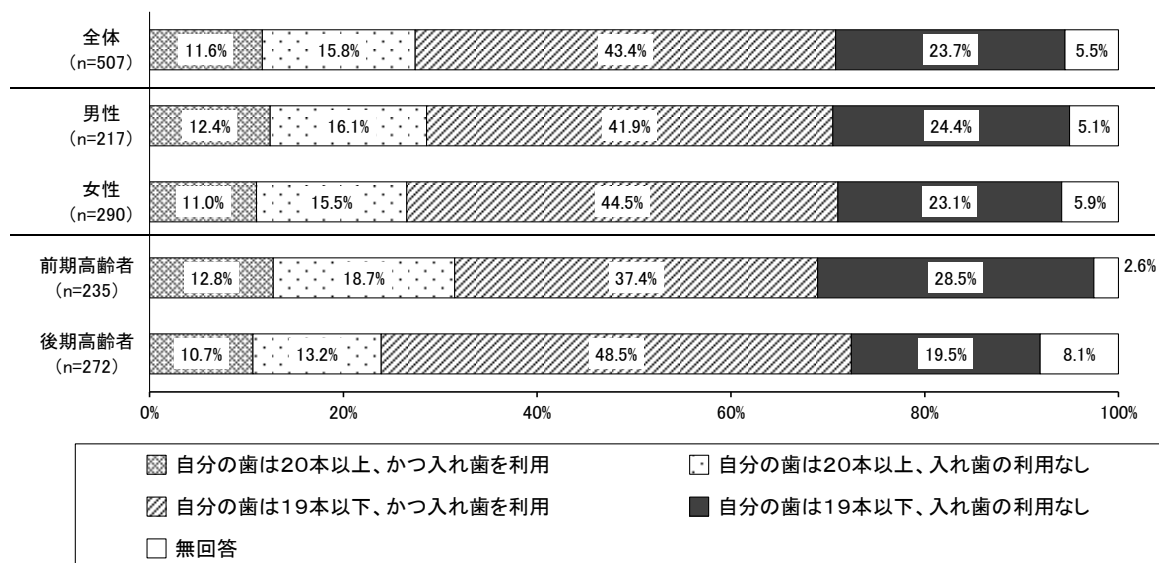


(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

全体では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合(43.4%)が最も高くなっている。

性別では、男女とも「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が最も高くなっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が最も高くなっている。



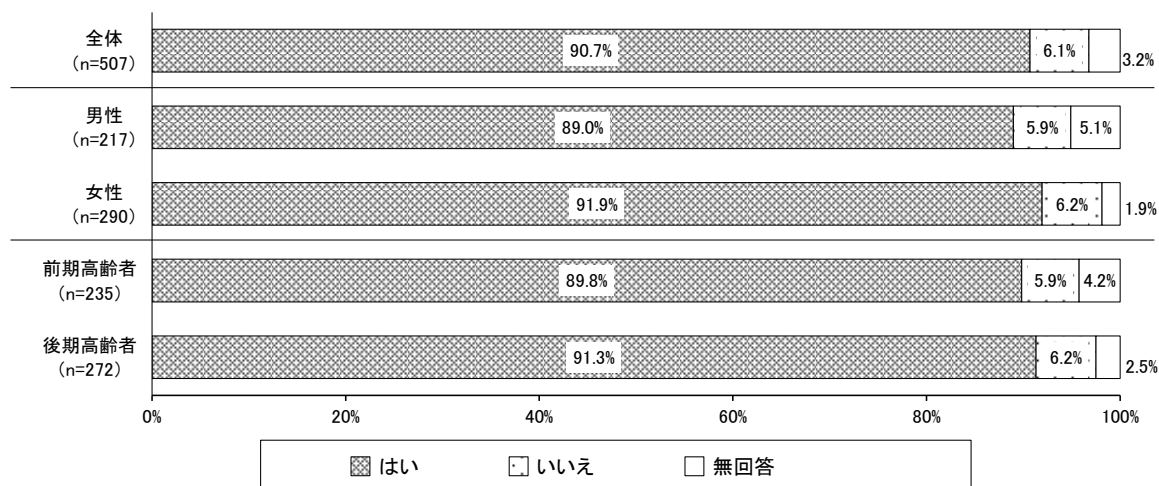
【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

毎日入れ歯の手入れをしていますか

全体では、「はい」の割合は90.7%となっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」と「後期高齢者」はほぼ同じとなっている。

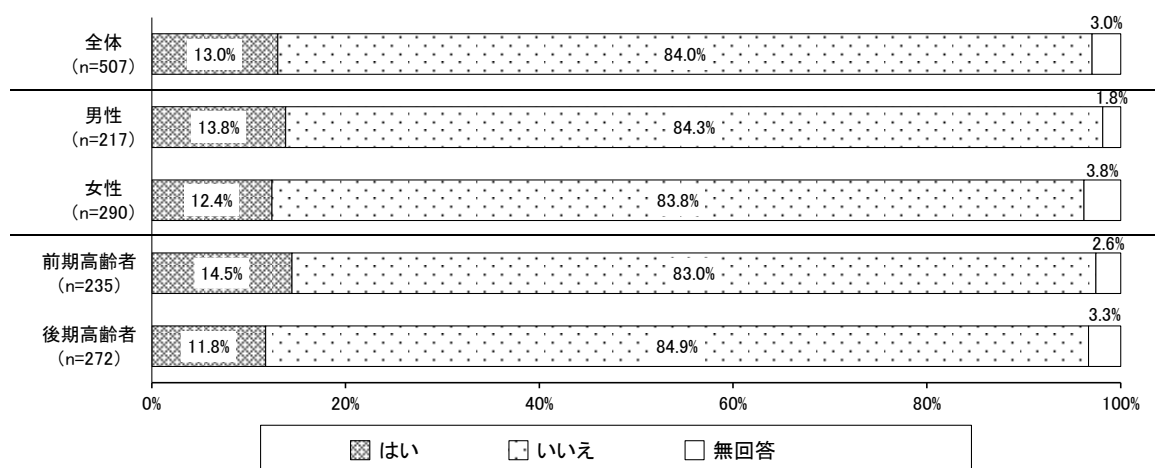


(7)6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

全体では、「はい」の割合は13.0%となっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」と「後期高齢者」はほぼ同じとなっている。

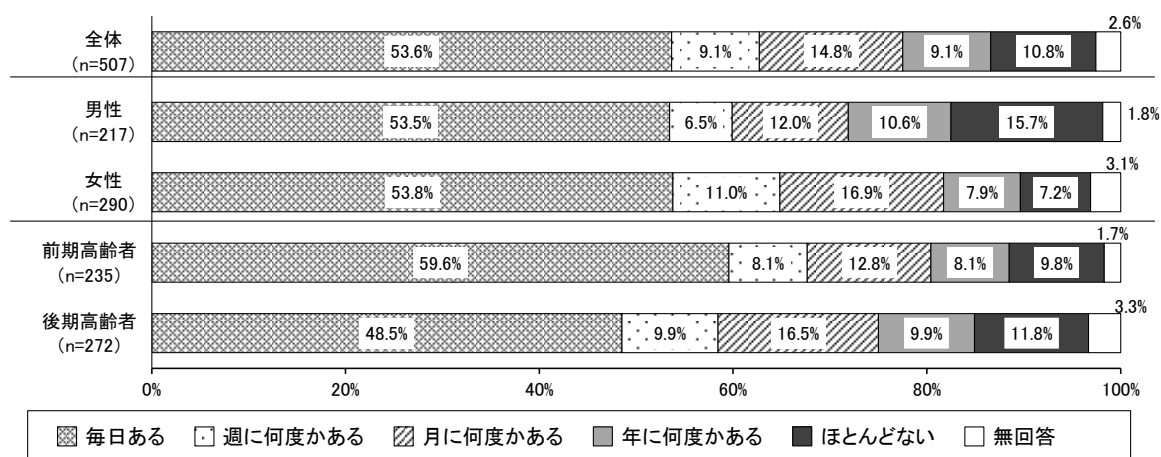


(8)どなたかと食事をともしる機会がありますか

全体では、「毎日ある」の割合(53.6%)が最も高くなっている。

性別では、「毎日ある」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「毎日ある」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。



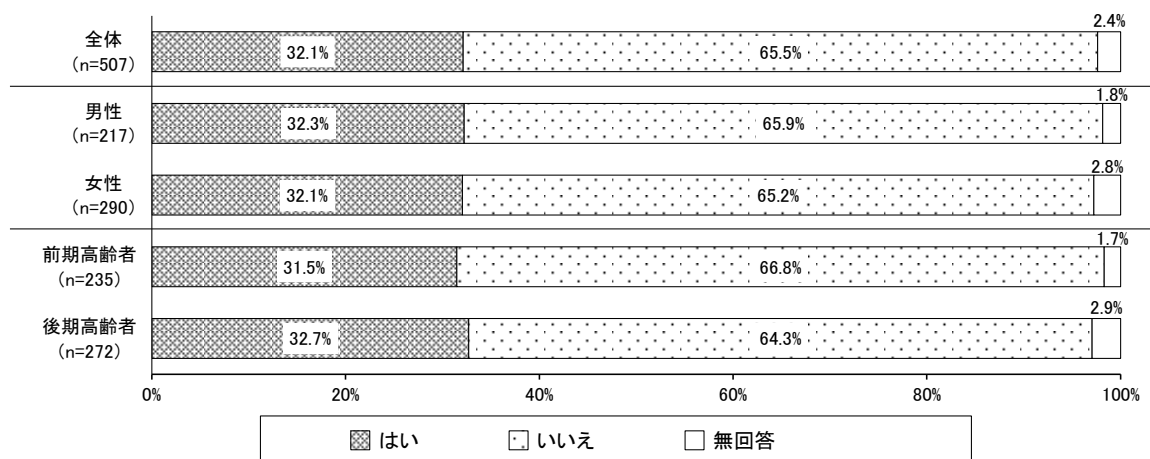
5. 毎日の生活について(問4)

(1)物忘れが多いと感じますか

全体では、「はい」の割合は32.1%となっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」と「後期高齢者」はほぼ同じとなっている。

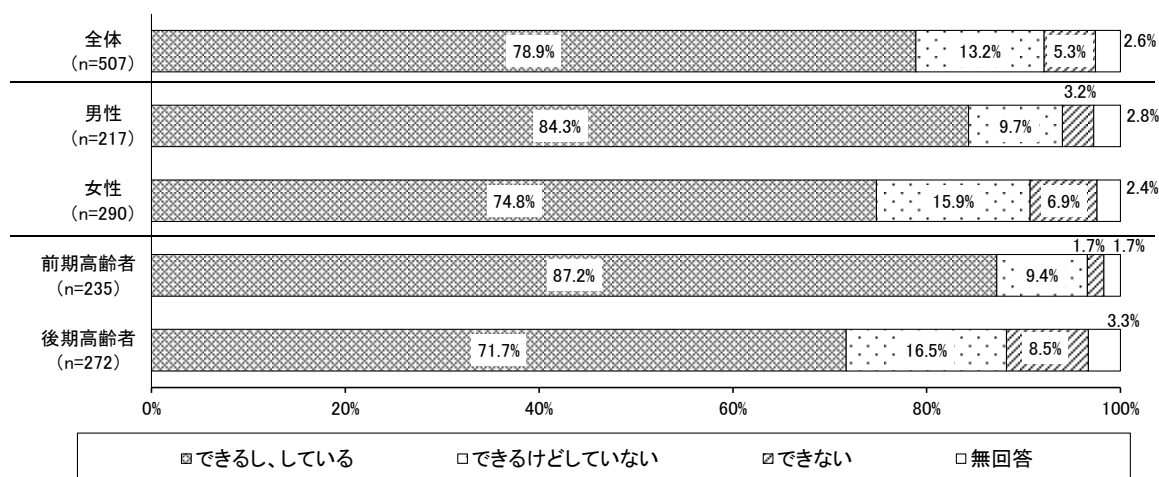


(2)バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

全体では、「できるし、している」の割合は78.9%となっている。

性別では、「できるし、している」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「できるし、している」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

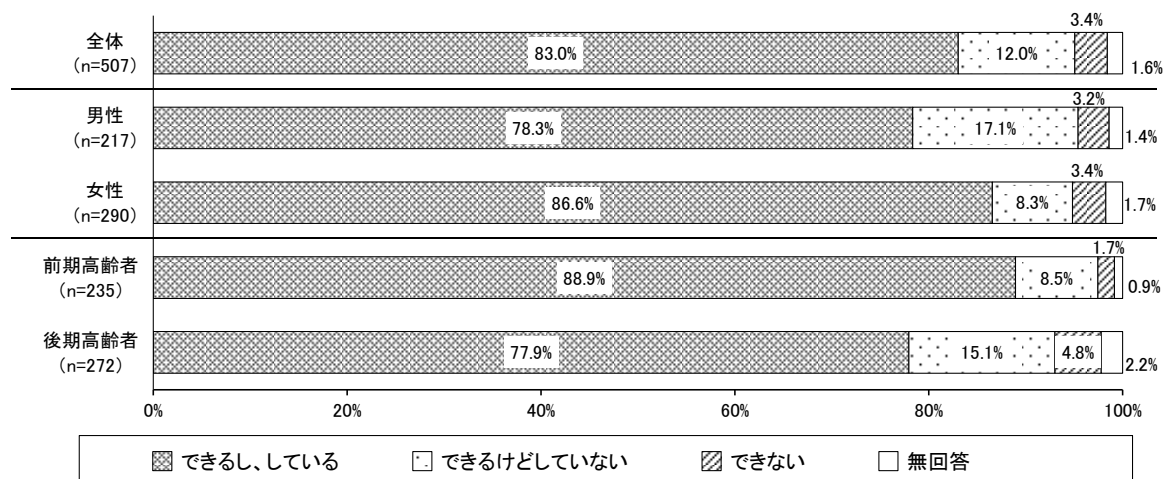


(3)自分で食品・日用品の買物をしていますか

全体では、「できるし、している」の割合は83.0%となっている。

性別では、「できるし、している」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「できるし、している」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

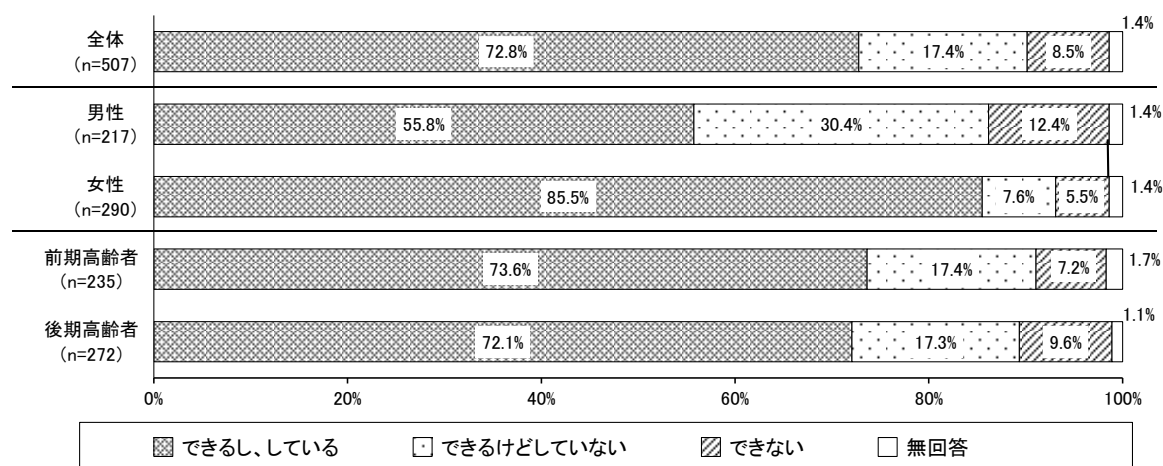


(4)自分で食事の用意をしていますか

全体では、「できるし、している」の割合は72.8%となっている。

性別では、「できるし、している」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「できるし、している」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

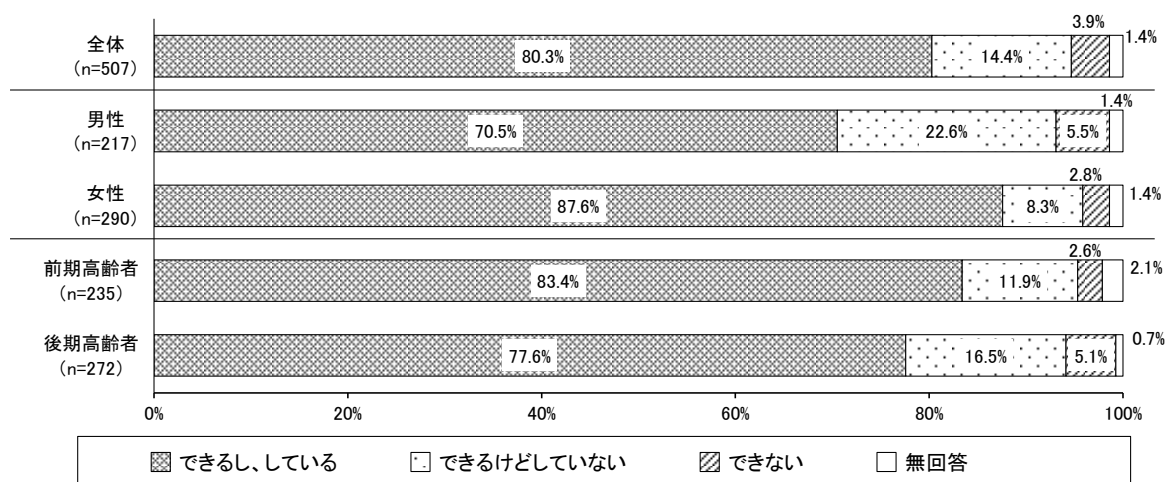


(5)自分で請求書の支払いをしていますか

全体では、「できるし、している」の割合は80.3%となっている。

性別では、「できるし、している」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「できるし、している」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

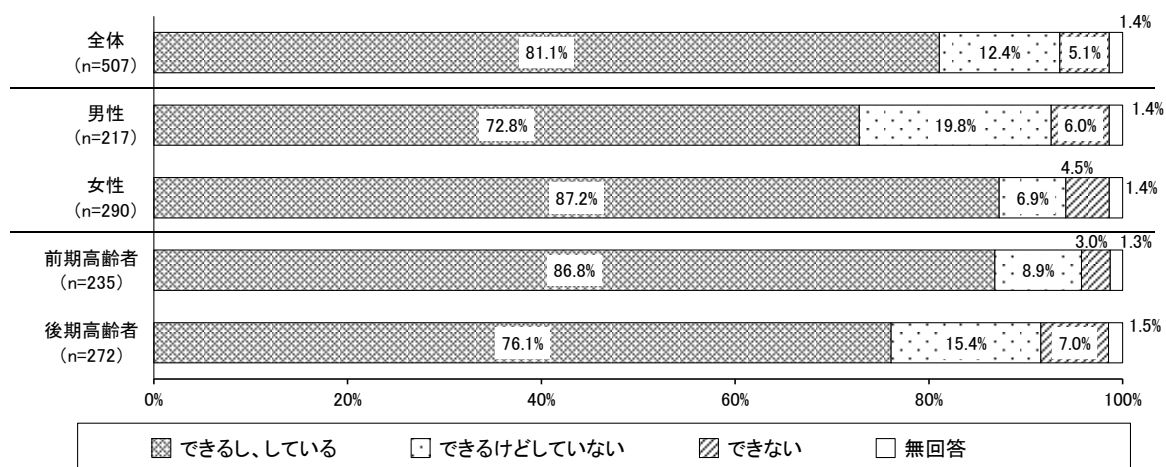


(6)自分で預貯金の出し入れをしていますか

全体では、「できるし、している」の割合は81.1%となっている。

性別では、「できるし、している」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「できるし、している」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

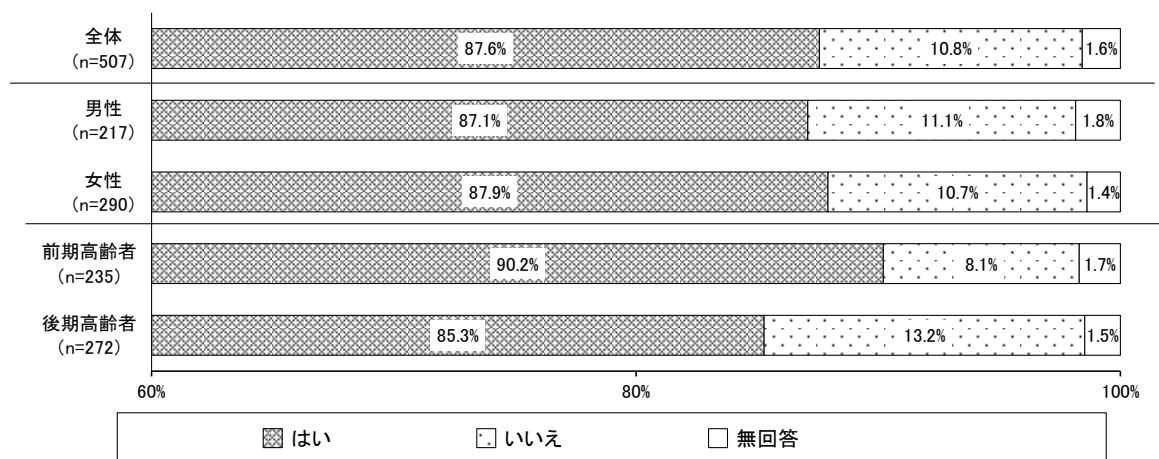


(7)年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

全体では、「はい」の割合は87.6%でほとんどとなっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

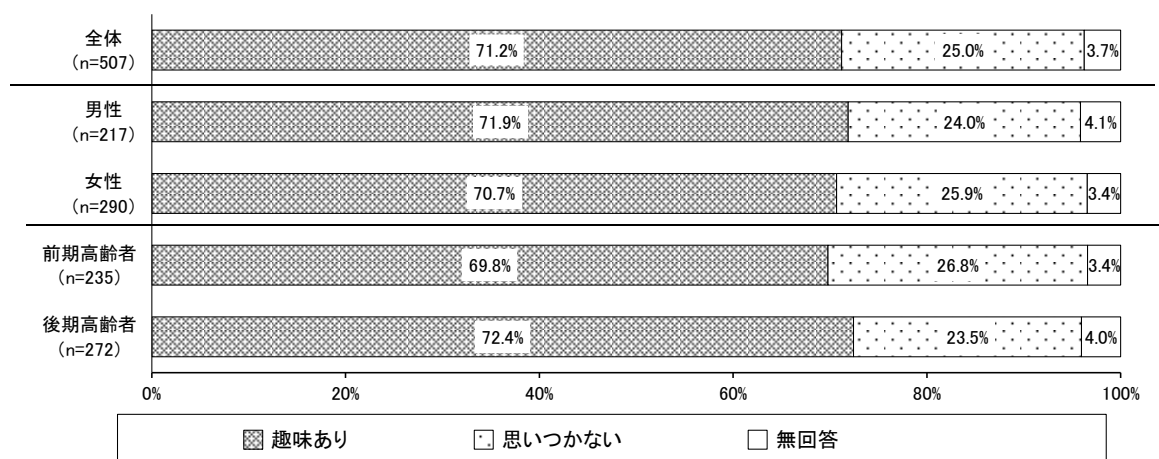


(8)趣味はありますか

全体では、「趣味あり」の割合が約7割となっている。

性別では、「趣味あり」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「趣味あり」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

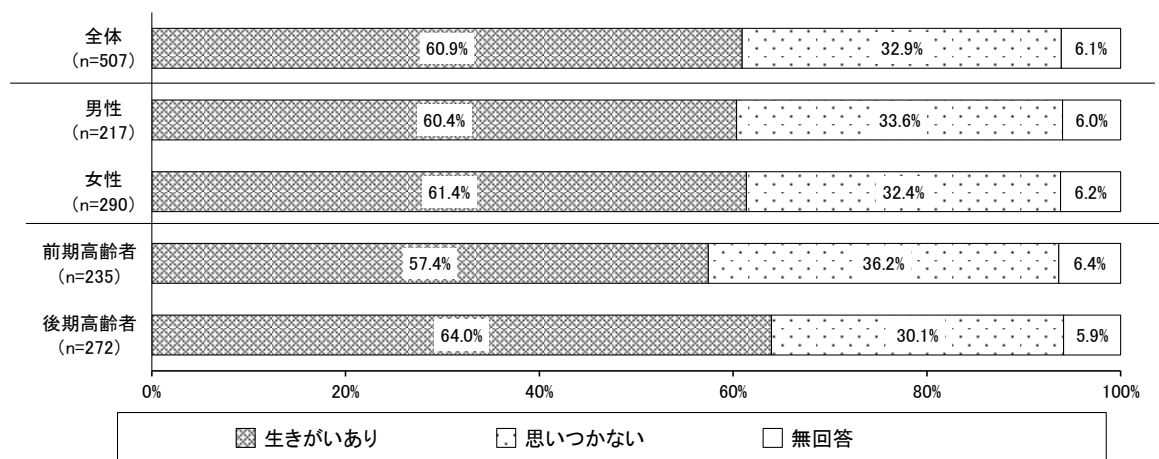


(9)生きがいがありますか

全体では、「生きがいあり」の割合が約6割となっている。

性別では、「生きがいあり」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「生きがいあり」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。



6. 地域での活動について(問5)

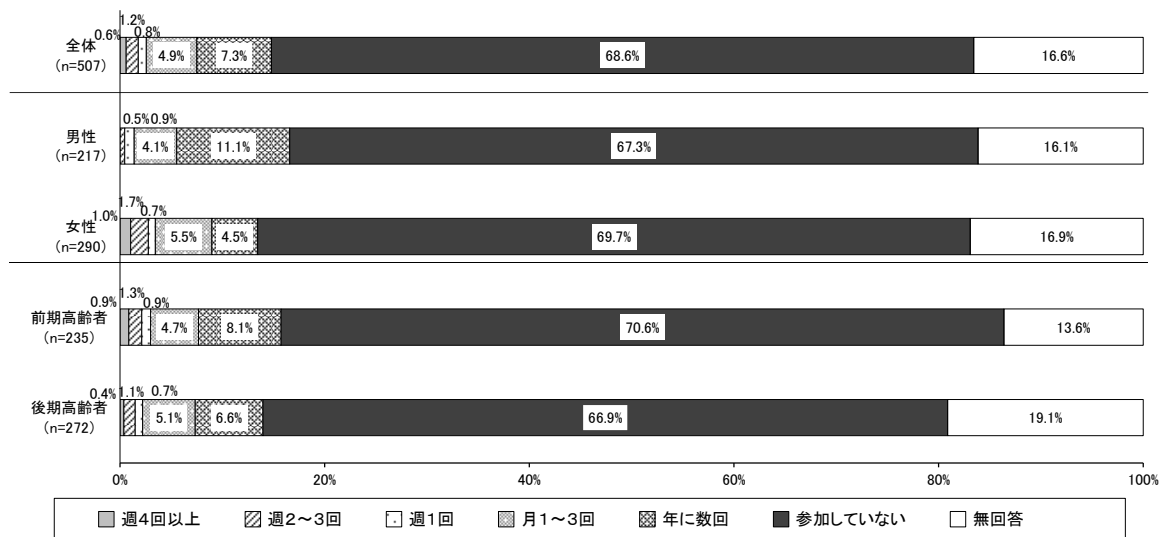
(1)以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

①ボランティアのグループ

全体では、「参加していない」の割合が約7割となっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女とも約7割となっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」とも約7割となっている。

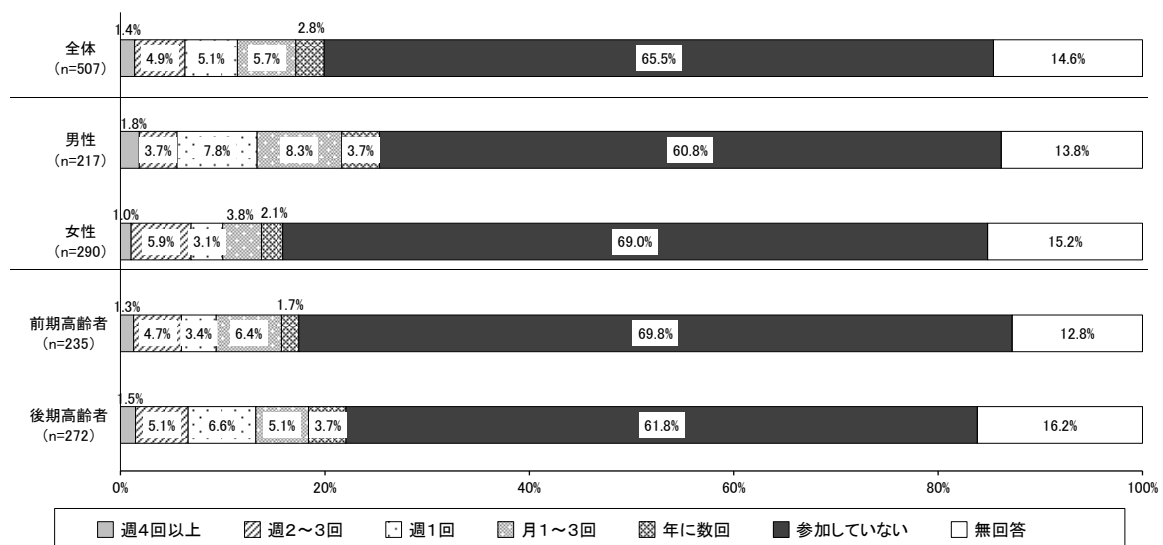


②スポーツ関係のグループやクラブ

全体では、「参加していない」の割合が約7割となっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「参加していない」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

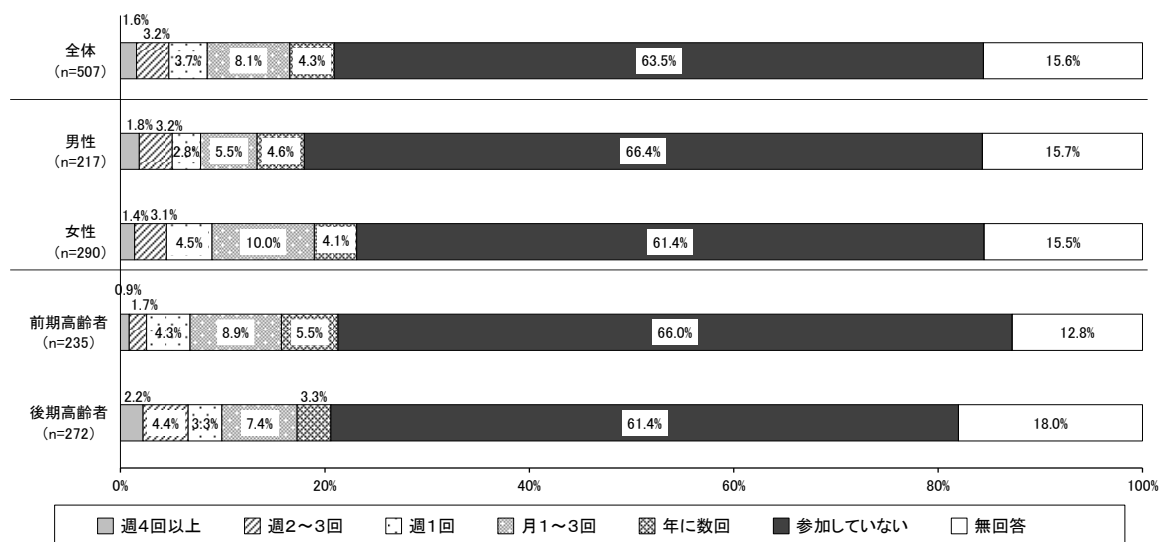


③趣味関係のグループ

全体では、「参加していない」の割合が約6割となっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

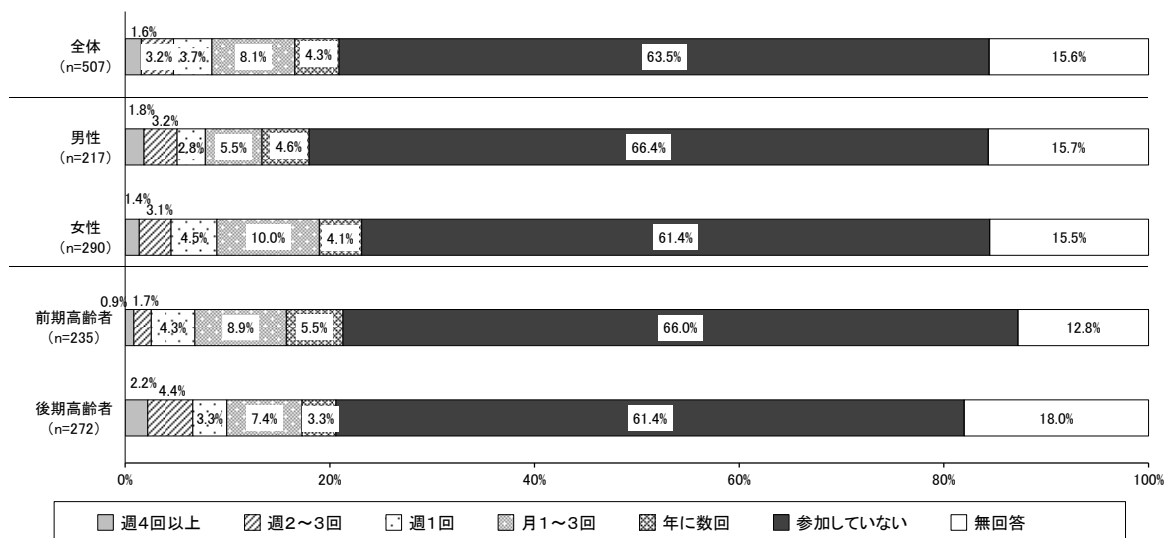


④学習・教養サークル

全体では、「参加していない」の割合が約6割となっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

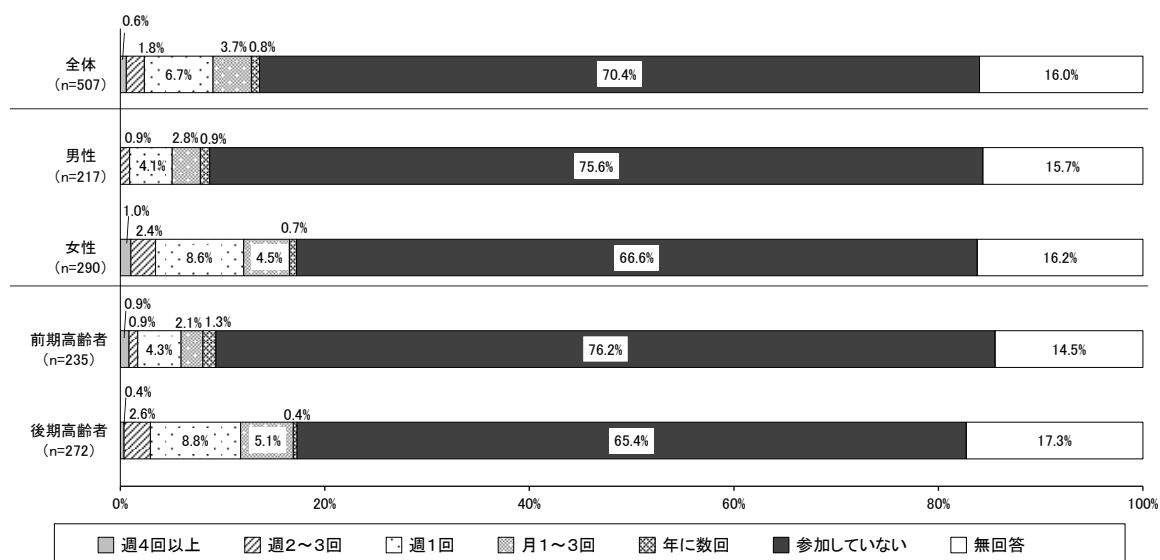


⑤介護予防のための通いの場(ころばん体操, はつらつ教室, 悠々長生き教室, ゆらおう会, ねっせんきゃきばろう会など)

全体では、「参加していない」の割合が約7割となっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

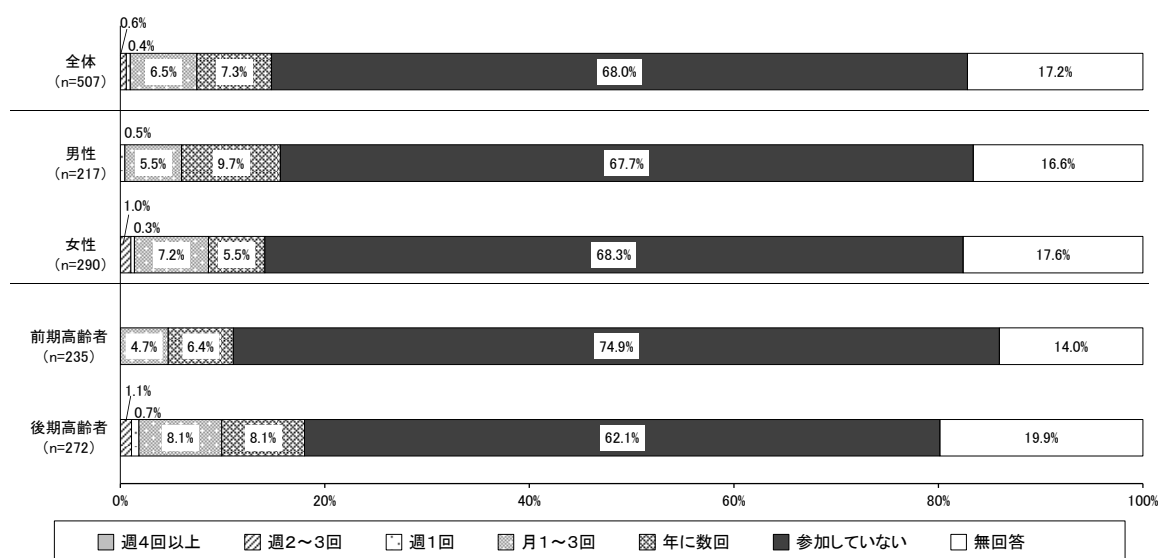


⑥老人クラブ

全体では、「参加していない」の割合が約7割となっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

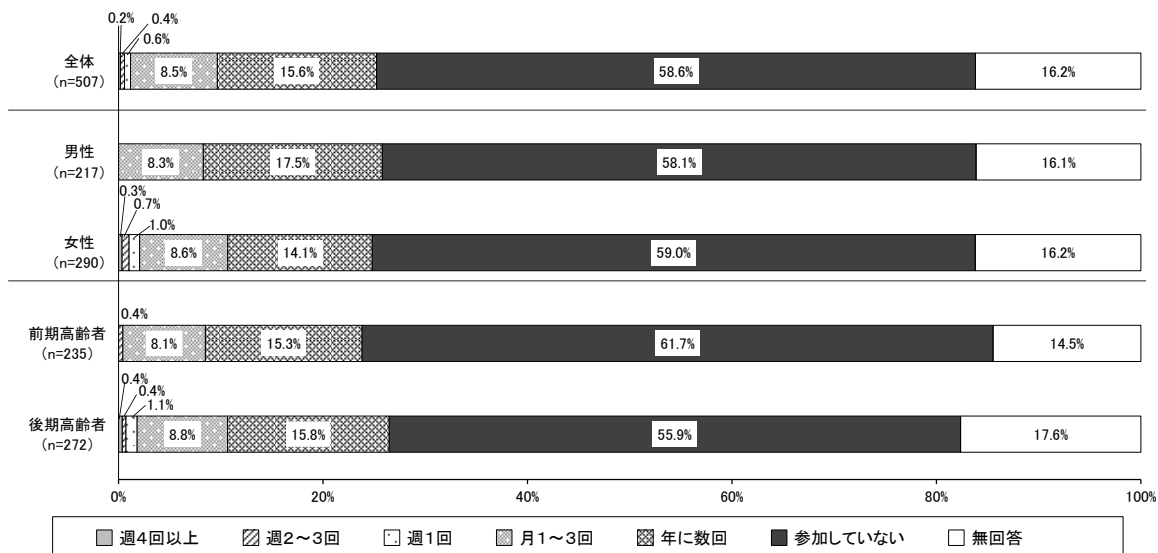


⑦町内会・自治会

全体では、「参加していない」の割合が約6割となっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

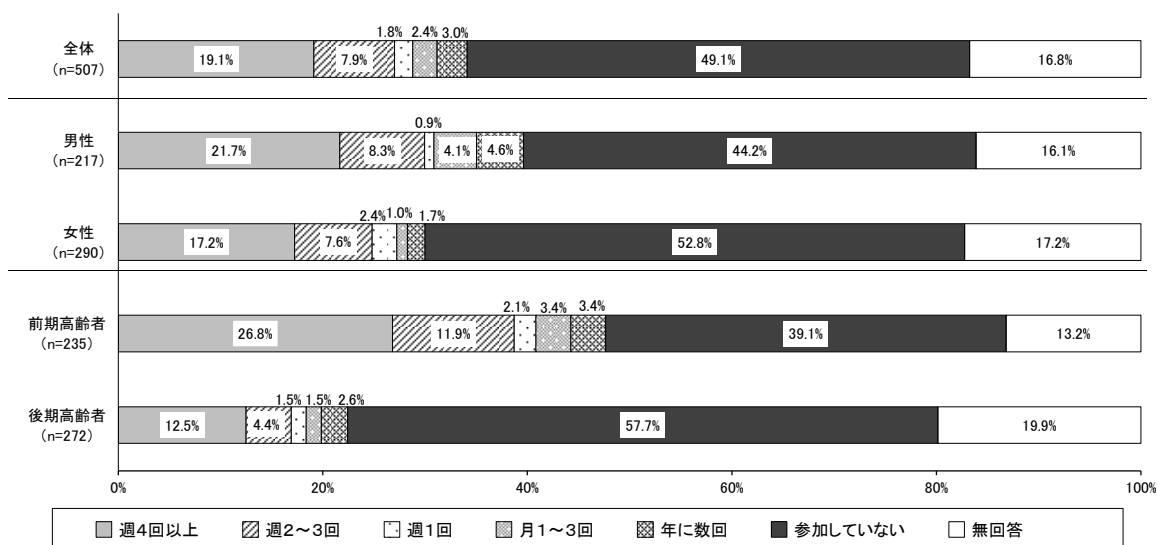


⑧収入のある仕事

全体では、「参加していない」の割合が約5割となっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「参加していない」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

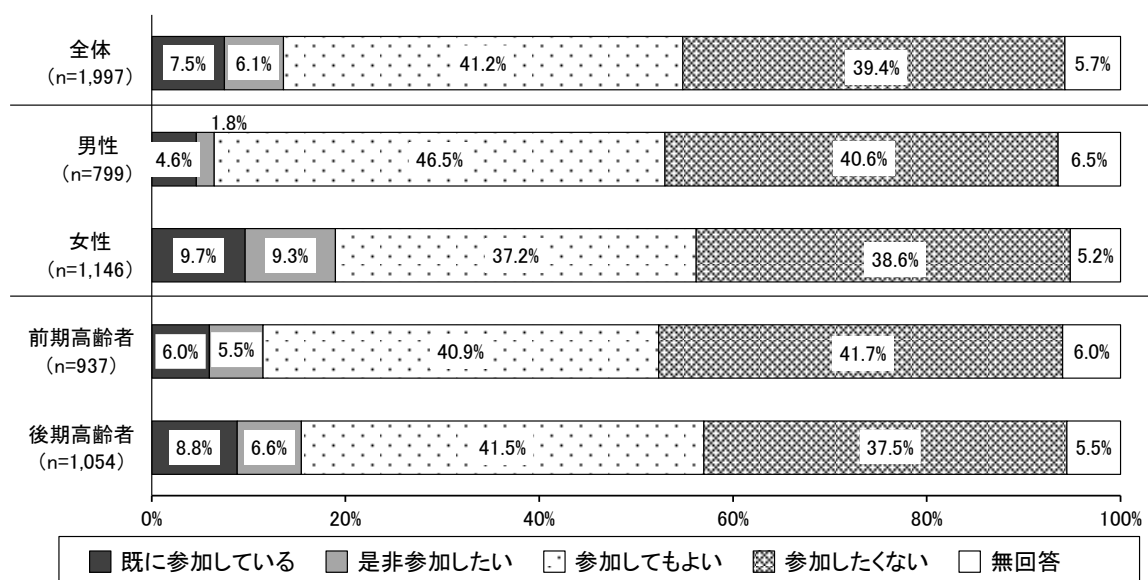


(2)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

全体では、『参加意向がある』(「既に参加している」と「是非参加したい」と「参加してもよい」の計:以下同じ)の割合が54.8%となっている。「参加したくない」は39.4%となっている。

性別でみると、『参加意向がある』の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、『参加意向がある』の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」をやや上回っている。

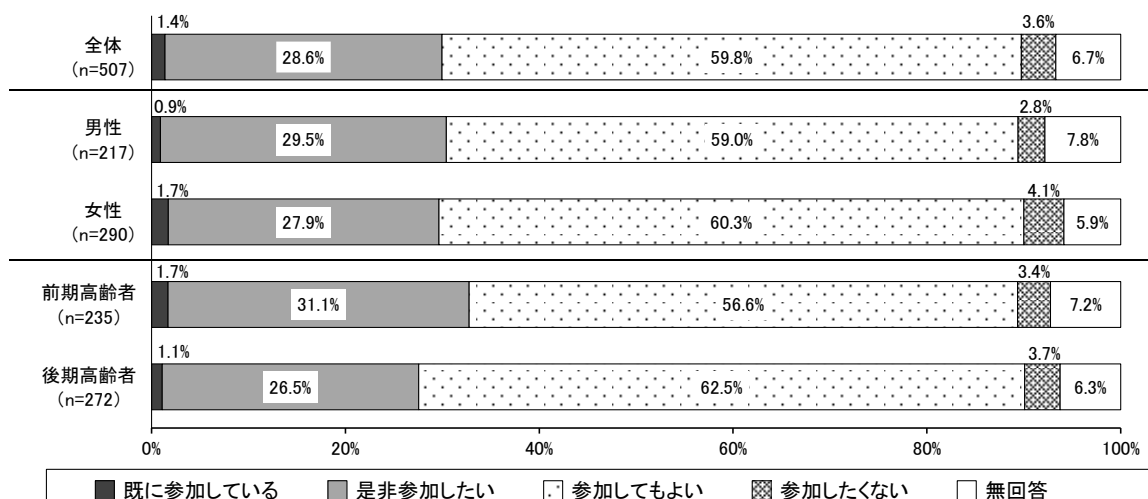


(3)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

全体では、『参加意向がある』の割合が89.8%でほとんどとなっている。

性別でみると、『参加意向がある』の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、『参加意向がある』の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。



7. 就労について(問6)

(1)現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)

全体では、「引退した」の割合が40.6%で最も高くなっている。次が「非常勤(パート・アルバイト)」(18.7%)となっている。

性別でみると、「引退した」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「引退した」の割合は前期高齢者、後期高齢者ともほぼ同じとなっている。

	引退した	非常勤 (パート・アルバイト)	自営業	その他	常勤 (フルタイム)	職に就いたことがない	求職中
全体 (n=507)	40.6%	18.7%	14.2%	11.4%	9.1%	5.1%	0.2%
男性 (n=217)	41.9%	16.1%	17.5%	10.6%	10.6%	2.8%	0.0%
女性 (n=290)	39.7%	20.7%	11.7%	12.1%	7.9%	6.9%	0.3%
前期高齢者 (n=235)	33.2%	26.8%	18.3%	10.6%	10.6%	0.9%	0.4%
後期高齢者 (n=272)	47.1%	11.8%	10.7%	12.1%	7.7%	8.8%	0.0%

8. たすけあいについて(問7)

(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

全体では、「友人」の割合(49.5%)が最も高く、次が「配偶者」(47.1%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは「男性」は「配偶者」、「女性」は「友人」となっている。

年代別では、上位の項目は「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じとなっている。

	友人	配偶者	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
全体 (n=507)	49.5%	47.1%	37.9%	32.1%	16.2%	9.7%	2.0%	4.5%
男性 (n=217)	38.7%	59.4%	27.6%	25.8%	9.7%	4.6%	2.3%	7.4%
女性 (n=290)	57.6%	37.9%	45.5%	36.9%	21.0%	13.4%	1.7%	2.4%
前期高齢者 (n=235)	53.6%	51.1%	37.9%	27.2%	14.0%	8.5%	1.7%	4.7%
後期高齢者 (n=272)	46.0%	43.8%	37.9%	36.4%	18.0%	10.7%	2.2%	4.4%

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

全体では、「友人」の割合(48.9%)が最も高く、次が「配偶者」(47.1%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは「男性」は「配偶者」、「女性」は「友人」となっている。

年代別では、上位の項目は「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じとなっている。

	友人	配偶者	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
全体 (n=507)	48.9%	47.1%	40.4%	31.0%	13.8%	13.0%	1.0%	7.5%
男性 (n=217)	38.7%	57.6%	30.4%	26.3%	8.8%	7.4%	1.8%	9.7%
女性 (n=290)	56.6%	39.3%	47.9%	34.5%	17.6%	17.2%	0.3%	5.9%
前期高齢者 (n=235)	51.5%	51.1%	44.7%	28.1%	12.3%	12.3%	0.4%	6.4%
後期高齢者 (n=272)	46.7%	43.8%	36.8%	33.5%	15.1%	13.6%	1.5%	8.5%

(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

全体では、「配偶者」の割合(51.9%)が最も高く、次が「別居の子ども」(28.0%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「配偶者」となっている。

年代別では、上位の項目は「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じとなっている。

	配偶者	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない
全体 (n=507)	51.9%	28.0%	24.1%	18.1%	8.9%	2.4%	2.4%	8.5%
男性 (n=217)	63.1%	22.6%	20.7%	9.7%	6.0%	0.9%	2.3%	8.8%
女性 (n=290)	43.4%	32.1%	26.6%	24.5%	11.0%	3.4%	2.4%	8.3%
前期高齢者 (n=235)	57.0%	23.0%	23.8%	15.3%	9.4%	2.1%	2.1%	8.9%
後期高齢者 (n=272)	47.4%	32.4%	24.3%	20.6%	8.5%	2.6%	2.6%	8.1%

(4)反対に、看病や世話をしあける人(いくつでも)

全体では、「配偶者」の割合(51.9%)が最も高く、次が「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.2%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「配偶者」となっている。

年代別では、上位の項目は「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じとなっている。

	配偶者	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない
全体 (n=507)	51.9%	30.2%	18.5%	16.2%	10.3%	2.8%	1.6%	14.6%
男性 (n=217)	59.4%	26.7%	15.7%	8.3%	8.3%	0.9%	2.3%	12.9%
女性 (n=290)	46.2%	32.8%	20.7%	22.1%	11.7%	4.1%	1.0%	15.9%
前期高齢者 (n=235)	57.9%	34.9%	17.0%	17.4%	12.8%	3.0%	1.7%	10.6%
後期高齢者 (n=272)	46.7%	26.1%	19.9%	15.1%	8.1%	2.6%	1.5%	18.0%

(5)家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)

全体では、「そのような人はいない」の割合が37.3%で最も高くなっている。相談相手では、「医師・歯科医師・看護師」が約3割となっている。

性別でみると、男女とも全体とほぼ同じ結果となっている。

年代別では、「前期高齢者」では「そのような人はいない」の割合が最も高くなっている。「後期高齢者」は「そのような人はいない」と「医師・歯科医師・看護師」が同率になっている。

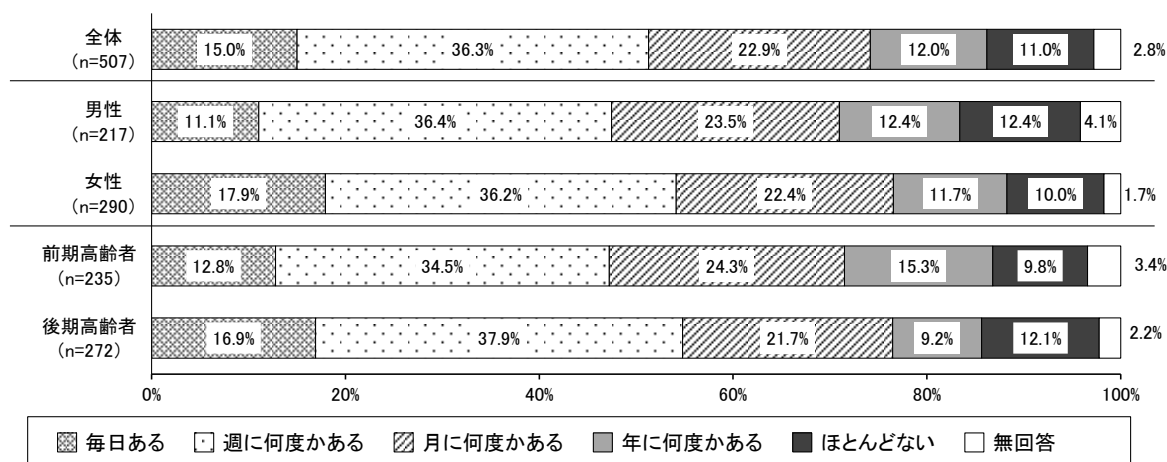
	医師・ 歯科医師・ 看護師	地域 包括支援 センター・ 役所・ 役場	その他	社会 福祉協 議会・ 民生 委員	自治 会・ 町内 会・ 老人 クラブ	ケ ア マ ネ ジ ャー	そ の よ う な 人 は い な い
全体 (n=507)	25.2%	14.6%	13.8%	7.3%	6.1%	4.1%	37.3%
男性 (n=217)	22.6%	11.5%	14.7%	4.6%	6.9%	3.7%	35.5%
女性 (n=290)	27.2%	16.9%	13.1%	9.3%	5.5%	4.5%	38.6%
前期高齢者 (n=235)	19.1%	13.2%	13.2%	5.5%	6.0%	4.7%	45.1%
後期高齢者 (n=272)	30.5%	15.8%	14.3%	8.8%	6.3%	3.7%	30.5%

(6)友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

全体では、「週に何度かある」の割合(36.3%)が最も高くなっている。

性別では、「週に何度かある」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「週に何度かある」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

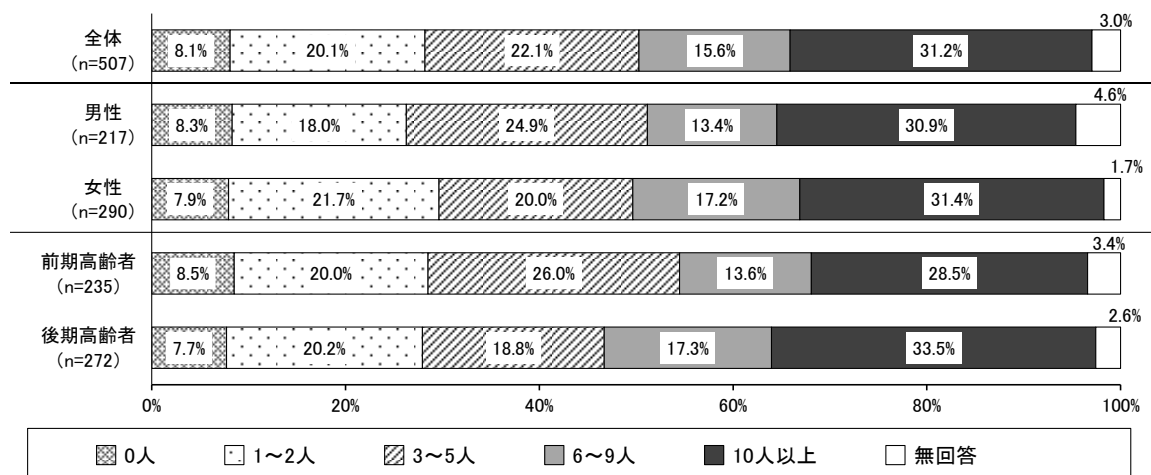


(7)この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

全体では、「10人以上」の割合(31.2%)が最も高くなっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「10人以上」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「10人以上」となっている。



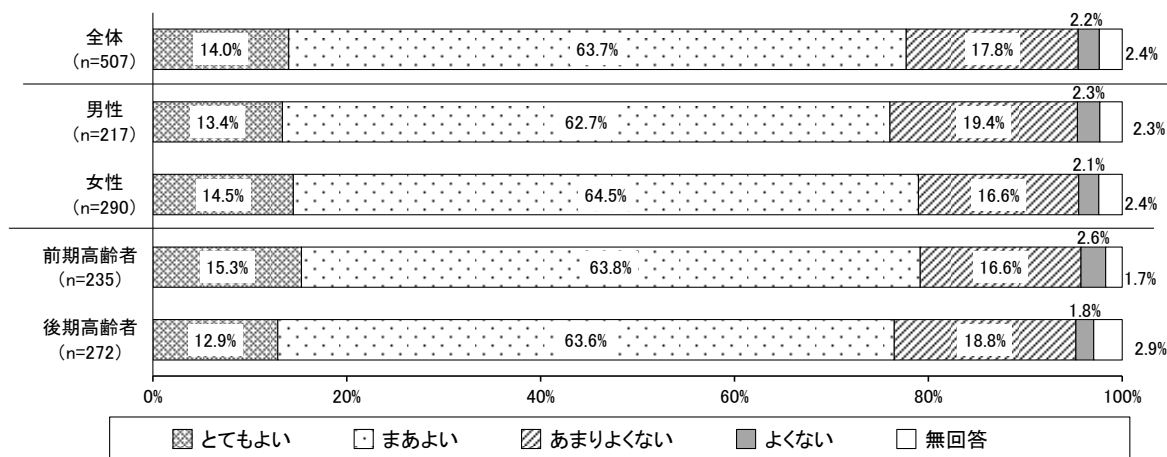
9. 健康について(問8)

(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか

全体では、『よい』(「とてもよい」と「まあよい」の計)の割合は77.7%となっている。

性別でみると、『よい』の割合は「女性」が「男性」をやや上回っている。

年代別では、『よい』の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。



(2)あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

全体では、「5点」の割合(22.1%)が最も高く、次が「8点」(19.5%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは「男性」は「5点」、「女性」は「10点」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」は「5点」、「後期高齢者」は「8点」となっている。

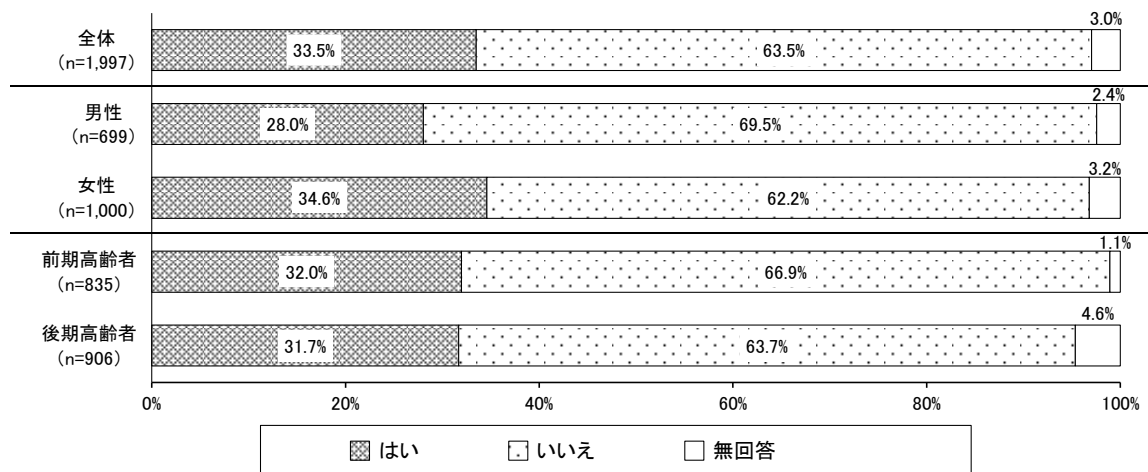
	10点 (とても 幸せ)	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点 (とても 不幸)	無 回 答
全体 (n=507)	18.9%	9.1%	19.5%	13.6%	7.1%	22.1%	3.0%	1.8%	1.0%	0.6%	0.2%	3.2%
男性 (n=217)	14.3%	7.4%	18.9%	14.7%	7.4%	25.3%	3.7%	3.2%	0.0%	0.9%	0.5%	3.7%
女性 (n=290)	22.4%	10.3%	20.0%	12.8%	6.9%	19.7%	2.4%	0.7%	1.7%	0.3%	0.0%	2.8%
前期高齢者 (n=235)	16.6%	8.5%	16.6%	17.4%	8.1%	22.6%	4.3%	1.3%	1.3%	0.9%	0.4%	2.1%
後期高齢者 (n=272)	21.0%	9.6%	22.1%	10.3%	6.3%	21.7%	1.8%	2.2%	0.7%	0.4%	0.0%	4.0%

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

全体では、「はい」の割合は33.5%となっている。

性別では、「はい」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

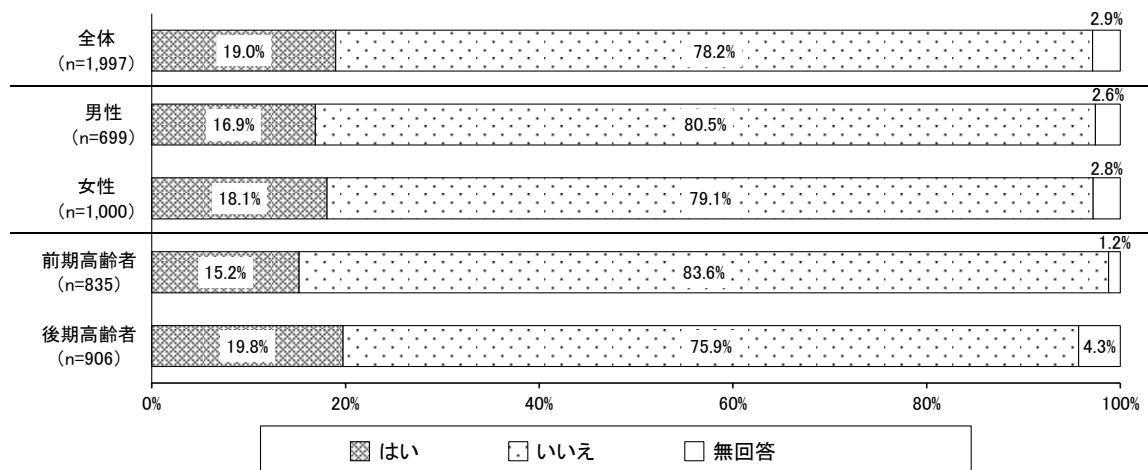


(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

全体では、「はい」の割合は19.0%となっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」をやや上回っている。

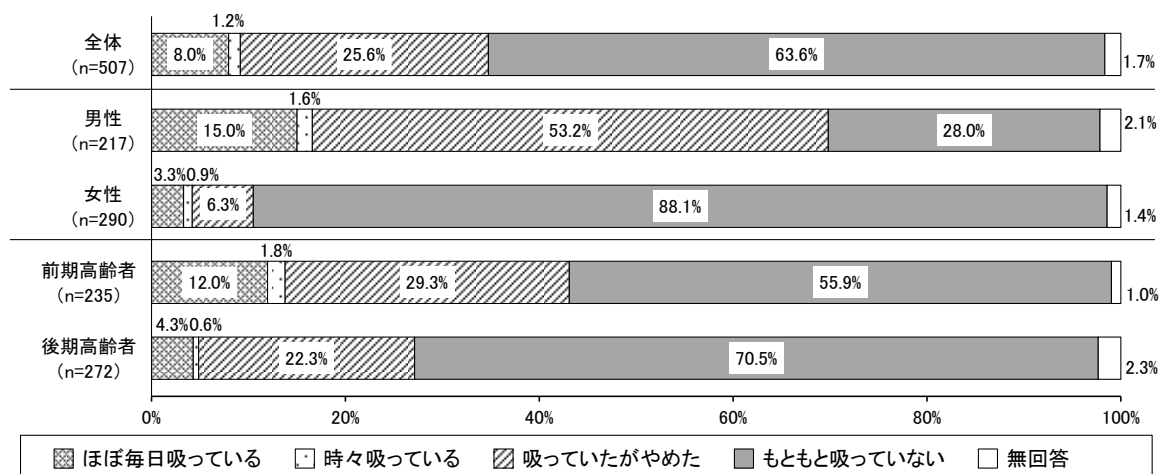


(5)タバコは吸っていますか

全体では、「ほぼ毎日吸っている」の割合は8.0%となっている。

性別では、「ほぼ毎日吸っている」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「ほぼ毎日吸っている」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。



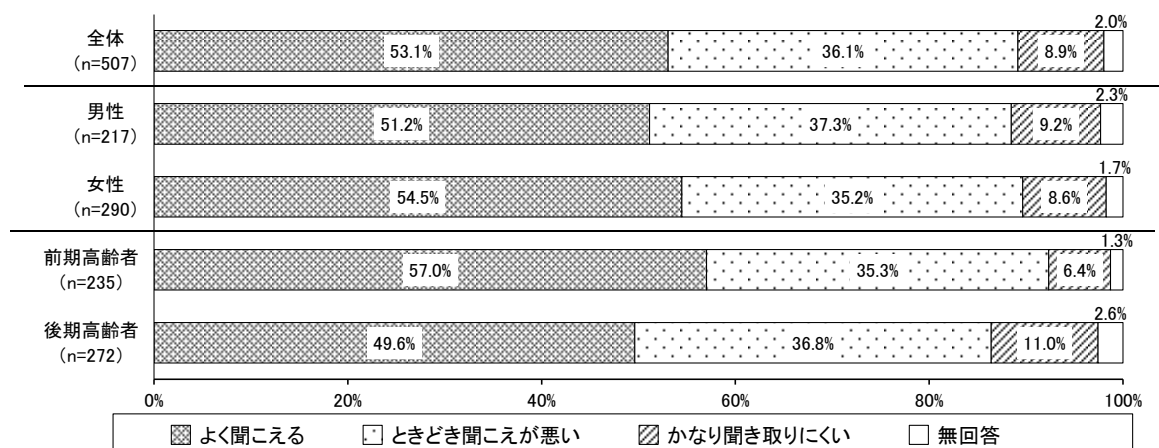
(6)耳の聞こえ(会話やテレビ視聴など)の現在の状態について、あてはまる番号に

1つだけ○を付けてください

全体では、「よく聞こえる」の割合は53.1%となっている。

性別では、「よく聞こえる」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「よく聞こえる」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

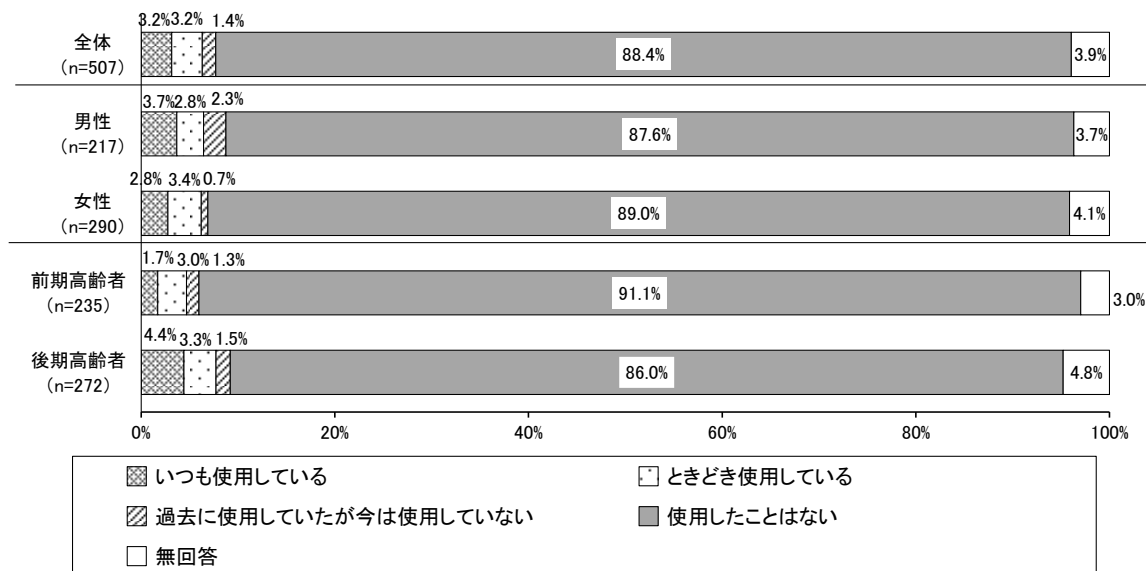


(7)補聴器を使用していますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください

全体では、「使用したことはない」の割合(88.4%)がほとんどとなっている。

性別では、「使用したことはない」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「使用したことはない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。



(8)(使用していない方へ)補聴器を使用しない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「必要性を感じない」の割合(79.6%)がほとんどとなっている。

性別では、男女とも全体とほぼ同じとなっている。

年代別では、「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じとなっている。

	必要性を感じない	費用が高い	その他	調政や手入れが面倒	効果を感じなかった	周囲の目が気になる	付け心地が悪い
全体 (n=455)	79.6%	4.6%	3.3%	1.3%	1.1%	1.1%	1.1%
男性 (n=195)	83.1%	2.6%	2.6%	0.5%	0.5%	1.0%	1.0%
女性 (n=260)	76.9%	6.2%	3.8%	1.9%	1.5%	1.2%	1.2%
前期高齢者 (n=217)	81.6%	4.1%	2.3%	0.5%	0.0%	0.9%	0.5%
後期高齢者 (n=238)	77.7%	5.0%	4.2%	2.1%	2.1%	1.3%	1.7%

(9)現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

全体では、「高血圧」の割合(49.9%)が最も高くなっている。

性別では、男女とも全体とほぼ同じ結果となっている。

年代別では、「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じとなっている。

	高血圧	糖尿病	目の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	高脂血症(脂質異常)	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	耳の病気	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	がん(悪性新生物)	外傷(転倒・骨折等)	血液・免疫の病気	認知症(アルツハイマー病等)	うつ病	パーキンソン病	その他	ない
全体 (n=507)	49.9%	13.6%	10.3%	9.9%	8.5%	8.1%	5.9%	4.1%	3.4%	3.4%	3.2%	2.4%	2.2%	1.6%	0.6%	0.4%	0.0%	9.3%	21.1%
男性 (n=217)	50.7%	16.1%	11.5%	6.9%	6.5%	10.1%	9.7%	2.8%	3.7%	4.1%	4.1%	2.8%	1.8%	2.3%	0.5%	0.9%	0.0%	6.9%	19.8%
女性 (n=290)	49.3%	11.7%	9.3%	12.1%	10.0%	6.6%	3.1%	5.2%	3.1%	2.8%	2.4%	2.1%	2.4%	1.0%	0.7%	0.0%	0.0%	11.0%	22.1%
前期高齢者 (n=235)	46.4%	11.5%	6.8%	6.0%	8.5%	5.1%	3.4%	2.6%	3.0%	2.6%	3.8%	1.7%	1.3%	0.4%	0.9%	0.0%	0.0%	9.4%	28.5%
後期高齢者 (n=272)	52.9%	15.4%	13.2%	13.2%	8.5%	10.7%	8.1%	5.5%	3.7%	4.0%	2.6%	2.9%	2.9%	2.6%	0.4%	0.7%	0.0%	9.2%	14.7%

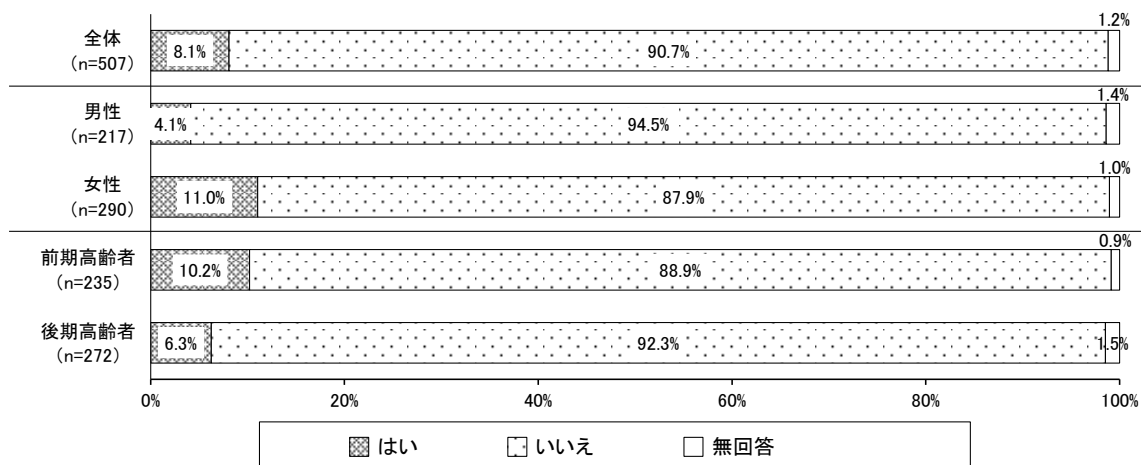
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について(問9)

(1) 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状のある人がいますか

全体では、「はい」の割合が約1割となっている。

性別でみると、「はい」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」をやや上回っている。

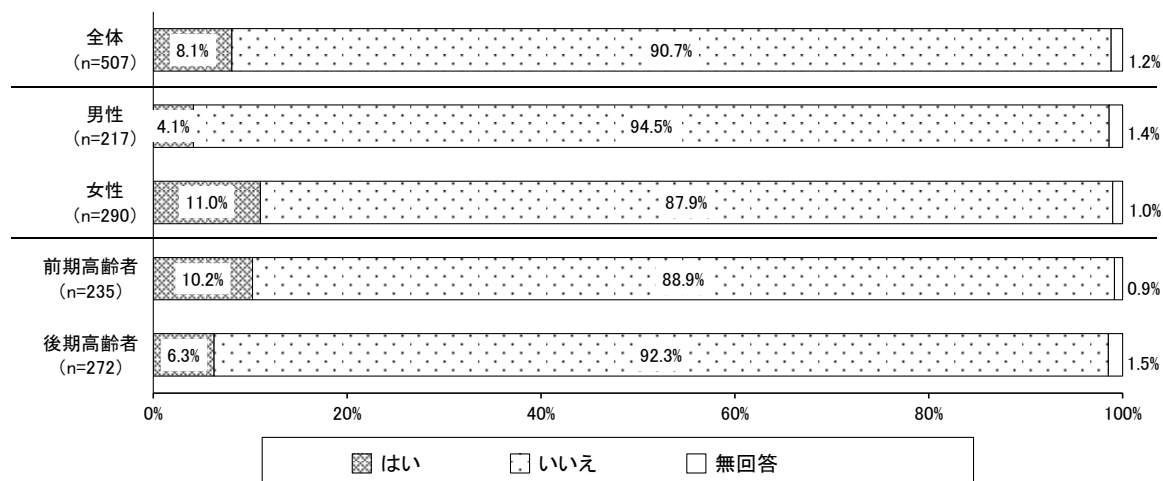


(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

全体では、「いいえ」の割合が約9割となっている。

性別でみると、「いいえ」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「いいえ」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」をやや上回っている。

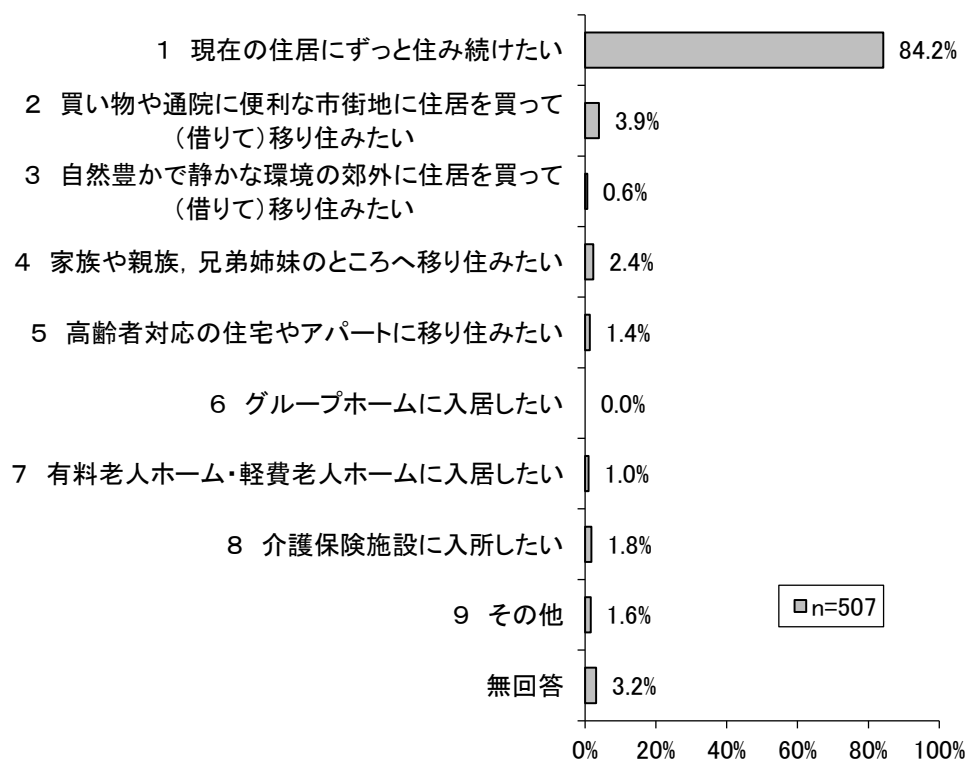


<高齢者等実態調査>

問1 今後、あなたが希望する生活場所についてお尋ねします。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

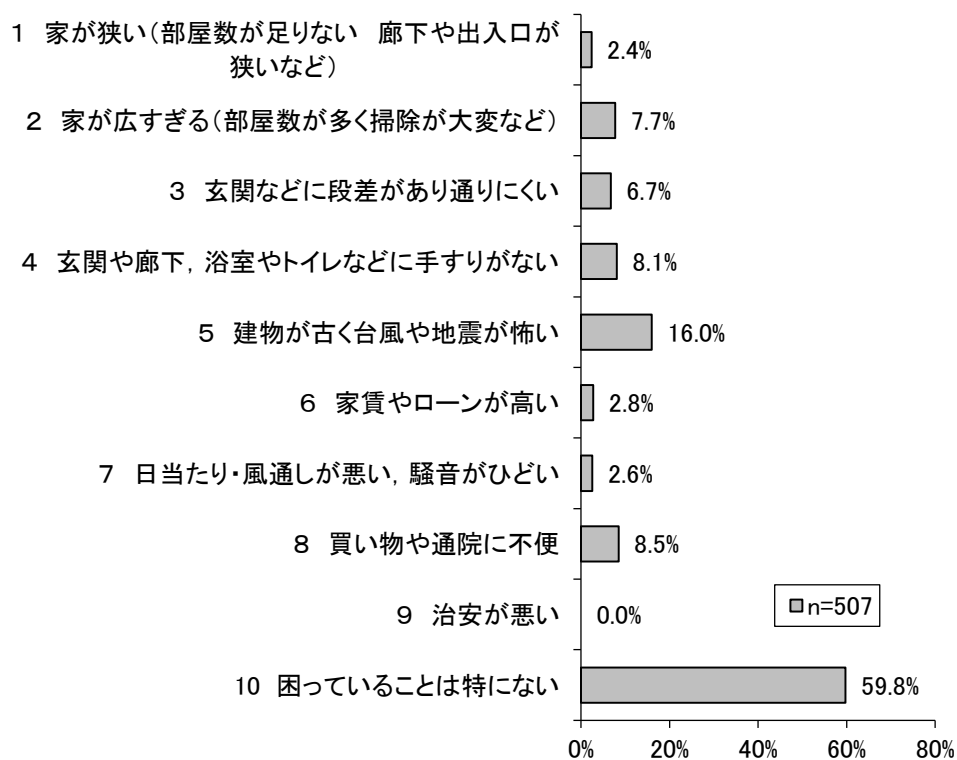
「現在の住居に住み続けたい」の割合(84.2%)が他を大きく上回っている。



問2 現在のお住まいや周囲の環境のことで困っていることがありますか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「困っていることは特にない」の割合(59.8%)が他を大きく上回っている。また、困っていることで割合が最も高いのは、「建物が古く台風や地震が怖い」(16.0%)となっている。

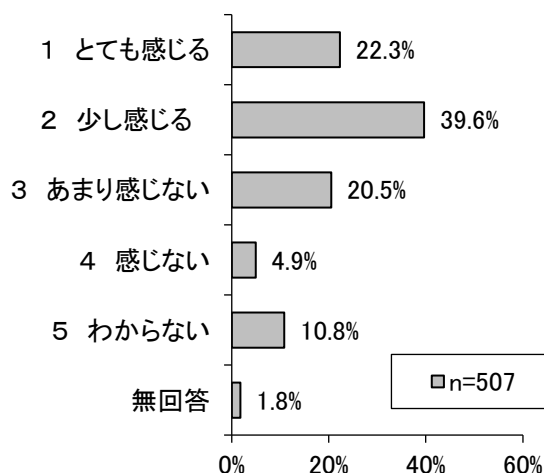


問3 あなたのお住まいの地域には、地域のつながりがあると感じますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

『感じる』(「とても感じる」と「少し感じる」の計)の割合が61.9%となっている。

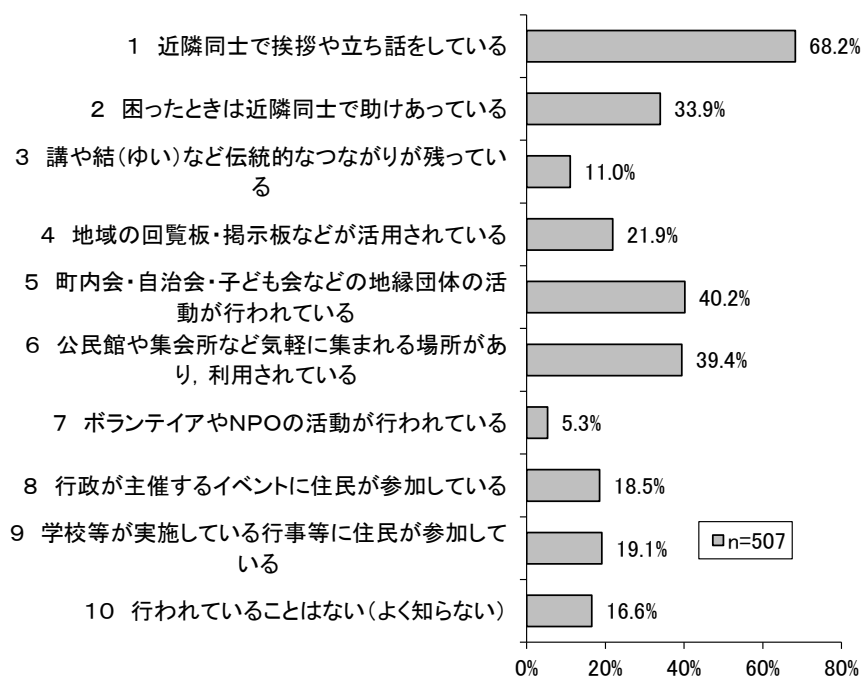
一方、『感じない』(「あまり感じない」と「感じない」の計)は25.4%となっている。



問4 この中に、あなたのお住まいの地域で行われていることがありますか。

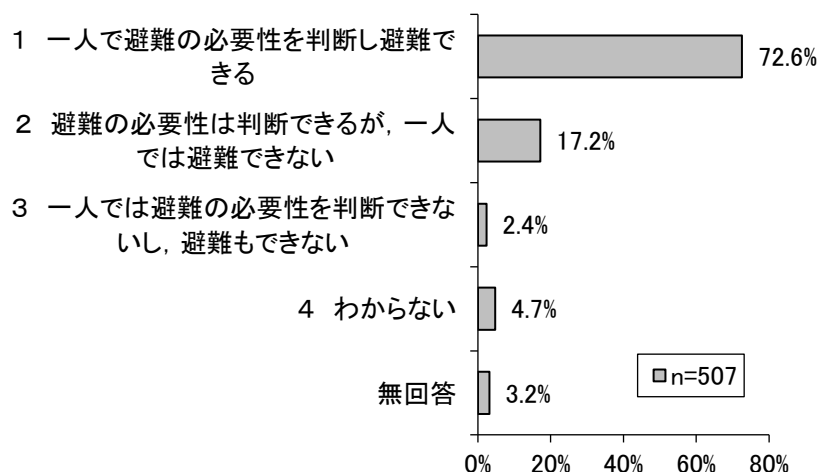
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

上位3項目では、「近隣同士で挨拶や立ち話をしている」の割合(68.2%)が最も高く、次いで「町内会・自治会・子ども会などの地縁団体の活動が行われている」(40.2%)、「公民館や集会所など気軽に集まれる場所があり、利用されている」(39.4%)となっている。



問5 あなたは、災害時(台風や地震等)に、一人で避難の必要性を判断し、避難場所まで避難することができますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

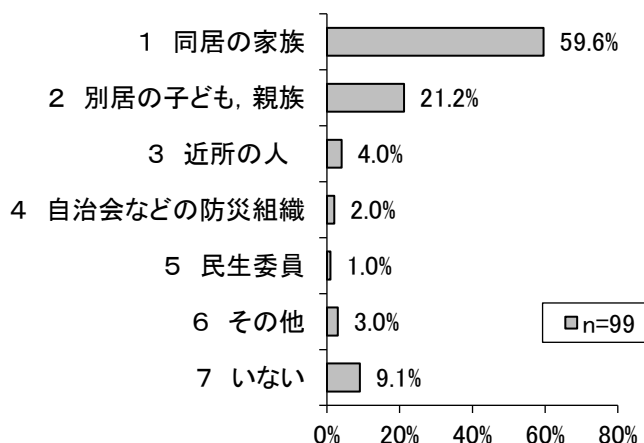
「一人で避難の必要性を判断し避難できる」の割合が72.6%と最も高く、他を大きく上回っている。



問6 問5で「2 避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」又は「3 一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない」と答えた方にお尋ねします。

災害時に避難するとき、近くに手助けを頼める人がいますか。手助けを頼める人がいる場合にはそれは誰ですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「同居の家族」の割合が59.6%で最も高く、次が「別居の子ども・親族」(21.2%)となっている。

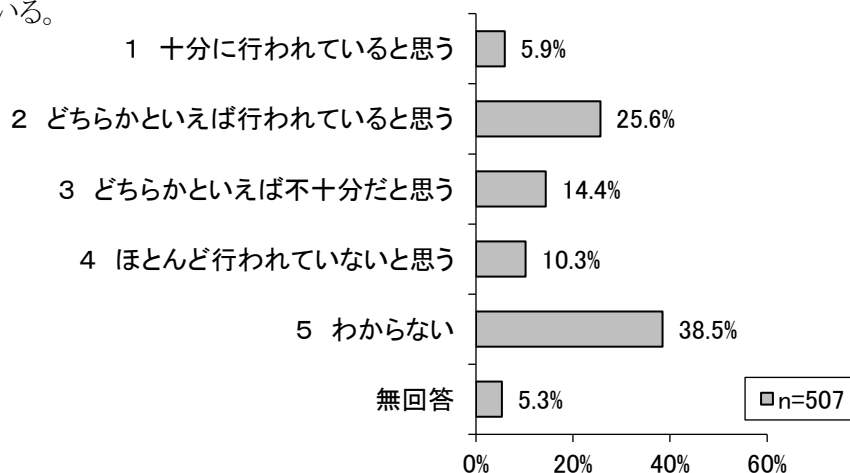


問7 あなたのお住まいの地域における、一人暮らしの高齢者や認知症の方など援護を要する世帯への安否確認や見守り活動の状況について、どのように感じますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

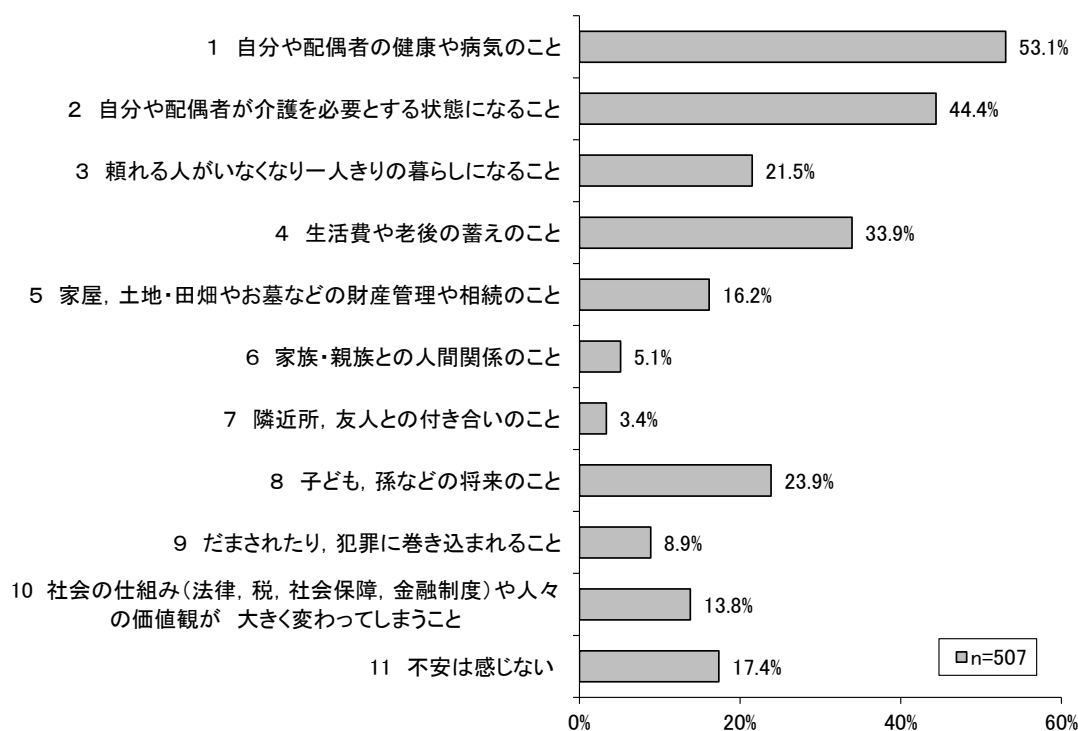
『行われていると思う』(「十分に行われていると思う」と「どちらかといえば行われていると思う」の計)は31.5%となっている。

一方、『不十分だと思う』(「どちらかといえば不十分だと思う」と「ほとんど行われていないと思う」の計)は24.7%となっている。



問8 あなたは、将来の生活に不安を感じますか。不安を感じる場合に不安を感じることはどのようなことですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

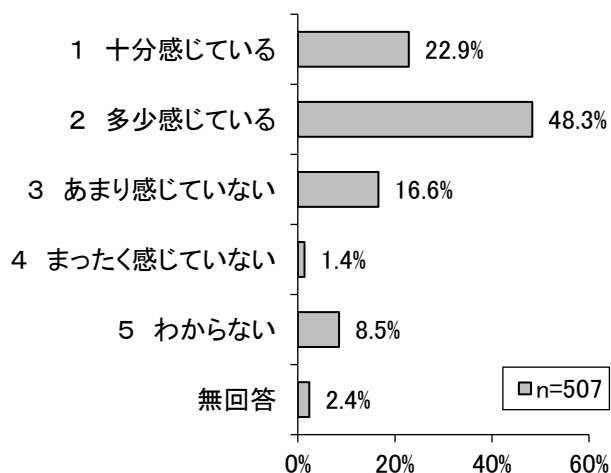
上位の3項目は、「自分や配偶者の健康や病気のこと」の割合(53.1%)で最も高く、次いで「自分や配偶者が介護を必要とする状態になること」(44.4%)、「生活費や老後の蓄えのこと」(33.9%)となっている。



社会参加・生きがいについて

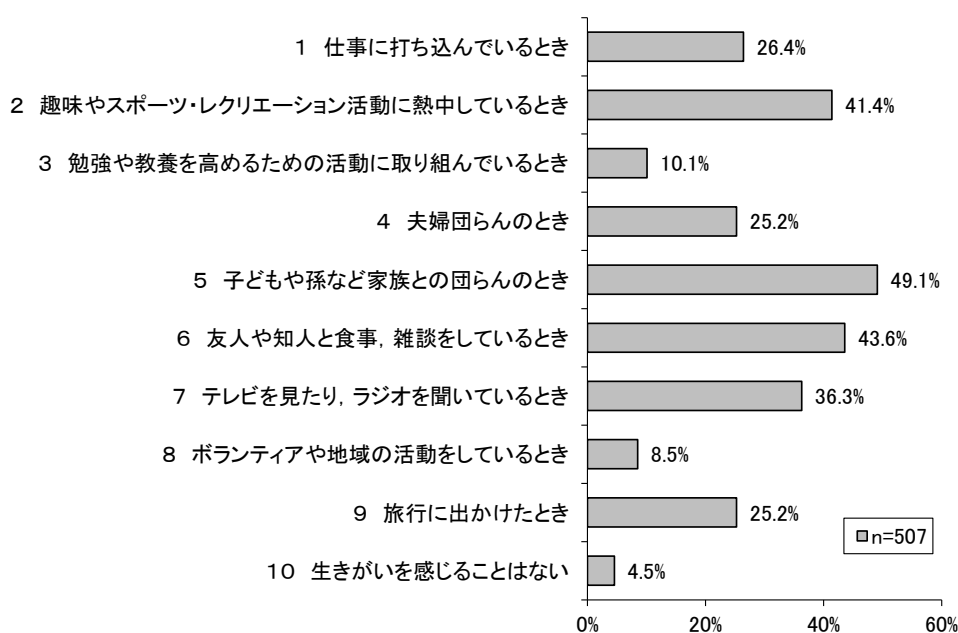
問9 あなたは生きがいをどの程度感じていますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

全体では、『感じている』（「十分感じている」と「多少感じている」の計）は71.2%となっている。一方、『感じていない』（「あまり感じていない」と「まったく感じていない」の計）は18.0%となっている。



問10 あなたが生きがいを感じるのはどんなときですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

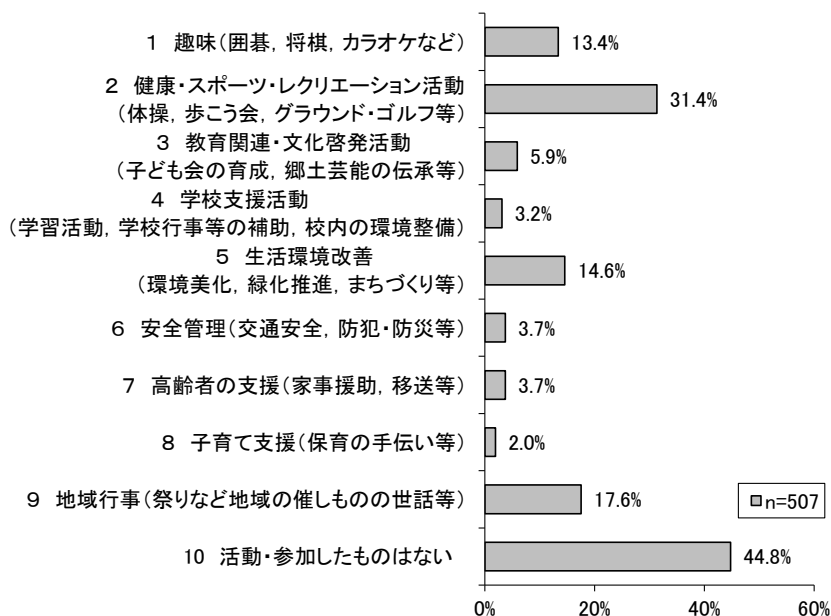
上位の3項目は、「子どもや孫など家族との団らんのとき」の割合（49.1%）が最も高く、次いで「友人や知人と食事・雑談をしているとき」（43.6%）、「趣味やスポーツ・レクリエーション活動に熱中しているとき」（41.4%）となっている。



問11 あなたは、この1年間に、個人又は友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている次のような社会活動を行った、又は参加したことがありますか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「活動・参加したものはない」の割合(44.8%)が最も高くなっている。活動内容で割合が最も高いのは、「健康・スポーツ・レクリエーション活動」(31.4%)となっている。

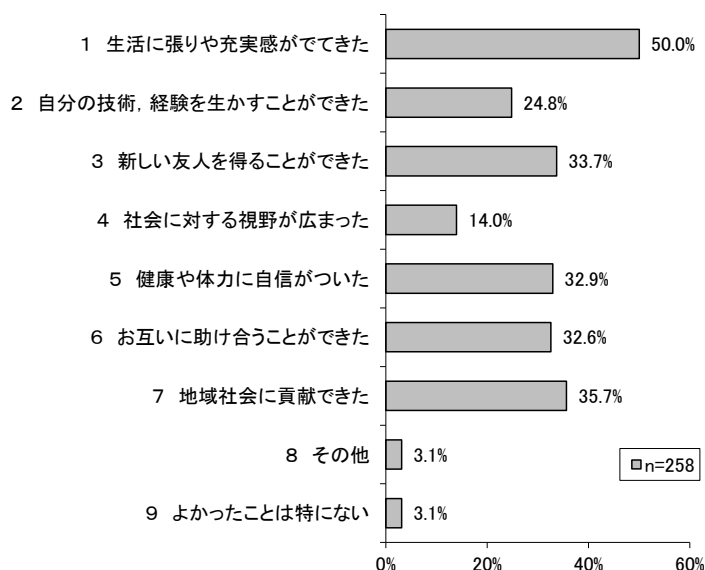


問12 問11で「1～9」のいずれかに○を付けた方にお尋ねします。

参加した社会活動全体を通じて、「参加してよかった」と思うのはどのようなことですか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

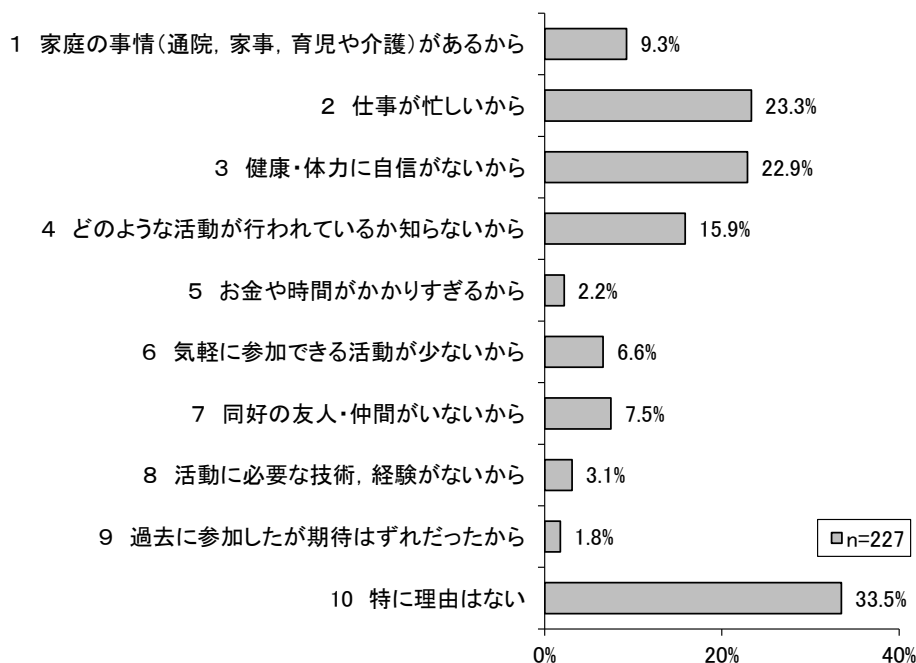
社会活動に参加したことがある人(258人)では、「生活に張りや充実感がでてきた」の割合(50.0%)が最も高くなっている。



問13 問11で「10 活動・参加したものは無い」と答えた方にお尋ねします。

その理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

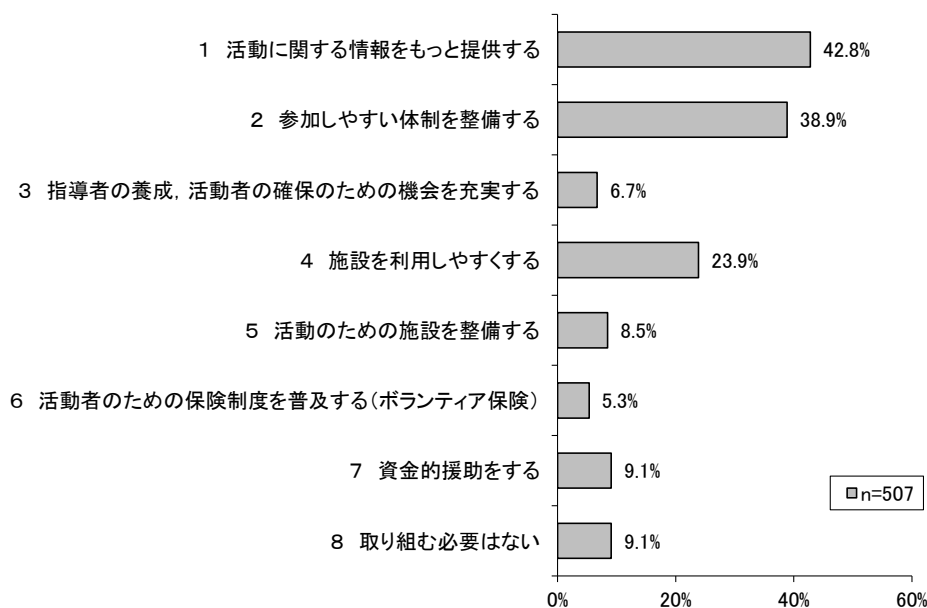
活動・参加したものは無い人(227人)では、「特に理由はない」の割合(33.5%)が最も高く、次いで「仕事が忙しいから」(23.3%)、「健康・体力に自信がないから」(22.9%)などが続いている。



問14 高齢者が地域のためのボランティア活動などに参加する上で、県や市町村はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。

あなたの考えにもっとも近いものに2つまで○を付けてください。

上位の3項目は、「活動に関する情報をもっと提供する」の割合(42.8%)が最も高く、次いで「参加しやすい体制を整備する」(38.9%)、「施設を利用しやすくする」(23.9%)となっている。

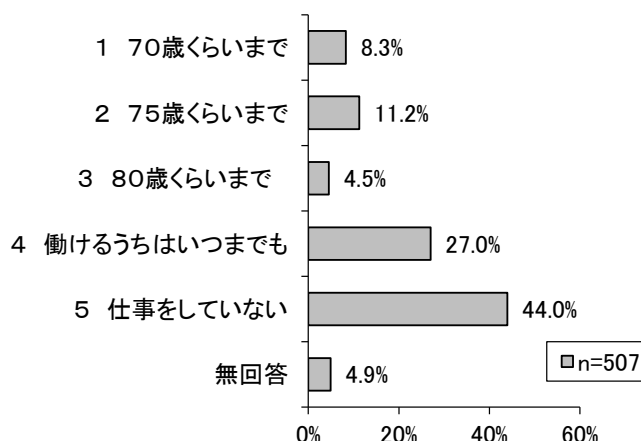


就労について

問15 あなたは、現在、収入を得られる仕事をしていますか。

仕事をしている場合には、一般論として、何歳ぐらいまで収入のある仕事をするのがよいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「仕事をしていない」の割合(44.0%)が最も高くなっている。次が「働けるうちはいつまでも」(27.0%)となっている。

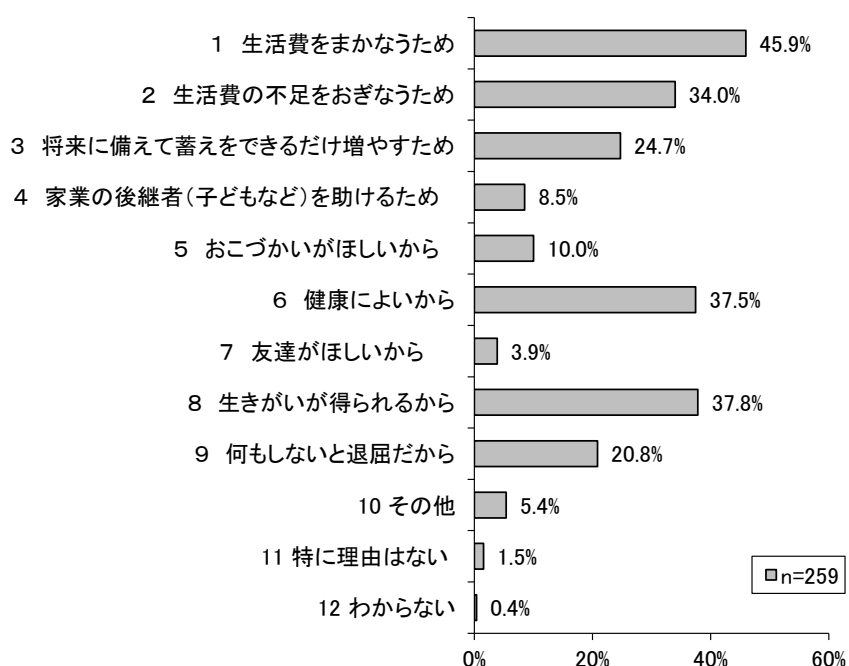


問16 問15で「1～4」に○を付けた方にお尋ねします。

あなたが、収入のある仕事をしている理由はなんでしょうか。

あてはまる番号に3つまで○を付けてください。

仕事をしている人(259人)では、上位の3項目は「生活費をまかなうため」の割合(45.9%)が最も高く、次いで「生きがいを得られるから」(37.8%)、「健康によいから」(37.5%)となっている。



介護保険について

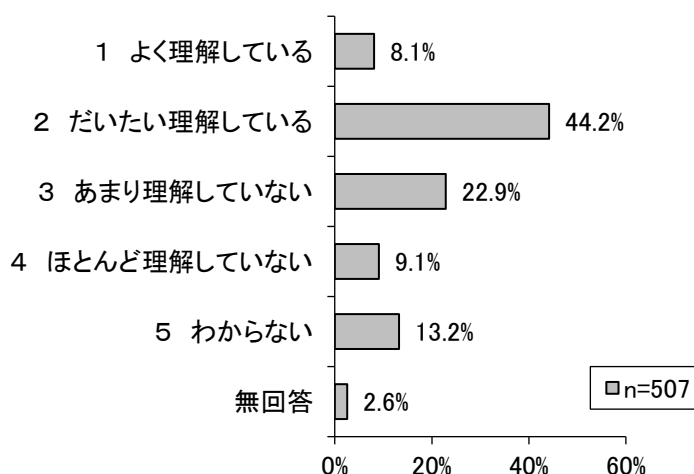
問17 介護保険料は、3年に1度見直すことになっており、お住まいの市町村全体でどの程度サービスが必要かによって決まります。

(サービスを利用する人の割合が増えたり、1人あたりの利用額が増えたりすると、保険料額は高くなる仕組みです。)

その上で、所得に応じて個々人の保険料額が決まります。

以上のことについてご存じでしたか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

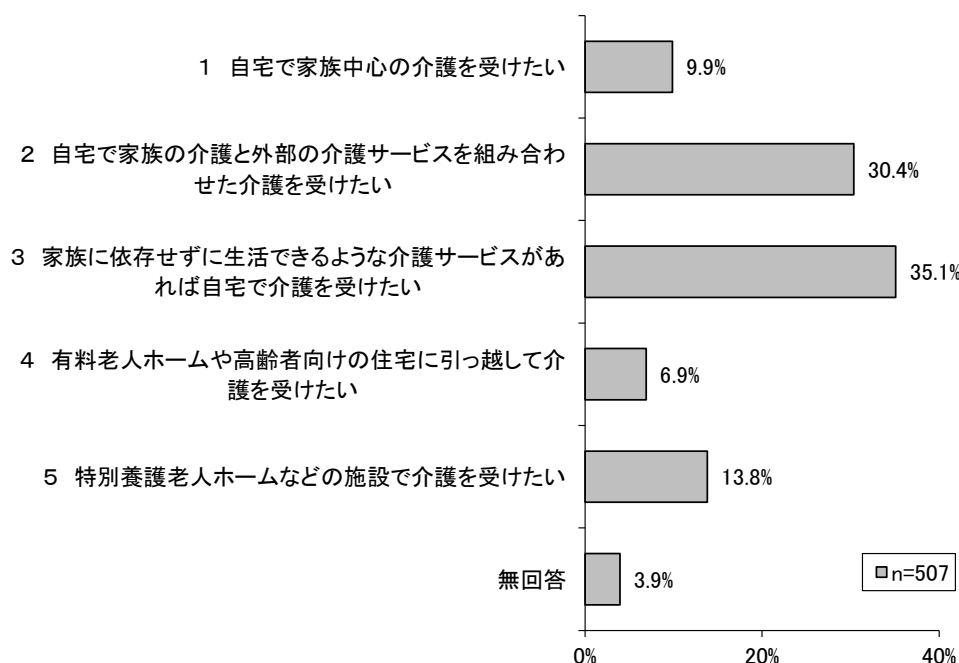
『よく理解している』(「よく理解している」と「だいたい理解している」の計)は52.3%となっている。一方、『理解していない』(「あまり理解していない」と「ほとんど理解していない」の計)は32.0%となっている。



問18 あなたが仮に介護を受けることになった場合、どのような介護を受けたいですか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

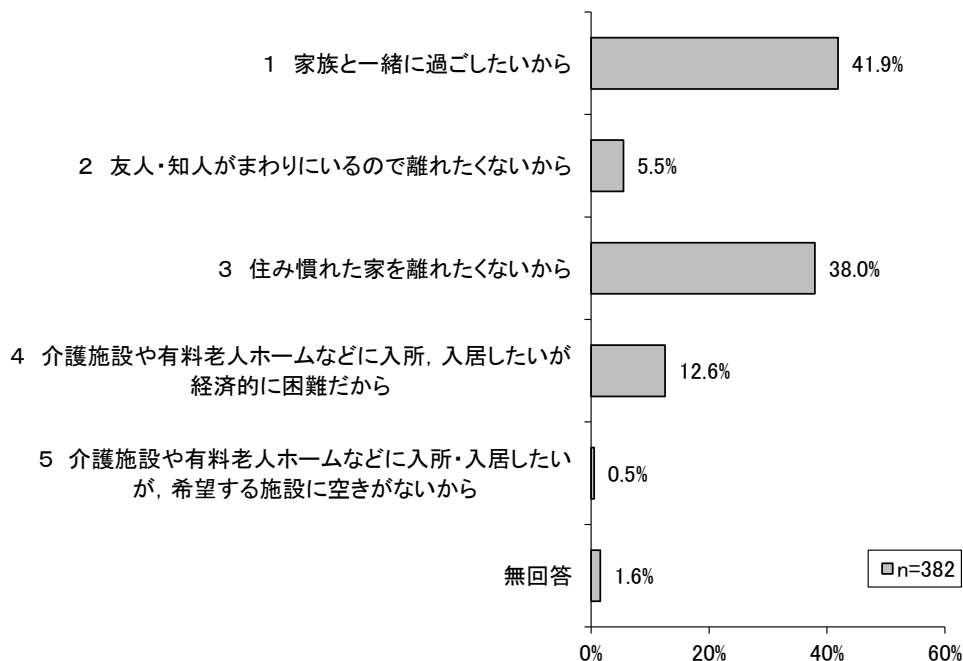
全体では、「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」の割合(35.1%)が最も高く、次いで「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせた介護を受けたい」(30.4%)、「特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい」(13.8%)などが続いている。



問19 問18で「1～3」に○を付けた方にお尋ねします

「在宅で介護を受けたい」と思う理由について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

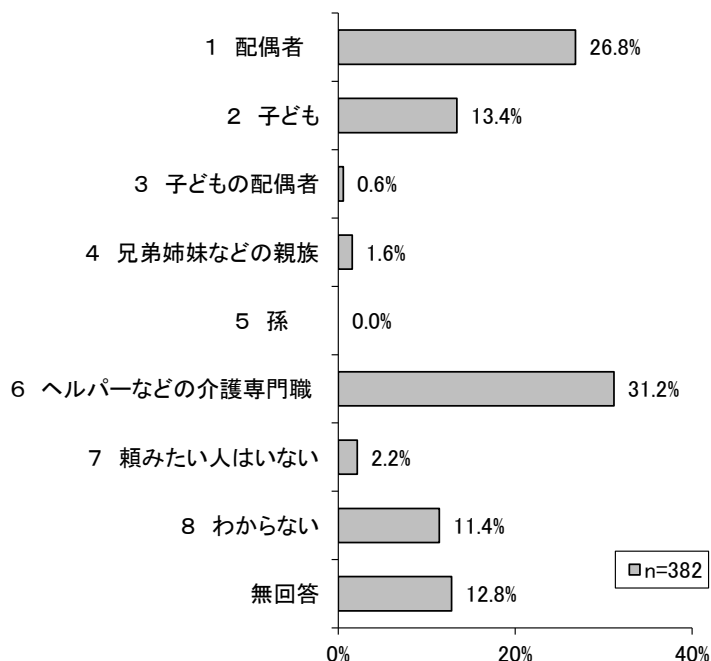
自宅で介護を受けたい人(382人)では、「家族と一緒に過ごしたいから」の割合(41.9%)が最も高く、次が「住み慣れた家を離れたくないから」(38.0%)となっている。



問20 今後、あなたが、仮に自宅で介護を受けることになった場合、誰に介護を頼みたいですか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

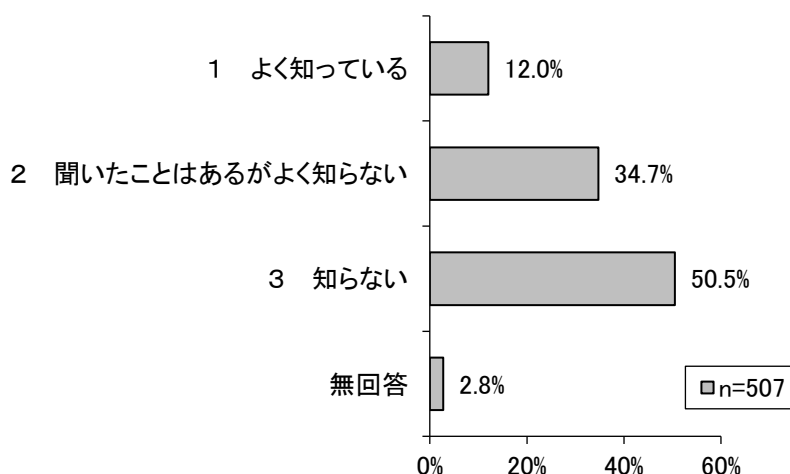
「ヘルパーなどの介護専門職」の割合(31.2%)が最も高く、次が「配偶者」(26.8%)となっている。



問21 あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング<ACP>)について、どのくらい知っていますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

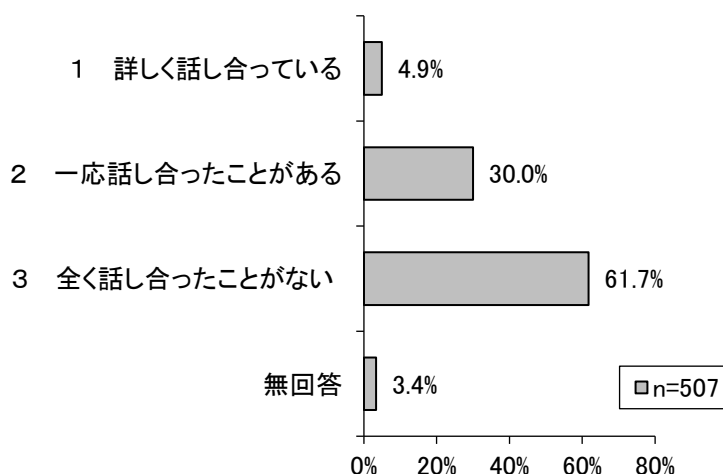
「知らない」の割合が半数(50.5%)となっている。



問22 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

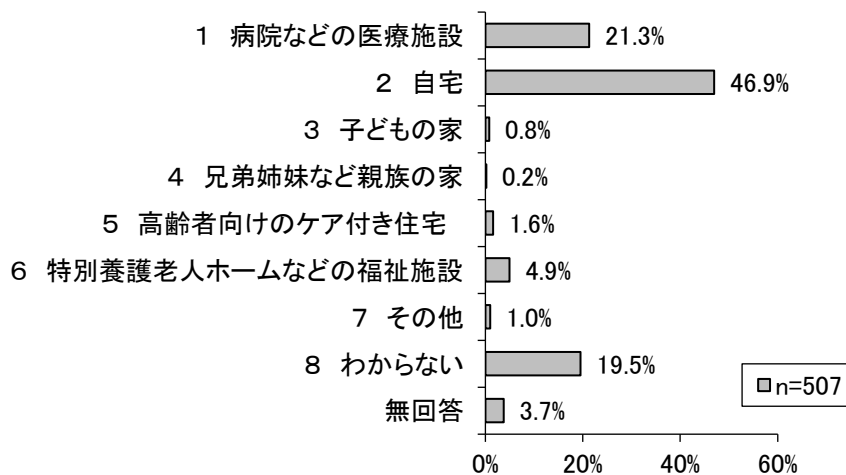
全体では、「話し合ったことがない」の割合が61.7%で最も高くなっている。



問23 あなたが最期を迎えたいと思う場所はどこですか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

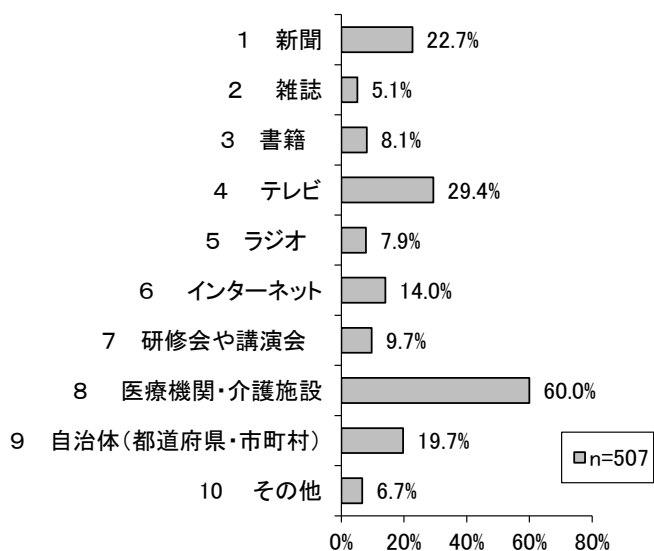
「自宅」の割合(46.9%)が最も高く、他を大きく上回っている。



問24 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「医療機関・介護施設」の割合(60.0%)が最も高く、他を大きく上回っている。

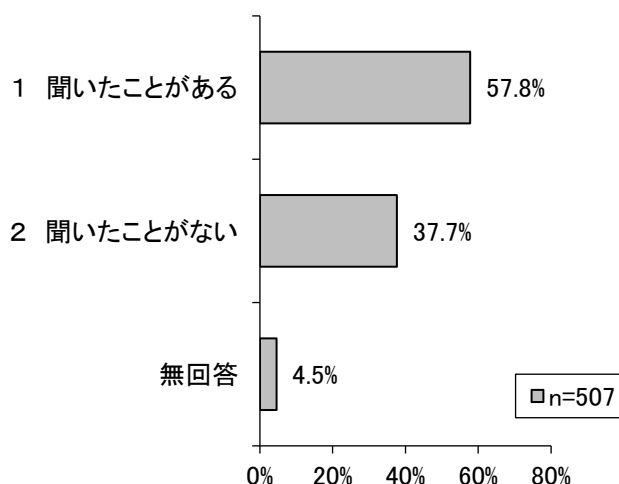


介護予防への取組について

問25 あなたは、「介護予防」という言葉を聞いたことがありますか。

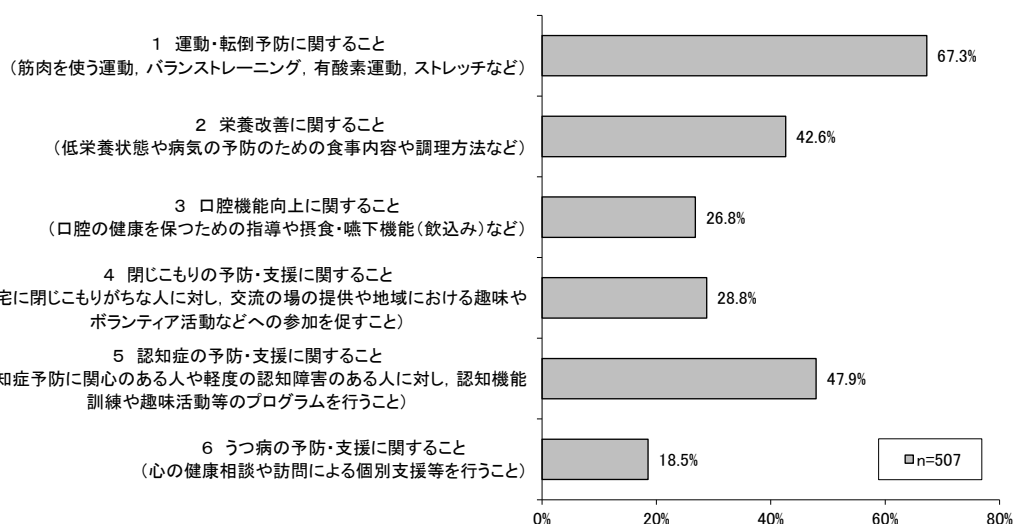
いずれか1つに○を付けてください。

「聞いたことがある」の割合(57.8%)が「聞いたことがない」(37.7%)を上回っている。



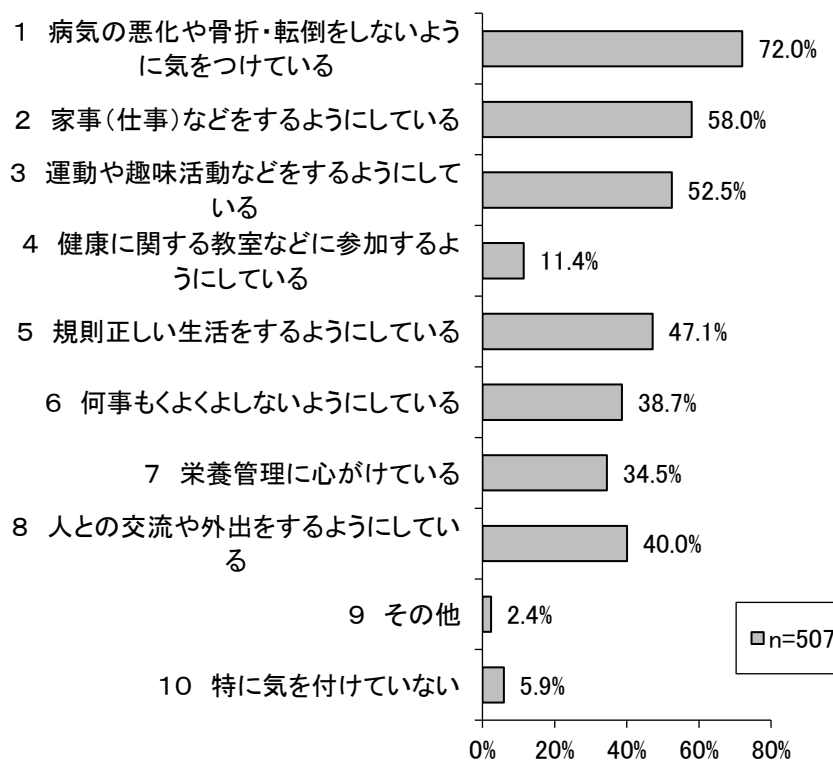
問26 介護予防のための取組について、今後、県や市町村において特にどのような取組に力を入れてほしいですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「運動・転倒予防に関すること」の割合(67.3%)が最も高く、次が「認知症の予防・支援に関すること」(47.9%)となっている。



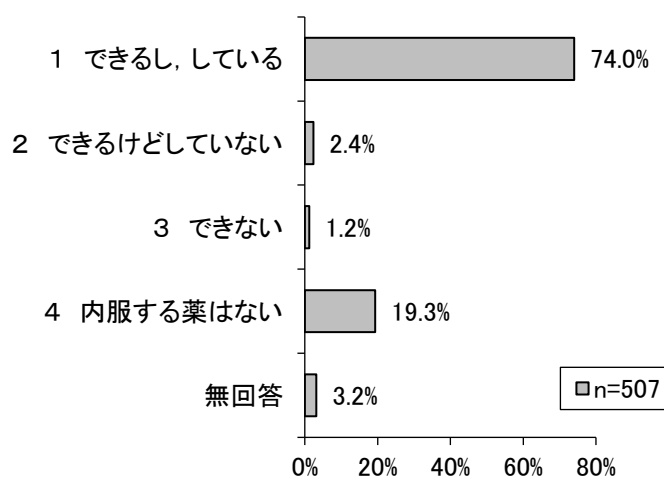
問27 日常生活で心がけていることはありますか。当てはまるものを全て選んでください。

「病気の悪化や骨折・転倒をしないように気をつけている」の割合(72.0%)が最も高く、次が「家事(仕事)などをするようにしている」(58.0%)となっている。



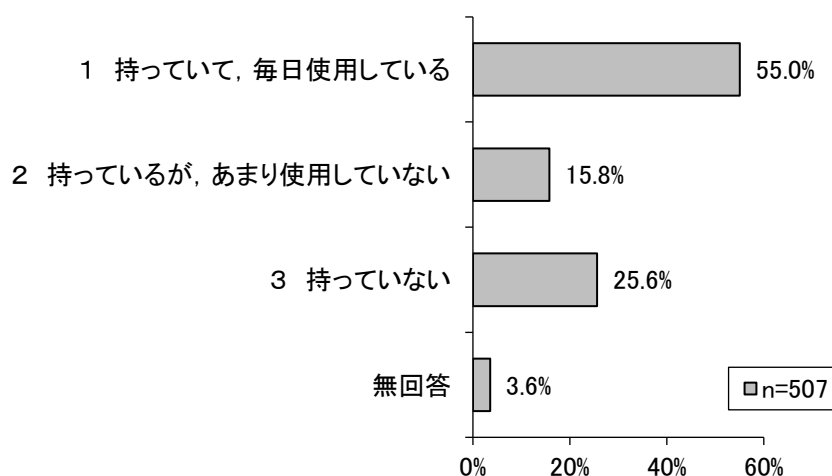
問28 自分で内服する薬の管理をしていますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください

「できるし、している」の割合(74.0%)が最も高く、ほとんどとなっている。



問29 パソコンやスマートフォン等を使用していますか。(例えば、ニュースや天気予報を調べる、LINE等のアプリを使って家族等と連絡をとるなど)あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

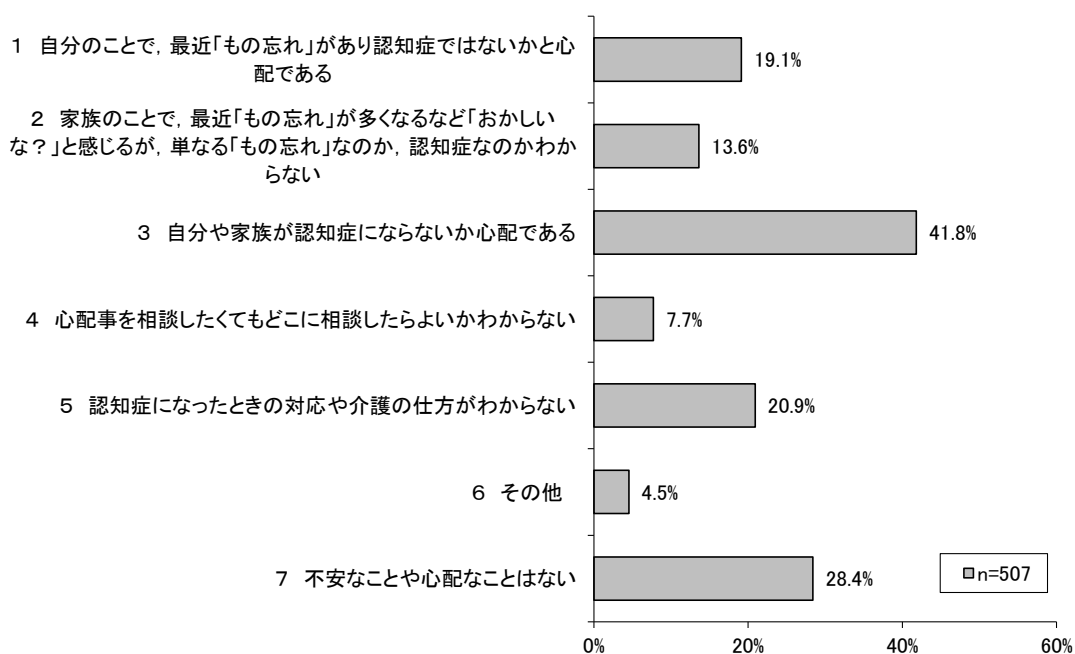
「持っていて、毎日使用している」の割合(55.0%)が最も高く、半数を上回っている。



認知症について

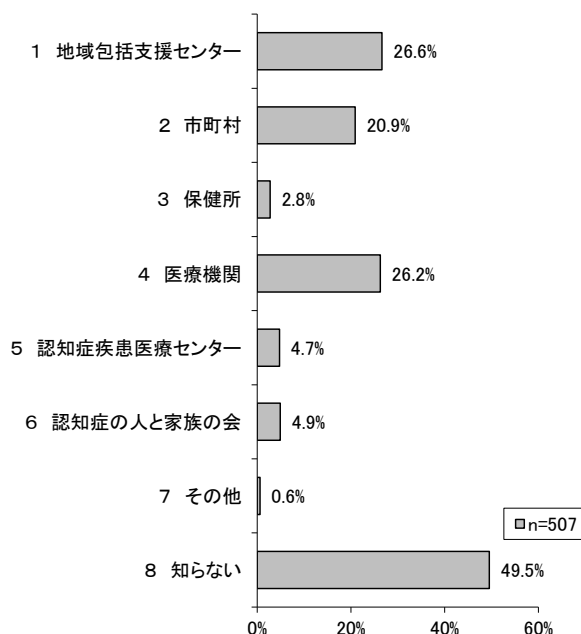
問30 あなたは、「認知症」について、不安なことや心配なことがありますか。不安なことや心配なことがある場合には、どのようなことですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「自分や家族が認知症にならないか心配である」の割合(41.8%)が最も高く、次が「不安なことや心配なことではない」(28.4%)となっている。



問31 あなたは、認知症の相談窓口を知っていますか。知っている場合、どの相談窓口を知っていますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

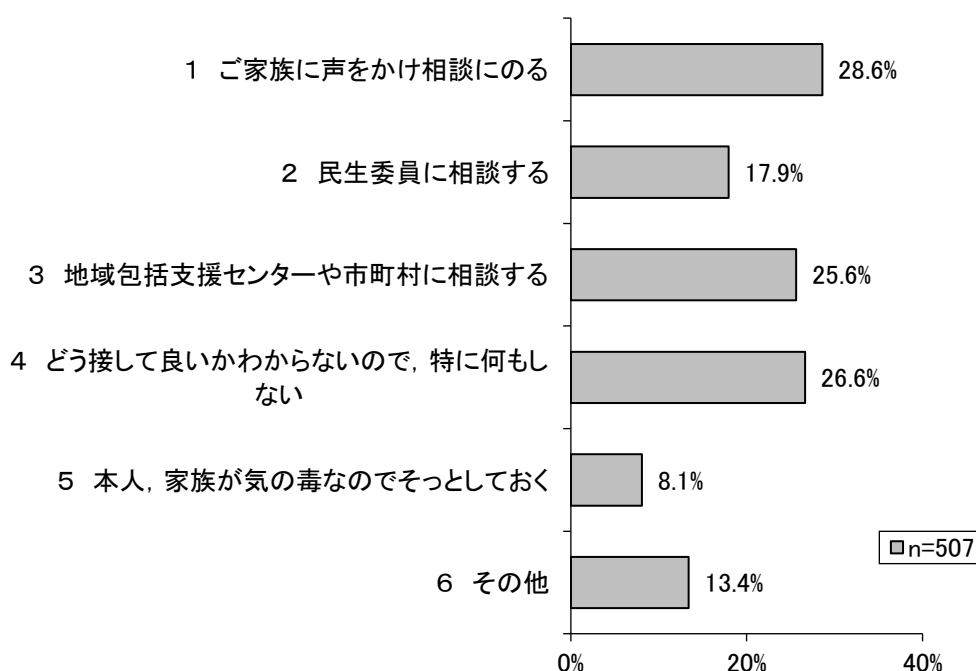
「知らない」の割合が約5割となっている。相談窓口では、「地域包括支援センター」(26.6%)と「医療機関」(26.2%)の割合が高くなっている。



問32 あなたは、もし認知症と思われる方が近くにいたら、どのように接したいと思いますか。

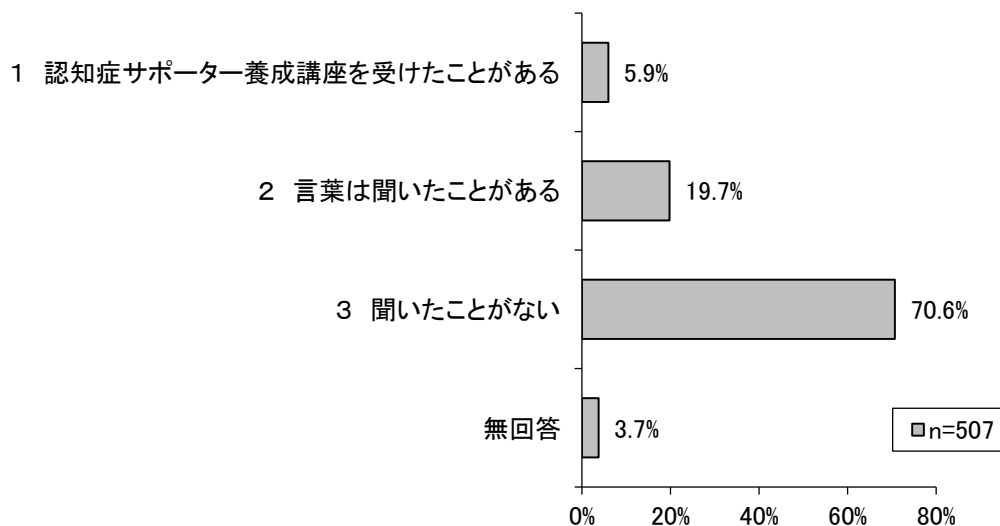
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「ご家族に声をかけ相談にのる」の割合(28.6%)が最も高く、次が「どう接して良いかわからないので、特に何もしない」(26.6%)となっている。



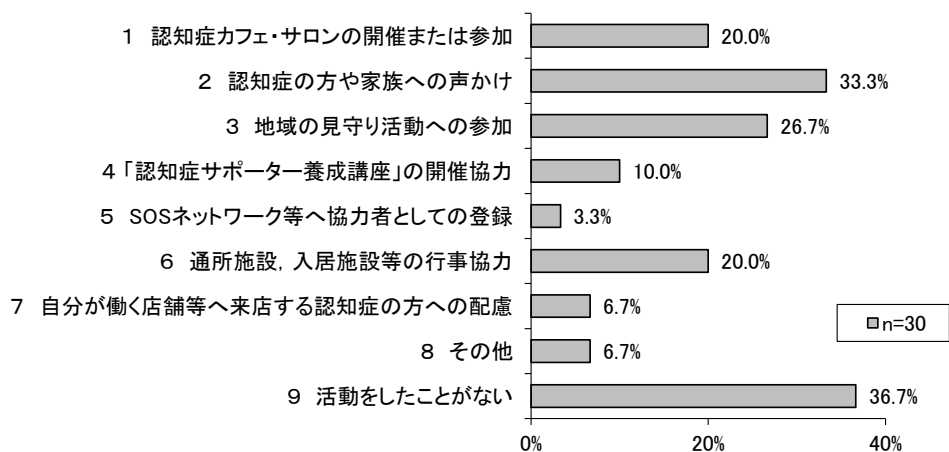
問33 あなたは、認知症サポーターについて知っていますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「聞いたことがない」の割合(70.6%)が最も高く、ほとんどとなっている。



問34 問33で「1に○を付けた方」にお尋ねします。認知症サポーター養成講座を受講後に、どのような活動を行いましたか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「活動をしたことがない」の割合(36.7%)が最も高く、次が「認知症の方や家族への声かけ」(33.3%)となっている。

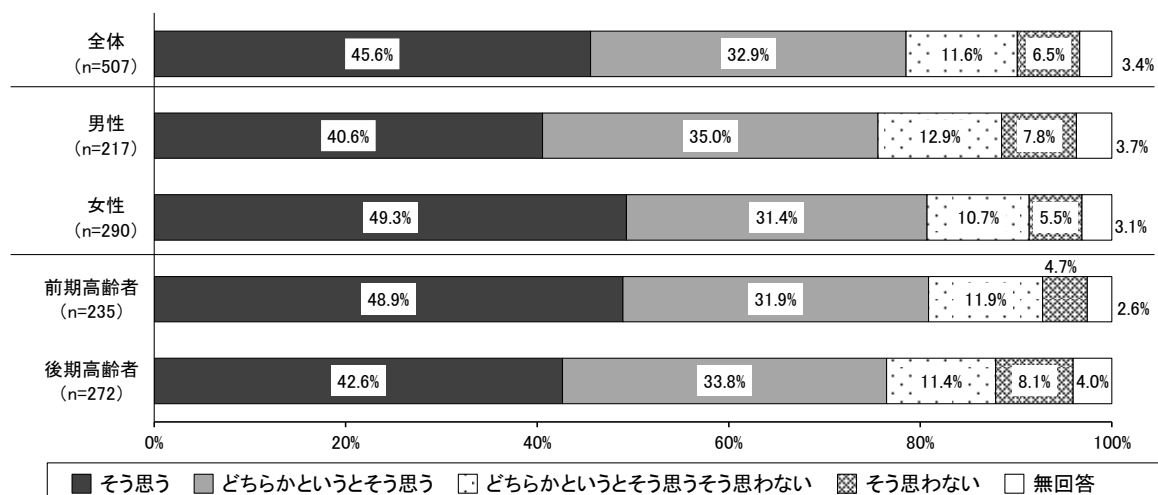


問35 下の文章について、あなたの考えに近い選択肢をそれぞれ1つだけ○をつけてください。
「誰もが認知症になりうる」

全体では、「そう思う」の割合は45.6%となっている。

性別では、「そう思う」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「そう思う」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

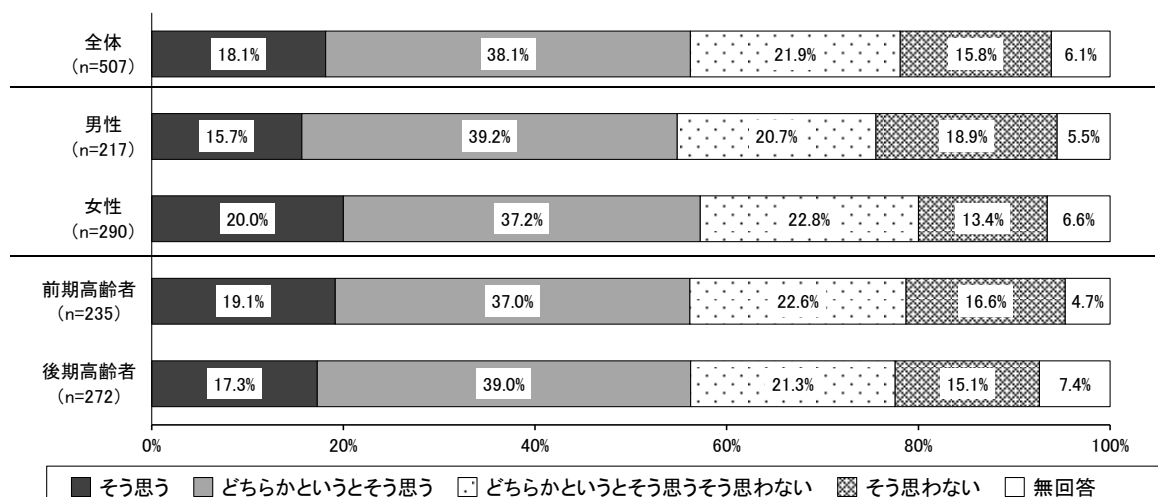


「認知症になってからも意思が尊重され、望む生活が継続できる(できている)」

全体では、「そう思う」の割合は18.1%となっている。

性別では、「そう思う」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「そう思う」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」はほぼ同じとなっている。

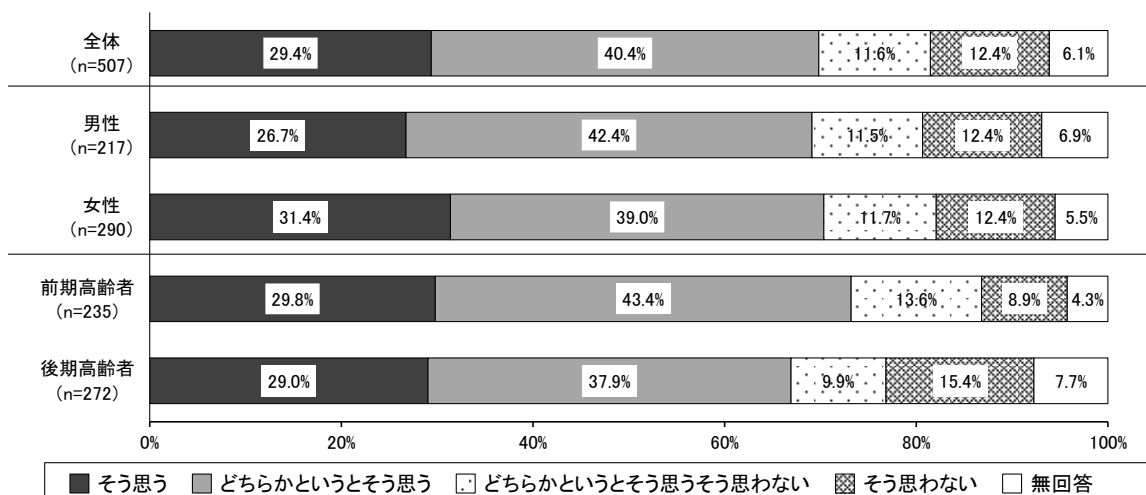


「認知症になってからもできることややりたいことがある」

全体では、「そう思う」の割合は29.4%となっている。

性別では、「そう思う」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「そう思う」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」はほぼ同じとなっている。

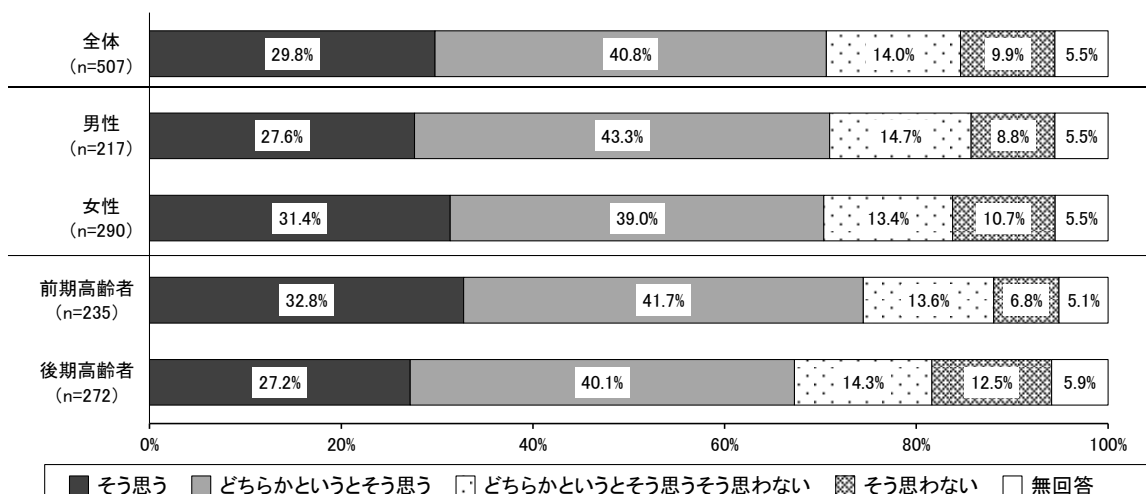


「認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けることができる」

全体では、「そう思う」の割合は29.8%となっている。

性別では、「そう思う」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「そう思う」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

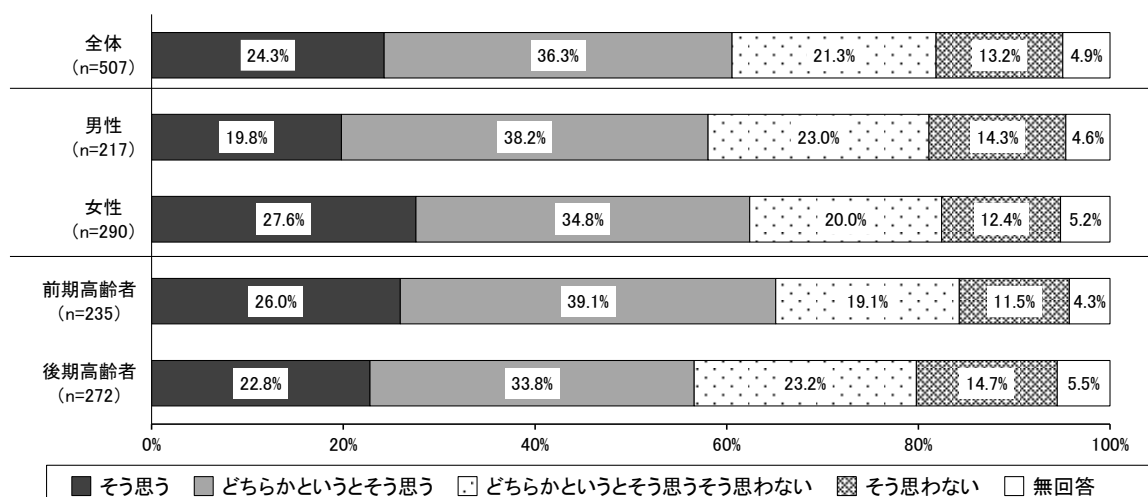


「認知症になってからも希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」

全体では、「そう思う」の割合は24.3%となっている。

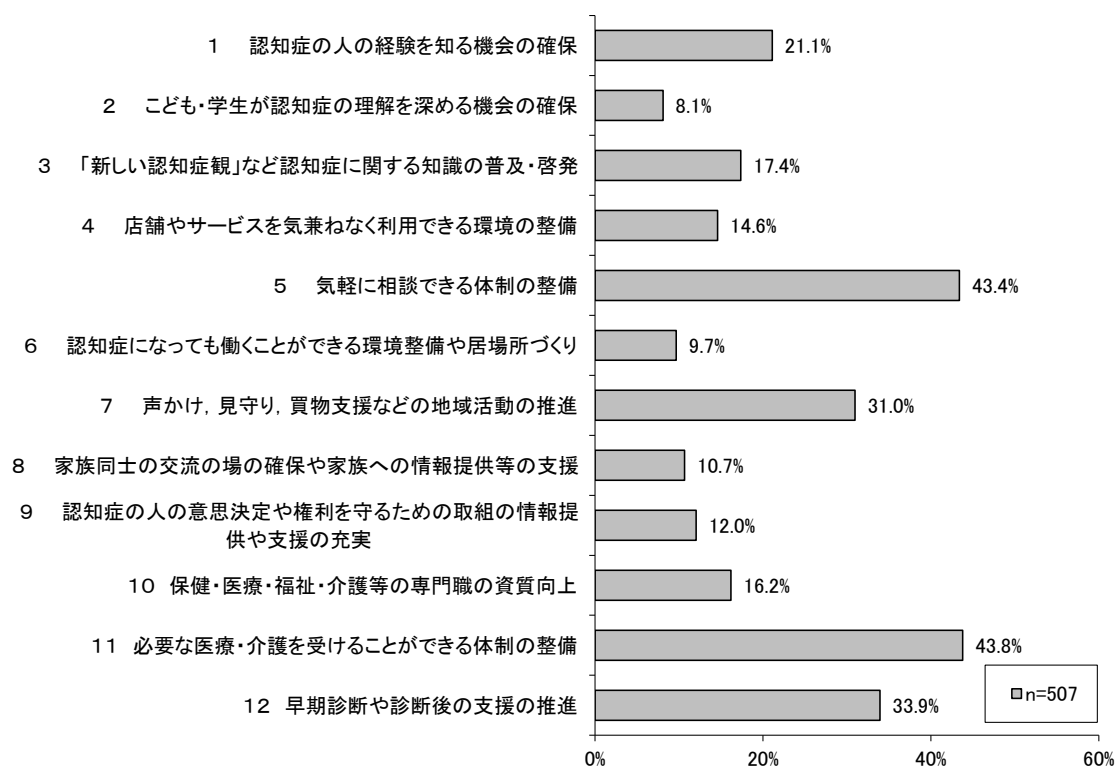
性別では、「そう思う」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「そう思う」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。



問36 認知症に関する取組について、今後強化してほしいと思うものを3つ選んでください。

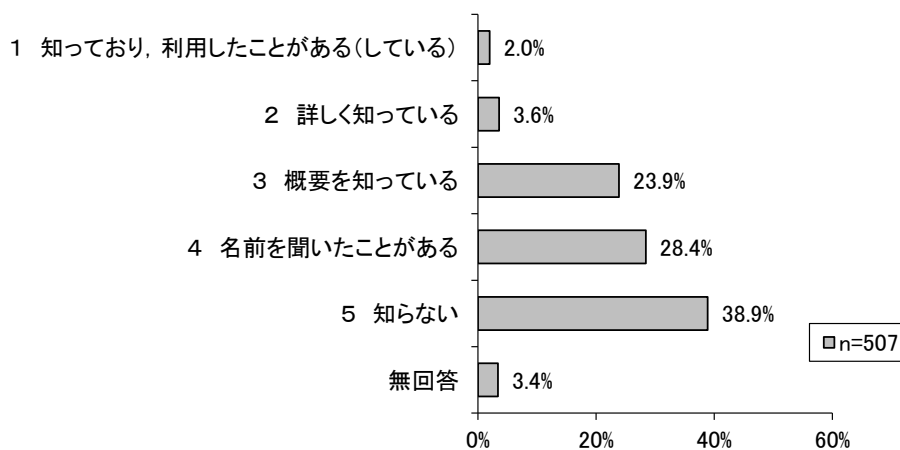
上位の3項目は、「必要な医療・介護を受けることができる体制の整備」の割合(43.8%)が最も高く、次が「気軽に相談できる体制の整備」(43.4%)、「早期診断や診断後の支援の推進」(33.9%)となっている。



権利擁護について

問37 成年後見制度についてご存じですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

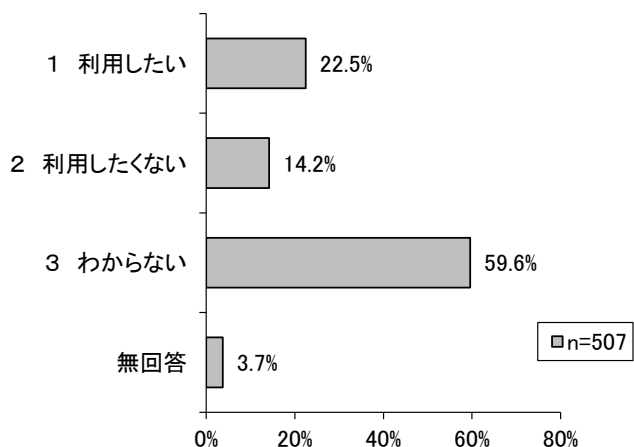
「知らない」の割合(38.9%)が最も高く、次が「名前を聞いたことがある」(28.4%)となっている。



問38 将来、あなたの判断能力に不安が生じた時、成年後見制度を利用したいと思いますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

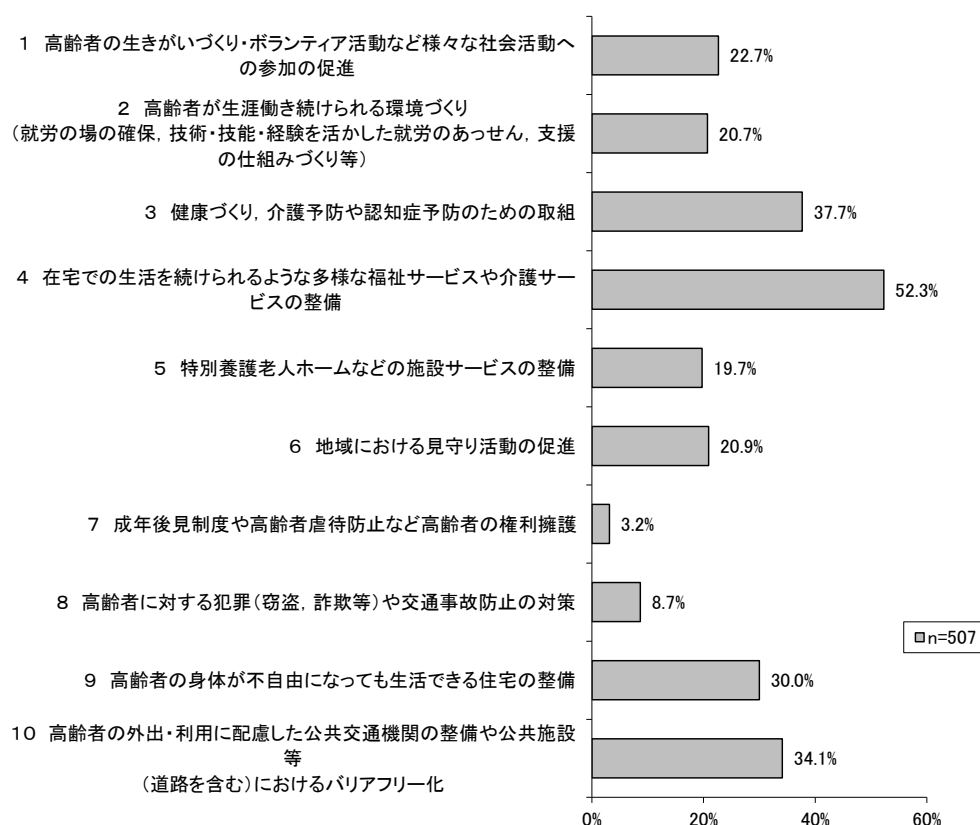
「わからない」の割合が最も高く、約6割となっている。また、「利用したい」は約2割となっている。



高齢社会対策への取組

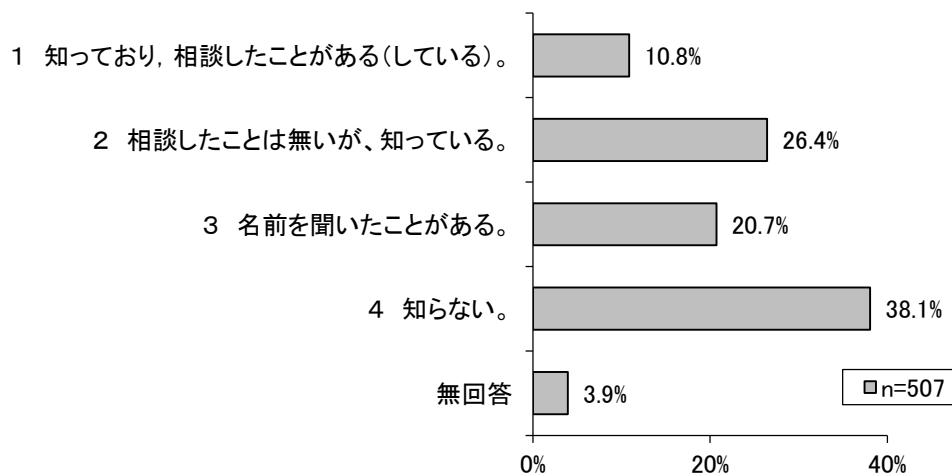
問39 高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域づくりに向けて、県や市町村は、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものに3つまで○を付けてください。

上位の3項目は、「在宅での生活を続けられるような多様な福祉サービスや介護サービスの整備」(52.3%)が最も高く、次いで「健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組」(37.7%)、「高齢者の外出・利用に配慮した公共交通機関の整備や公共施設等(道路を含む)におけるバリアフリー化」(34.1%)となっている。



問40 あなたは、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター(名瀬・住用・笠利の3か所)」または「在宅介護支援センター(名瀬6か所・住用1か所)」についてご存じですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「知らない」の割合が最も高く、約4割となっている。次いで「相談したことは無いが、知っている」(26.4%)となっている。



<自由意見>

1. 介護保険制度・保険料に関する意見

- ・介護、医療について各家庭の実情に応じて柔軟に対応をするきまり事を変えてゆく。そんな取組みが必要だと。介護保険制度を新たに見直すことが必要ではないかと。(70歳代)
- ・介護認定度の認定の調査について、もっと当事者の満足できる方法にしてほしい。(70歳代)
- ・介護保険料が高い。(90歳代)
- ・介護保険料金が高いと感じる。(60歳代)
- ・今まで介護保険を全く使用したことがない。使ったことがない人には保険料の還元があればと思う。(80歳代)
- ・社会全体で高齢者福祉を充実する主旨は十分理解できるが年金生活者にとっては介護保険料が高いなと感じます。(60歳代)
- ・住民に対して、本市の高齢者保健福祉及び保険事業について周知して欲しい。(80歳代)
- ・少ない年金からの介護保険料の引き落としは辛いです。(60歳代)
- ・年金生活をして実感したことは、とにかく介護保険の支払いが高い(他の税金も同様だが)これから先高齢化社会になっていくことを考えると将来が不安(年金だけで生活していけるのか)。(60歳代)

2. 介護サービス・施設整備・住環境・バリアフリー等に関する意見

- ・Iターンで奄美に移住。家族、親戚はいない。友人も少なくなり、頼れる人が少なくなった。アパートを借りる時、福祉施設に入所する時の保証人がいないので心配。都会では身元引受人や保証人になってくれる団体があるようだが、奄美にもあってほしい。(80歳代)
- ・この介護保険事業に関する情報(事業内容、サービス等も含め)の認知が希薄な感じがしたありませんでした。もっと身近に情報が理解出来る様な施策がないものかなと感じております。(70歳代)
- ・それぞれの老いの内容が違う事もありサービス提供も個々に合わせて大変と思います。最大公約数的な受け皿を作り個々に合わせられる事が現在も進めている事と存じます。奄美市は高齢化社会対策は以前より他地域より充実している事に安心感を持っています。(70歳代)
- ・安心できる住居を確保してほしい。(80歳代)
- ・奄美は増々高齢化が進みます。施設や在宅介護が充実したものになるといいなと考えています。子どもたちも含め一人一人の命が大切にされるようにと願っています。(90歳代)
- ・奄美市のバリアフリー化、車いすで移動で入れる施設・飲食店を増やして欲しい。(60歳代)
- ・何かあった時にすぐ入れる施設を作してほしい。(70歳代)
- ・家の前の道路の段差をなくし高齢者でもゆっくり散歩ができる様に改善してほしい。私のお家の前は足が悪くなった時は、外出はできないと思います。(70歳代)
- ・介護施設に入所したくても、空きがなく、自宅介護の人たちが多いのではないかと思います。もっと費用が安く、安心して入所できる施設を作って欲しいと思います。(70歳代)
- ・介護付き高齢者向け住宅の整備を希望。同住宅は入居一時金や月額費が高額で、入居をためらっている人が多いと聞きます。高齢者はほとんどが年金生活者でしょうから経済的(お金的に)余裕はないのでは？誰でも(希望者が)入居できる施設があればよいと思います。(公設民営的な施設があればよ

いのですが) (80歳代)

- ・介護保険については一人住まいの義兄は97歳以上でも中々使えなかったです。結局、ベッドから落ちて入院した。最後まで支援だけでした。(家にいる間は) (80歳代)
- ・健康器具を各集落に設置。考えてもれたらありがたい。(90歳代)
- ・高齢化社会対策の中で気になるのが、視覚障害者への対策はどの様になっているか気になります。個人の傾向で、集団生活、活動が苦手な方もいます。様々な形で介護予防の取組みが大切だと感じます。(60歳代)
- ・高齢者が安心して住める町になってほしい。(70歳代)
- ・今後増々高齢化社会が加速することが推察され、皆様のお仕事が重要になってきます。皆様のお仕事への理解と職場環境(待遇も含めて)の改善も重要な課題だと思います。その根底のものが改善されていかなければ、先のアンケートにあった各種行政サービスの充実化も困難ではないかと思います。(80歳代)
- ・市内の中心地にひとり世帯用老人の集合住宅が出来たらいいと思います。建物の中にデイサービスが受けられたり、スーパーがあればもったいいですね。そして周りには木々や草花が植えられ、ベンチで座り休憩や散歩が出来ればいいです。(90歳代)
- ・住宅環境、年をとっても身体が弱くなっても住める住宅の整備をしてほしい。(70歳代)
- ・親と共に年を重ねますが子供の方も身体にガタが来て大変です。我が親ながら子供孝行と思っています。バリアフリーを考えてますが家が古くて心配です。(90歳代)
- ・本人が希望する時に希望するサービスが受けれるようになるといいと思います。奄美市の取り組み、ありがたいです。(70歳代)
- ・要支援予防策について講じてほしいです。マイナンバー導入で個人の健康状態も把握できるようになれば、少しの手助けで日常生活が送れるという人が多いと思います。それが受けられず要支援まで、何もすることなく、残念な時間を過ごす方がいるのかな？と思います。(60歳代)
- ・バスの乗り換えが不便。バスの料金(310円、市内は200円なのに、差額大きい)。バスの乗り降り、高さが高齢者には困難。(60歳代)

3. 支援体制に関する意見

- ・カーブス(1回30分)のようなスポーツ施設がアーケード街にあると利用しやすく介護予防になるのかなと思いますが…。(70歳代)
- ・まだ介護を必要としていないが、やがてやってくるであろう介護を必要とする時にどうしたらいいか不安は日々増している。開業医院の減少やバスやタクシー等の移動手段の減少と不便さを感じている。(70歳代)
- ・みんなで楽しく交流する機会があればいい。(80歳代)
- ・安心して暮らせる地域づくりを目指して下さい。(60歳代)
- ・奄美市については促進の方、入口側の諸問題を解決する仕組み作りで住民の意識が上がり、将来問題を解決できると考えます。(80歳代)
- ・奄美市は高齢者が多く住み、これからますます必要性が重要になりますが、たずさわる方々に寄りそいやりやすい環境にて介護関係者を応援支援してほしいです。(60歳代)

- ・高齢化が進み増え続ける中で、多種多様な取り組みをされている事に感謝します。私達の子どものころは、「となりぐみ」の助け合いがあり、生まれた時からみんなに声と笑顔をもらっていました。いい時代に生きてきたと思います。いろいろな経験、長年の生活の中で人は年を重ねていきます。個々に合わせた支援は、家族地域力が必要だと思います。お互いの声かけや見守りが必要だと強く感じます。(60歳代)
- ・高齢者が住みやすい名瀬を目指して頑張っていらっしゃる事大変うれしく思います。(80歳代)
- ・今のところゴルフをしたりウォーキングをしたりと身体的には不自由なく過ごせていますが、今後どうなるか不安も少しはあります。いずれお世話になると思いますので、高齢者対策を充実していてもらいたいと思います。(70歳代)
- ・私自身も高齢となり「認知症」明日は我が身です。認知症になっても前向きに希望をもって日々暮らせていける地域社会があればいいと思います(願います)。今は多種多様な取り組みがあっても、みんなが方向性を一つにして共有し、不安や混乱をなくしいつも希望が持てるようにしてほしい(したいです)。認知症が「真の共生」であって地域で一緒に生きていけるようにと声を出したいし、明るい認知症でありたい。みんなの支えが必要かも。(70歳代)
- ・相談員が高齢者宅を定期的に訪問してほしい。(90歳代)
- ・遅い時間にスーパーの値引きを待って惣菜を買っている杖をついた高齢の方。入浴や洗濯など日常生活がきちんと保たれているのか。こうした小さな変化や不安で地域支援が早い段階で気づける仕組みが必要だと感じます。本人が困り事を口にしなくても支援につながるきっかけが増えることを願います。(60歳代)
- ・立ち寄ってくださり会話するだけで楽しいです。(70歳代)

4. その他

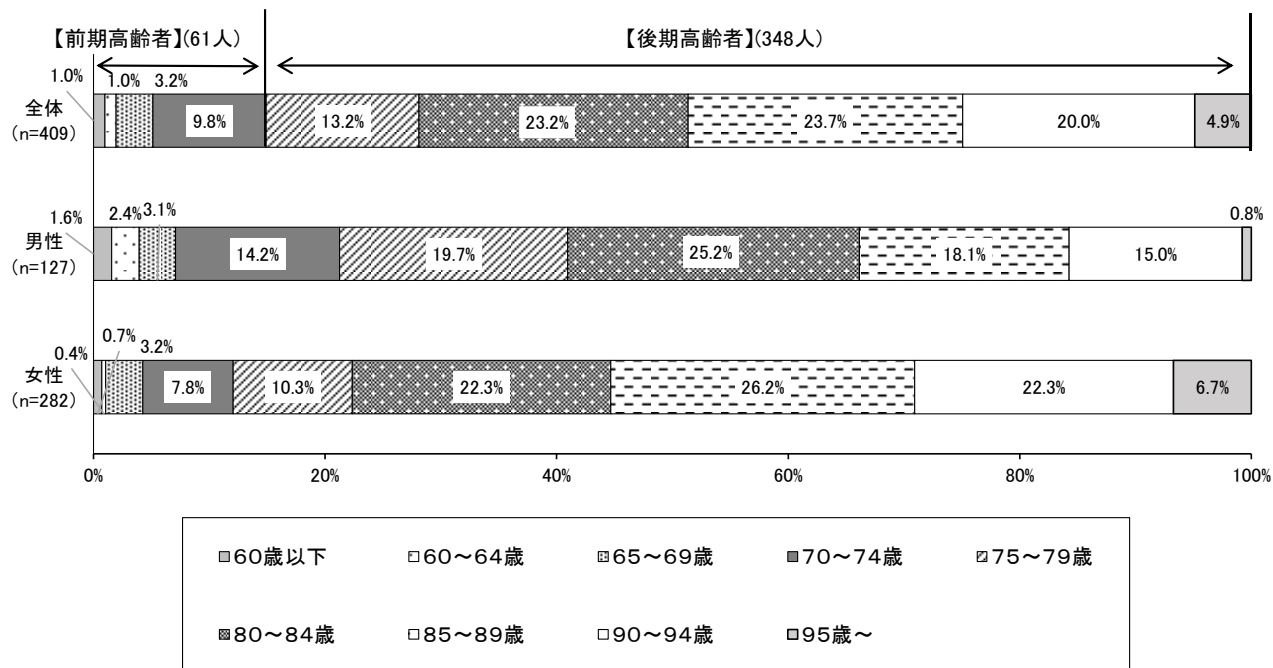
- ・このアンケートもネット上でもできる様にしてもらったら良いと思いました。国勢調査の様に、便利なので。(70歳代)
- ・なるべく自力で生きていきたいと思っていますが、トシを重ね若い時には考えもしなかった身体能力低下を感じているのも正直なところです。この先、どうなるか分かりませんが、なるべく人に迷惑をかけない生活を送りたいと思います。(70歳代)
- ・ボリュームが大きすぎて提出しない人が多くなりませんか？(70歳代)
- ・まだ体も丈夫だし今は考えていませんが、体力作り、思考能力を働かせ健康第一に生活していきます。改めて考えさせられました。(90歳代)
- ・高齢者からすべての年代にやさしい住みやすい町を目指して色々な取り組みに期待します。元気な高齢者はずっと働ける場所があるとうれしい。(60歳代)
- ・国にも県にも市にも何も期待しない。それが今の日本の国。(70歳代)
- ・私自身が高齢者とは思ってなくて、アンケートで年寄になったのかと思いました。まだ、動けるうちは若人には負けないと頑張っているつもりです！(60歳代)

第4章 在宅要介護・要支援者調査

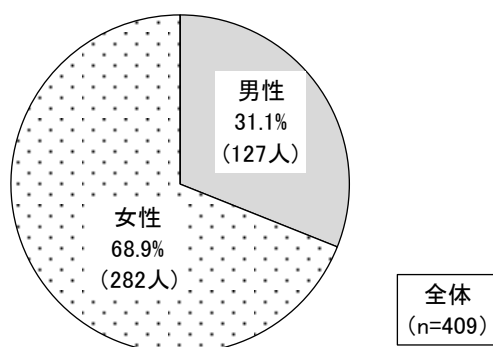
<介護予防・日常生活圏域ニーズ調査>

1. 回答者の属性

(1) 年齢



(2) 性別



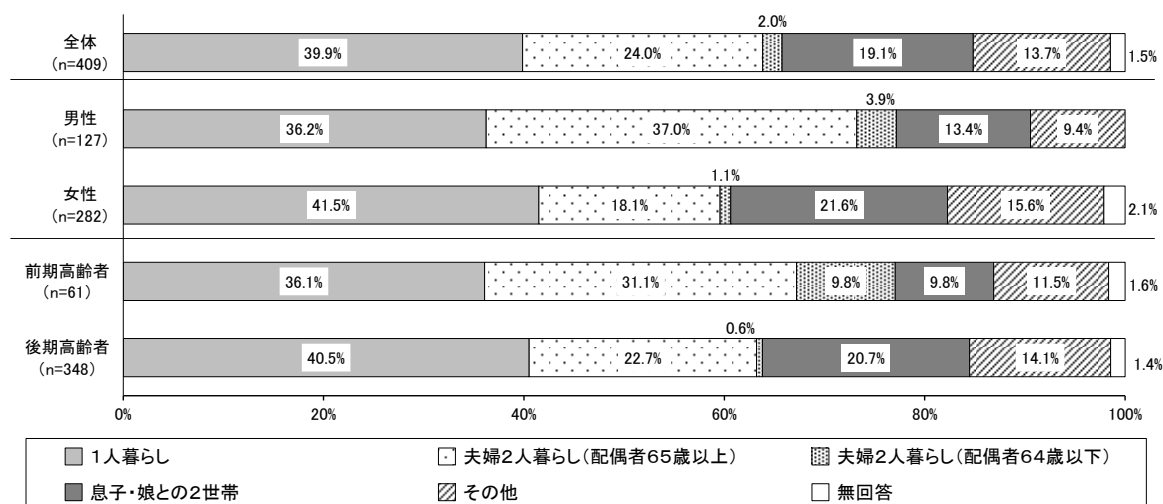
2. 回答者の家族や生活状況について(問1)

(1) 家族構成をお教えてください

全体では、「1人暮らし」の割合(39.9%)が最も高くなっている。

性別では、「1人暮らし」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「1人暮らし」は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

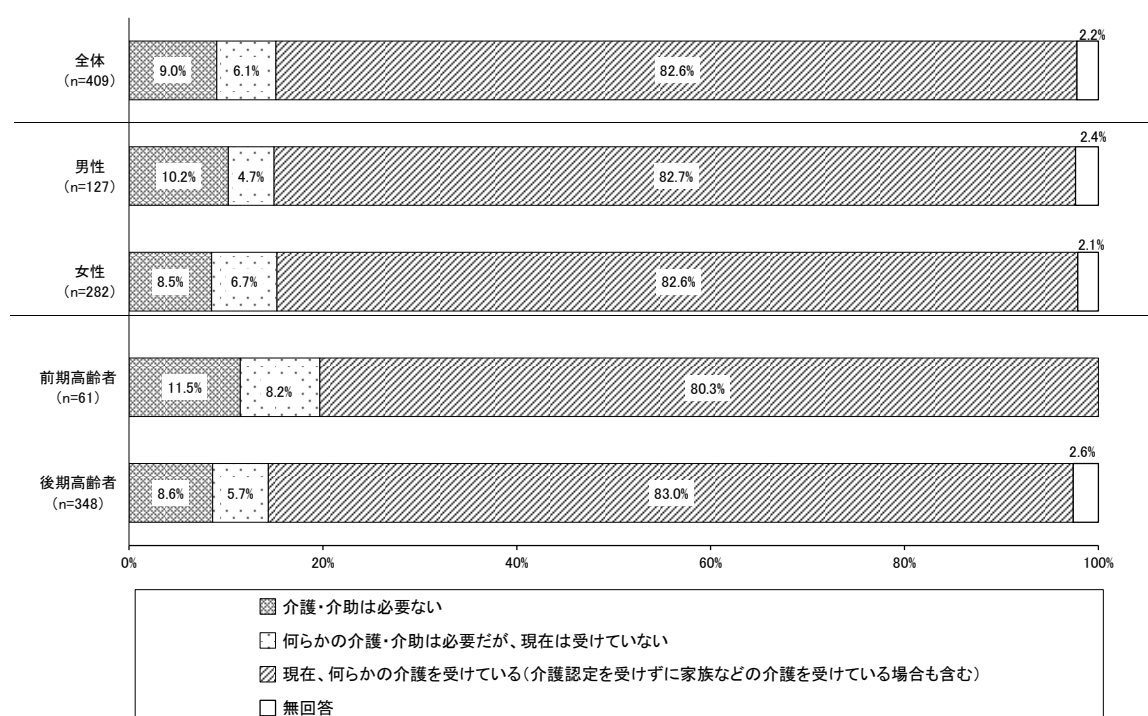


(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

全体では、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合(82.6%)がほとんどとなっている。

性別では、男女とも全体とほぼ同じ結果となっている。

年代別では、「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じ結果となっている。



【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

全体では、割合が最も高いのは「骨折・転倒」(24.5%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは男性が「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、女性は「骨折・転倒」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」が「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「後期高齢者」は「骨折・転倒」となっている。

	骨折・転倒	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	認知症 (アルツハイマー病等)	その他	高齢による衰弱	心臓病	糖尿病	関節の病気 (リウマチ等)	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	視覚・聴覚障害	パーキンソン病	脊椎損傷	腎疾患	不明
全体 (n=363)	24.5%	20.1%	20.1%	18.7%	14.3%	14.0%	9.9%	8.5%	5.5%	5.5%	4.7%	3.6%	2.8%	2.5%	0.3%
男性 (n=111)	14.4%	35.1%	13.5%	21.6%	7.2%	13.5%	9.0%	3.6%	9.9%	8.1%	5.4%	2.7%	2.7%	2.7%	0.9%
女性 (n=252)	29.0%	13.5%	23.0%	17.5%	17.5%	14.3%	10.3%	10.7%	3.6%	4.4%	4.4%	4.0%	2.8%	2.4%	0.0%
前期高齢者 (n=54)	7.4%	42.6%	24.1%	9.3%	3.7%	11.1%	13.0%	9.3%	13.0%	3.7%	5.6%	3.7%	3.7%	5.6%	0.0%
後期高齢者 (n=309)	27.5%	16.2%	19.4%	20.4%	16.2%	14.6%	9.4%	8.4%	4.2%	5.8%	4.5%	3.6%	2.6%	1.9%	0.3%

【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

全体では、割合が最も高いのは「介護サービスのヘルパー」(39.6%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「介護サービスのヘルパー」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「介護サービスのヘルパー」となっている。

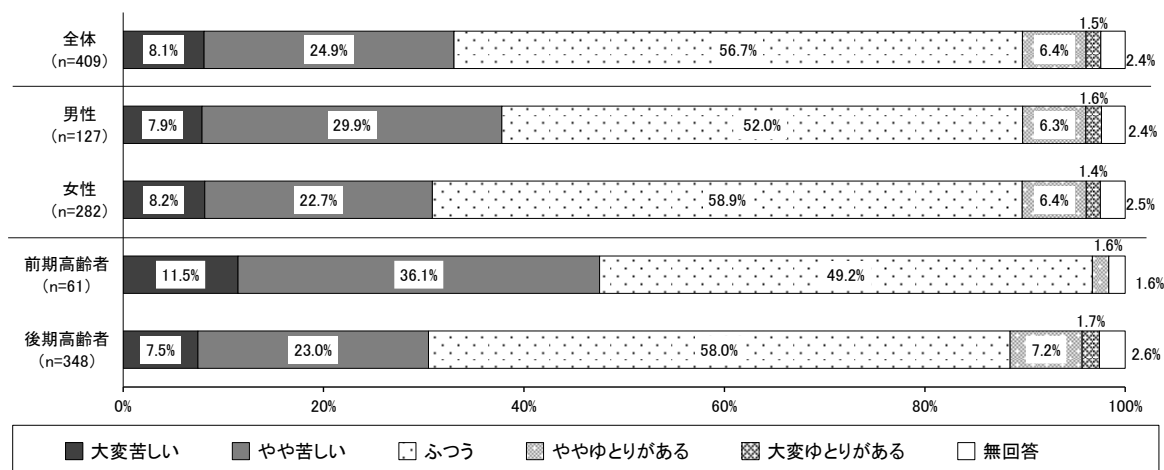
	介護サービスのヘルパー	娘	配偶者	息子	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他
全体 (n=338)	39.6%	32.0%	23.4%	22.8%	8.6%	4.1%	3.8%	15.4%
男性 (n=105)	37.1%	26.7%	44.8%	12.4%	5.7%	4.8%	2.9%	12.4%
女性 (n=233)	40.8%	34.3%	13.7%	27.5%	9.9%	3.9%	4.3%	16.7%
前期高齢者 (n=49)	44.9%	12.2%	46.9%	10.2%	6.1%	4.1%	0.0%	12.2%
後期高齢者 (n=289)	38.8%	35.3%	19.4%	24.9%	9.0%	4.2%	4.5%	15.9%

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

全体では、「ふつう」の割合が56.7%で最も高く、『苦しい』（「大変苦しい」と「やや苦しい」の計）の割合は33.0%となっている。

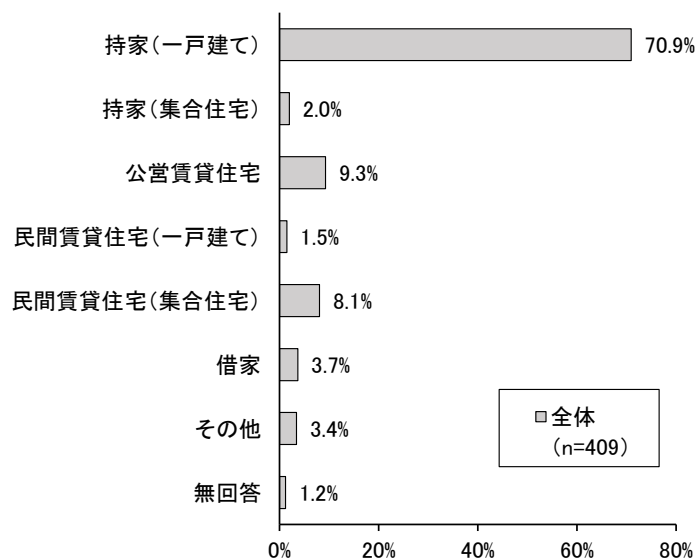
性別でみると、『苦しい』の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、『苦しい』の割合は、「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。



(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

全体では、「持家（一戸建て）」の割合が70.9%で最も高くなっている。



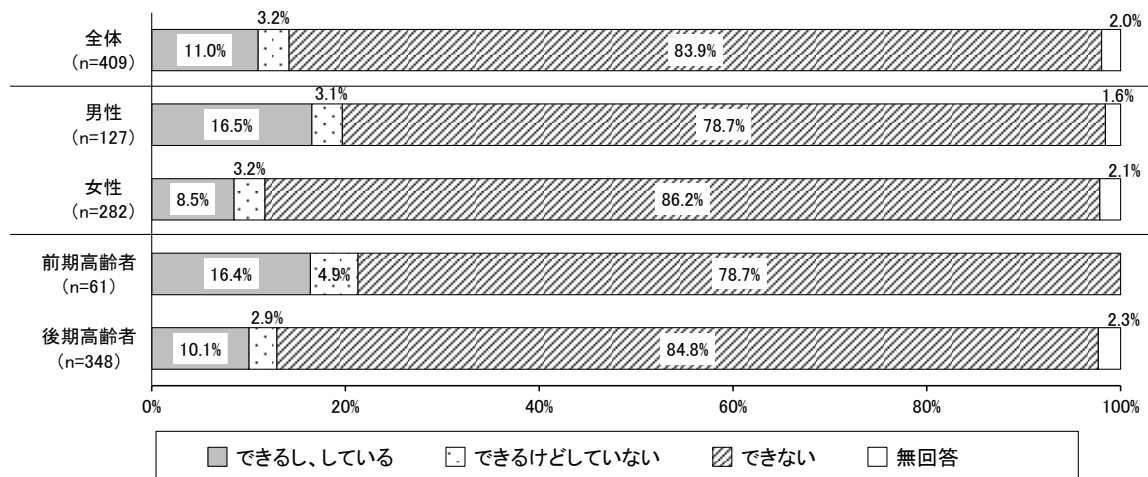
3. からだを動かすことについて(問2)

(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

全体では、「できない」の割合が約8割となっている。

性別では、「できない」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「できない」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

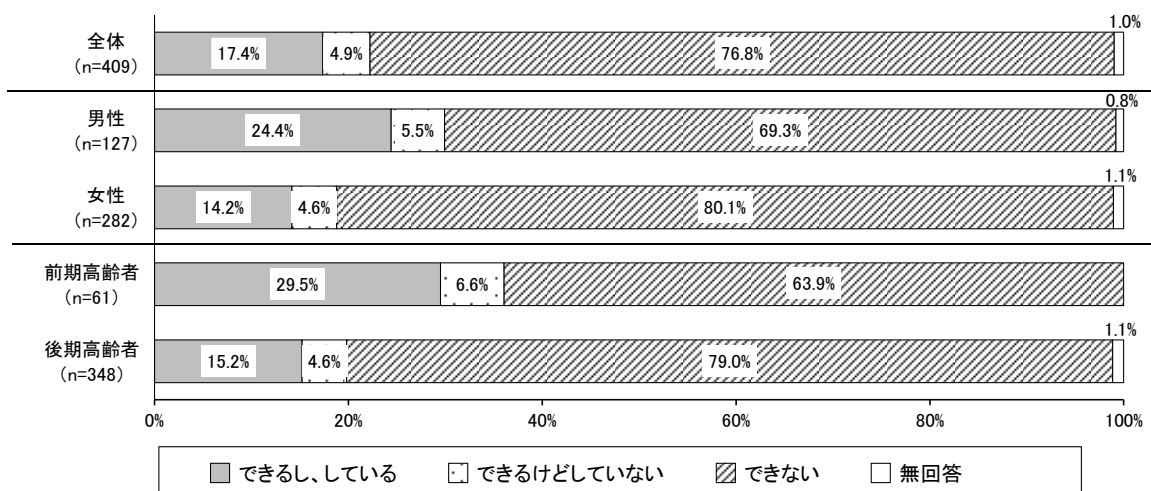


(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

全体では、「できない」の割合が約8割となっている。

性別では、「できない」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「できない」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

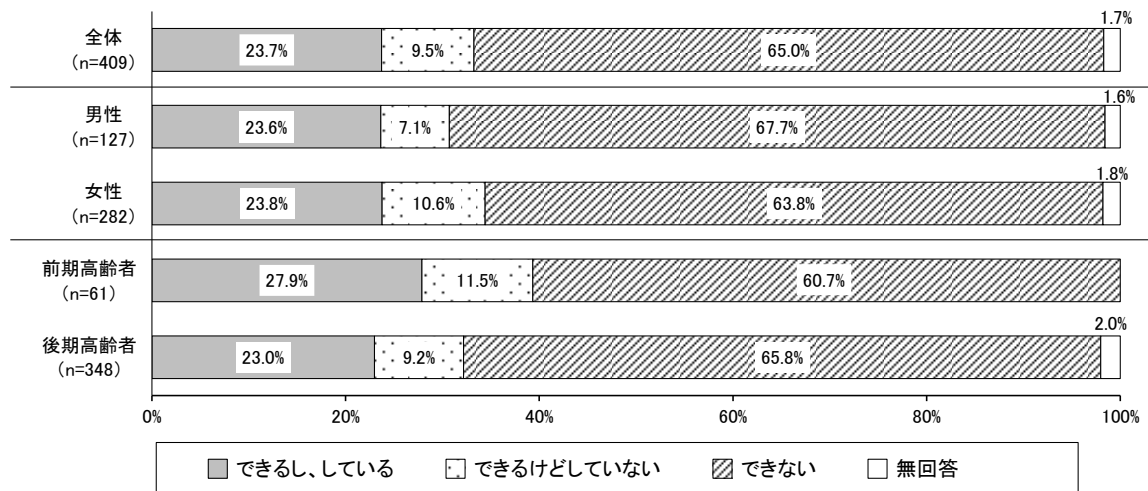


(3)15分位続けて歩いていますか

全体では、「できない」の割合が約7割となっている。

性別では、「できない」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「できない」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

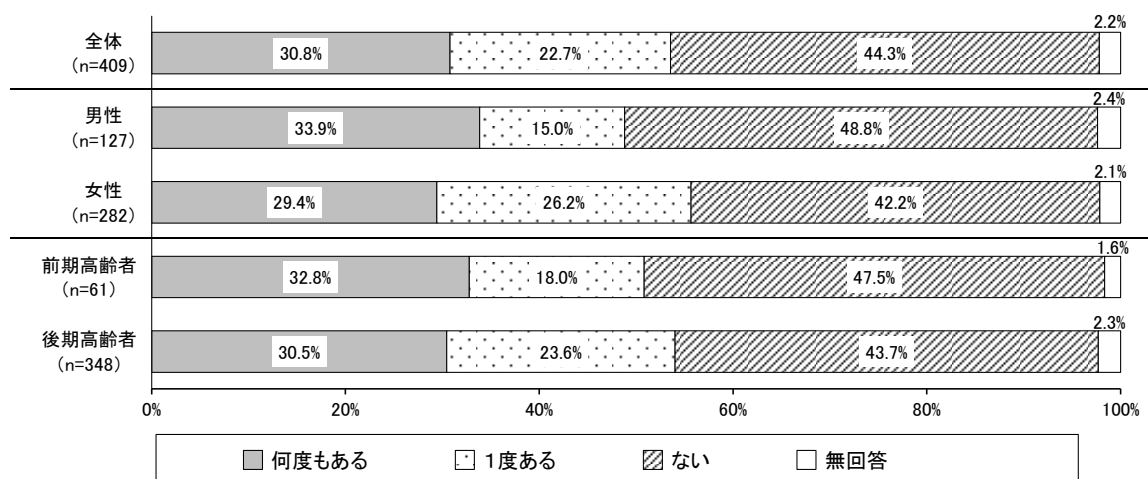


(4)過去1年間に転んだ経験がありますか

全体では、「ない」の割合が約4割となっています。一方、『ある』（「何度もある」と「1度ある」の計）は約3割（53.5%）となっている。

性別では、『ある』の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、『ある』の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

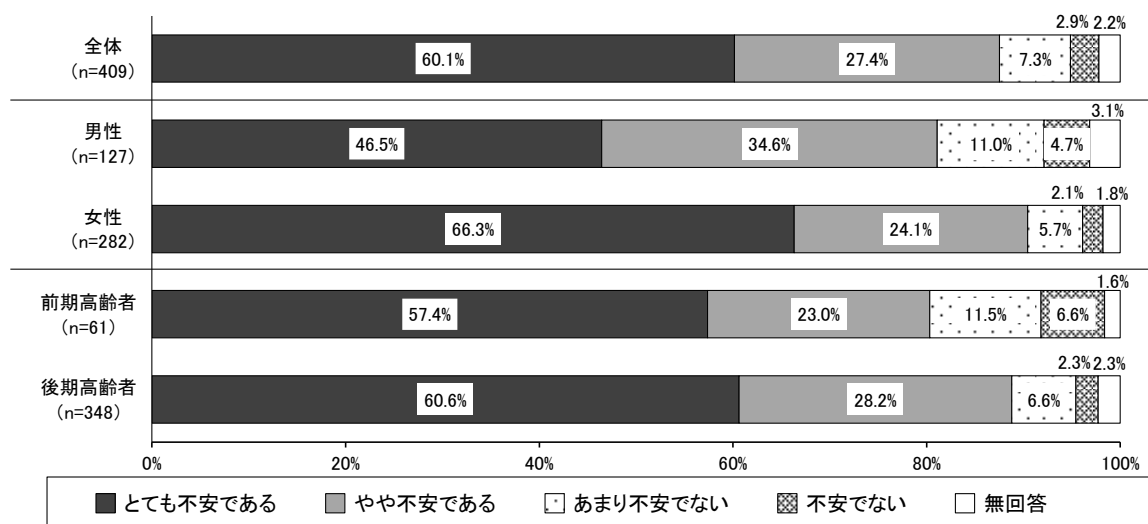


(5)転倒に対する不安は大きいですか

全体では、『不安である』(「とても不安である」と「やや不安である」の計)の割合(87.5%)がほとんどとなっている。

性別では、『不安である』の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、『不安である』の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

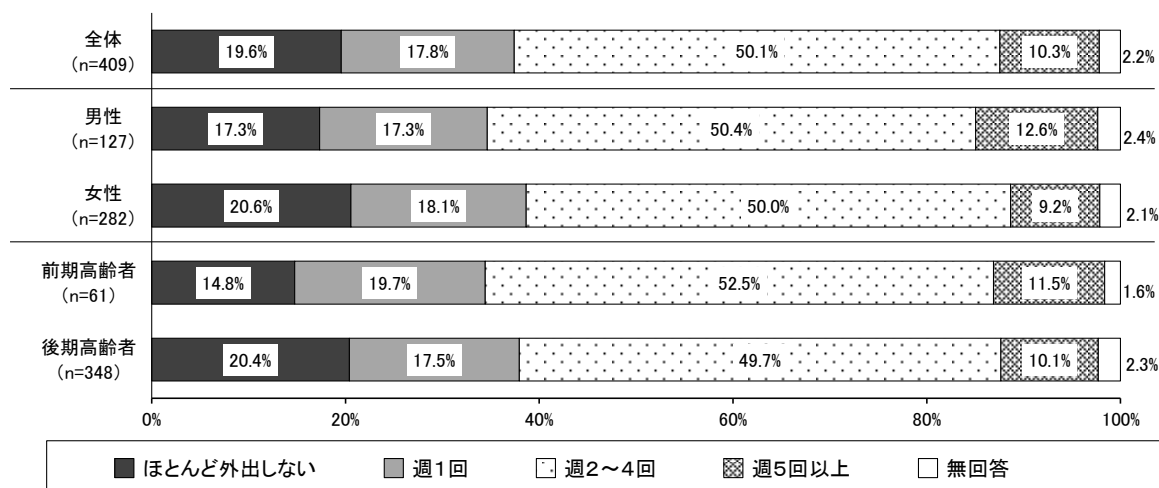


(6)週に1回以上は外出していますか

全体では、「週2～4回」の割合(50.1%)が最も高くなっている。

性別では、「週2～4回」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「週2～4回」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」をやや上回っている。

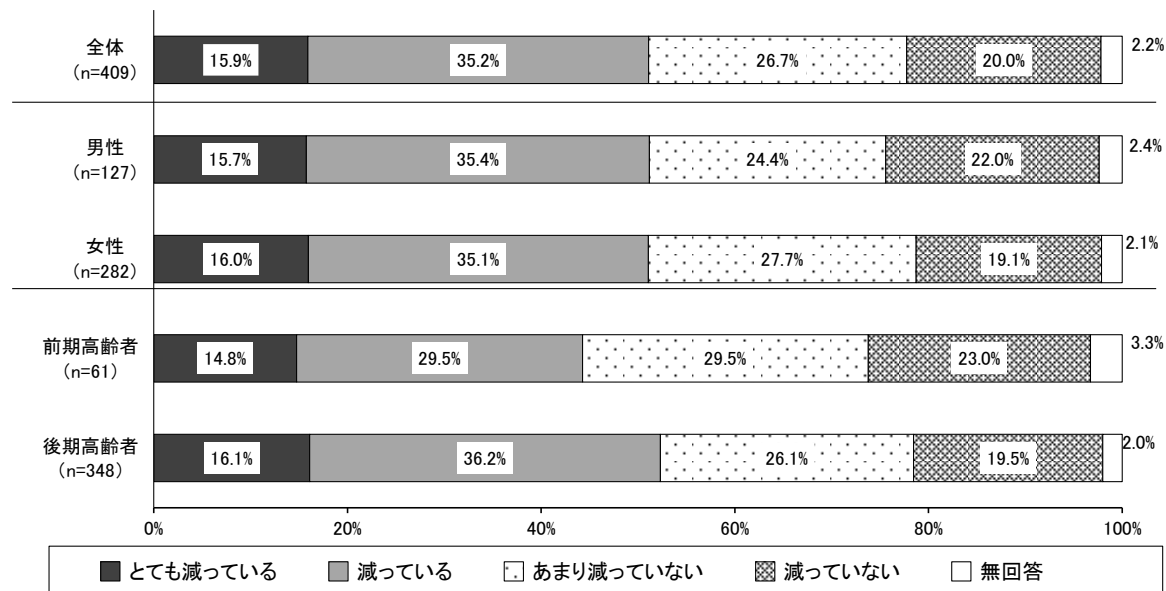


(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

全体では、『減っている』(「とても減っている」と「やや減っている」の計)の割合は51.1%となっている。

性別では、『減っている』の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、『減っている』の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

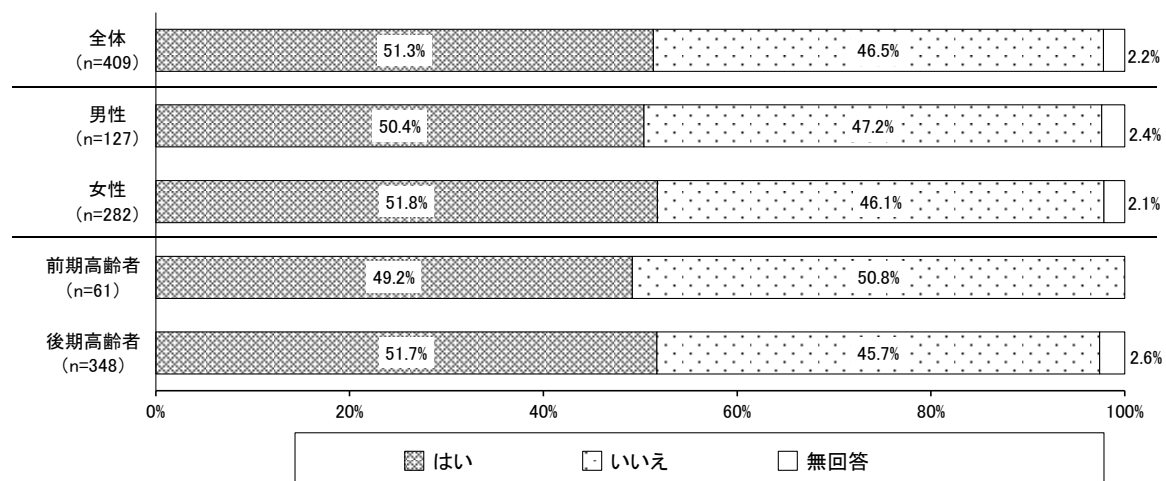


(8) 外出を控えていますか

全体では、「はい」の割合は51.3%となっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。



【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

全体では、割合が最も高いのは「足腰などの痛み」(61.9%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「足腰などの痛み」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」は「障がい(脳卒中の後遺症など)」、「後期高齢者」は「足腰などの痛み」となっている。

	足腰などの痛み	交通手段がない	病気	トイレの心配(失禁など)	障がい(脳卒中の後遺症など)	外での楽しみがない	耳の障がい(聞こえの問題など)	目の障がい	経済的に出られない	その他
外出が減っている人 (n=210)	61.9%	26.2%	25.2%	25.2%	13.3%	11.4%	11.0%	5.2%	4.8%	12.4%
男性 (n=64)	45.3%	34.4%	26.6%	28.1%	26.6%	10.9%	9.4%	6.3%	6.3%	12.5%
女性 (n=146)	69.2%	22.6%	24.7%	24.0%	7.5%	11.6%	11.6%	4.8%	4.1%	12.3%
前期高齢者 (n=30)	23.3%	36.7%	33.3%	16.7%	40.0%	13.3%	3.3%	0.0%	6.7%	16.7%
後期高齢者 (n=180)	68.3%	24.4%	23.9%	26.7%	8.9%	11.1%	12.2%	6.1%	4.4%	11.7%

(9)外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

全体では、割合が最も高いのは「自動車(人に乗せてもらう)」(64.5%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「自動車(人に乗せてもらう)」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「自動車(人に乗せてもらう)」となっている。

	自動車 (人に乗せてもらう)	徒歩	タクシー	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	車いす	その他	自動車 (自分で運転)	路線バス	電動車いす(カート)	自転車	バイク	電車
全体 (n=409)	64.5%	23.5%	18.8%	14.9%	13.2%	9.3%	5.6%	5.4%	4.4%	3.4%	1.0%	0.5%	0.0%
男性 (n=127)	58.3%	23.6%	14.2%	11.0%	4.7%	8.7%	3.9%	11.0%	3.9%	8.7%	2.4%	1.6%	0.0%
女性 (n=282)	67.4%	23.4%	20.9%	16.7%	17.0%	9.6%	6.4%	2.8%	4.6%	1.1%	0.4%	0.0%	0.0%
前期高齢者 (n=61)	63.9%	26.2%	11.5%	24.6%	4.9%	9.8%	8.2%	8.2%	4.9%	6.6%	3.3%	1.6%	0.0%
後期高齢者 (n=348)	64.7%	23.0%	20.1%	13.2%	14.7%	9.2%	5.2%	4.9%	4.3%	2.9%	0.6%	0.3%	0.0%

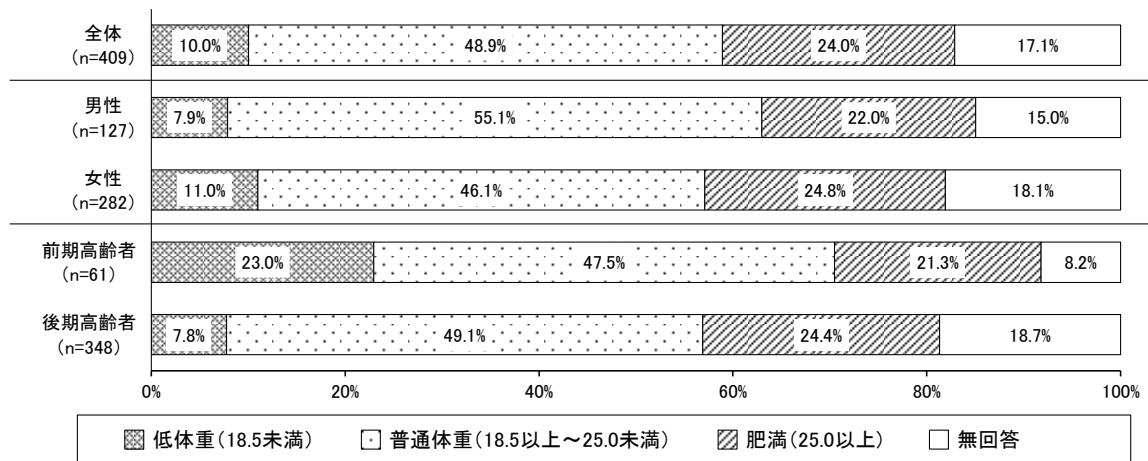
4. 食べるについて(問3)

(1)身長・体重

全体では、「普通体重」の割合(48.9%)が最も高くなっている。

性別では、「普通体重」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「普通体重」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

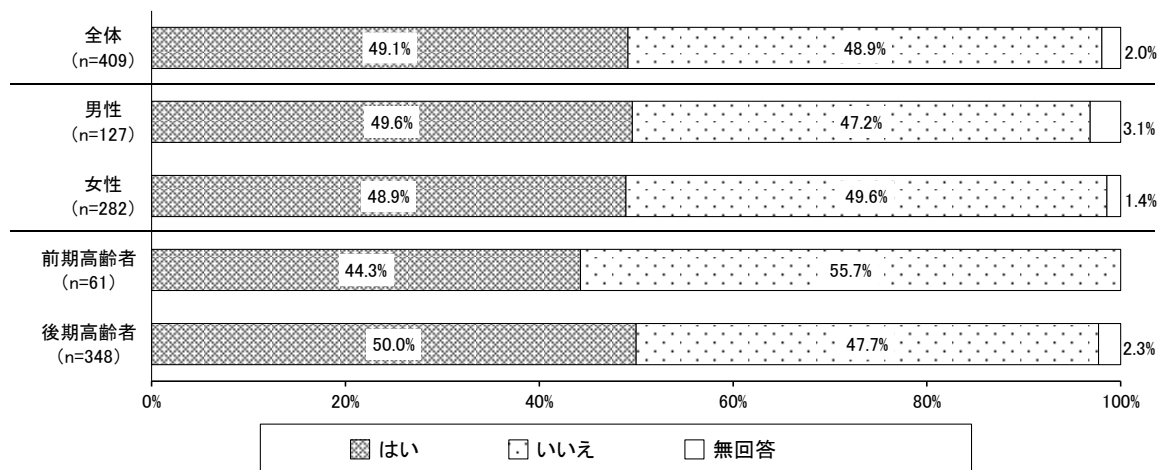


(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

全体では、「はい」と「いいえ」の割合が同程度となっている。

性別では、男女ともほぼ同じ結果となっている。

年代別では、「はい」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

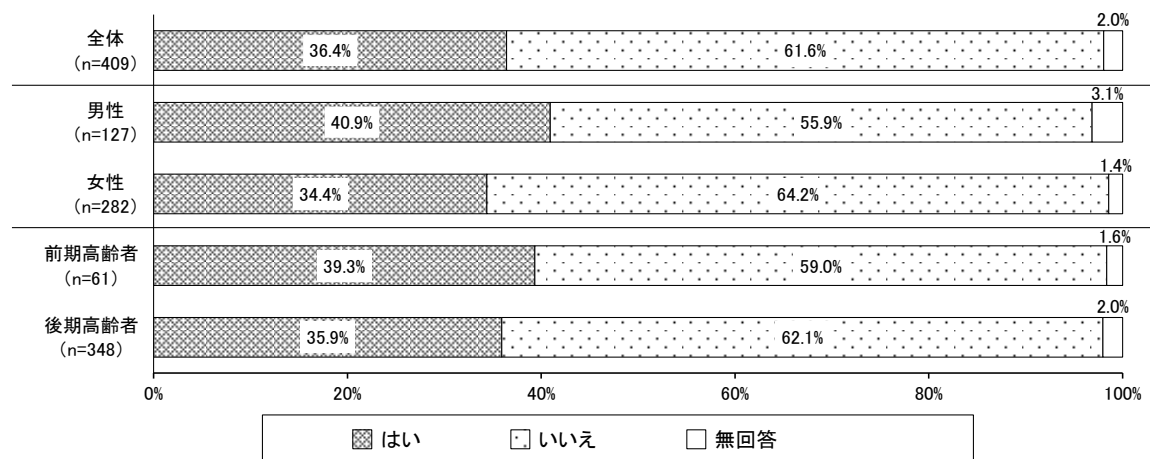


(3)お茶や汁物等でむせることがありますか

全体では、「はい」の割合は36.4%となっている。

性別では、「はい」の割合は「男性」が「女性」をやや上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」をやや上回っている。

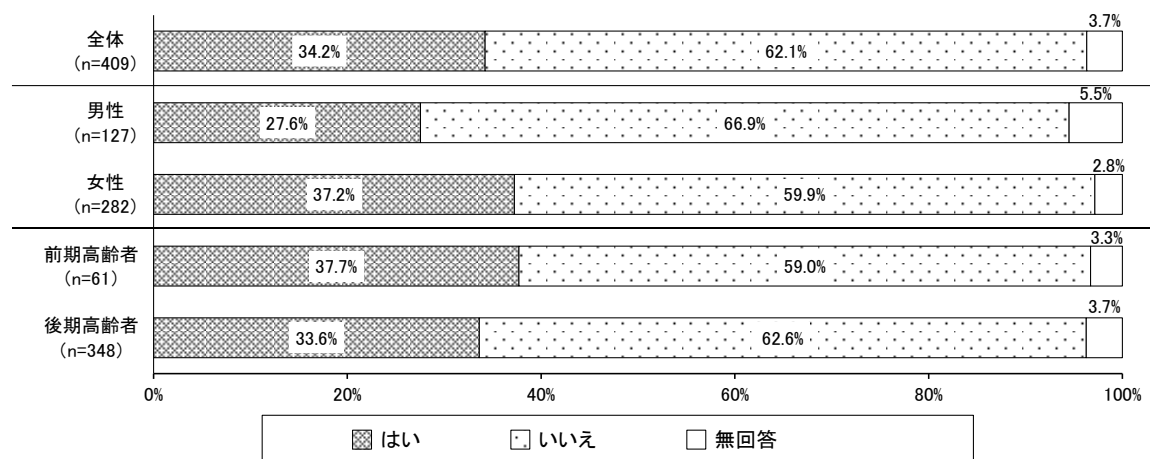


(4)口の渇きが気になりますか

全体では、「はい」の割合は34.2%となっている。

性別では、「はい」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」をやや上回っている。

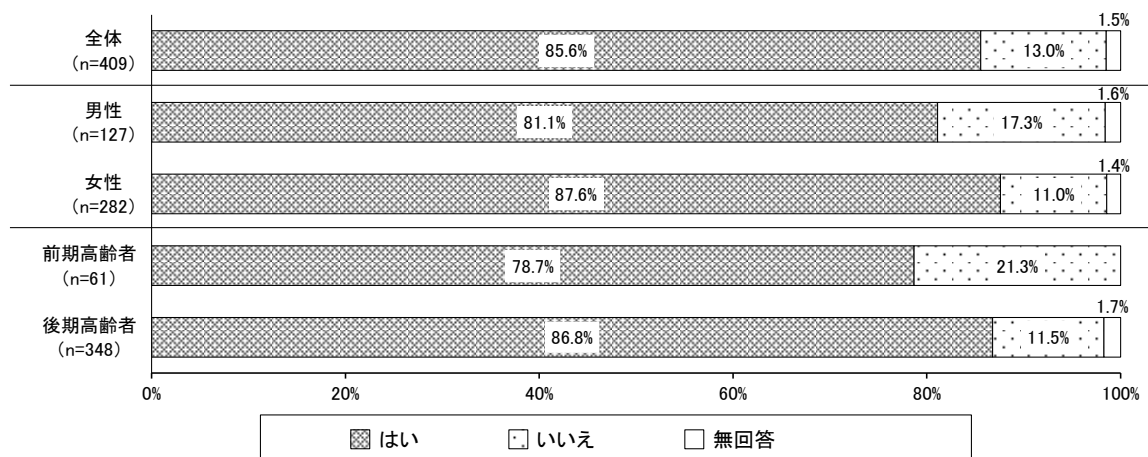


(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

全体では、「はい」の割合は85.6%でほとんどとなっている。

性別では、「はい」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。



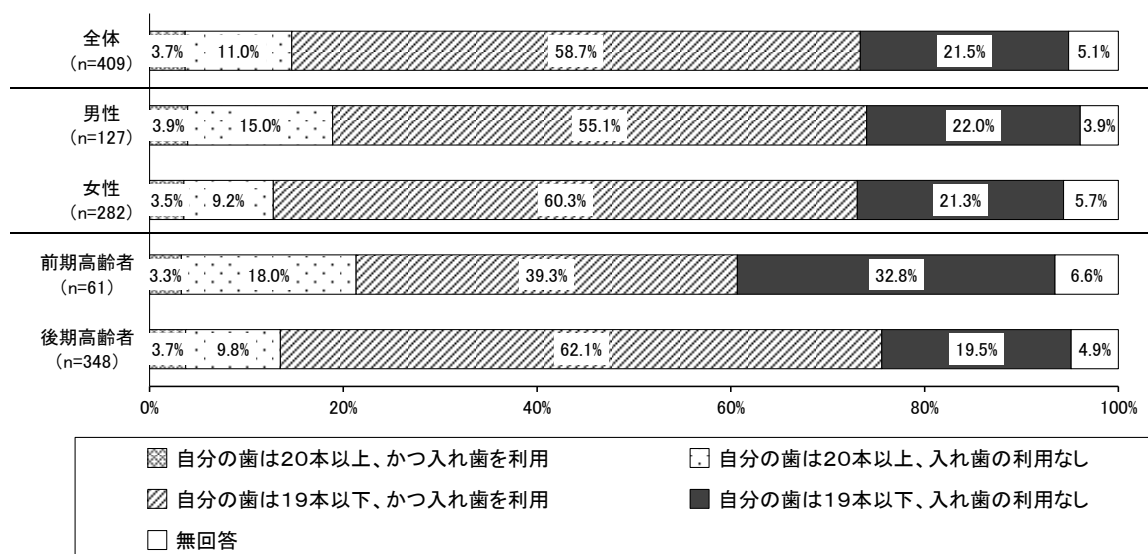
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

全体では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合(58.7%)が最も高くなっている。

性別では、男女とも「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が最も高くなっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が最も高くなっている。

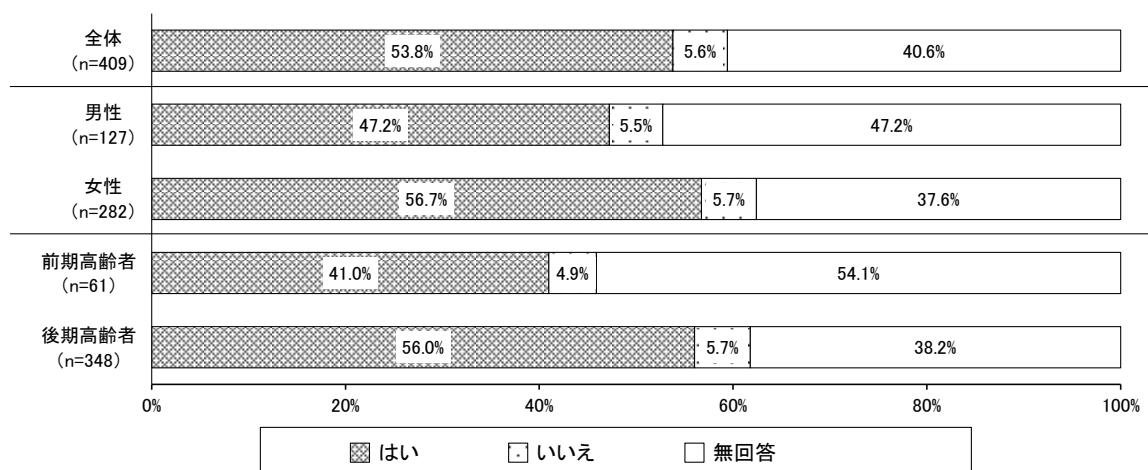


【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか

全体では、「はい」の割合は53.8%となっている。

性別では、「はい」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

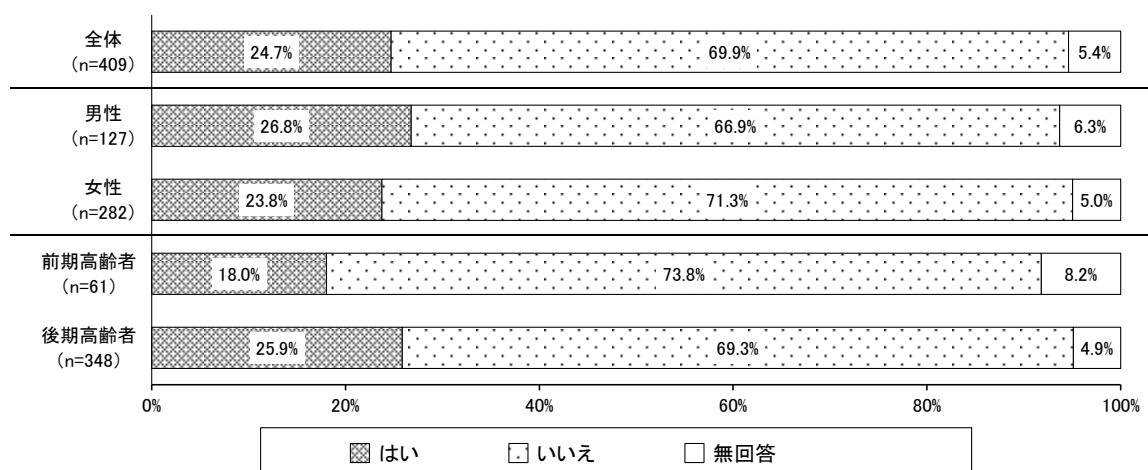


(7)6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

全体では、「はい」の割合は24.7%となっている。

性別では、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

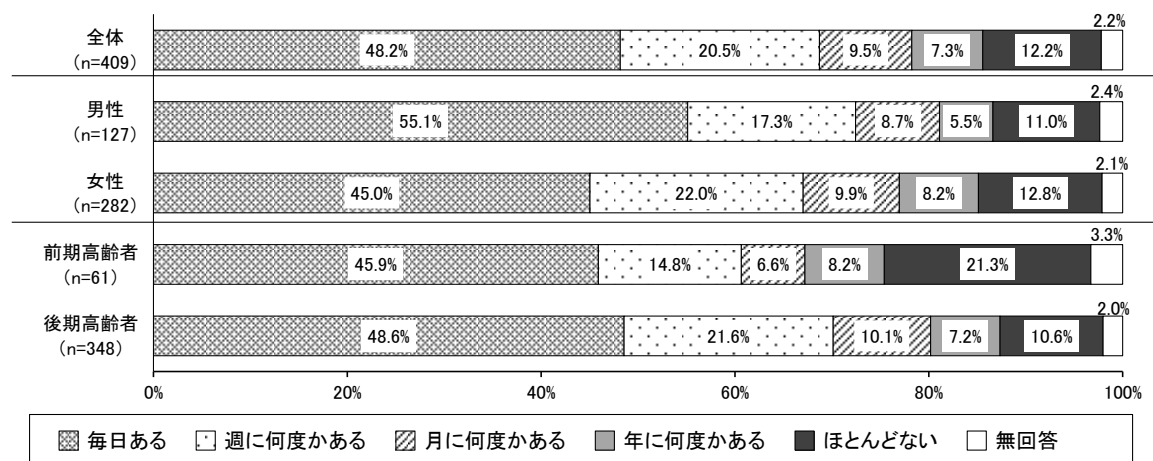


(8)どなたかと食事をとにもする機会がありますか

全体では、「毎日ある」の割合(48.2%)が最も高くなっている。

性別では、「はい」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「普通体重」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。



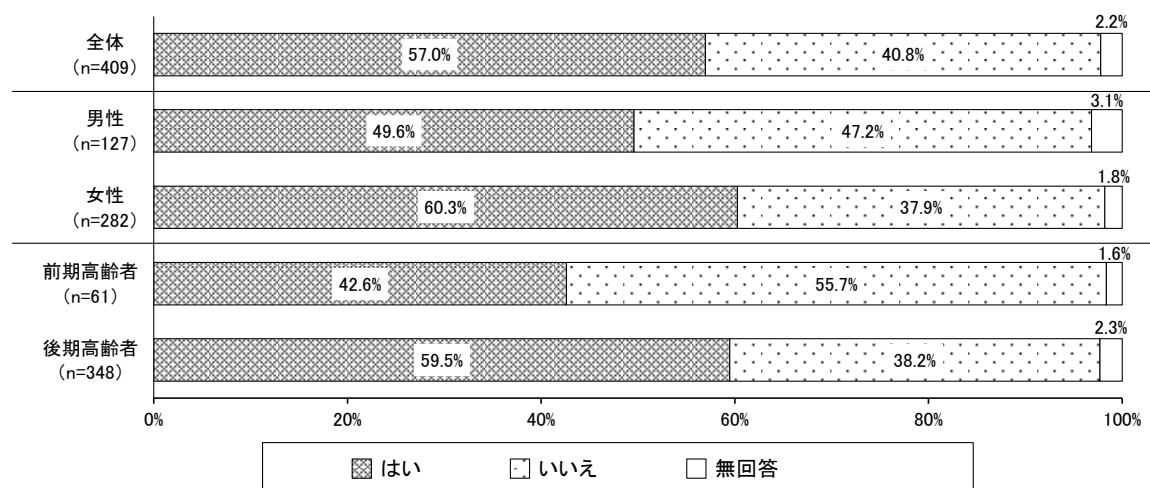
5. 毎日の生活について(問4)

(1)物忘れが多いと感じますか

全体では、「はい」の割合は57.0%となっている。

性別では、「はい」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

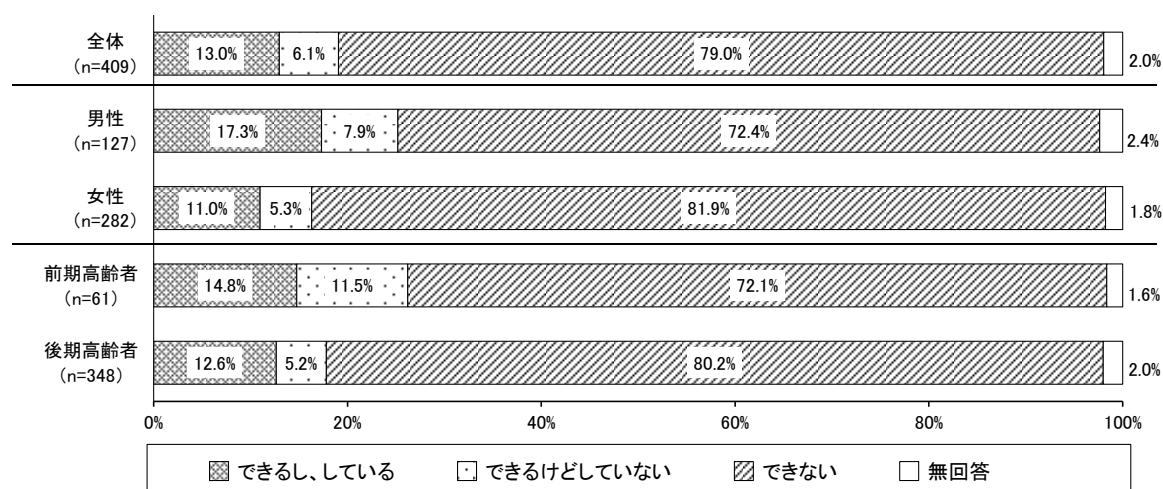


(2)バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

全体では、「できない」の割合は79.0%となっている。

性別では、「できない」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「できない」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

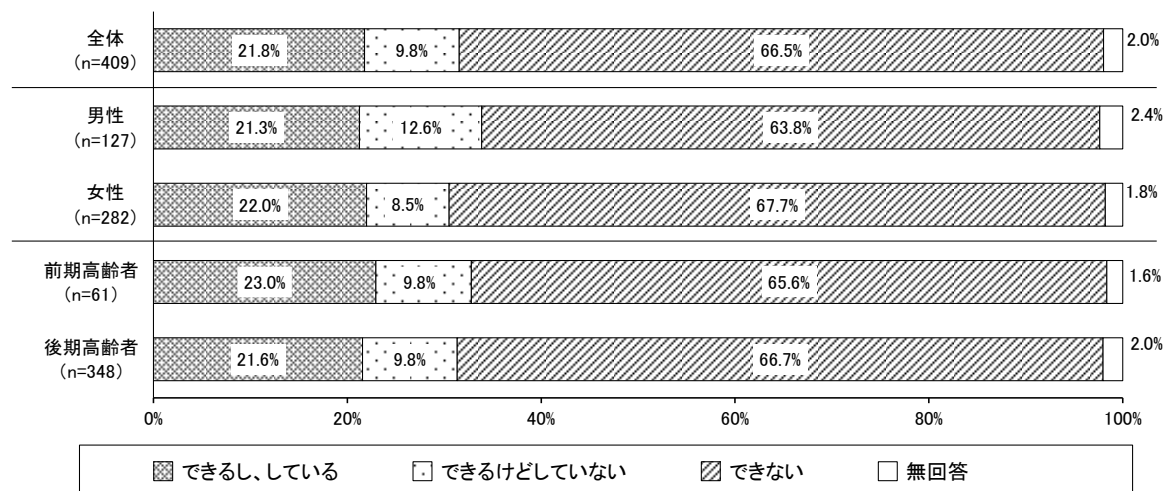


(3)自分で食品・日用品の買物をしていますか

全体では、「できない」の割合は66.5%となっている。

性別では、「できない」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「できない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

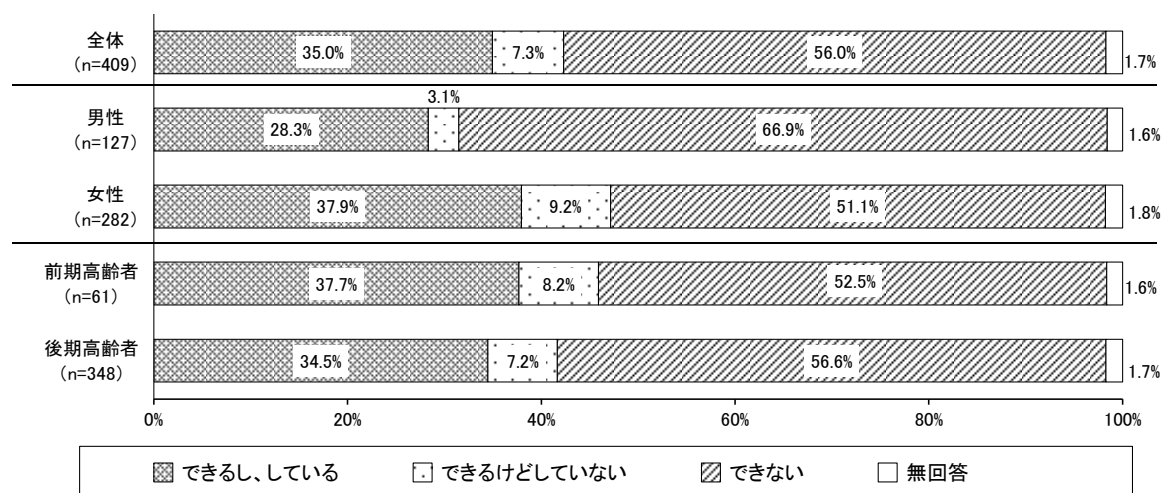


(4)自分で食事の用意をしていますか

全体では、「できない」の割合は56.0%となっている。

性別では、「できない」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「できない」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

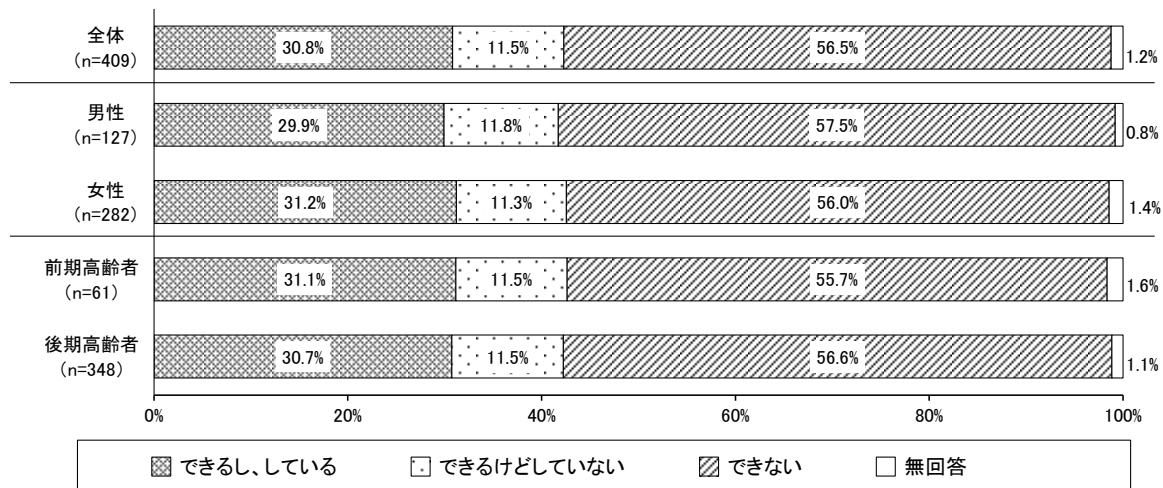


(5)自分で請求書の支払いをしていますか

全体では、「できない」の割合は56.5%となっている。

性別では、「できない」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「できない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。

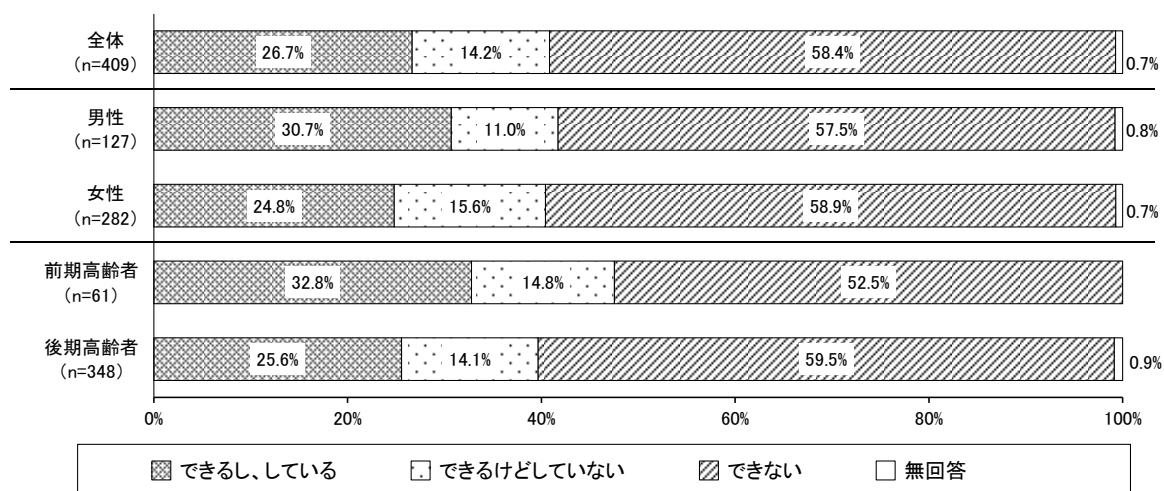


(6)自分で預貯金の出し入れをしていますか

全体では、「できない」の割合は58.4%となっている。

性別では、「できない」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「できない」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

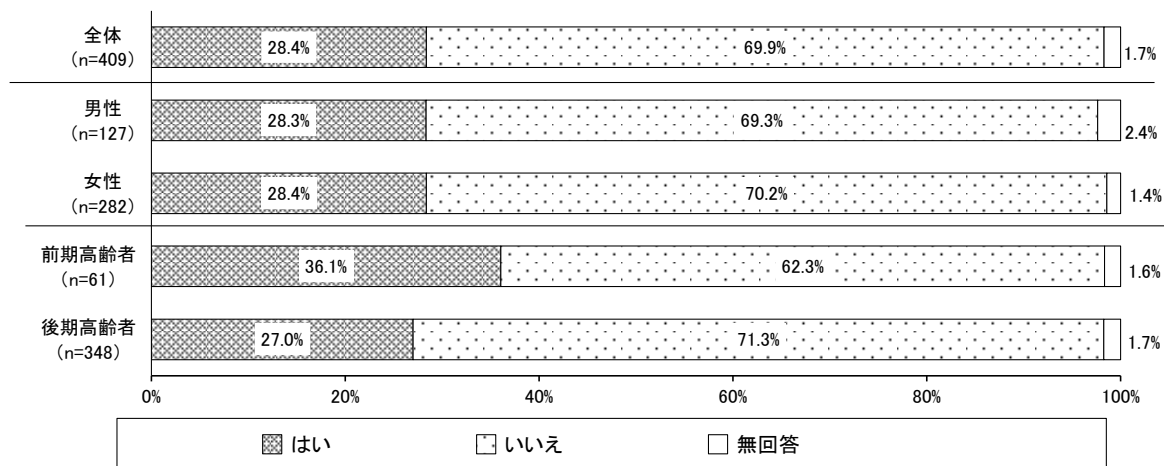


(7)年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

全体では、「いいえ」の割合は69.9%でほとんどとなっている。

性別では、「いいえ」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「いいえ」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

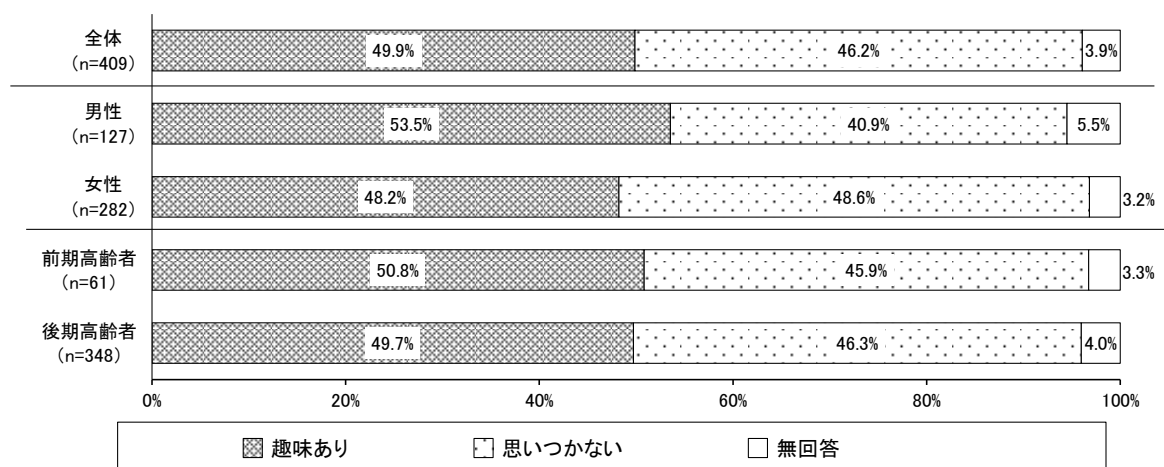


(8)趣味はありますか

全体では、「趣味あり」と「趣味なし」の割合は同程度となっている。

性別では、男女とも全体とほぼ同じ結果となっている。

年代別では、「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じ結果となっている。

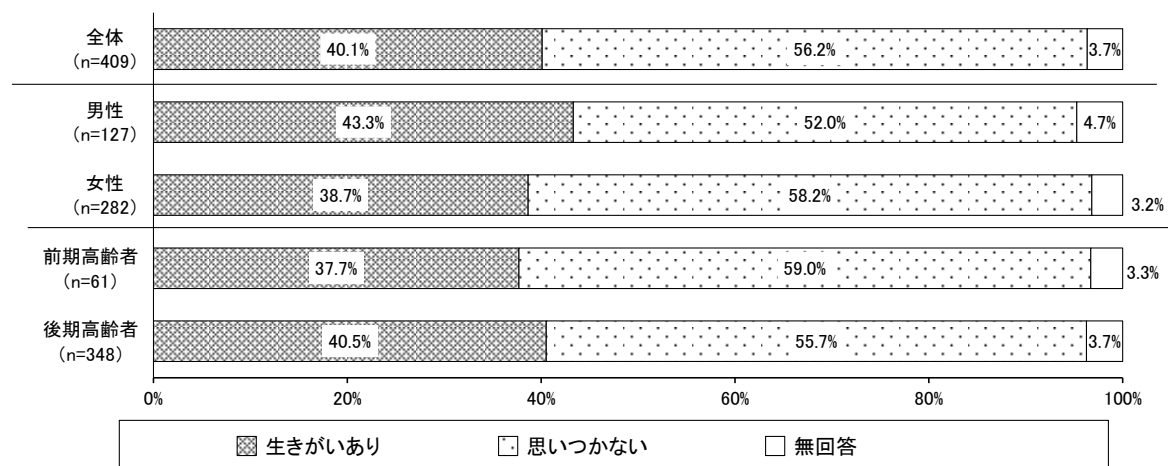


(9)生きがいがありますか

全体では、「生きがいあり」の割合が約4割となっている。

性別では、「生きがいあり」の割合は「男性」が「女性」をやや上回っている。

年代別では、「生きがいあり」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」をやや上回っている。



6. 地域での活動について(問5)

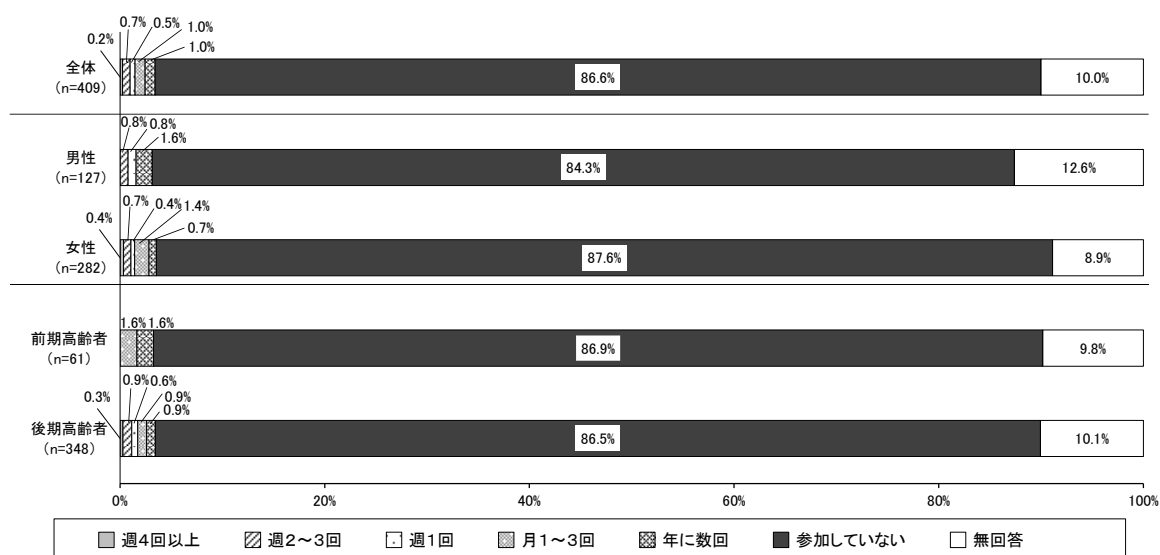
(1)以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

①ボランティアのグループ

全体では、「参加していない」の割合(86.6%)がほとんどとなっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほとんどとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほとんどとなっている。

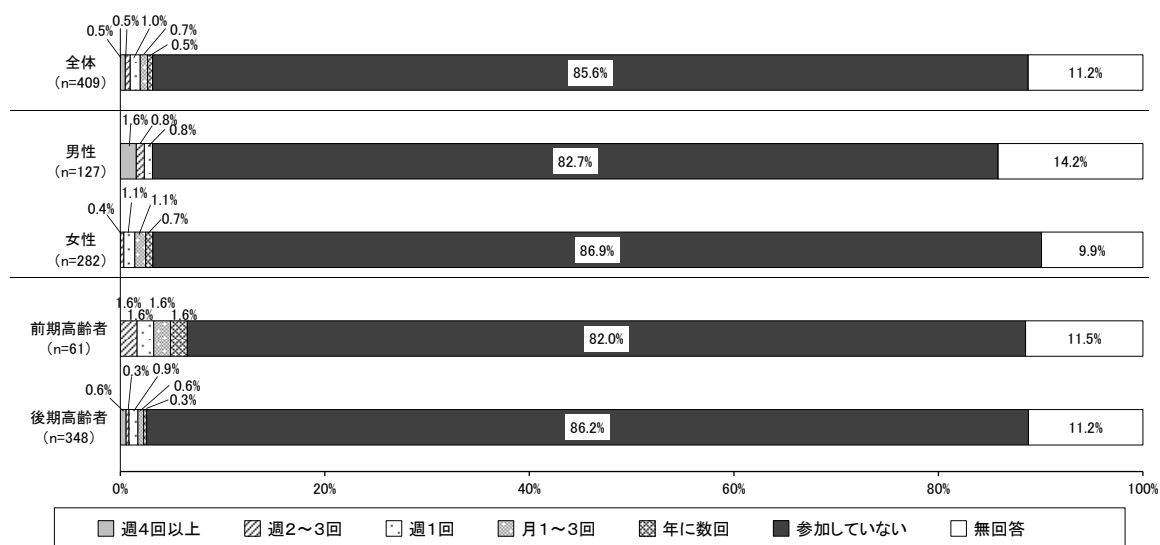


②スポーツ関係のグループやクラブ

全体では、「参加していない」の割合(85.6%)がほとんどとなっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほとんどとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほとんどとなっている。

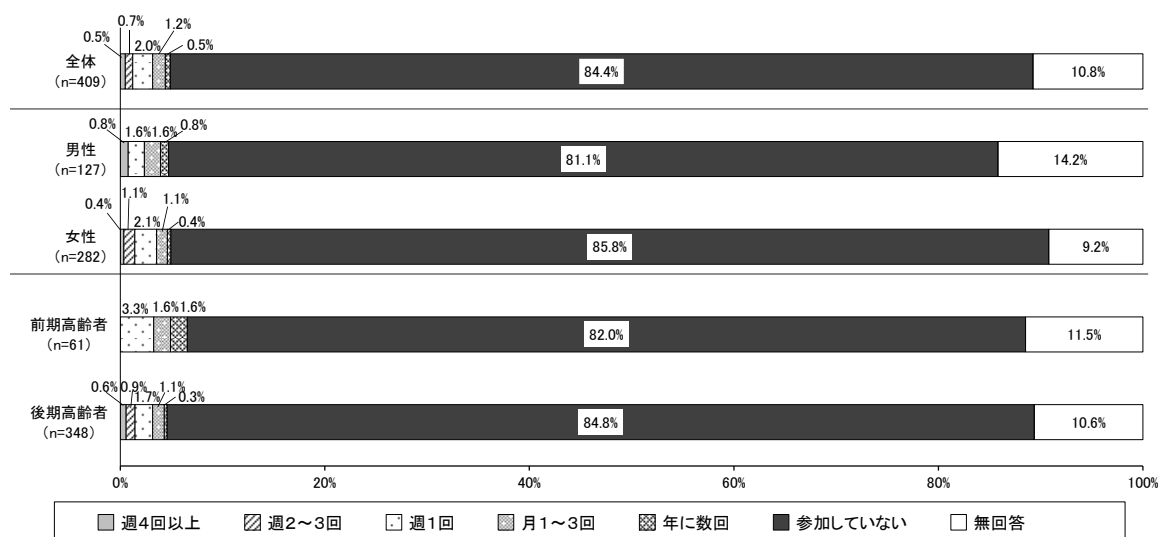


③趣味関係のグループ

全体では、「参加していない」の割合(84.4%)がほとんどとなっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほとんどとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほとんどとなっている。

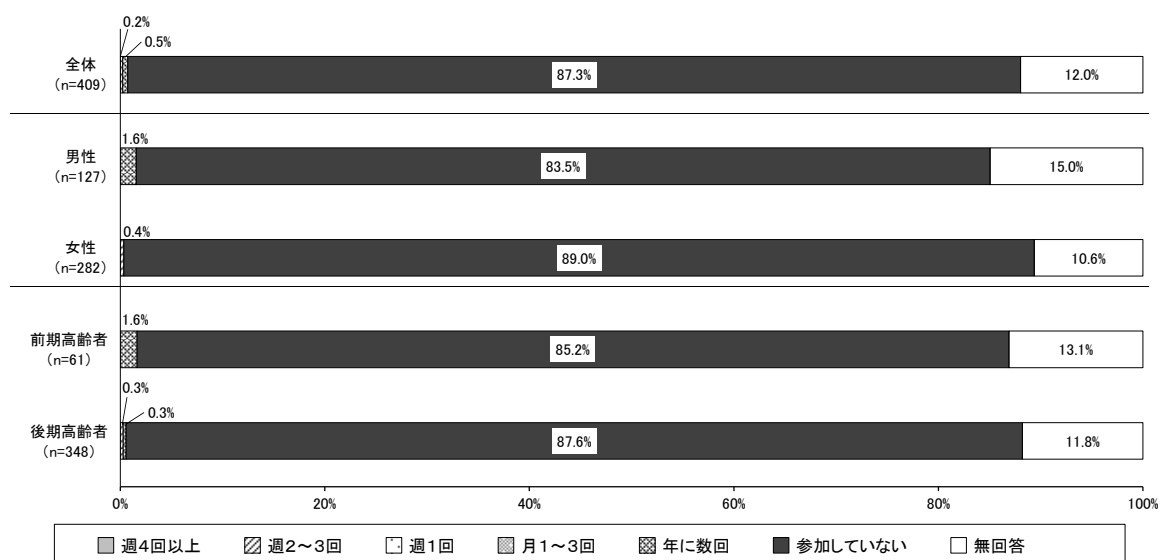


④学習・教養サークル

全体では、「参加していない」の割合(87.3%)がほとんどとなっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほとんどとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほとんどとなっている。

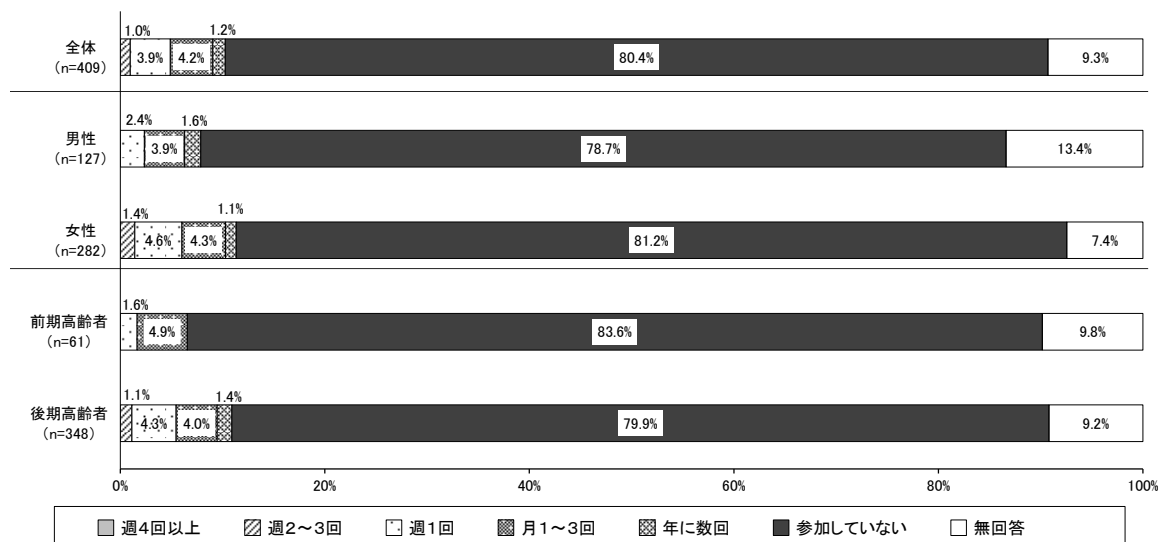


⑤介護予防のための通いの場(ころばん体操, はつらつ教室, 悠々長生き教室, ゆらおう会, ねっせんきゃきばろう会など)

全体では、「参加していない」の割合(80.4%)がほとんどとなっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほとんどとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほとんどとなっている。

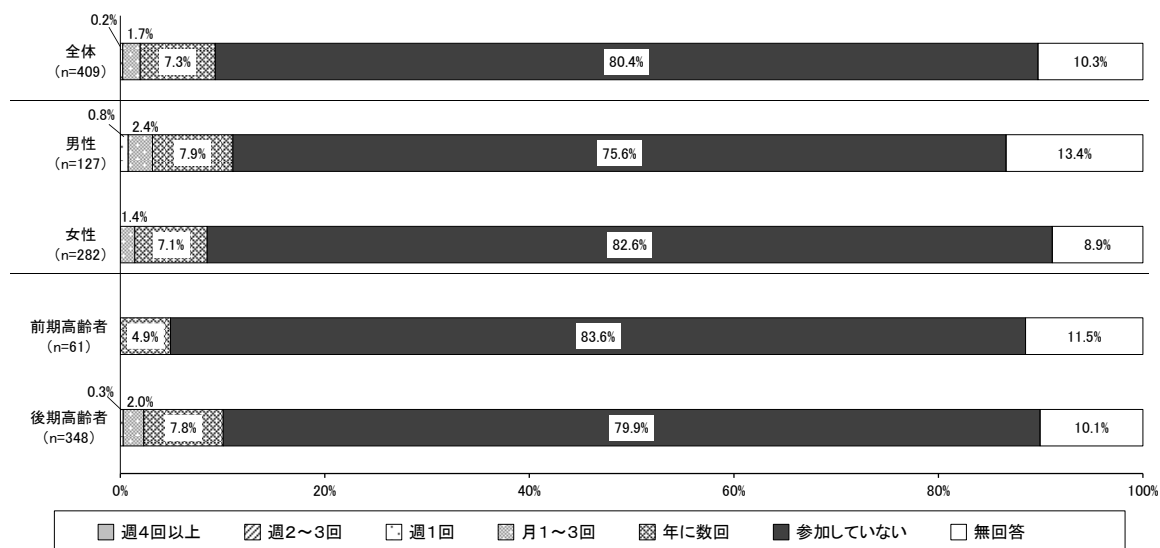


⑥老人クラブ

全体では、「参加していない」の割合(80.4%)がほとんどとなっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほとんどとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほとんどとなっている。

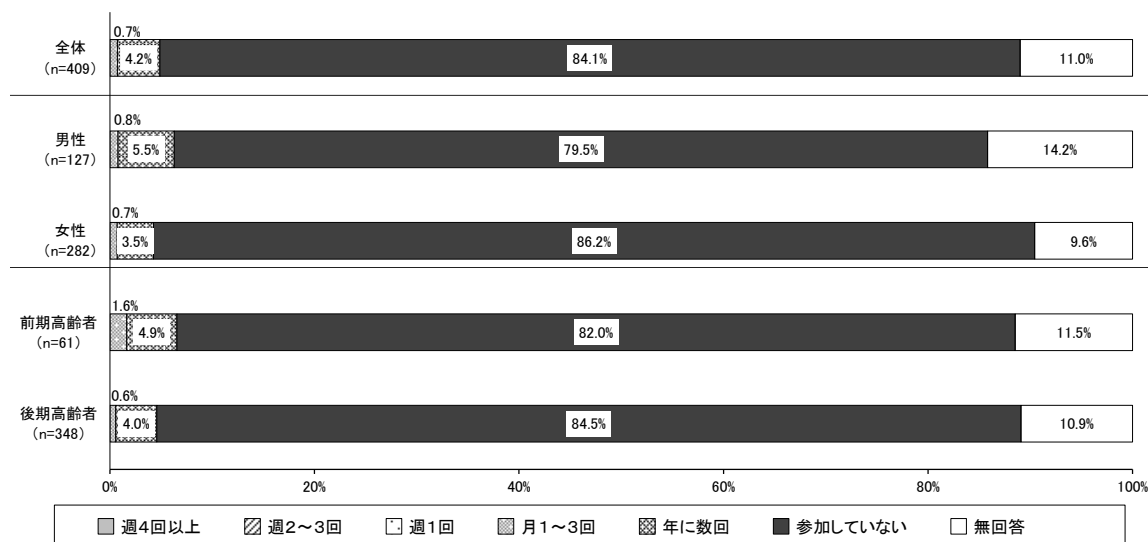


⑦町内会・自治会

全体では、「参加していない」の割合(84.1%)がほとんどとなっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほとんどとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほとんどとなっている。

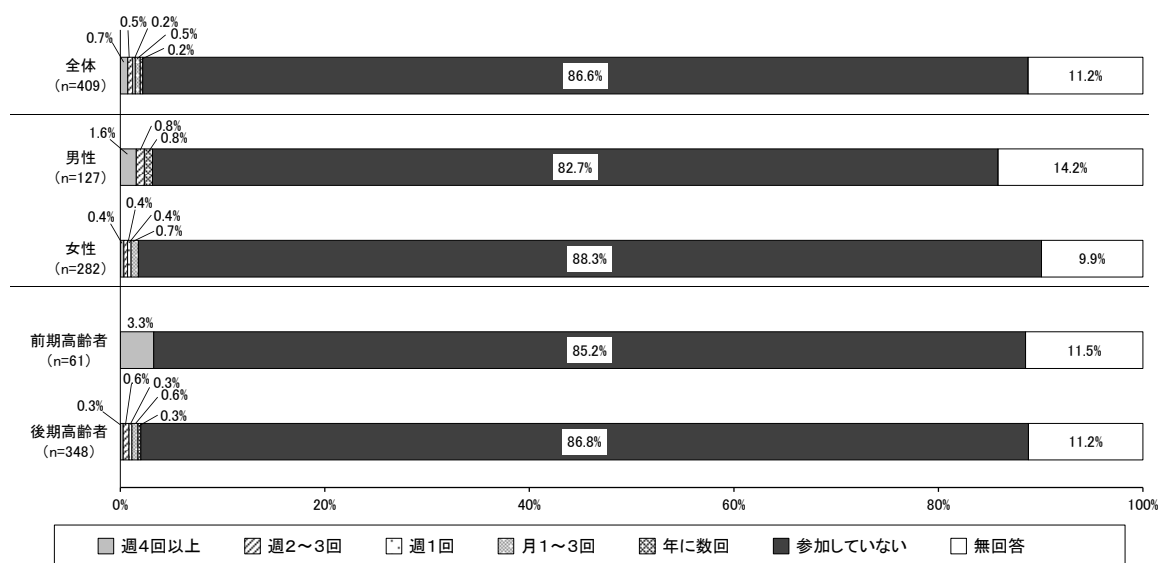


⑧収入のある仕事

全体では、「参加していない」の割合(86.6%)がほとんどとなっている。

性別でみると、「参加していない」の割合は男女ともほとんどとなっている。

年代別では、「参加していない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほとんどとなっている。

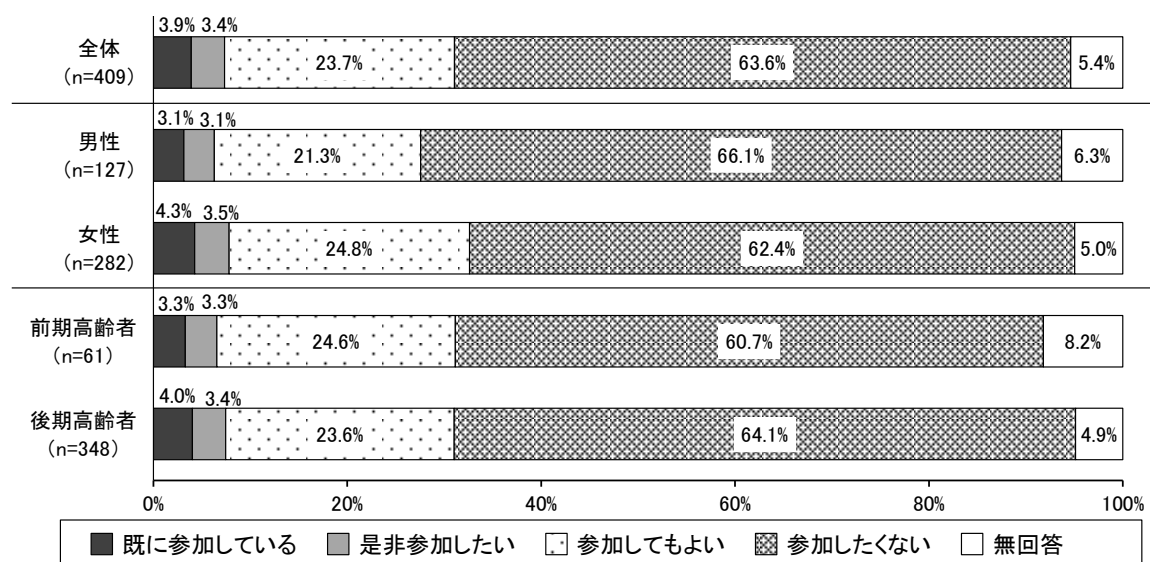


(2)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

全体では、「参加したくない」の割合が6割を上回っている。

性別でみると、「参加したくない」の割合は男女とも6割を上回っている。

年代別では、「参加したくない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」とも6割を上回っている。

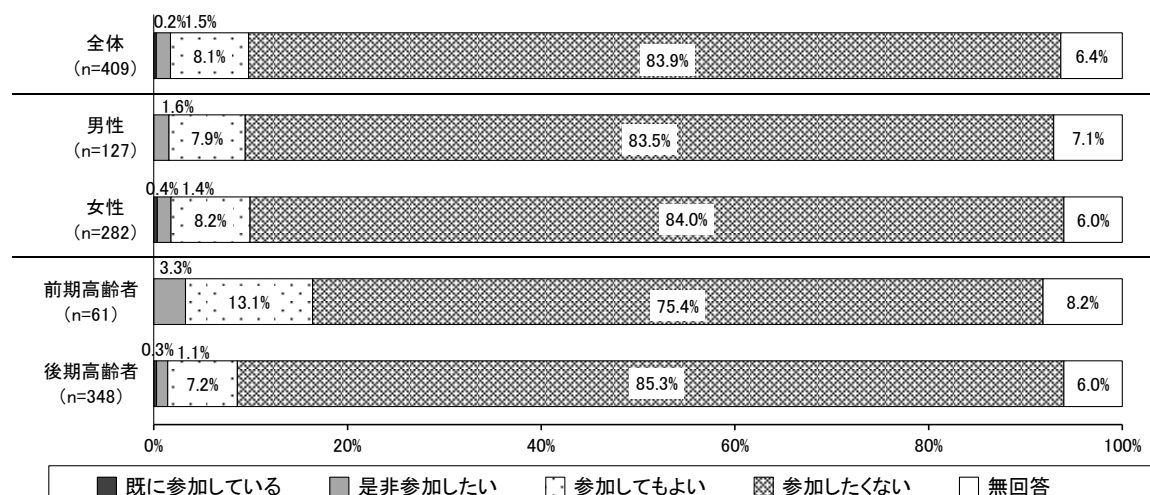


(3)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

全体では、「参加したくない」の割合(83.9%)がほとんどとなっている。

性別でみると、「参加したくない」の割合は男女ともほとんどとなっている。

年代別では、「参加したくない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほとんどとなっている。



7. 就労について(問6)

(1)現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)

全体では、「引退した」の割合が55.5%で最も高くなっている。次が「その他」(16.4%)となっている。

性別でみると、「引退した」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「引退した」の割合は前期高齢者、後期高齢者ともほぼ同じとなっている。

	引退した	その他	自営業	非常勤 (パート・アルバイト)	常勤 (フルタイム)	職に就いたことがない	求職中
全体 (n=409)	55.5%	16.4%	3.4%	1.5%	0.5%	14.4%	0.2%
男性 (n=127)	72.4%	13.4%	3.1%	0.0%	0.8%	5.5%	0.0%
女性 (n=282)	47.9%	17.7%	3.5%	2.1%	0.4%	18.4%	0.4%
前期高齢者 (n=61)	62.3%	11.5%	1.6%	3.3%	1.6%	11.5%	0.0%
後期高齢者 (n=348)	54.3%	17.2%	3.7%	1.1%	0.3%	14.9%	0.3%

8. たすけあいについて(問7)

(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

全体では、「友人」の割合(49.5%)が最も高く、次が「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(37.9%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは「男性」は「配偶者」、「女性」は「友人」となっている。

年代別では、上位の項目は「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じとなっている。

	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	配偶者	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
全体 (n=409)	49.5%	37.9%	32.1%	22.5%	16.2%	9.7%	2.0%	4.5%
男性 (n=127)	38.7%	27.6%	25.8%	59.4%	9.7%	4.6%	2.3%	7.4%
女性 (n=282)	57.6%	45.5%	36.9%	37.9%	21.0%	13.4%	1.7%	2.4%
前期高齢者 (n=61)	53.6%	37.9%	27.2%	51.1%	14.0%	8.5%	1.7%	4.7%
後期高齢者 (n=348)	46.0%	37.9%	36.4%	43.8%	18.0%	10.7%	2.2%	4.4%

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

全体では、「そのような人はいない」の割合(30.3%)が最も高くなっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「そのような人はいない」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「そのような人はいない」となっている。

	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	配偶者	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
全体 (n=409)	21.5%	21.3%	18.3%	17.6%	12.0%	7.6%	2.7%	30.3%
男性 (n=127)	15.7%	18.1%	12.6%	35.4%	11.0%	3.9%	2.4%	29.9%
女性 (n=282)	24.1%	22.7%	20.9%	9.6%	12.4%	9.2%	2.8%	30.5%
前期高齢者 (n=61)	19.7%	18.0%	21.3%	36.1%	4.9%	3.3%	1.6%	29.5%
後期高齢者 (n=348)	21.8%	21.8%	17.8%	14.4%	13.2%	8.3%	2.9%	30.5%

(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

全体では、「別居の子ども」の割合(41.1%)が最も高くなっている。

性別では、割合が最も高いのは「男性」は「配偶者」、「女性」は「別居の子ども」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」は「配偶者」、「後期高齢者」は「別居の子ども」となっている。

	別居の子ども	同居の子ども	配偶者	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない
全体 (n=409)	41.1%	25.7%	23.0%	15.4%	5.1%	2.2%	9.5%	12.0%
男性 (n=127)	29.9%	18.1%	42.5%	9.4%	3.1%	1.6%	6.3%	17.3%
女性 (n=282)	46.1%	29.1%	14.2%	18.1%	6.0%	2.5%	11.0%	9.6%
前期高齢者 (n=61)	29.5%	13.1%	39.3%	13.1%	3.3%	1.6%	9.8%	19.7%
後期高齢者 (n=348)	43.1%	27.9%	20.1%	15.8%	5.5%	2.3%	9.5%	10.6%

(4)反対に、看病や世話をしあける人(いくつでも)

全体では、「そのような人はいない」の割合(60.6%)が最も高くなっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「そのような人はいない」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「そのような人はいない」となっている。

	配偶者	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない
全体 (n=409)	15.4%	6.4%	6.1%	3.9%	2.2%	1.2%	5.9%	60.6%
男性 (n=127)	23.6%	6.3%	5.5%	4.7%	1.6%	0.8%	5.5%	55.1%
女性 (n=282)	11.7%	6.4%	6.4%	3.5%	2.5%	1.4%	6.0%	63.1%
前期高齢者 (n=61)	27.9%	4.9%	9.8%	6.6%	3.3%	1.6%	4.9%	47.5%
後期高齢者 (n=348)	13.2%	6.6%	5.5%	3.4%	2.0%	1.1%	6.0%	62.9%

(5)家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)

全体では、「ケアマネジャー」の割合(64.5%)が最も高くなっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「ケアマネジャー」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「ケアマネジャー」となっている。

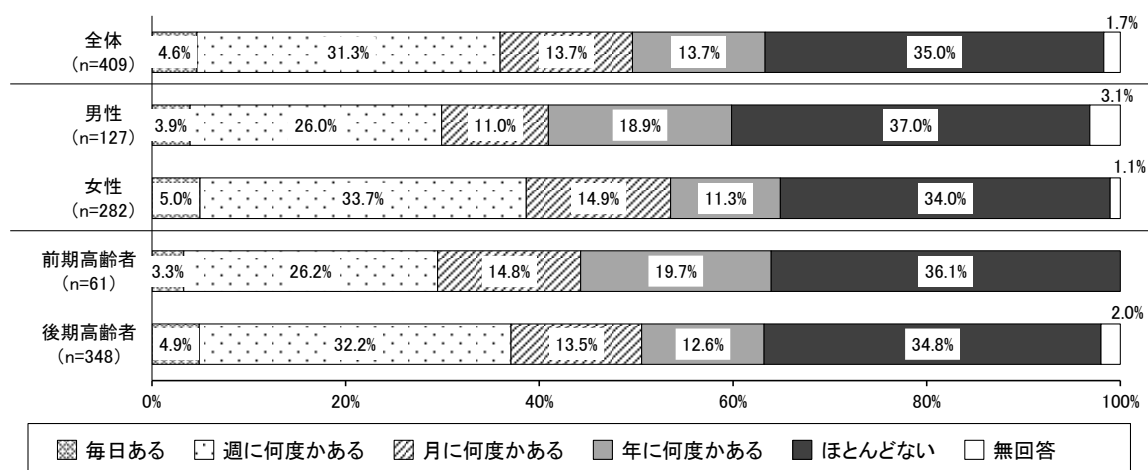
	ケア マネ ジャー	医師・ 歯科 医師・ 看護師	地域 包括 支援 センター・ 役所・ 役場	そ の 他	社会 福祉 協議会・ 民生 委員	自治 会・ 町内 会・ 老人 クラブ	そ の よ う な 人 は い ない
全体 (n=409)	64.5%	33.7%	12.7%	11.7%	6.1%	3.7%	17.4%
男性 (n=127)	59.8%	32.3%	14.2%	8.7%	3.1%	3.1%	19.7%
女性 (n=282)	66.7%	34.4%	12.1%	13.1%	7.4%	3.9%	16.3%
前期高齢者 (n=61)	65.6%	41.0%	9.8%	9.8%	3.3%	0.0%	14.8%
後期高齢者 (n=348)	64.4%	32.5%	13.2%	12.1%	6.6%	4.3%	17.8%

(6)友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

全体では、「ほとんどない」の割合(35.0%)が最も高くなっている。

性別では、「ほとんどない」の割合は「男性」が「女性」をやや上回っている。

年代別では、「ほとんどない」の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。



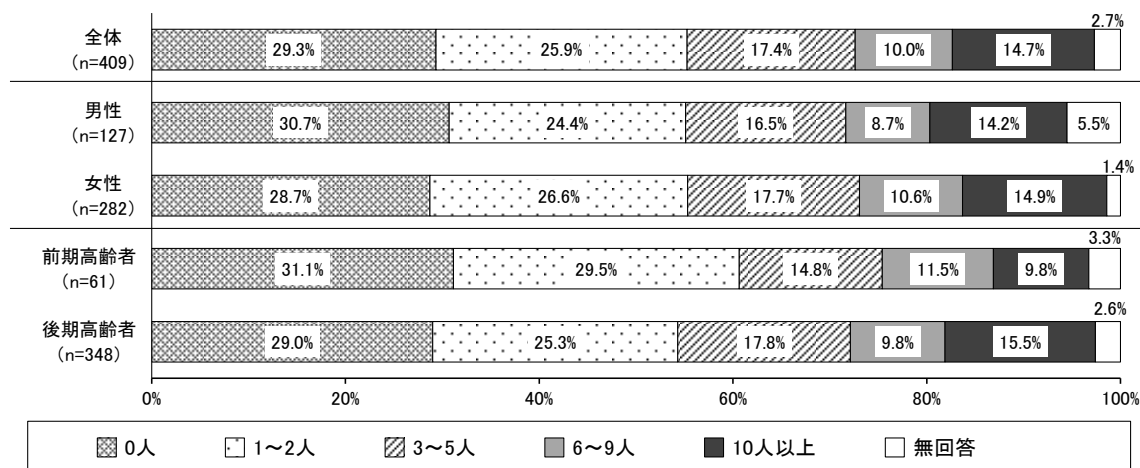
(7)この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

全体では、「0人」の割合(29.3%)が最も高くなっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「0人」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「0人」となっている。



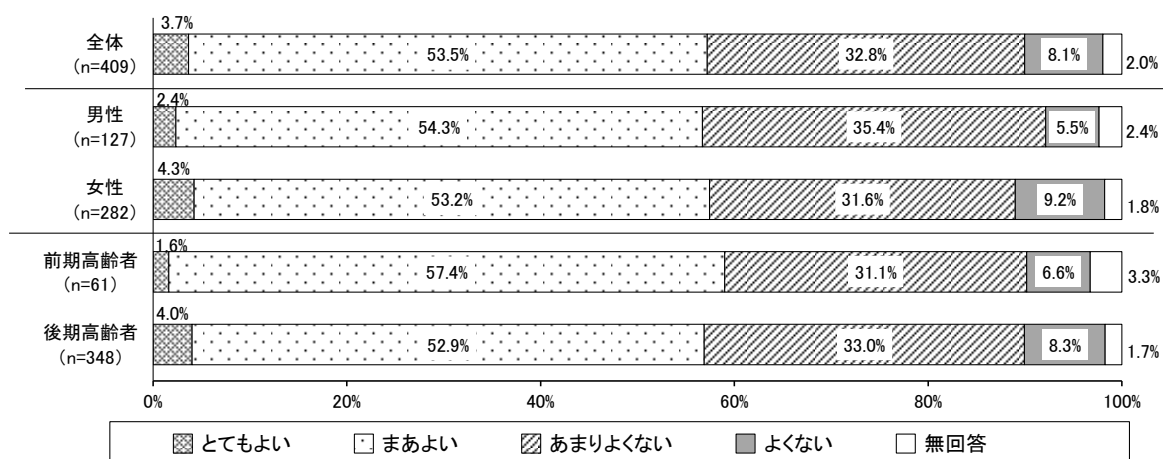
9. 健康について(問8)

(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか

全体では、『よい』(「とてもよい」と「まあよい」の計)の割合は57.2%となっている。

性別でみると、『よい』の割合は男女ともほぼおなじとなっている。

年代別では、『よい』の割合は「前期高齢者」、「後期高齢者」ともほぼ同じとなっている。



(2)あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

全体では、「5点」の割合(24.7%)が最も高く、次が「10点」(16.4%)となっている。

性別では、割合が最も高いのは男女とも「5点」となっている。

年代別では、割合が最も高いのは「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「5点」となっている。

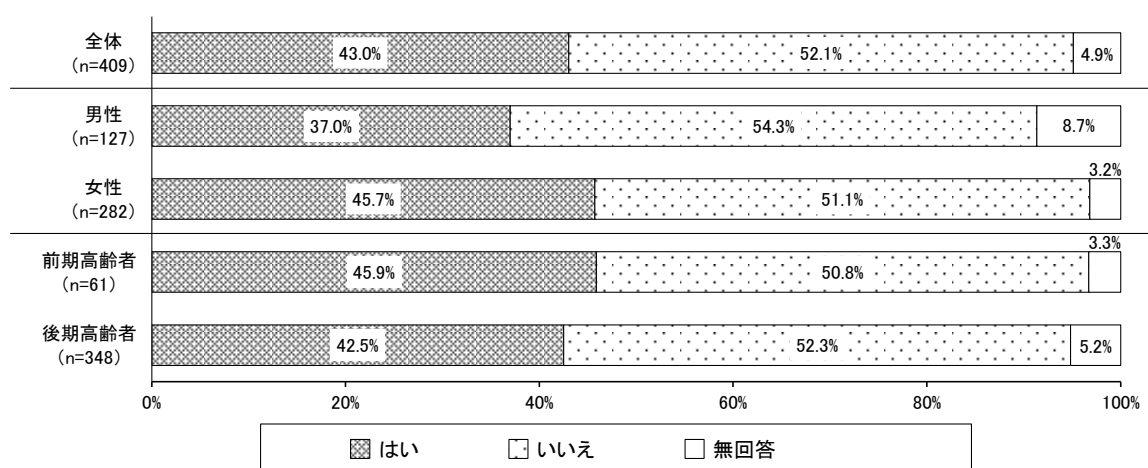
	10点 (とても 幸せ)	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点 (とても 不幸)	無 回 答
全体 (n=409)	16.4%	4.9%	13.2%	13.4%	10.5%	24.7%	4.2%	4.2%	0.7%	0.7%	0.5%	6.6%
男性 (n=127)	11.8%	0.8%	9.4%	12.6%	13.4%	30.7%	3.9%	3.1%	0.8%	1.6%	0.8%	11.0%
女性 (n=282)	18.4%	6.7%	14.9%	13.8%	9.2%	22.0%	4.3%	4.6%	0.7%	0.4%	0.4%	4.6%
前期高齢者 (n=61)	6.6%	3.3%	11.5%	9.8%	14.8%	27.9%	3.3%	8.2%	3.3%	1.6%	1.6%	8.2%
後期高齢者 (n=348)	18.1%	5.2%	13.5%	14.1%	9.8%	24.1%	4.3%	3.4%	0.3%	0.6%	0.3%	6.3%

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

全体では、「はい」の割合は43.0%となっている。

性別では、「はい」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

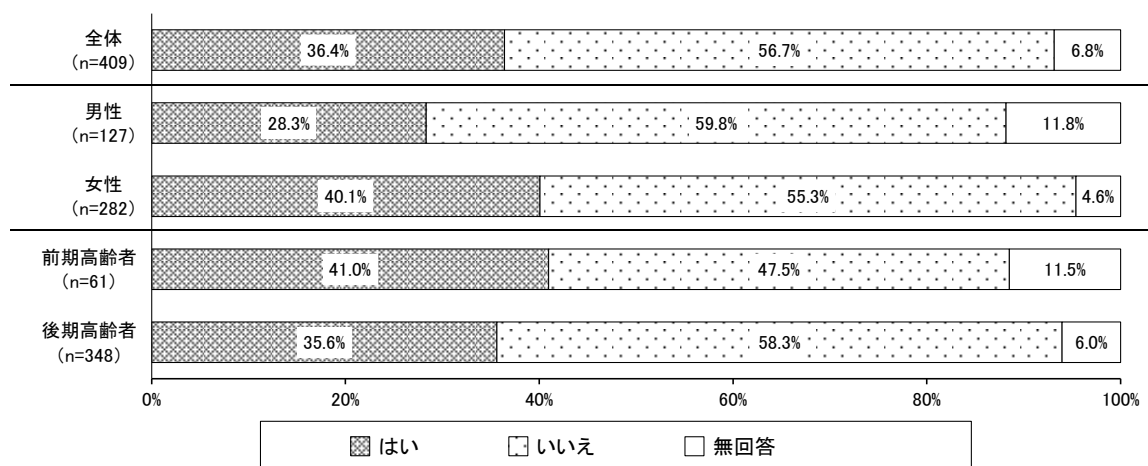


(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

全体では、「はい」の割合は36.4%となっている。

性別では、「はい」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「はい」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

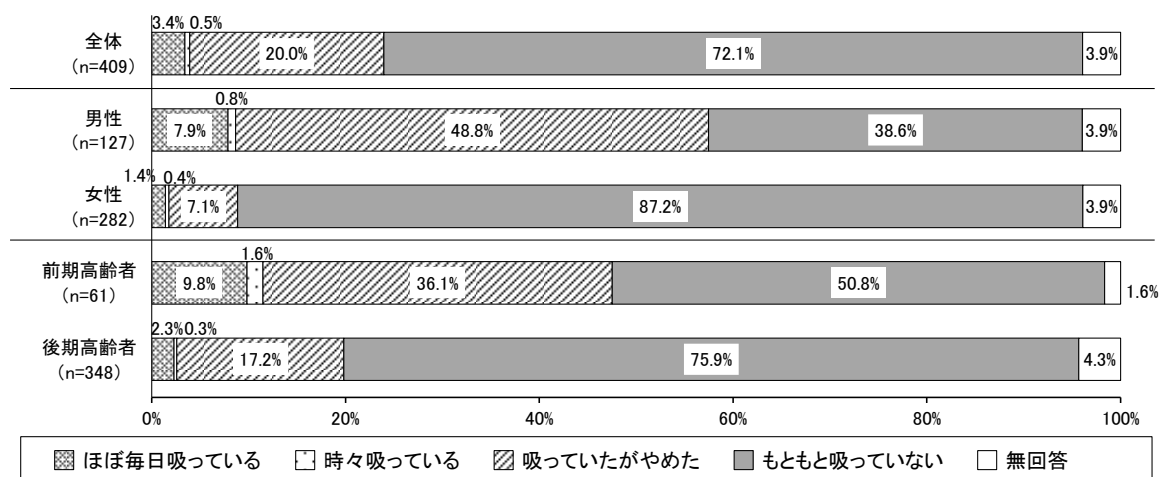


(5)タバコは吸っていますか

全体では、「ほぼ毎日吸っている」の割合は3.4%となっている。

性別では、「ほぼ毎日吸っている」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「ほぼ毎日吸っている」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

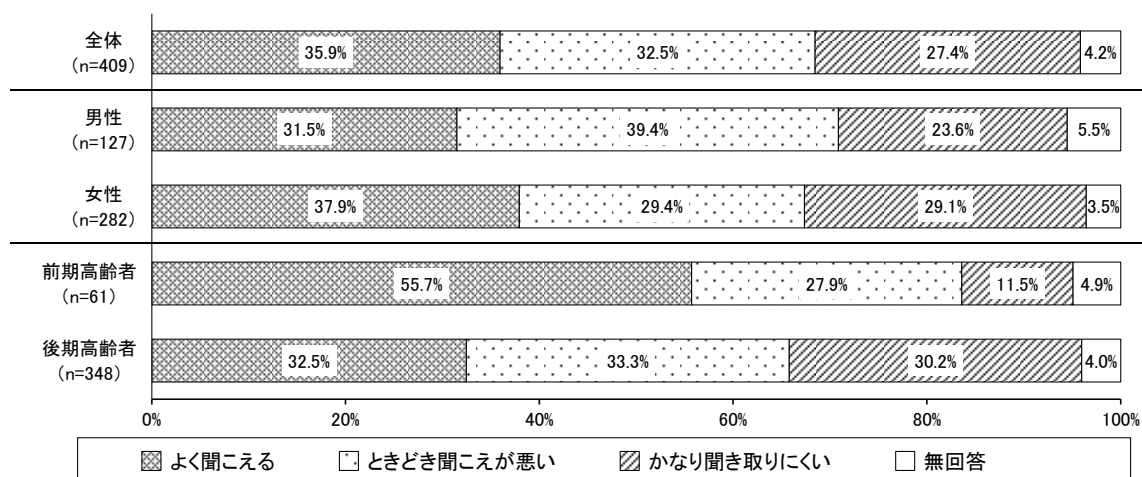


(6)耳の聞こえ(会話やテレビ視聴など)の現在の状態について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください

全体では、「よく聞こえる」の割合は35.9%となっている。

性別では、「よく聞こえる」の割合は「女性」が「男性」を上回っている。

年代別では、「よく聞こえる」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。

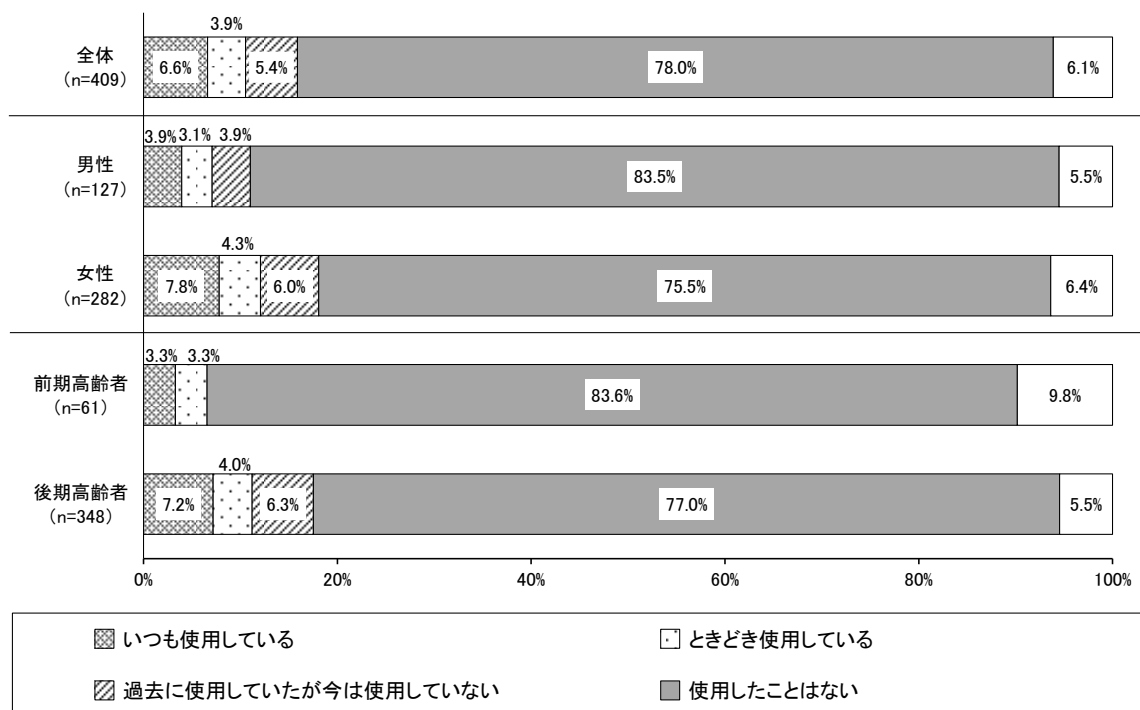


(7)補聴器を使用していますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください

全体では、「使用したことはない」の割合(78.0%)が約8割となっている。

性別では、「使用したことはない」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「よく聞こえる」の割合は「前期高齢者」が「後期高齢者」を上回っている。



(8)(使用していない方へ)補聴器を使用しない理由は何ですか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「必要性を感じない」の割合(57.2%)がほとんどとなっている。

性別では、男女とも全体とほぼ同じとなっている。

年代別では、「前期高齢者」、「後期高齢者」とも全体とほぼ同じとなっている。

	必要性を感じない	付け心地が悪い	費用が高い	その他	効果を感じなかった	調政や手入れが面倒	周囲の目が気になる
全体 (n=409)	57.2%	7.3%	6.6%	4.2%	3.2%	2.9%	0.5%
男性 (n=127)	59.1%	5.5%	6.3%	4.7%	2.4%	3.9%	0.0%
女性 (n=282)	56.4%	8.2%	6.7%	3.9%	3.5%	2.5%	0.7%
前期高齢者 (n=61)	57.4%	4.9%	4.9%	1.6%	3.3%	1.6%	1.6%
後期高齢者 (n=348)	57.2%	7.8%	6.9%	4.6%	3.2%	3.2%	0.3%

(9)現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

全体では、「高血圧」の割合(49.9%)が最も高くなっている。

性別では、男女とも「高血圧」の割合が最も高くなっている。

年代別では、「前期高齢者」、「後期高齢者」とも「高血圧」の割合が最も高くなっている。

	高血圧	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	心臓病	糖尿病	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	認知症（アルツハイマー病等）	目の病気	外傷（転倒・骨折等）	腎臓・前立腺の病気	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	がん（悪性新生物）	耳の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	パーキンソン病	うつ病	血液・免疫の病気	その他	ない
全体 (n=409)	49.6%	26.2%	18.8%	17.6%	17.6%	15.6%	11.7%	9.3%	9.0%	8.6%	8.3%	5.6%	4.6%	4.6%	3.9%	2.4%	0.7%	10.0%	2.4%
男性 (n=127)	49.6%	13.4%	16.5%	16.5%	32.3%	13.4%	11.0%	5.5%	15.0%	4.7%	11.0%	7.9%	3.9%	6.3%	3.1%	0.8%	0.0%	11.8%	0.0%
女性 (n=282)	49.6%	31.9%	19.9%	18.1%	11.0%	16.7%	12.1%	11.0%	6.4%	10.3%	7.1%	4.6%	5.0%	3.9%	4.3%	3.2%	1.1%	9.2%	3.5%
前期高齢者 (n=61)	45.9%	16.4%	16.4%	16.4%	37.7%	19.7%	9.8%	0.0%	11.5%	11.5%	8.2%	11.5%	1.6%	0.0%	4.9%	4.9%	0.0%	11.5%	1.6%
後期高齢者 (n=348)	50.3%	27.9%	19.3%	17.8%	14.1%	14.9%	12.1%	10.9%	8.6%	8.0%	8.3%	4.6%	5.2%	5.5%	3.7%	2.0%	0.9%	9.8%	2.6%

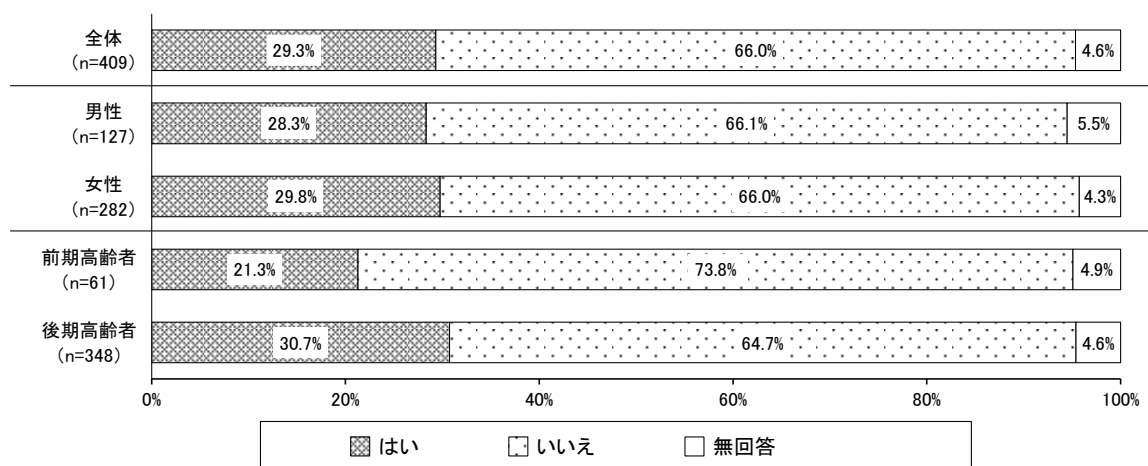
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について(問9)

(1) 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状のある人がいますか

全体では、「はい」の割合が約3割となっている。

性別でみると、「はい」の割合は男女ともほぼ同じとなっている。

年代別では、「はい」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」を上回っている。

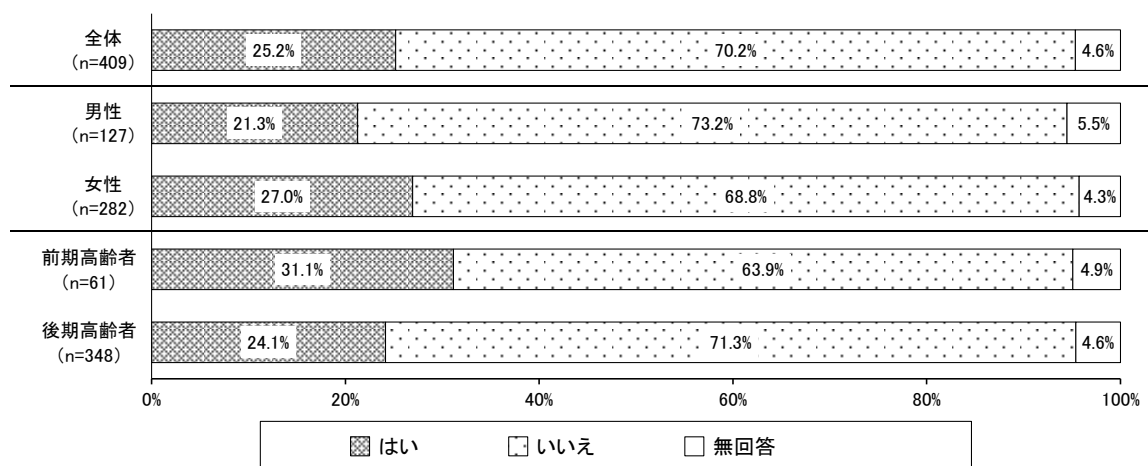


(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

全体では、「いいえ」の割合が約7割となっている。

性別でみると、「いいえ」の割合は「男性」が「女性」を上回っている。

年代別では、「いいえ」の割合は「後期高齢者」が「前期高齢者」をやや上回っている。

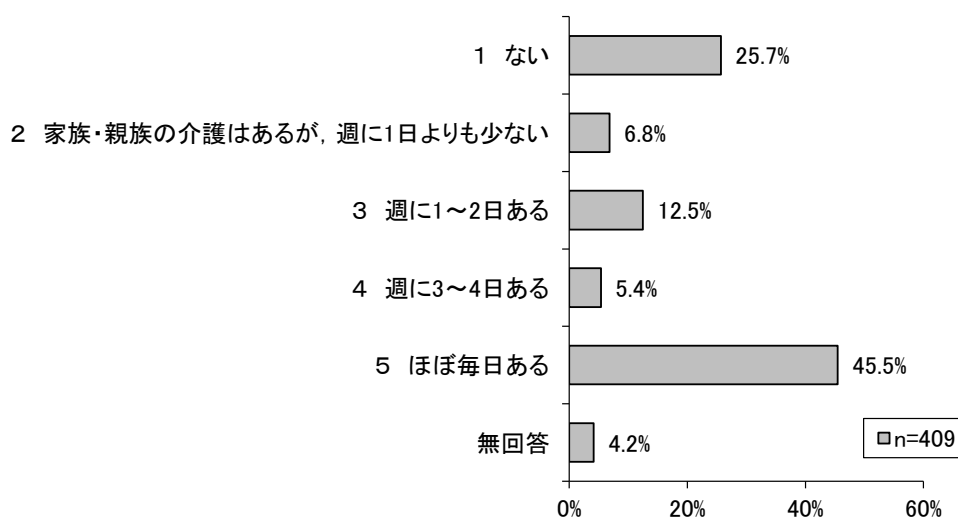


<高齢者等実態調査>

1. 介護の状況について

問1 家族や親族(同居・別居問わず)からの介護は週にどのくらいありますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

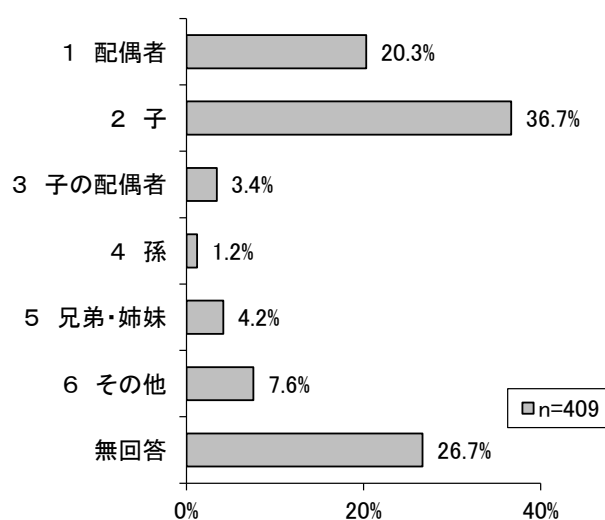
「ほぼ毎日ある」の割合(45.5%)が最も高く、次が「ない」(25.7%)となっている。



問2 あなたを主に介護している方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

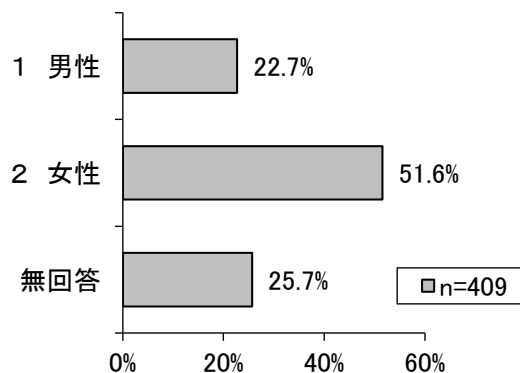
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「子」の割合(36.7%)が最も高くなっている。



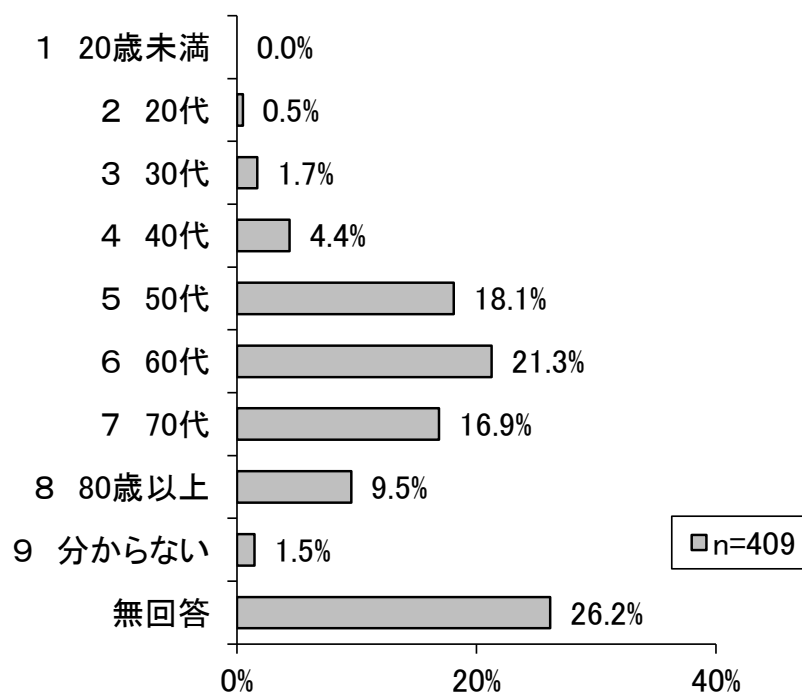
問3 あなたを主に介護している方の性別について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「女性」の割合が51.6%で約半数となっている。



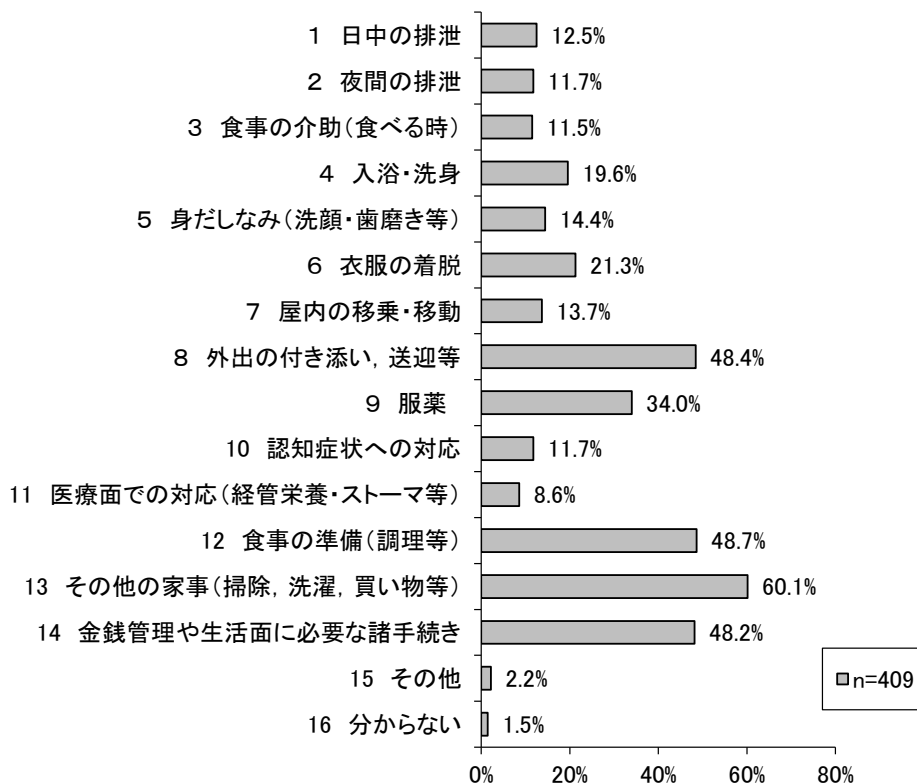
問4 あなたを主に介護している方の年齢について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「60代」の割合 (21.3%) が最も高く、次が「50代」(18.1%)となっている。



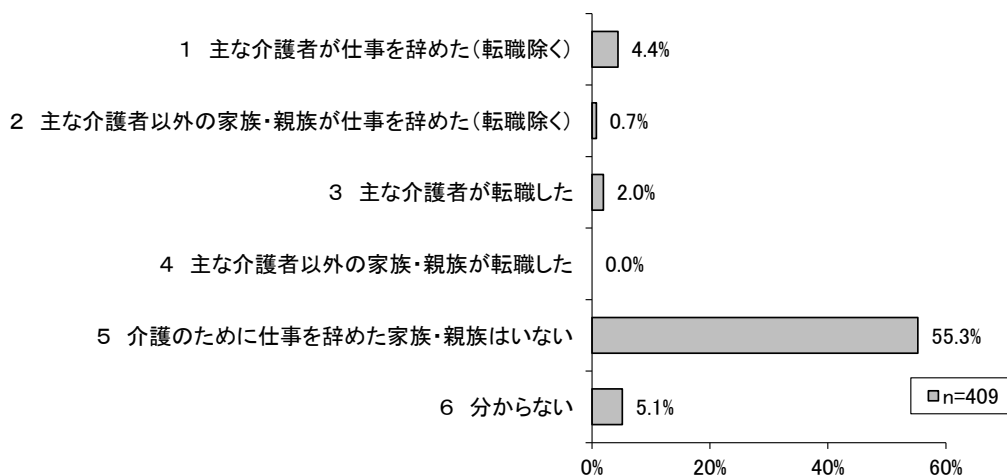
問5 現在, あなたを主に介護している方が行っている介護について, あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

上位の3項目は、「その他の家事(掃除・洗濯・買い物等)」の割合(60.1%)が最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」(48.7%)、「外出の付き添い・送迎等」(48.4%)となっている。



問6 家族・親族の中で, あなたの介護のために, 過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

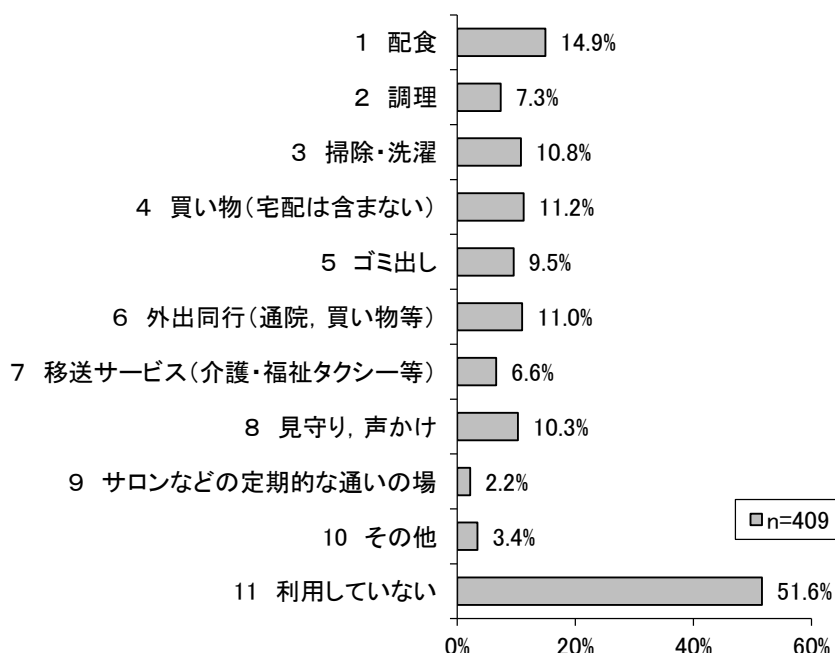
全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合(55.3%)が最も高く、他を大きく上回っている。



2. サービスの利用状況、満足度について

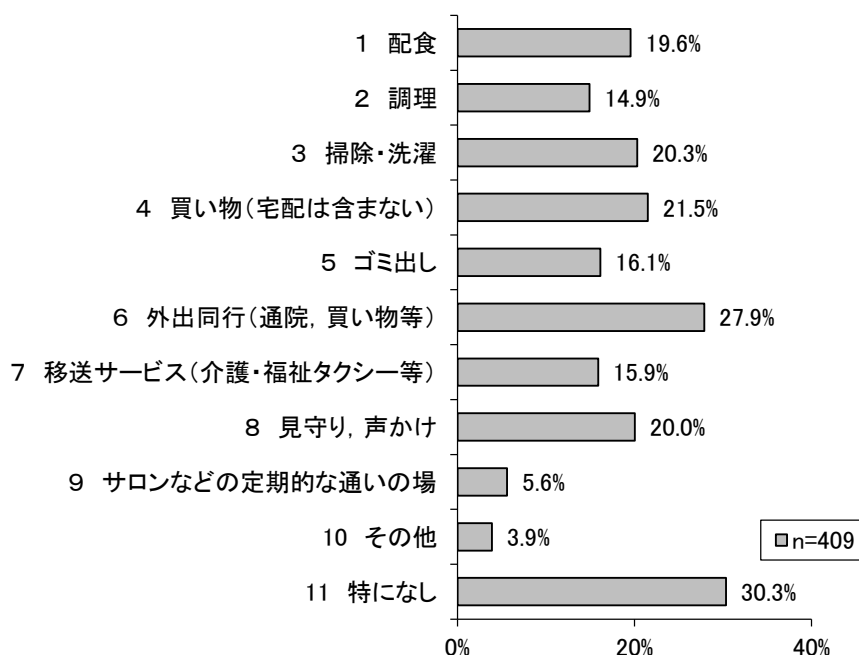
問7 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービスについて、あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「利用していない」の割合(51.6%)が最も高く、約5割となっている。



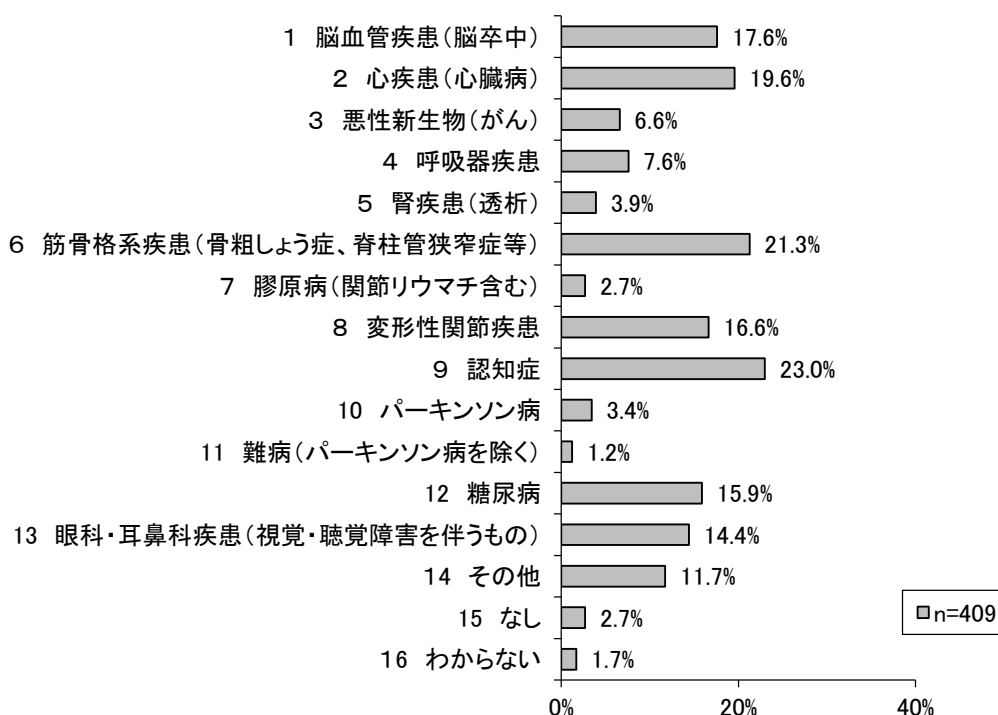
問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「特になし」の割合(30.3%)が最も高く、次いで「外出同行(通院・買い物等)」(27.9%)、「買い物(宅配は含まない)」(21.5%)、「掃除・洗濯」(20.3%)などが続いている。



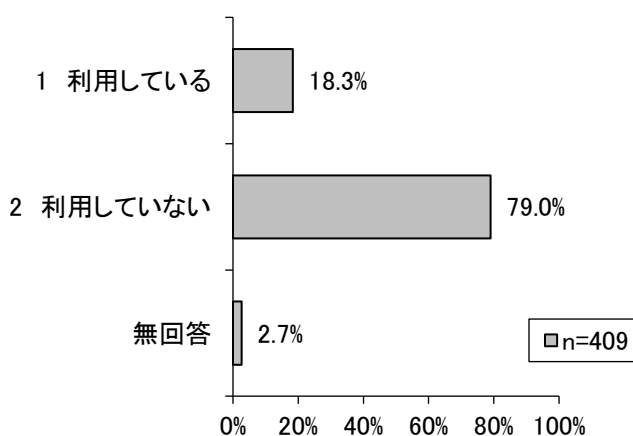
問9 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

「認知症」の割合(23.0%)が最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症・脊柱管狭窄症等)」(21.3%)、「心疾患(心臓病)」(19.6%)、「脳血管疾患(脳卒中)」(17.6%)などが続いている。



問10 現在, 訪問診療を利用していますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

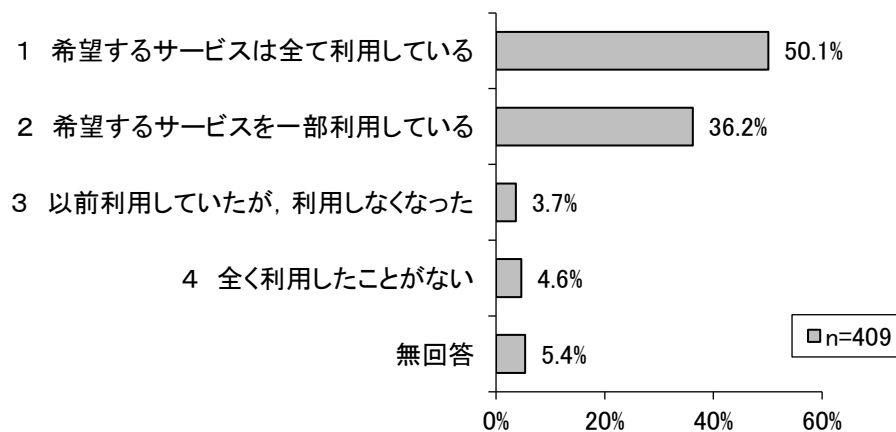
「利用していない」の割合が約8割でほとんどとなっている。



3. 介護保険サービスの利用状況、満足度について

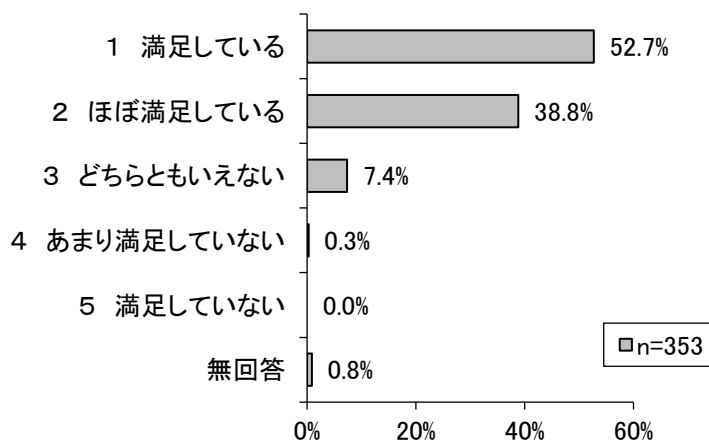
問11 現在、介護保険サービスをどの程度利用していますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「希望するサービスは全て利用している」の割合が約半数となっている。



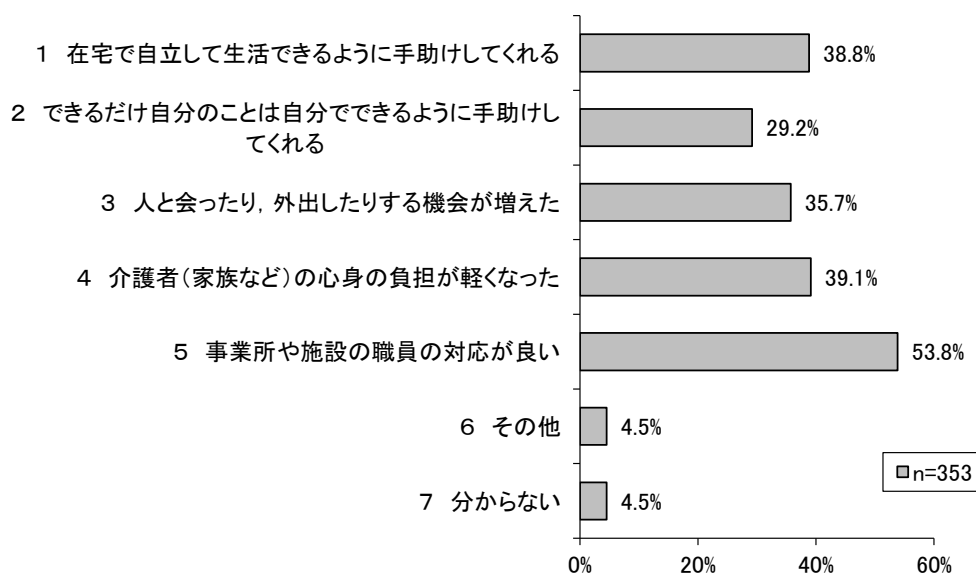
問12 現在、サービスを利用している方にうかがいます。利用しているサービスの満足度について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

『満足している』（「満足している」と「ほぼ満足している」の計）の割合が91.5%でほとんどとなっている。



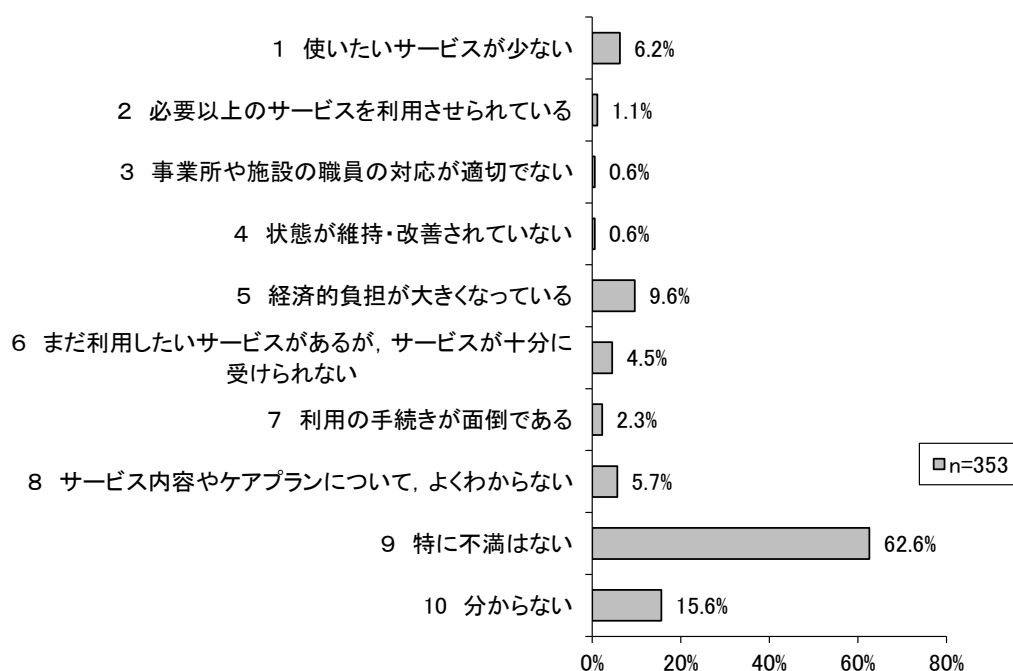
問13 現在, サービスを利用している方にうかがいます。介護保険サービスで満足している点について、あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「事業所や施設の職員の対応が良い」の割合(53.8%)が最も高く、次が「在宅で自立して生活できるように手助けしてくれる」(38.8%)となっている。



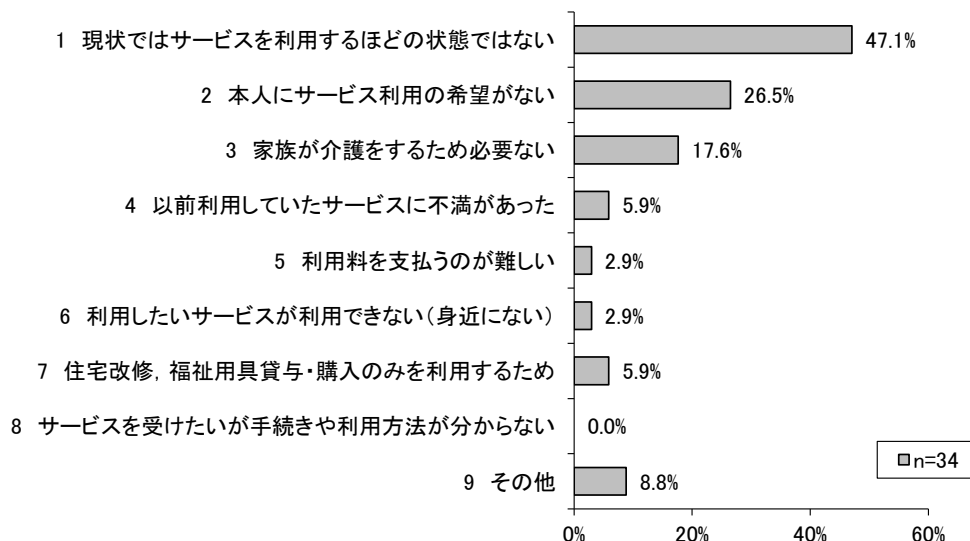
問14 現在, サービスを利用している方にうかがいます。介護保険サービスで不満な点についてあてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「特に不満はない」の割合(62.6%)で最も高く、6割を上回っている。



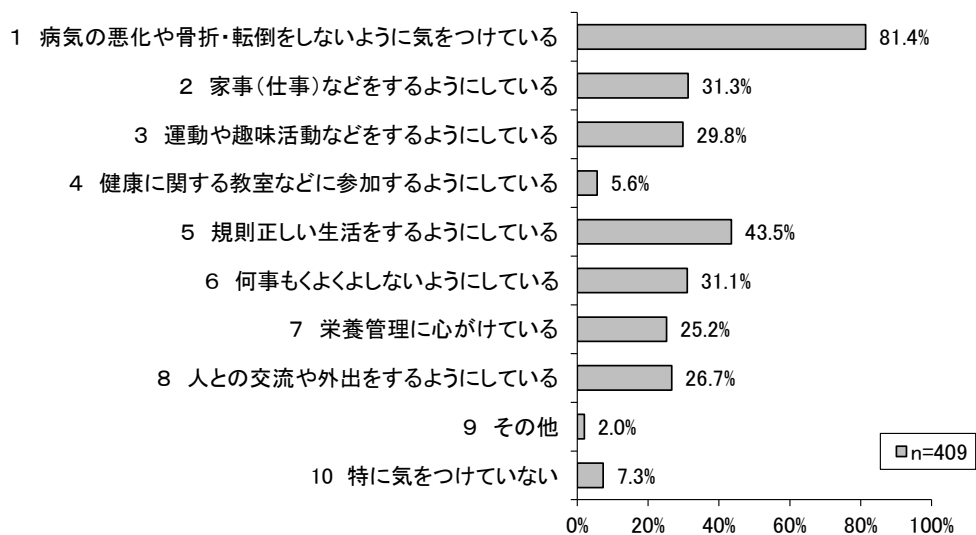
問15 介護保険サービスを利用していない理由について、あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「現状ではサービスを利用するほどの状態ではない」の割合(47.1%)が最も高くなっている。



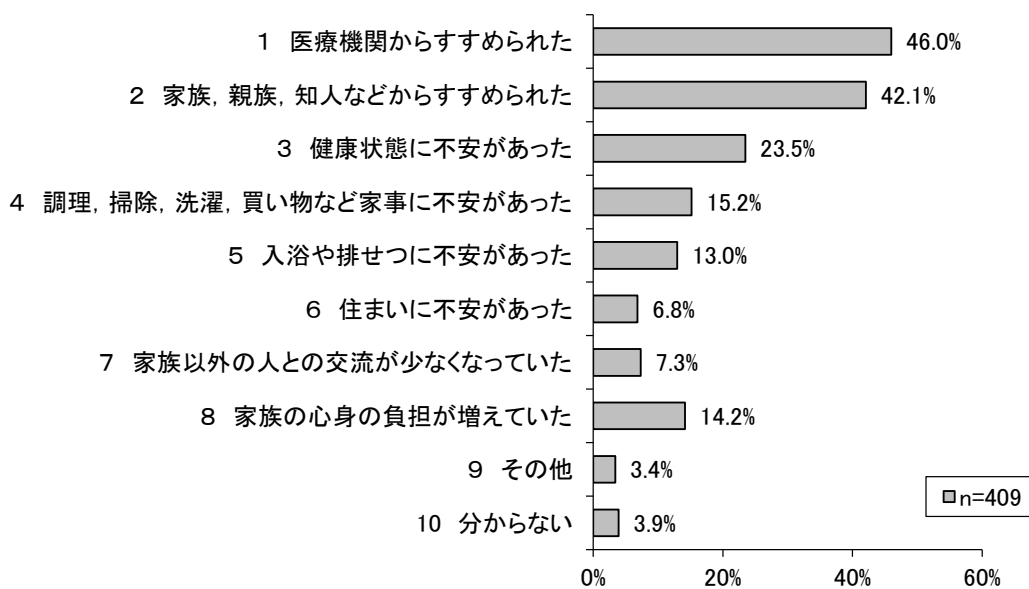
問16 日常生活で心がけていることはありますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「病気の悪化や骨折・転倒をしないように気をつけている」の割合(81.4%)が最も高く、次が「規則正しい生活をするようにしている」(43.5%)となっている。



問17 要介護認定を申請した理由(きっかけ)は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

全体では、「医療機関からすすめられた」の割合(46.0%)が最も高く、次が「家族・親族・知人などからすすめられた」(42.1%)となっている。

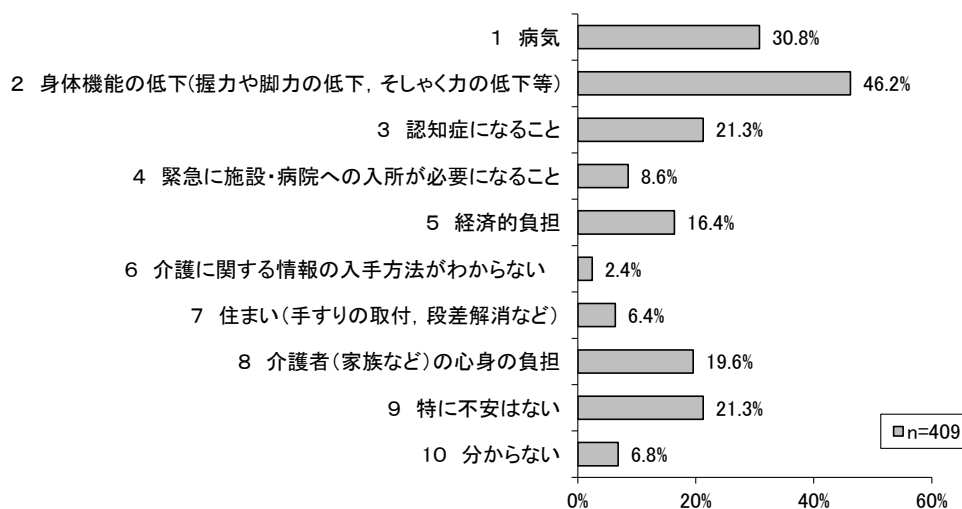


4. 日常生活で困っていることについて

問18 現在困っていることはありますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

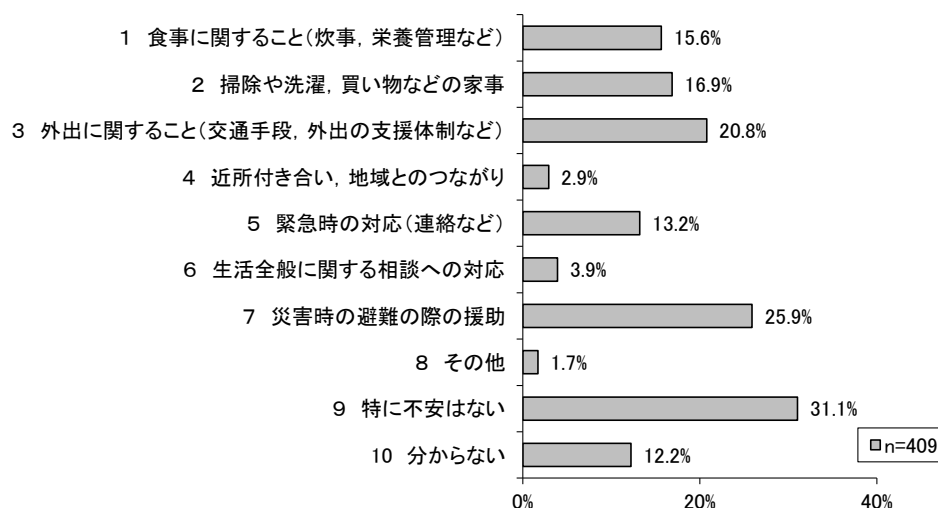
(1) 介護・医療・住まいに関すること

全体では、「身体機能の低下」の割合(46.2%)が最も高く、次が「病気」(30.8%)となっている。



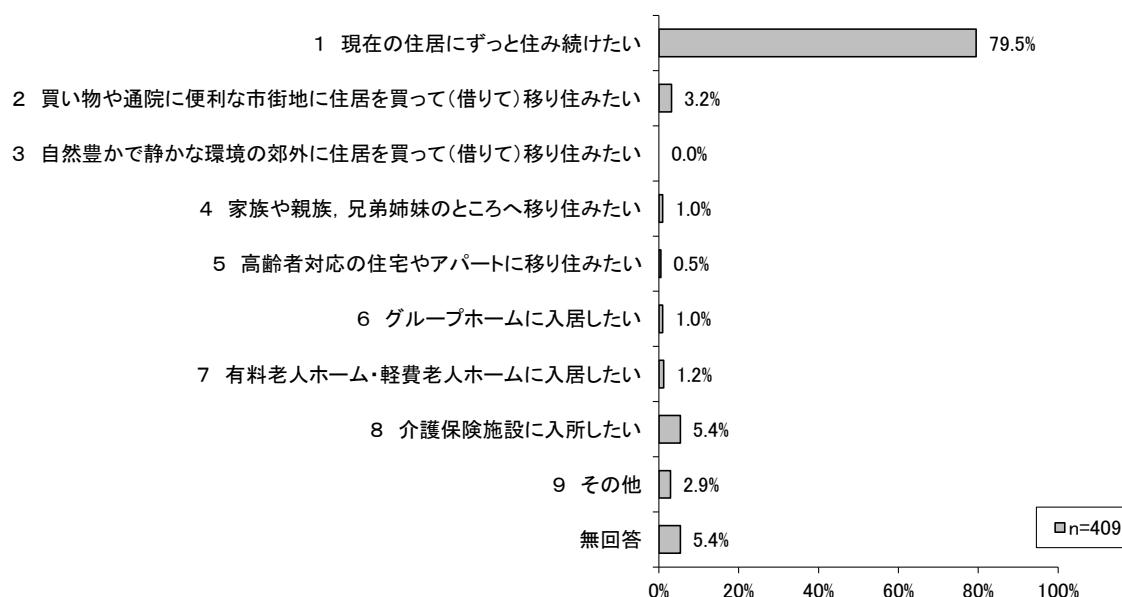
(2) 生活支援に関すること

「特に不安はない」の割合(31.1%)が最も高くなっている。また、困っていることで割合が最も高いのは、「災害時の避難の際の援助」(25.9%)となっている。



問19 今後希望する生活場所について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「現在の住居にずっと住み続けたい」の割合(79.5%)が最も高く、他を大きく上回っている。

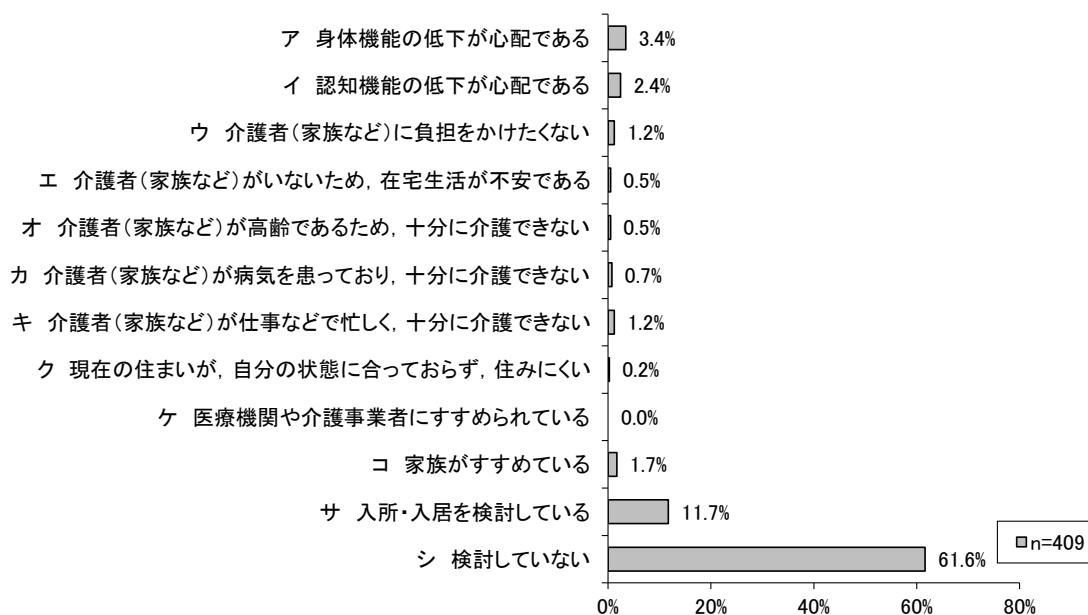


問20 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入所の申込みをしていますか。

申し込んでいる場合、その理由にあてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

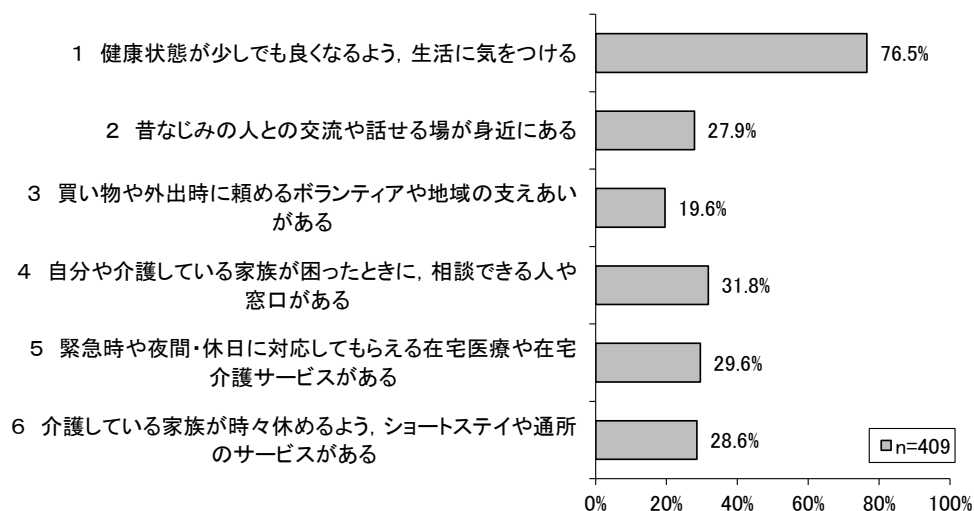
申し込んでいない場合は施設等への入所・入居の検討状況を記入してください

「検討していない」の割合(61.6%)が最も高く、他を大きく上回っている。



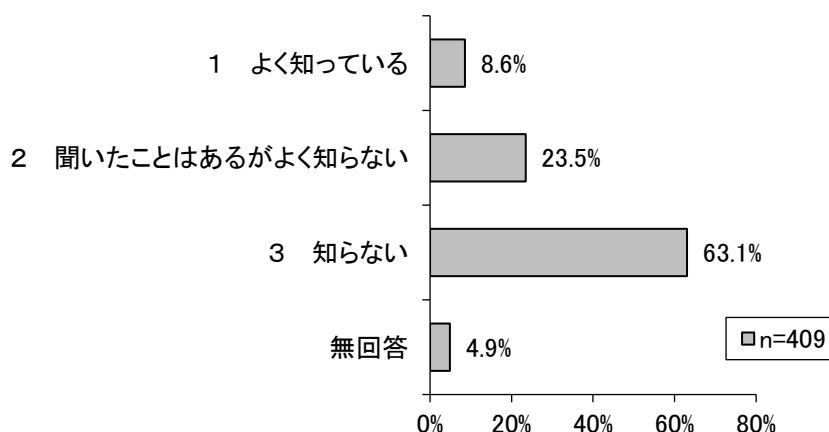
問21 これからも、あなたが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「健康状態が少しでも良くなるよう、生活に気をつける」の割合(76.5%)が最も高く、他を大きく上回っている。



問22 あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング<ACP>)について、どのくらい知っていますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

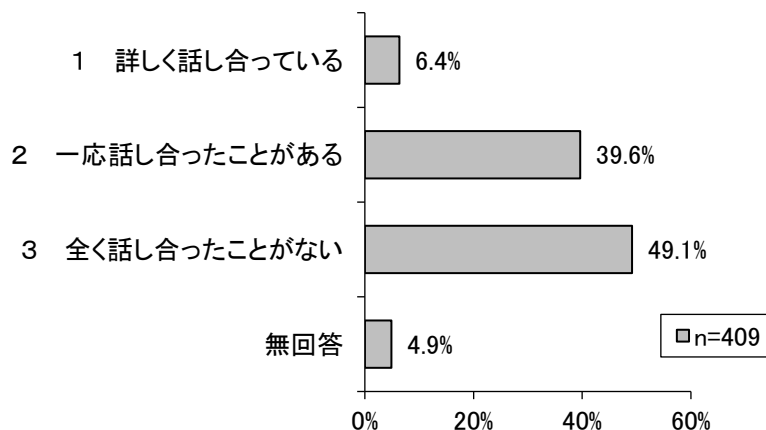
「知らない」の割合が6割を上回っている。



問23 あなたは、今後受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください

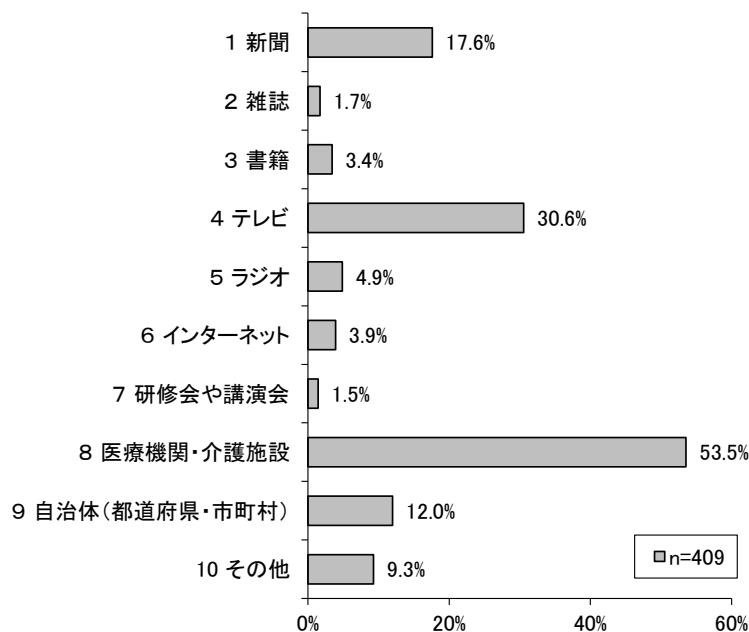
「全く話し合ったことがない」の割合が約5割となっている。



問24 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。

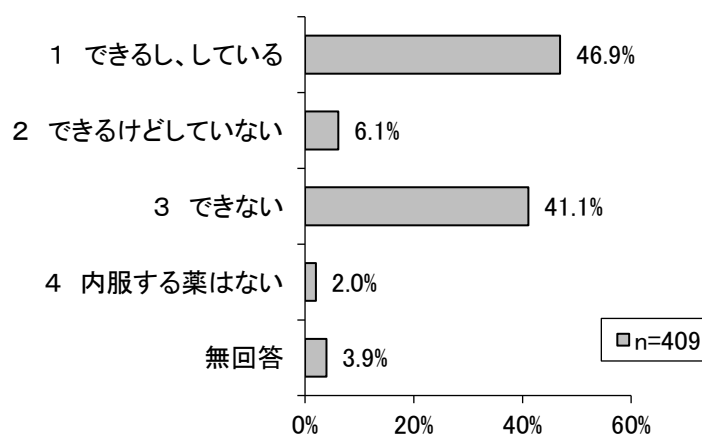
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「医療機関・介護施設」の割合 (53.5%) が最も高く、次いで「テレビ」(30.6%)、「新聞」(17.6%)などが続いている。



問25 自分で内服する薬の管理をしていますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

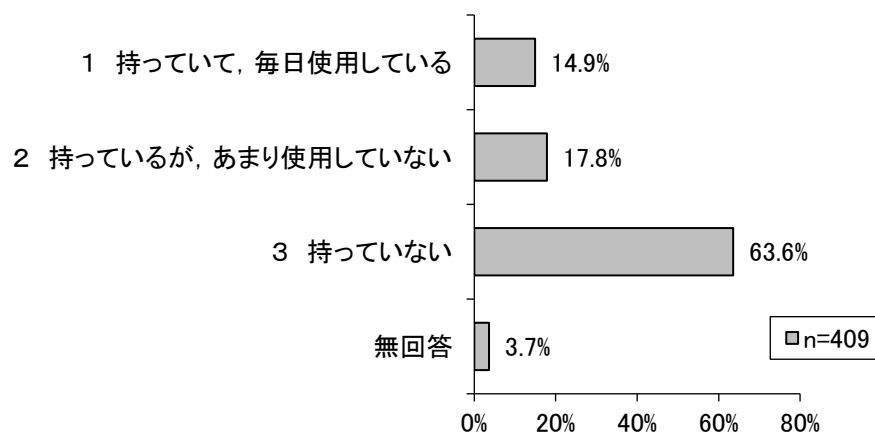
全体では、「できるし、している」の割合(46.9%)が最も高く、次が「できない」(41.1%)となっている。



問26 パソコンやスマートフォン等を使用していますか。

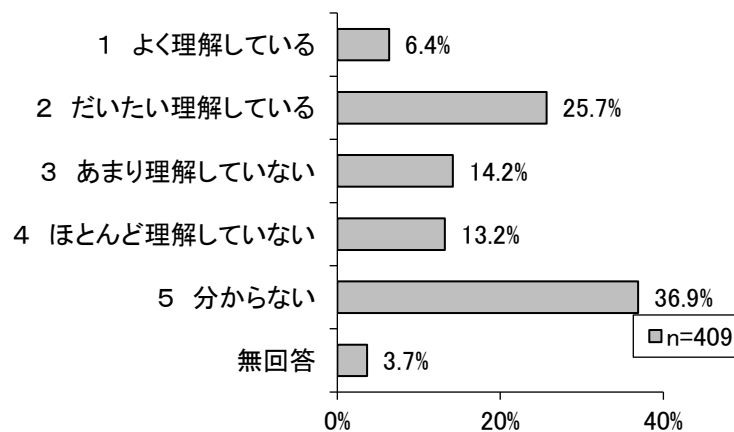
(例えば、ニュースや天気予報を調べる、LINE等のアプリを使って家族等と連絡をとるなど)あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「持っていない」の割合(63.6%)が最も高く、6割を上回っている。



問27 介護保険料は、3年に1度見直すことになっており、お住まいの市町村全体でどの程度サービスが必要かによって決まります。(サービスを利用する人の割合が増えたり、1人あたりの利用額が増えたりすると、保険料額は高くなる仕組みです。)その上で、所得に応じて個々人の保険料額が決まります。以上のことについてご存じでしたか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

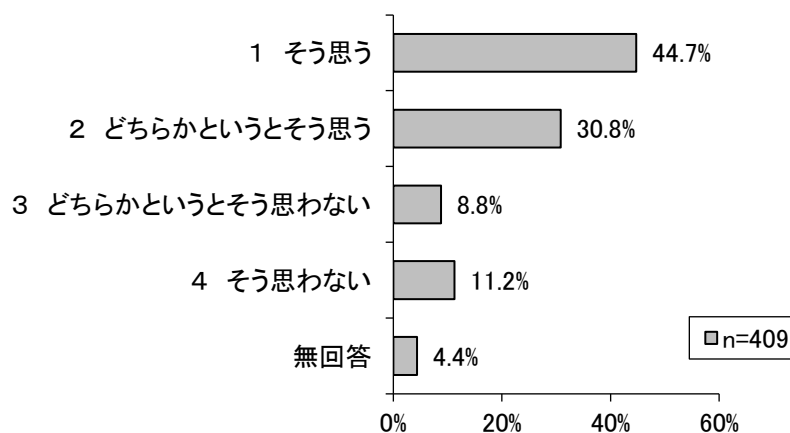
『理解している』(「よく理解している」と「だいたい理解している」の計)の割合は32.1%となっている。一方で、『理解していない』(「あまり理解していない」と「ほとんど理解していない」の計)は27.4%となっている。



問28 下の文章について、あなたの考えに近い選択肢をそれぞれ1つだけ○をつけてください。

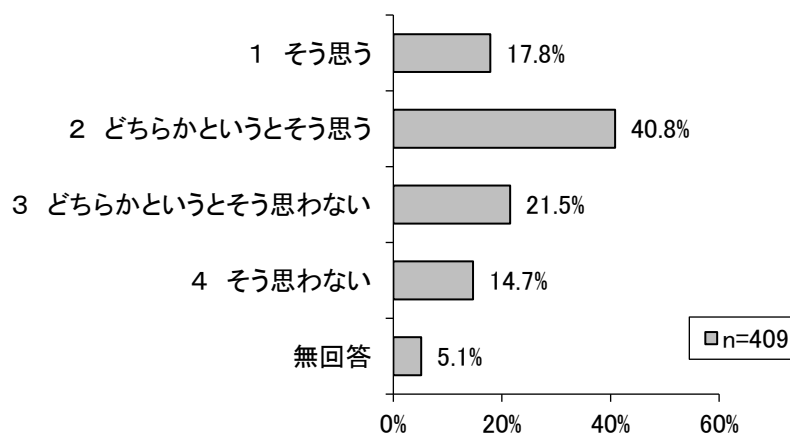
「誰もが認知症になりうる」

『そう思う』(「そう思う」と「どちらかというと思う」の計:以下同じ)の割合は75.5%となっている。



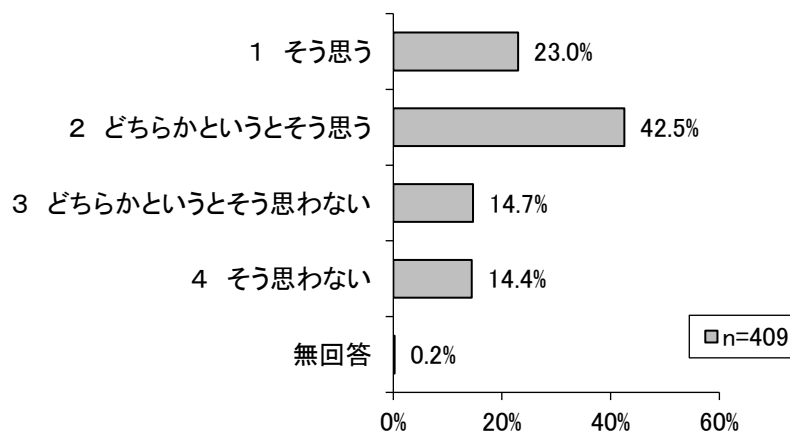
「認知症になってからも意思が尊重され、望む生活が継続できる(できている)」

『そう思う』の割合は58.6%となっている。



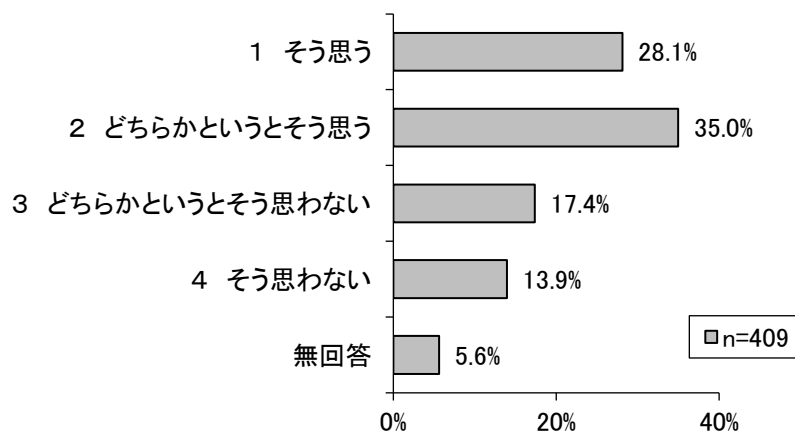
「認知症になってからもできることややりたいことがある」

『そう思う』の割合は65.5%となっている。



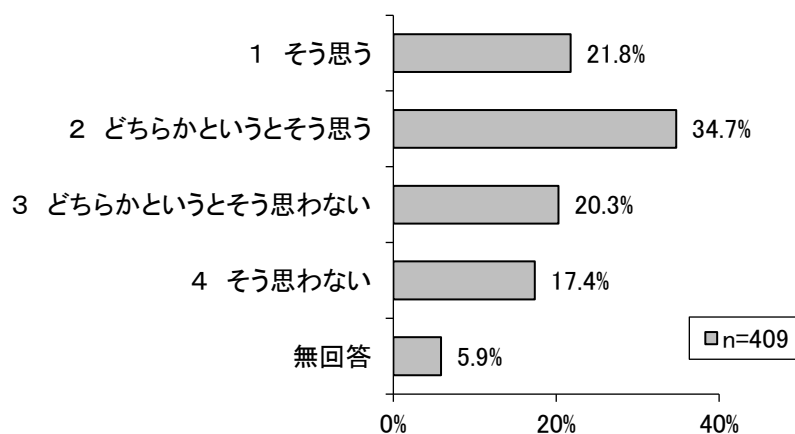
「認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けることができる」

『そう思う』の割合は63.1%となっている。



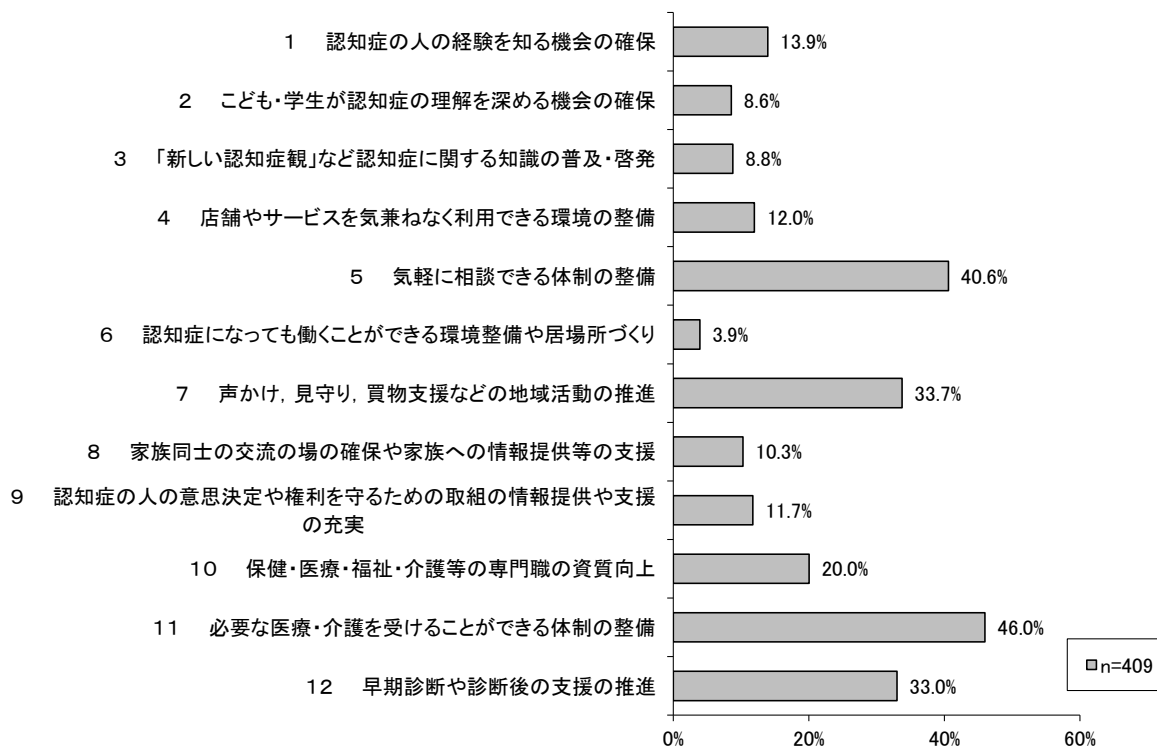
「認知症になってからも希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」

『そう思う』の割合は56.5%となっている。



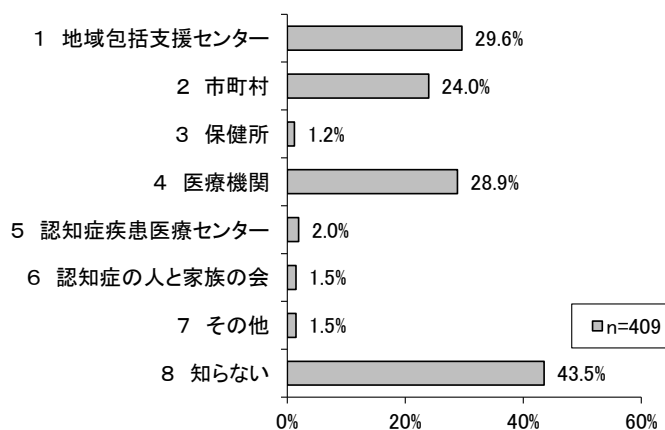
問29 認知症に関する取組について、今後強化してほしいと思うものを3つ選んでください。

上位の3項目は、「必要な医療・介護を受けることができる体制の整備」の割合(46.0%)が最も高く、次いで「気軽に相談できる体制の整備」(40.6%)、「声かけ、見守り、買物支援などの地域活動の推進」(33.7%)となっている。



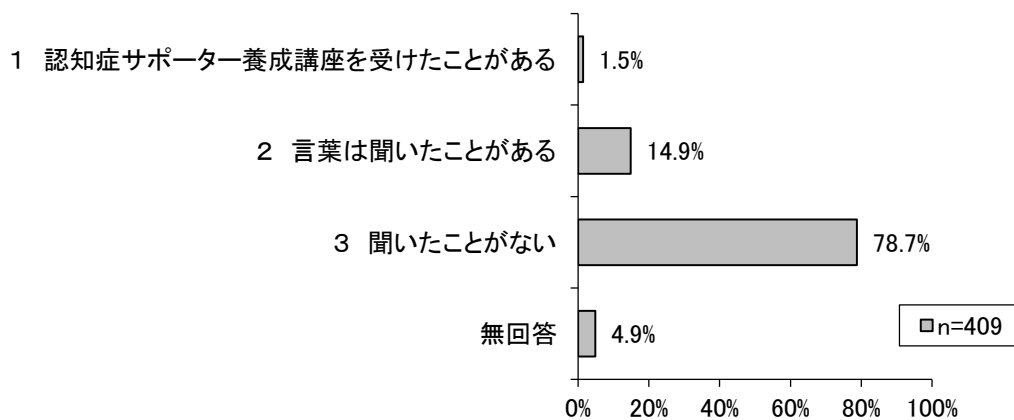
問30 あなたは、認知症の相談窓口を知っていますか。知っている場合、どの相談窓口を知っていますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「知らない」の割合(43.5%)が最も高くなっている。相談窓口で認知度が最も高いのは、「地域包括支援センター」(29.6%)となっている。



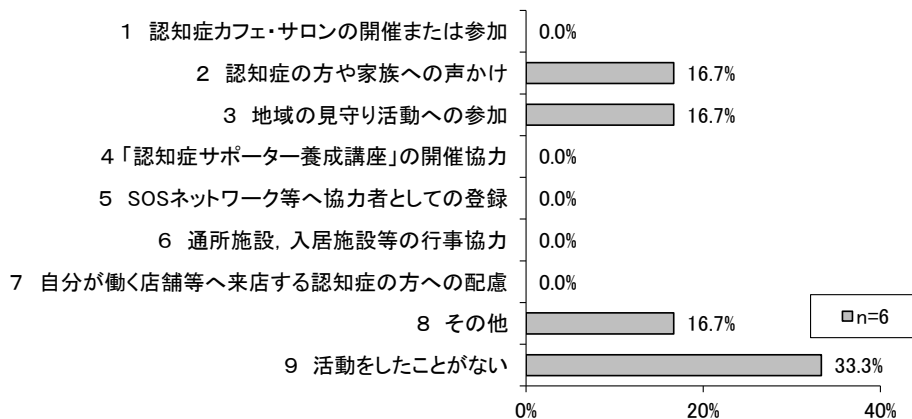
問31 あなたは、認知症サポーターについて知っていますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「聞いたことがない」の割合(78.7%)がほとんどとなっている。



問32 問31で「1に○を付けた方」にお尋ねします。認知症サポーター養成講座を受講後に、どのような活動を行いましたか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

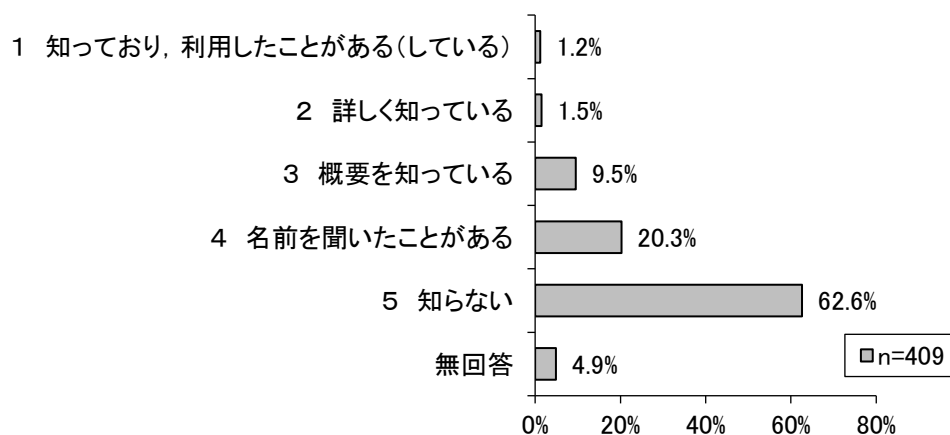
「活動をしたことがない」の割合(33.3%)がほとんどとなっている。



5. 権利擁護について

問33 成年後見制度についてご存じですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

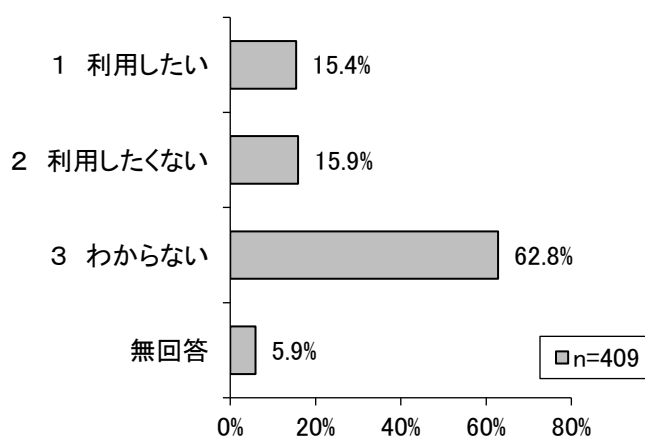
「知らない」の割合(62.2%)が他を大きく上回っている。



問34 将来, あなたの判断能力に不安が生じた時, 成年後見制度を利用したいと思いますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

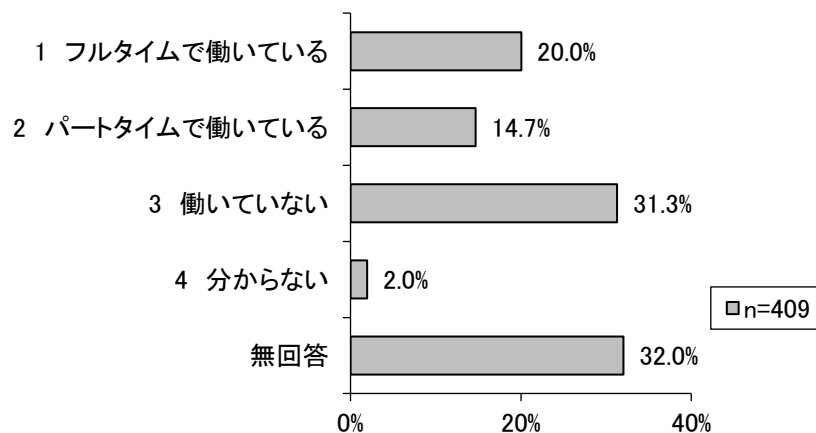
「わからない」の割合(62.8%)が他を大きく上回っている。



6. 就労状況について

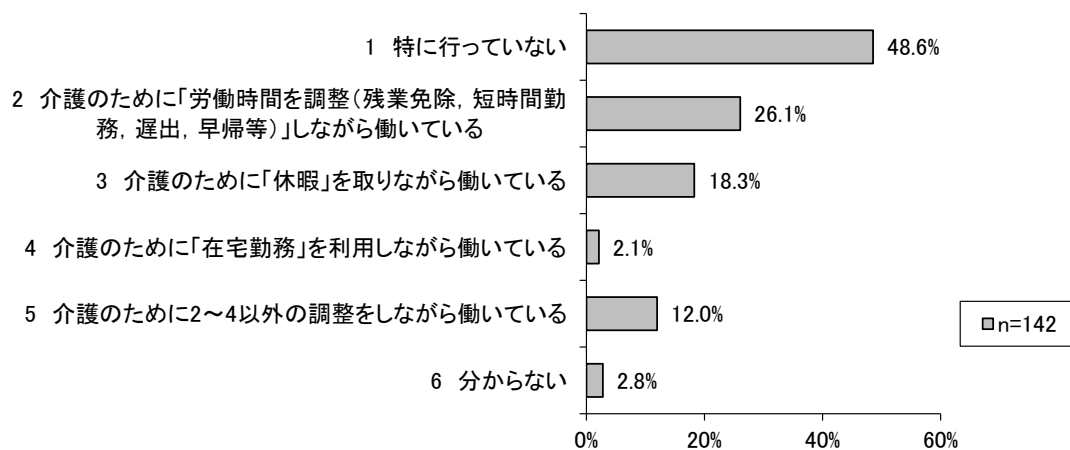
問35 介護者の方の現在の勤務体系について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「働いていない」の割合(31.3%)が最も高く、次が「フルタイムで働いている」(20.0%)となっている。



問36 介護をするにあたって、働き方の工夫をしていますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

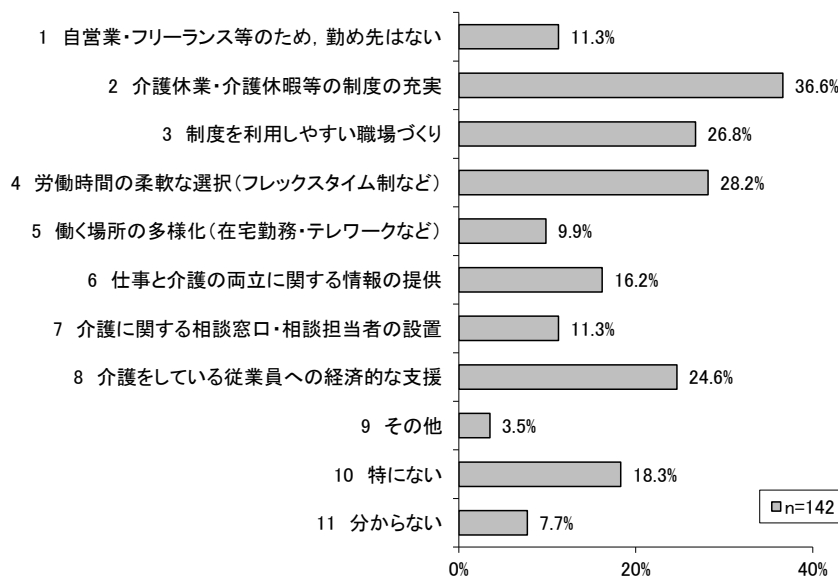
「特に行っていない」の割合が約半数となっている。



問37 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。

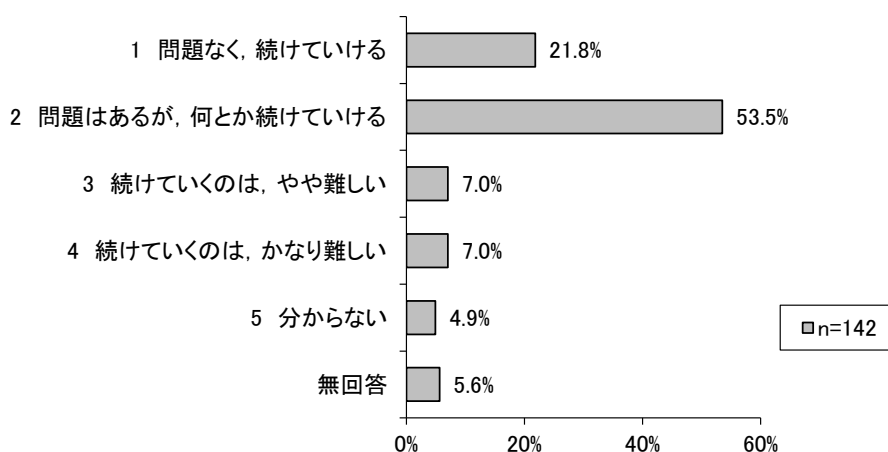
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合(36.6%)が最も高く、次が「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(28.2%)となっている。



問38 今後も働きながら介護を続けていけそうですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

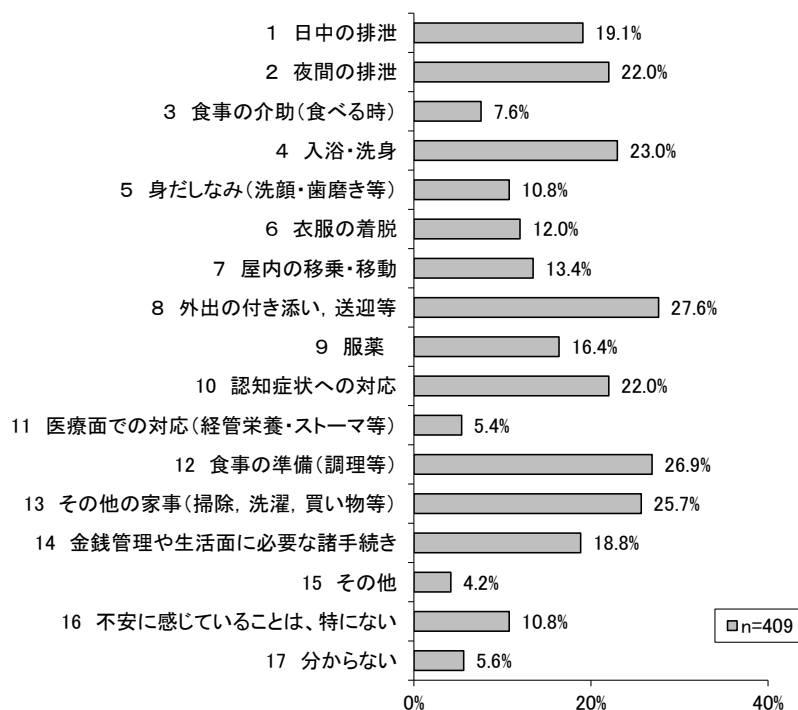
「問題はあるが、何とか続けていける」の割合(53.5%)が最も高く、次が「問題なく、続けていける」(21.8%)となっている。



7. 現在困っていることや将来の不安について

問39 現在の生活を継続していくにあたって、介護者の方が不安に感じる介護等について、あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

上位の3項目は、「外出の付き添い、送迎等」の割合(27.6%)が最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」(26.9%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(25.7%)となっている。

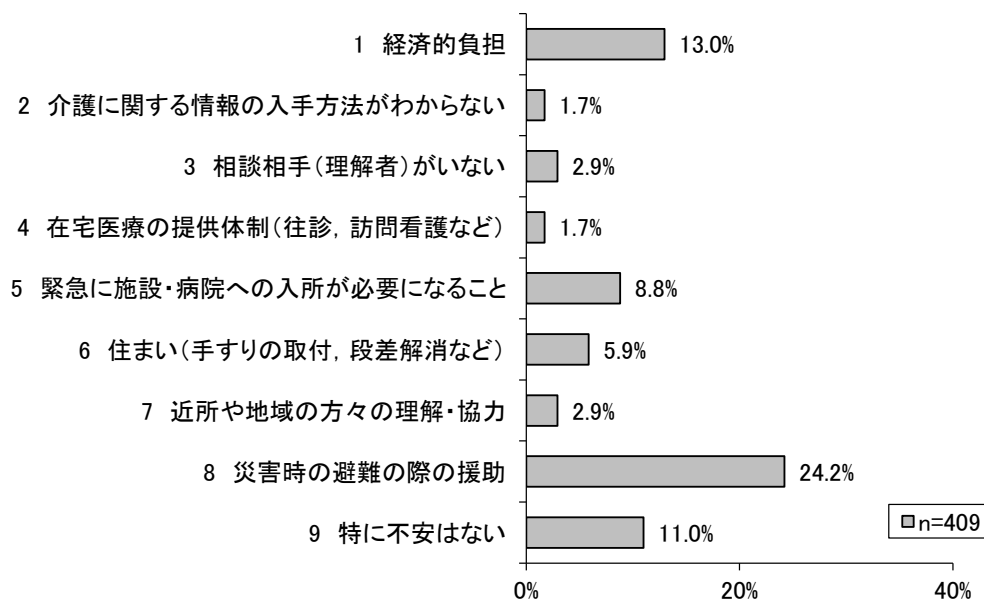


問40 在宅での介護を行う上で、現在困っていることや将来の不安はありますか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

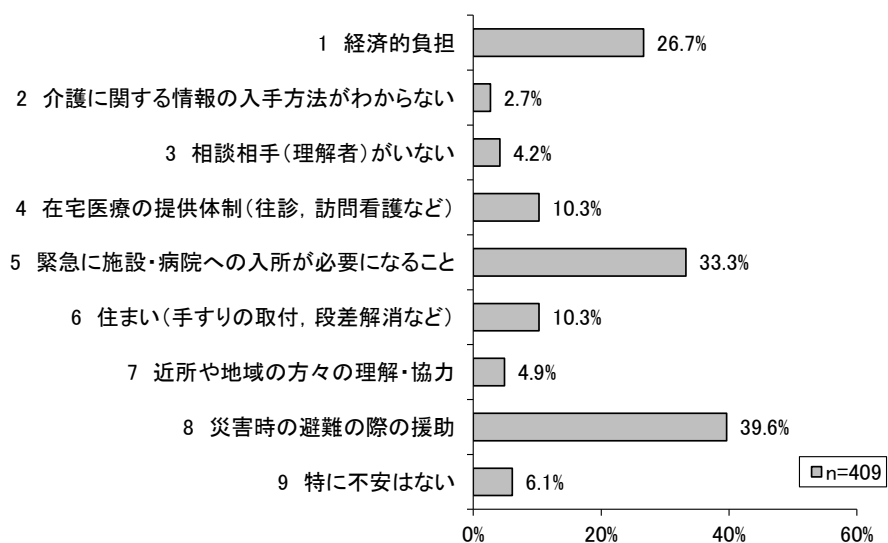
「現在の困り事」

「災害時の避難の際の援助」の割合(24.2%)が最も高く、次が「経済的負担」(13.0%)となっている。



「将来の不安」

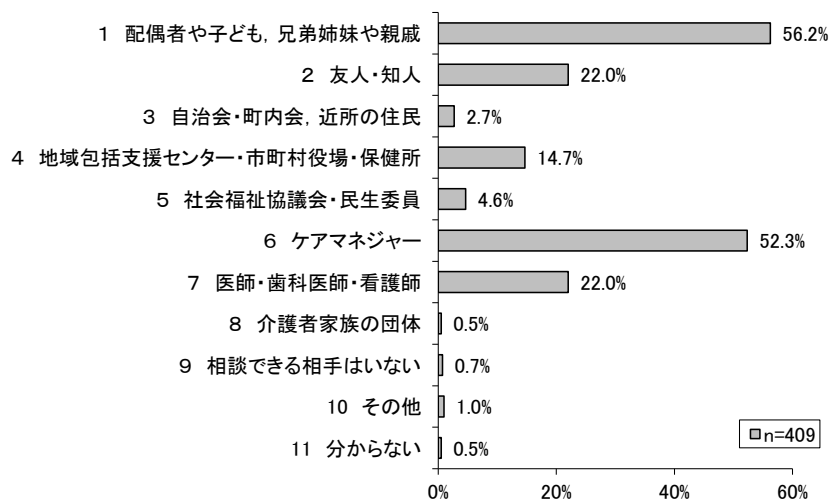
「災害時の避難の際の援助」の割合(39.6%)が最も高く、次が「緊急に施設・病院への入所が必要になること」(33.3%)となっている。



問41 介護における心配事や困ったこと、悩み事について相談できる相手はだれですか。

あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

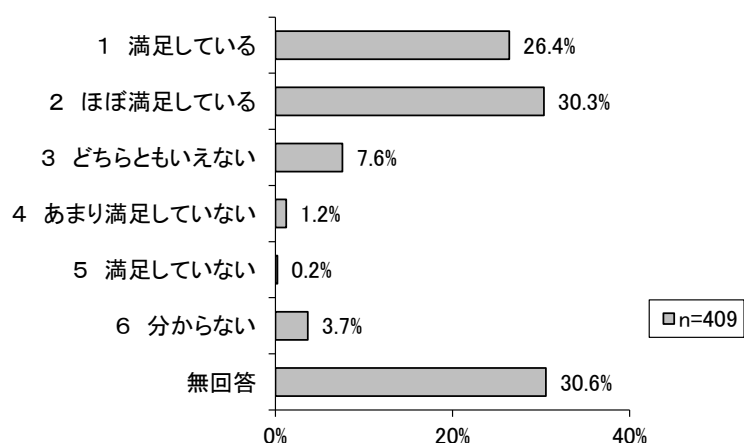
「配偶者や子ども、兄弟姉妹や親戚」の割合(56.2%)が最も高く、次が「ケアマネジャー」(52.3%)となっている。



8. 介護保険サービスの満足度について

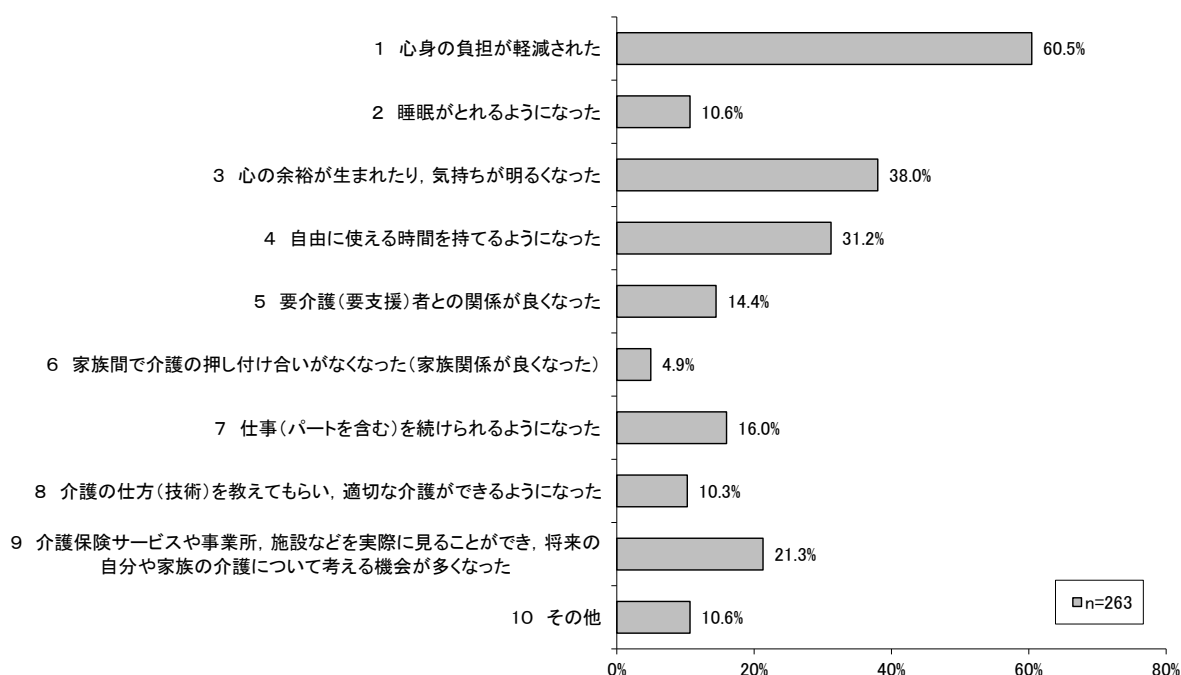
問42 介護をする立場として、要介護(要支援)者御本人が現在利用しているサービスの満足度について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

『満足している』(「満足している」と「ほぼ満足している」の計)の割合(56.7%)が約6割となっている。



問43 問42で「満足している・ほぼ満足している・どちらともいえない」を選んだ方へうかがいます。介護をする立場として、介護保険サービスで満足している点について、あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

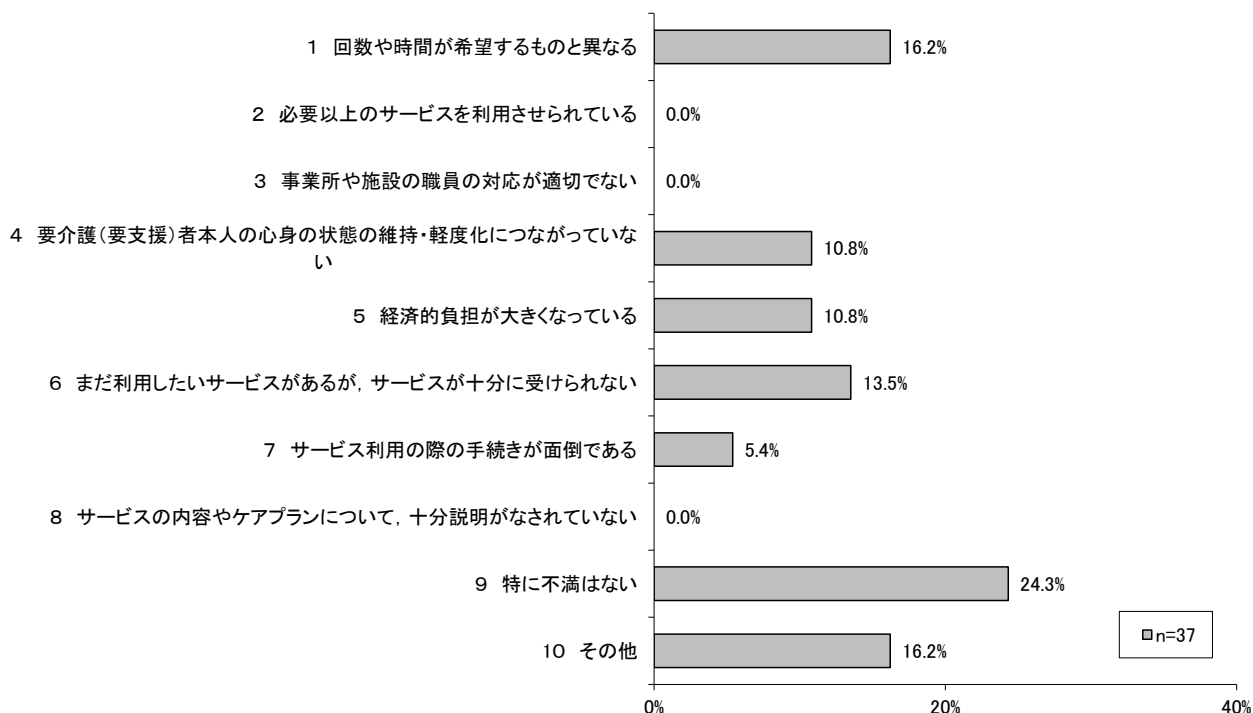
「心身の負担が軽減された」の割合(60.5%)が最も高く、次が「心の余裕が生まれたり、気持ちが明るくなった」(38.0%)となっている。



問44 問42で「どちらともいえない・あまり満足していない・満足していない」を選んだ方へうかがいます。

介護をする立場として、満足していない点についてあてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

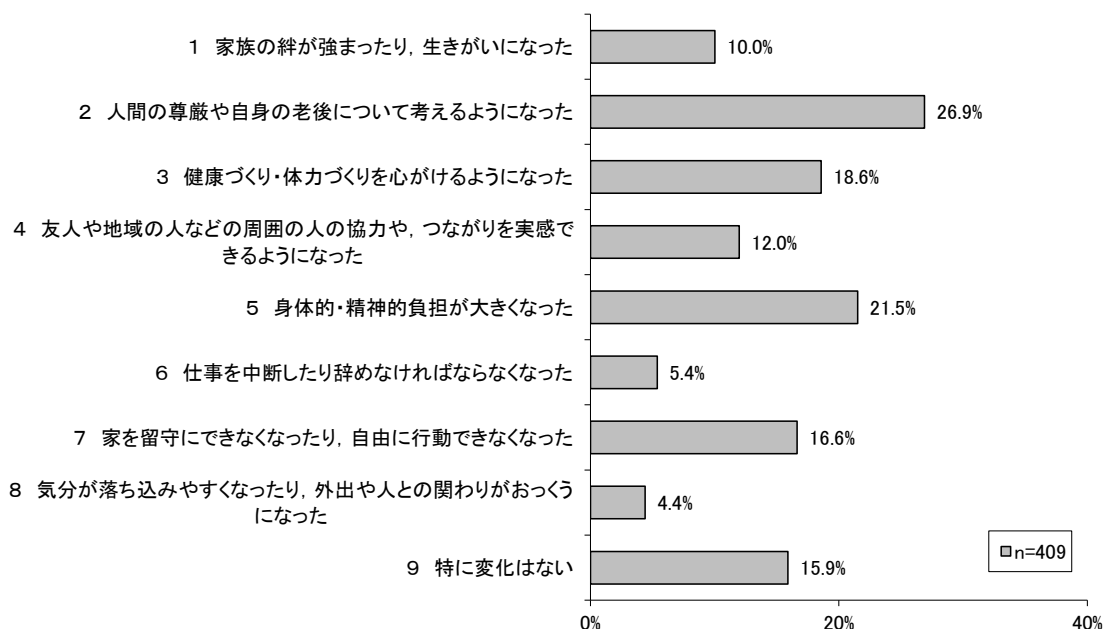
「特に不満はない」の割合(24.3%)が最も高くなっている。



問45 介護を行うようになって、あなたの体調や生活状況に変化が生じましたか。

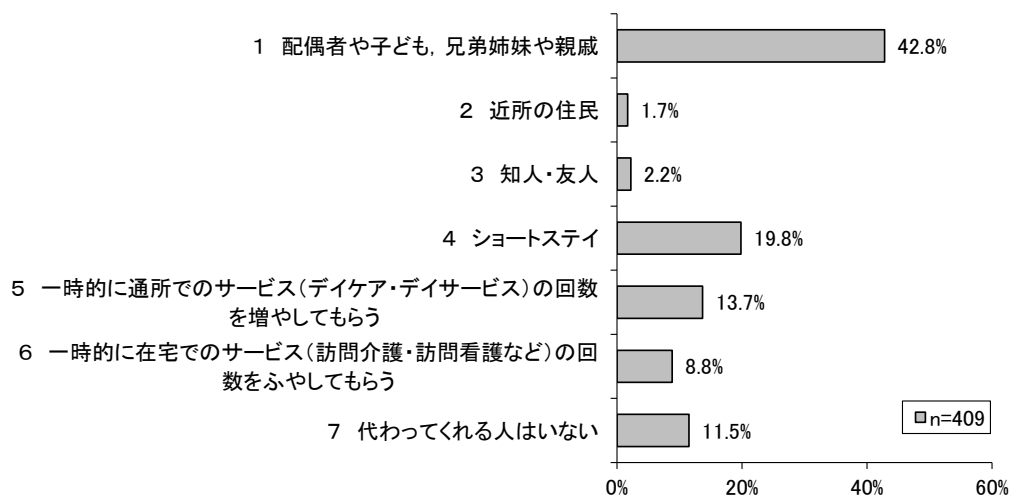
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「人間の尊厳や自身の老後について考えるようになった」の割合(26.9%)が最も高く、次が「身体的・精神的負担が大きくなった」(21.5%)となっている。



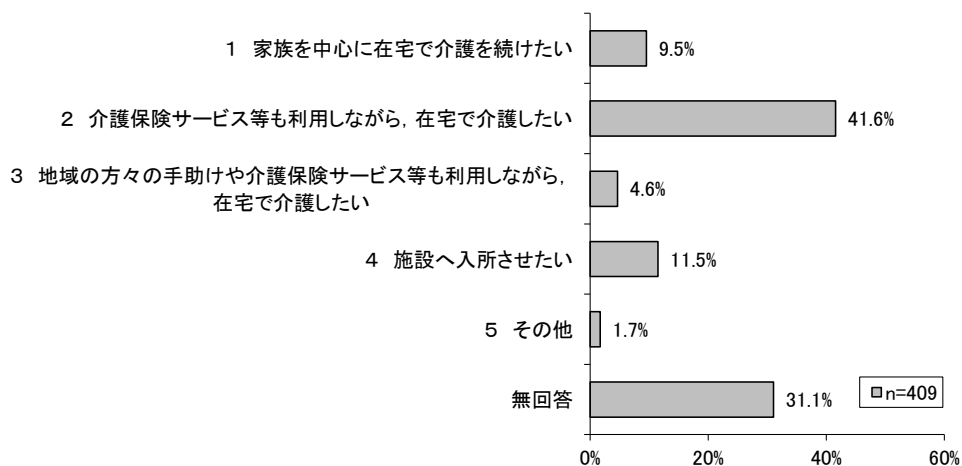
問46 あなたが風邪などで数日間寝込んだり、仕事などで数日間介護できなくなったりしたときに、代わって介護や支援をしてくれる人はいますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「配偶者や子ども、兄弟姉妹や親戚」の割合(42.8%)が最も高く、他を大きく上回っている。



問47 今後どのように介護を行っていきたいと考えていますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「介護保険サービス等も利用しながら、在宅で介護したい」の割合(41.6%)が最も高く、他を大きく上回っている。

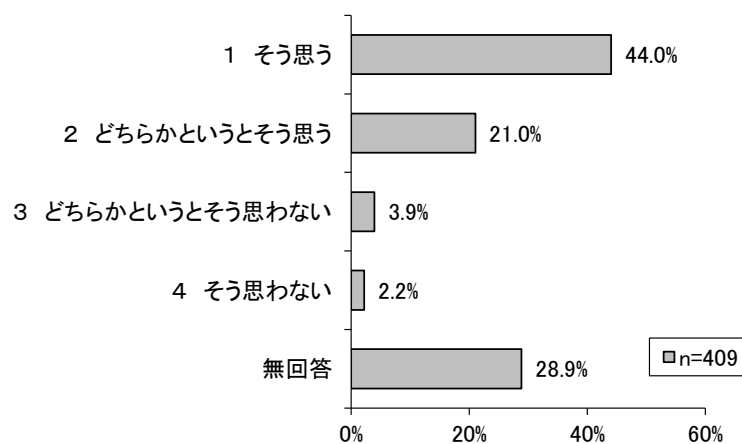


9. 認知症対策への取組について

問48 下の文章について、あなたの考えに近い選択肢をそれぞれ1つだけ○をつけてください。

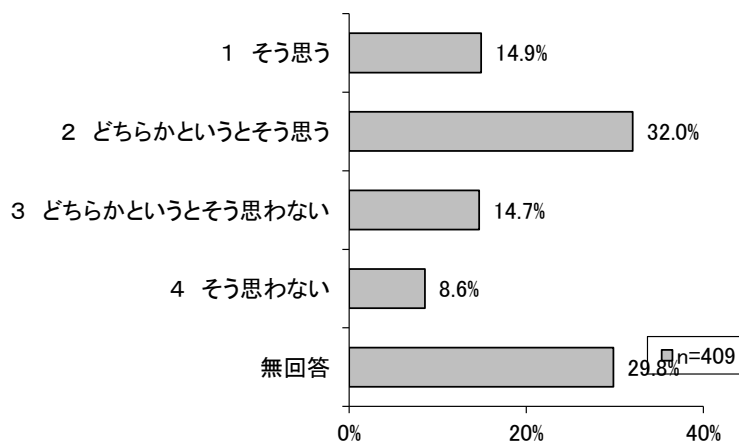
「誰もが認知症になりうる」

『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計:以下同じ)の割合が65.0%となっている。



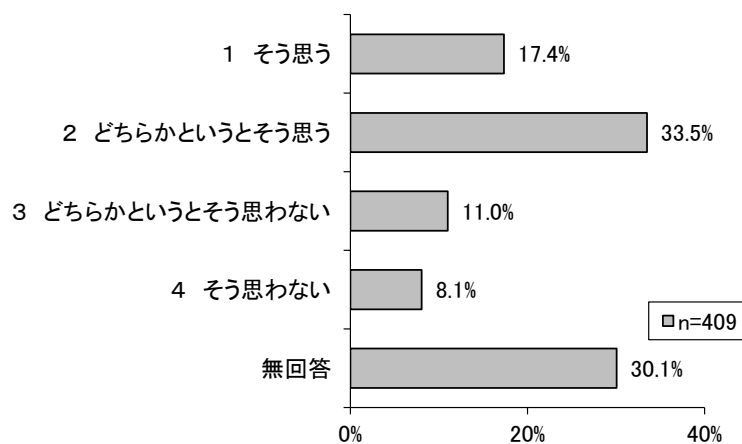
「認知症になってからも意思が尊重され、望む生活が継続できる(できている)」

『そう思う』の割合が46.9%となっている。



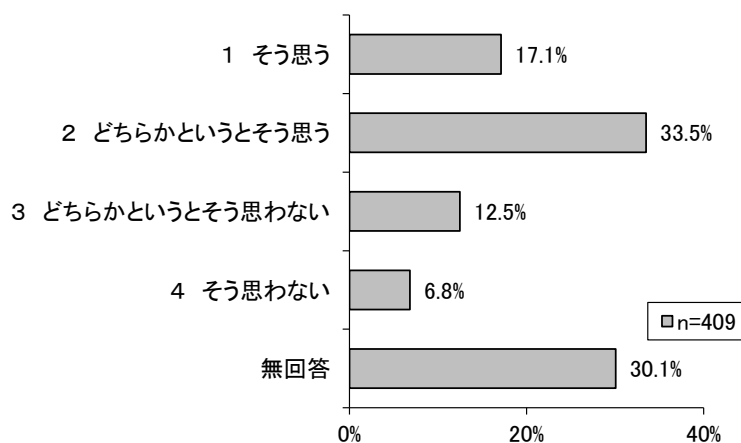
「認知症になってからもできることややりたいことがある」

『そう思う』の割合が50.9%となっている。



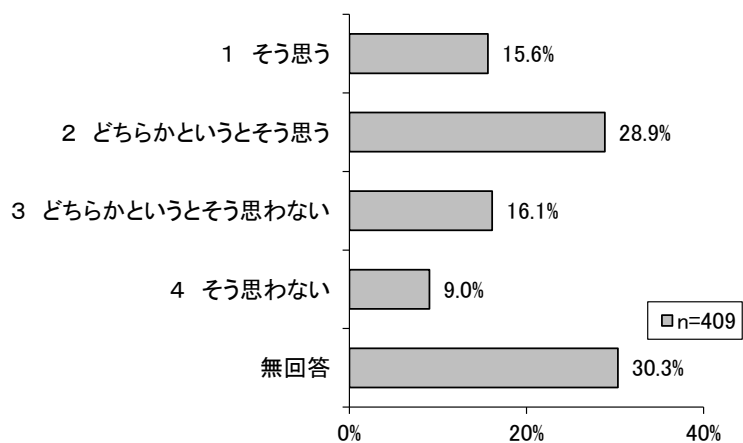
「認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けることができる」

『そう思う』の割合が50.6%となっている。



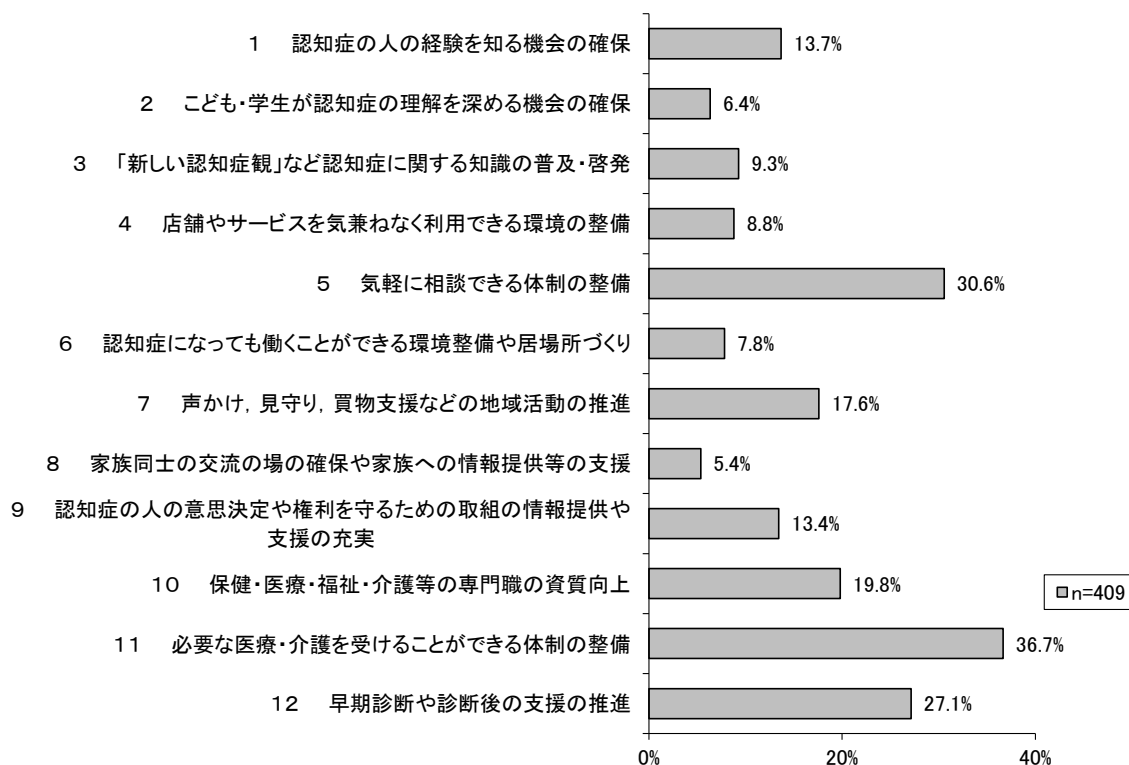
「認知症になってからも希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」

『そう思う』の割合が44.5%となっている。



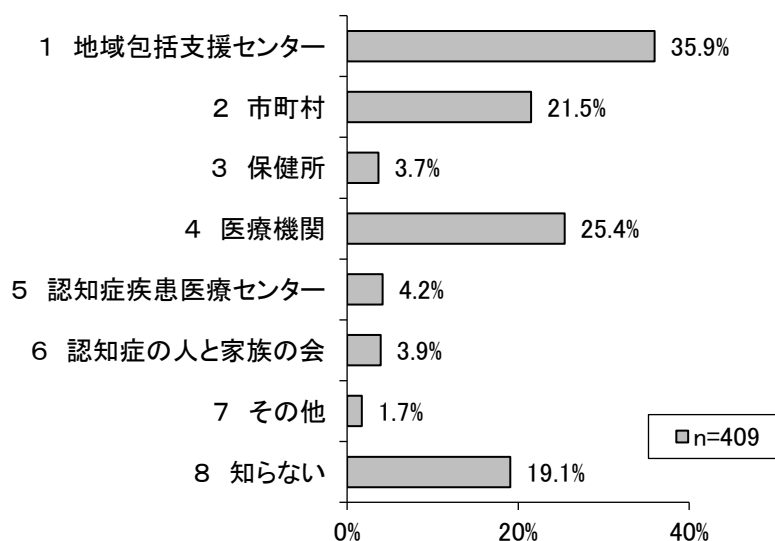
問49 認知症に関する取組について、今後強化してほしいと思うものを3つ選んでください。

「必要な医療・介護を受けることができる体制の整備」の割合(36.7%)が最も高く、次が「気軽に相談できる体制の整備」(30.6%)となっている。



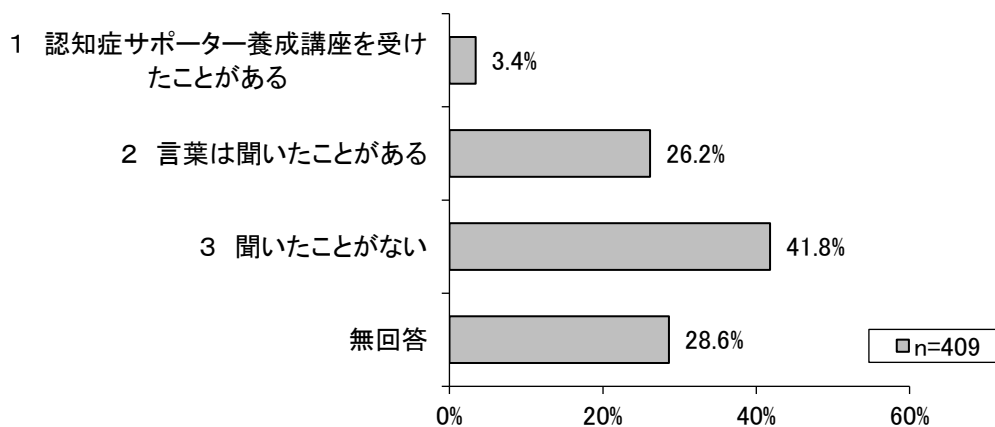
問50 あなたは、認知症の相談窓口を知っていますか。知っている場合、どの相談窓口を知っていますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

「地域包括支援センター」の割合(35.9%)が最も高く、次が「医療機関」(25.4%)となっている。



問51 あなたは、認知症サポーターについて知っていますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

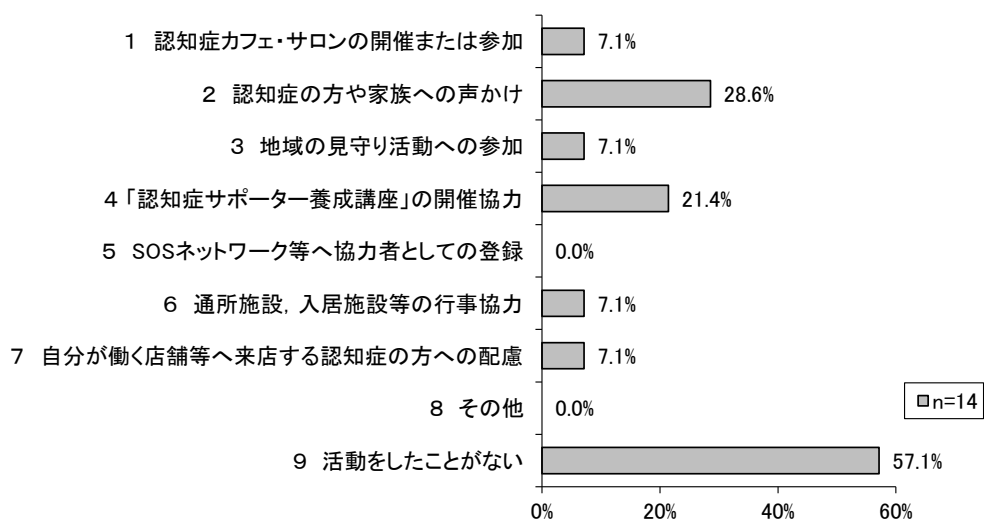
「聞いたことがない」の割合が約4割となっている。



問52 問51で「1に○を付けた方」にお尋ねします。

認知症サポーター養成講座を受講後に、どのような活動を行いましたか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

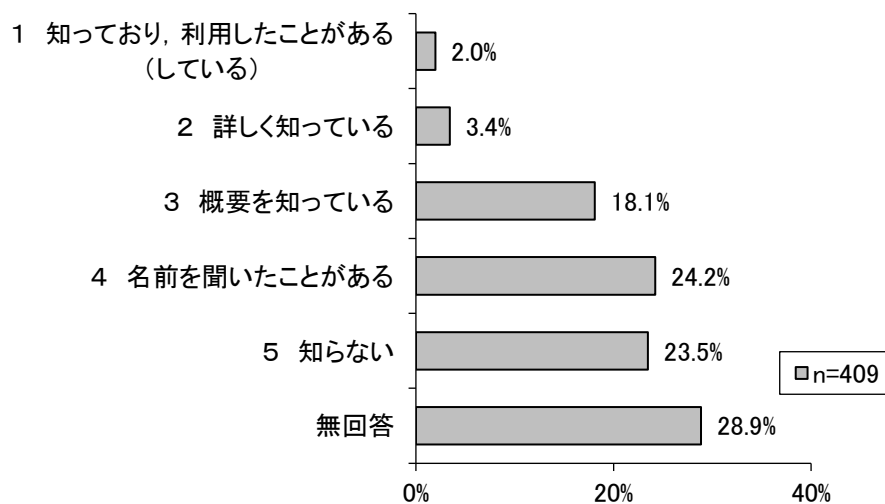
「活動をしたことがない」の割合(57.1%)が最も高く、次が「認知症の方や家族への声かけ」(28.6%)となっている。



10. 権利擁護について

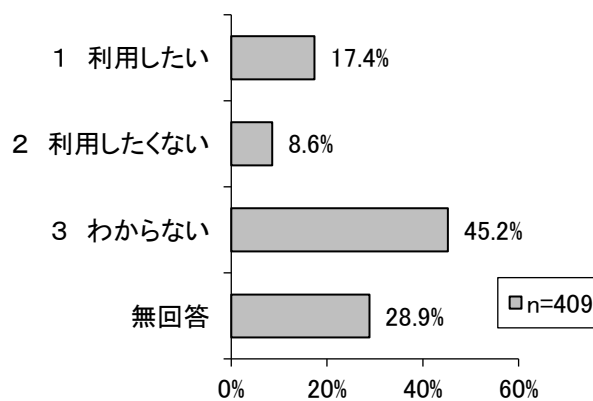
問53 成年後見制度についてご存じですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「名前を聞いたことがある」の割合(24.2%)と「知らない」(23.5%)が同程度となっている。



問54 将来, あなたの判断能力に不安が生じた時, 成年後見制度を利用したいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

「わからない」の割合(45.2%)が最も高くなっている。なお、「利用したい」は約2割となっている。



<自由意見>

1. 介護サービス、支援体制に関する意見

- ・ケアマネジャー、訪問医師からアドバイスいただきながら、介護サービスも十分に利用させていただいて感謝しかありません。(90歳代、要介護4)
- ・ケアマネさんやらDサービスの方々がとてもよくして下さい、ありがたいと思っています。(70歳代、要介護3)
- ・ケアマネジャーさんに何でも相談でき、すぐ対応して下さいるので感謝しています。訪問看護、訪問介護の方も、しっかり対応していただいて有難いです。(80歳代、要介護3)
- ・これからも介護保険事業に従事する人が増えていくような体制づくりをして頂きたいです(90歳代、要介護4)
- ・ますます高齢化がすすみますので、一人一人が安心して生活できるように、行政は仕事をして下さいますようにがんばって下さい。(90歳代、要支援1)
- ・介護の手間について要介護とのギャップを実際は感じる。基礎年金では施設に入れないのか。(80歳代、要介護1)
- ・介護者側からは必要と思われるサービスがありますが、本人は自分でできていると思っており、サービス拒否があります。(60歳代、要介護2)
- ・介護予防として元気な高齢者になるための講座などの充実。高齢者向けの「ご長寿応援券」は利用できる人とそうでない人(寝たきり)がいるので別のものにするか使用範囲(買い物)広げてほしい。(70歳代、事業対象者)
- ・各サービスがある事により、とても助かりますし、心強い！(70歳代、事業対象者)
- ・近い将来に今以上、体力が落ち始めたと自覚したら、低年金で入所できるホーム情報が知りたいです。以前あったタラソセラピーの様な運動ができる施設ができればうれしいです。(70歳代、要支援1)
- ・現在市の介護支援制度(支援1)を利用させて頂いております。83才ですが、これからの老後も安心して迎える事が出来る(身体的なことは抜きにして)のではと思います。(80歳代、要支援1)
- ・住宅改修や要支援サービス等、もう少しゆゆくサービスが利用できる様な奄美市になってほしい。(80歳代、要支援2)
- ・職員が少ない。職員の仕事に対する事は良好です。職員を増やしてもらいたい。(90歳代、要介護4)
- ・電話や訪問などいつも気にかけていただき、本当に感謝しています。サービスを活用することで多くの方に見守っていただけるので、家族も安心して過ごしております。(80歳代、要支援1)
- ・訪問介護を受けているが1時間では買い物だけで終わる。時間が短い。(70歳代、要支援1)
- ・良く連絡や相談ができ助かっています。(70歳代、要介護2)

2. 認知症に関する意見

- ・もし認知症になったら、家族の相談に親身に応じてください。(80歳代、要支援1)
- ・既に認知症で意思決定出来ない方への質問にしてはとても難しいですね。対象者は現在、要介護3で内容も理解困難な為回答者の判断で回答しています。※要介護で一人での外出も出来ない方へバス、タクシー券は必要ないですよ！他のものにしてください。オムツ券とか…。(90歳代、要介護3)

- ・認知症になる前に(家族は気づきにくい)、遺言、登記などの問題を解決しておかないと大変な事になる。
ので、アドバイスが重要だと思う。(90歳代、要支援2)

3. 介護者に関する意見

- ・昨年まで介護休暇のことを知らず、母の訪問看護、訪問リハビリ、担当者会議、モニタリング等、全て私の年休で対応してきました。今年度上司が変わり、介護休暇がとれることを知りました。介護する側にも利用できる制度等教えてほしかったです。介護事業者の方々には、ていねいに対応していただき感謝しています。(90歳代、要介護4)
- ・主介護者である姪は自営業者ですが、叔母夫婦の介護にかかる時間が多いため仕事ができなくなっている状態です。(80歳代、要介護1)

4. その他

- ・わからない。(80歳代、要支援2)